

第9回

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査

報 告 書

令和7（2025）年3月

川 崎 市

目 次

I	調査概要	1
II	アンケート調査の結果	6
1	子どもの権利条例について	6
2	あなたの生活について	18
3	相談するところについて	28
4	学校・地域のことについて	32
5	あなたの思いについて	38
	参考資料	43
I	単純集計表	44
1	単純集計表（子ども）	44
2	単純集計表（おとな）	87
3	単純集計表（職員）	114
II	調査票	144
1	調査票（子ども）	144
2	調査票（おとな）	152
3	調査票（職員）	159
III	川崎市子どもの権利に関する条例	166

- 本報告書中の「条例」または「子どもの権利条例」という記述は、特に断りがなければ、「川崎市子どもの権利に関する条例」をさしています。
- 統計資料は端数処理を行っているため、パーセンテージの合計が 100 と一致しないことがあります。

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、子どもの権利の視点から本市の施策を総合的に展開していくため、川崎市が、子どもを含む川崎市民及び子どもに関わる職員の子どもの権利保障に関する実態や意識を経年的に把握すること、また、「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づいて設置された「川崎市子どもの権利委員会」が、市長から諮問される事項に関する調査・審議の基礎とする資料を得ることを目的としています。

2 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりです。

(1) 調査地域 川崎市内

(2) 調査対象

子ども調査…………… 市内に居住する満 10 歳から満 17 歳までの個人

おとな調査…………… 市内に居住する満 18 歳以上の個人

市立施設等の職員調査… 市立施設等の職員

(3) 標本数 3,500 人

子ども調査…………… 2,100 人

おとな調査…………… 900 人

市立施設等の職員調査…………… 500 人

(4) 抽出方法

子ども調査…………… 住民基本台帳から 2,100 人（人口比 3.4%にあたる
外国人住民分 72 人含む）を無作為抽出

おとな調査…………… 住民基本台帳から 900 人（人口比 3.4%にあたる
外国人住民分 31 人含む）を無作為抽出

市立施設等の職員調査… 抽出した施設（学校・施設（保育園・児童養護施設
など）の職員

(5) 調査方法 郵送調査（インターネット回答併用）

(6) 調査期間 令和 6（2024）年 9 月～10 月

3 回収結果

本調査の回収結果は、次のとおりです。

(1) 有効回答数（数字は左が回収数、カッコ内が送付数です。）

子ども調査……………819 件（2,100 件）

10～12 歳 413 件（700 件）

13～15 歳 273 件（700 件）

16・17 歳 114 件（700 件）

年齢不明 19 件

おとな調査……………396 件（900 件）

市立施設等の職員調査……369 件（500 件）

総 計……………1,584 件（3,500 件）

(2) 有効回収率（数字は左が今回（令和 6（2024）年調査）回収率、
カッコ内が前回（令和 4（2022）年調査）回収率です。）

子ども調査……………39.0%（23.0%）

10～12 歳 59.0%（28.7%）

13～15 歳 39.0%（24.0%）

16・17 歳 16.3%（16.3%）

おとな調査……………44.0%（25.4%）

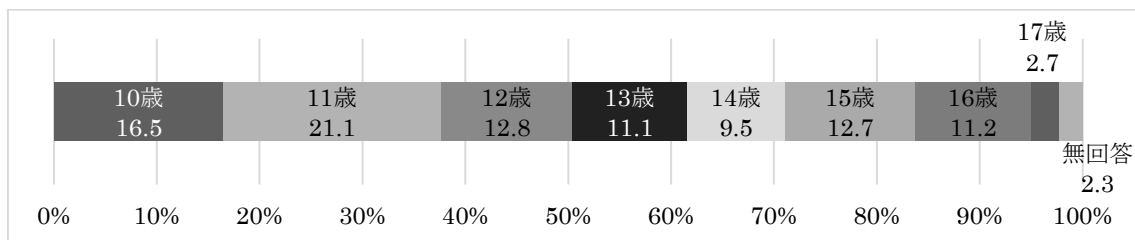
市立施設等の職員調査……73.8%（76.4%）

総 計……………45.3%（31.3%）

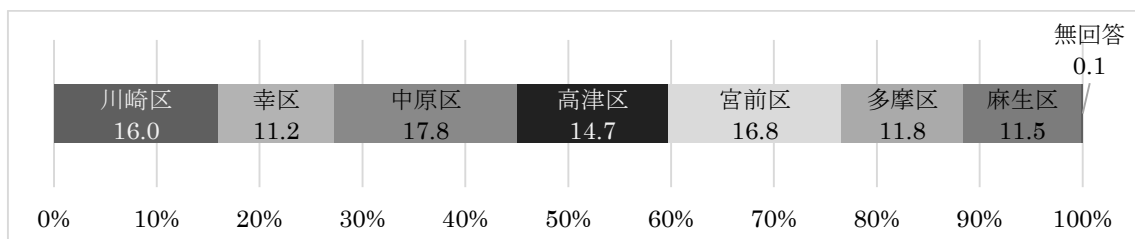
4 回答者（サンプル）の属性

(1) 子ども 回答数 819 件（発送数 2,100 件、回収率 39.0%）

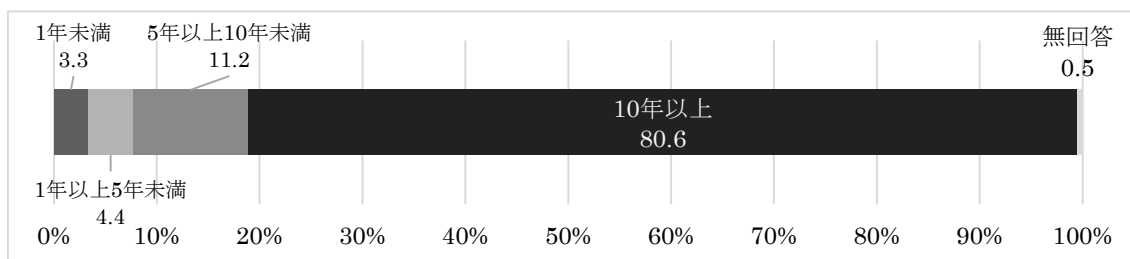
【年 齢】 (%)



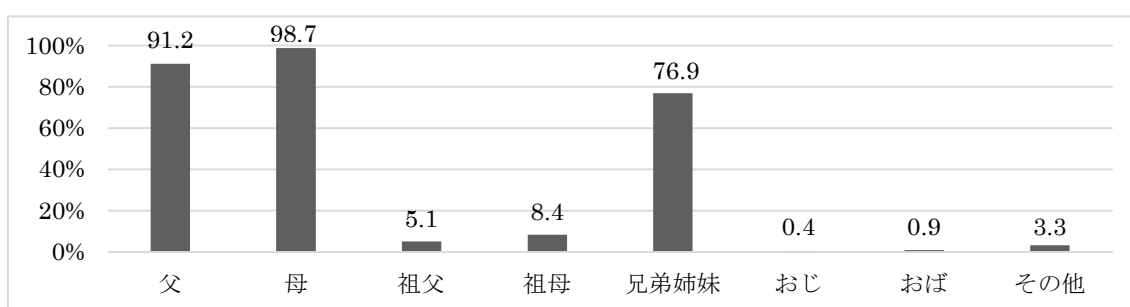
【住んでいる区】 (%)



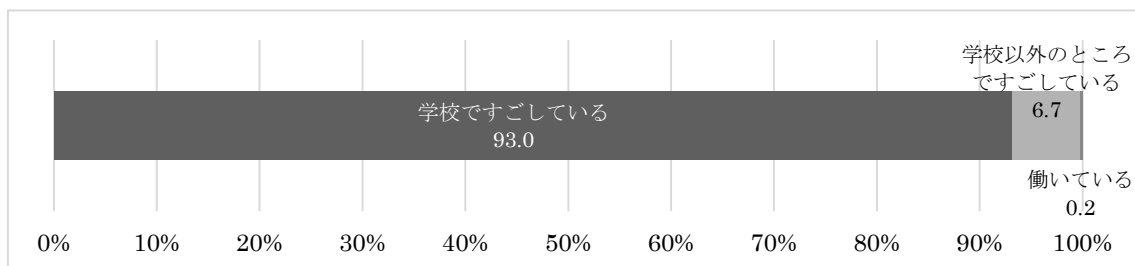
【住んでいる期間】 (%)



【同居者】 (%)

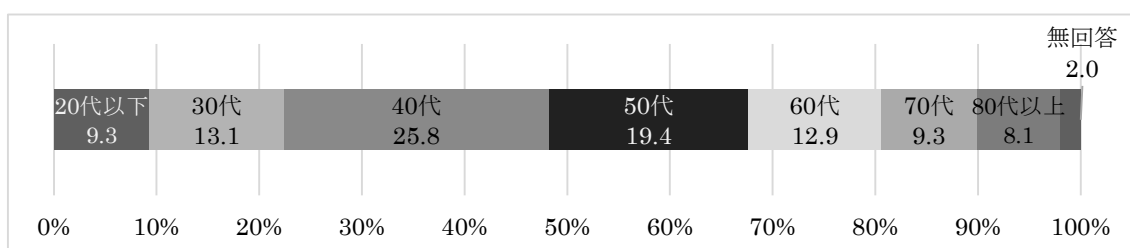


【平日の行動】 (%)

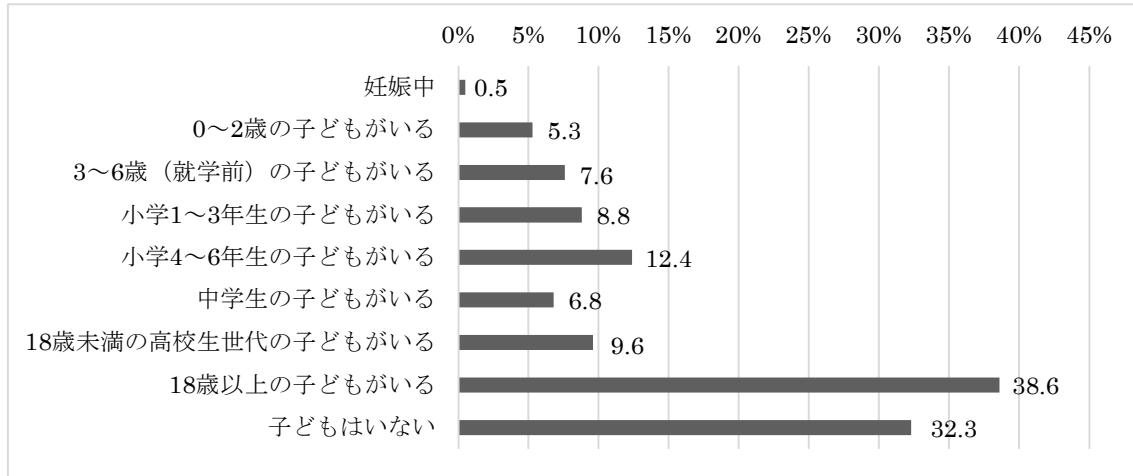


(2) おとな 回答数 396 件 (発送数 900 件、回収率 44.0%)

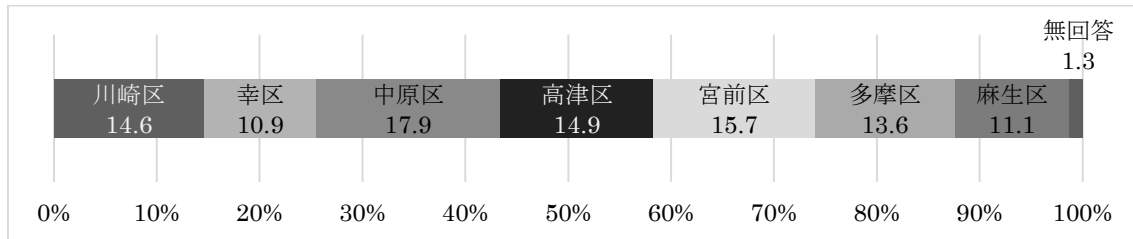
【年 代】 (%)



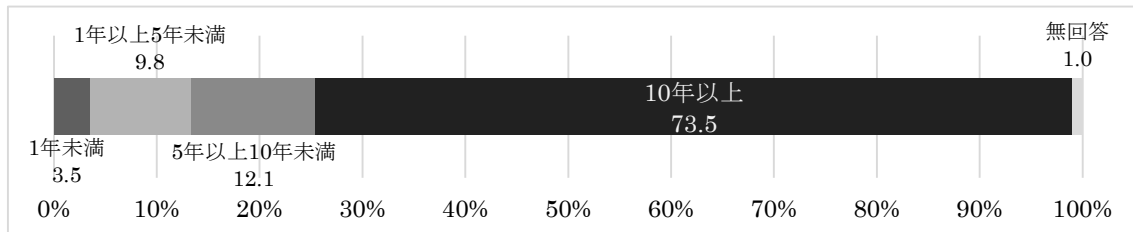
【子どもの有無】（複数選択可） (%)



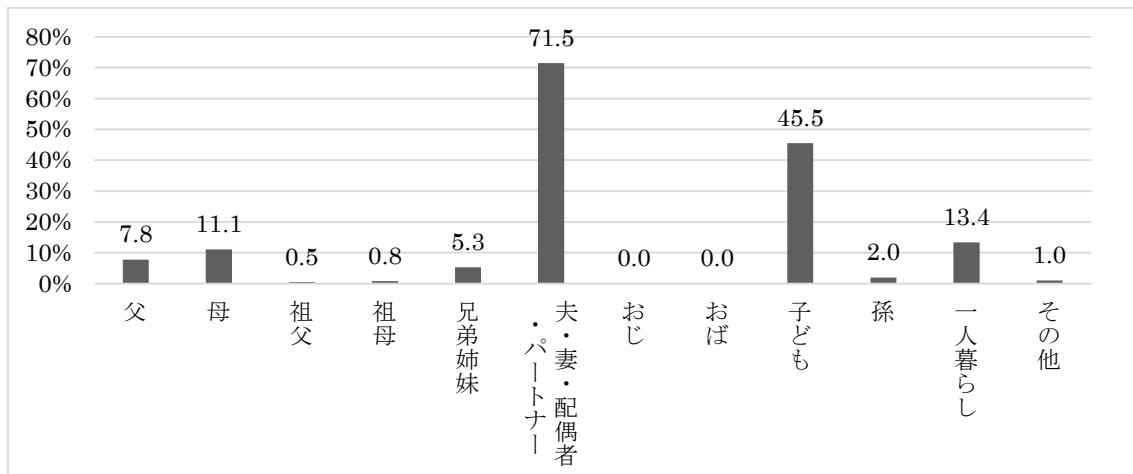
【住んでいる区】 (%)



【住んでいる期間】 (%)

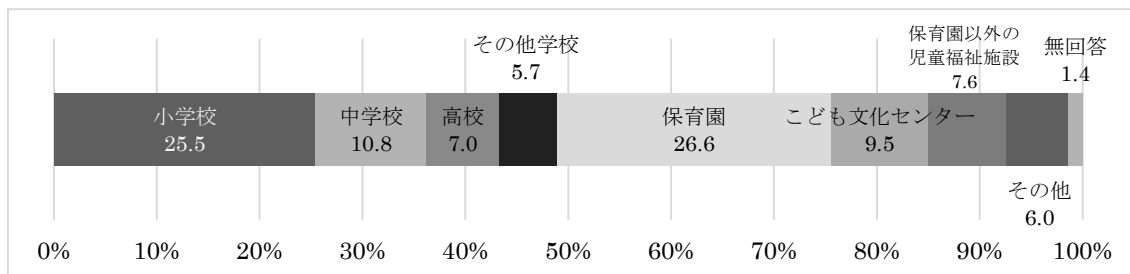


【同居者】（複数選択可） (%)

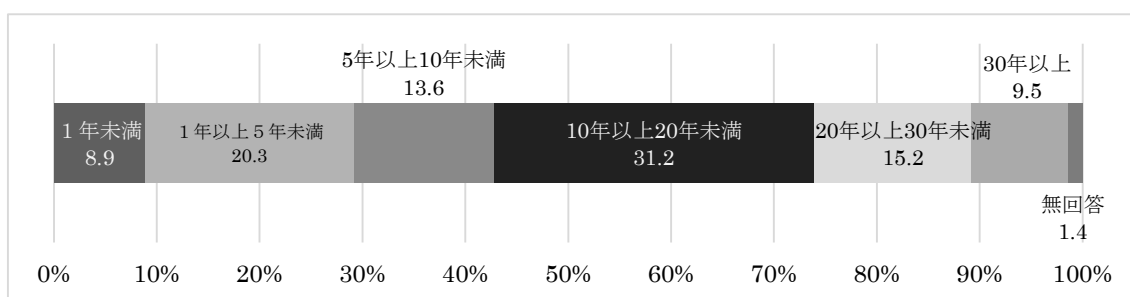


(3) 職 員 回答数 369 件 (発送数 500 件、回収率 73.8%)

【所 属】 (%)



【勤続年数】 (%)



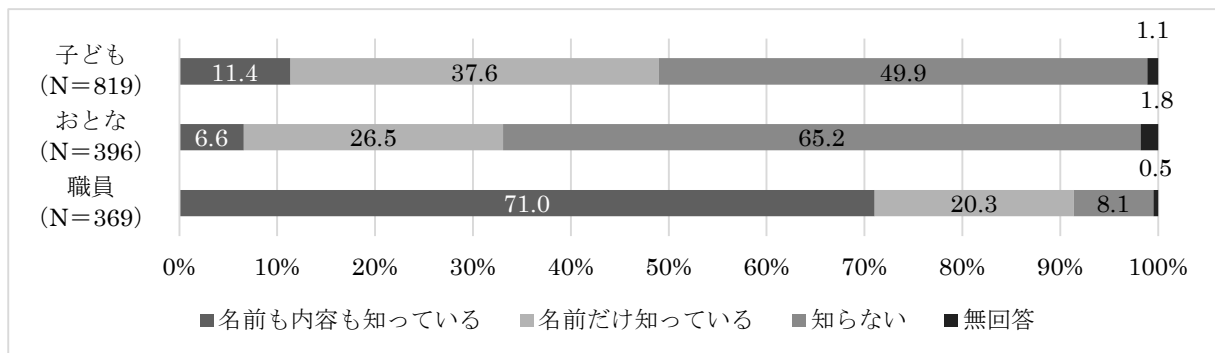
II アンケート調査の結果

1 子どもの権利条例について

(1) 条例の認知度

子どもの権利条例を「名前も内容も知っている」と回答した割合は、子どもが 11.4%、おとなが 6.6%、職員が 71.0%、「名前だけ知っている」と回答した割合は、子どもが 37.6%、おとなが 26.5%、職員が 20.3%でした。子どもは 49.9%、おとなは 65.2%、職員は 8.1%が「知らない」と回答しています。

図1 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【全体】 (%)

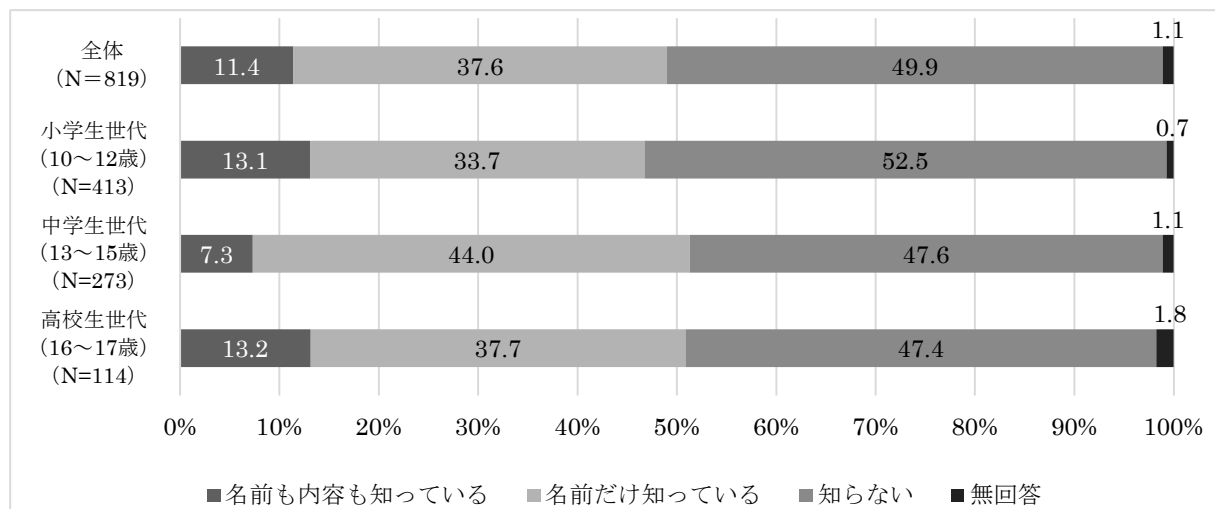


ア 子どもの認知度

【子ども：世代別】

世代別に見ると、「名前も内容も知っている」と回答した割合は小学生世代で 13.1%、中学生世代で 7.3%、高校生世代で 13.2%でした。「名前だけ知っている」では、小学生世代が 33.7%、中学生世代が 44.0%、高校生世代が 37.7%で、「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」を合わせると、中学生世代が最も高くなっています。

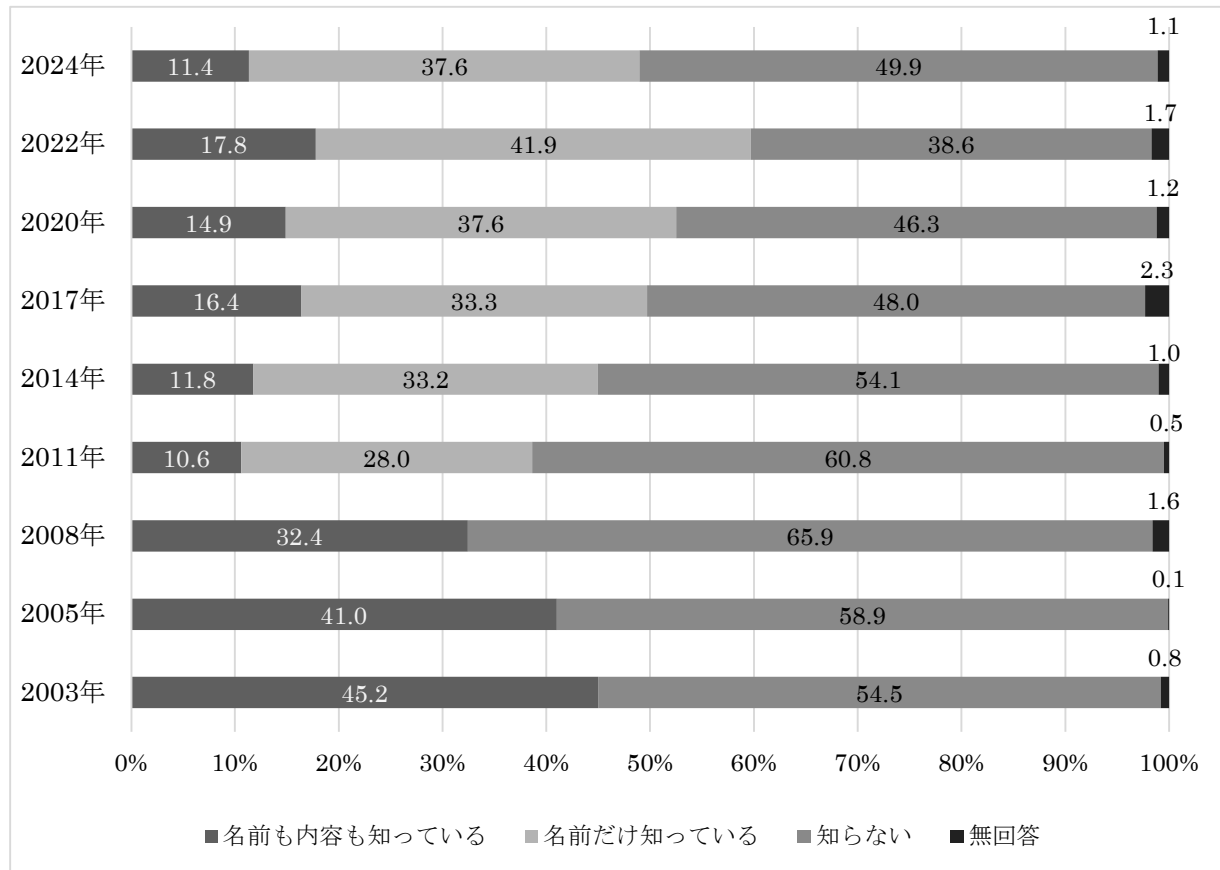
図2 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：経年比較】

前回の調査で、条例を「知っている」と回答した子どもは17.8%、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と回答した子どもは41.9%でしたが、今回の調査では「名前も内容も知っている」と回答した子どもは11.4%、「名前だけ知っている」と回答した子どもは37.6%と減少しました。

図3 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【子ども：経年比較】 (%)



(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択
2011年～2022年の調査では「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の3択

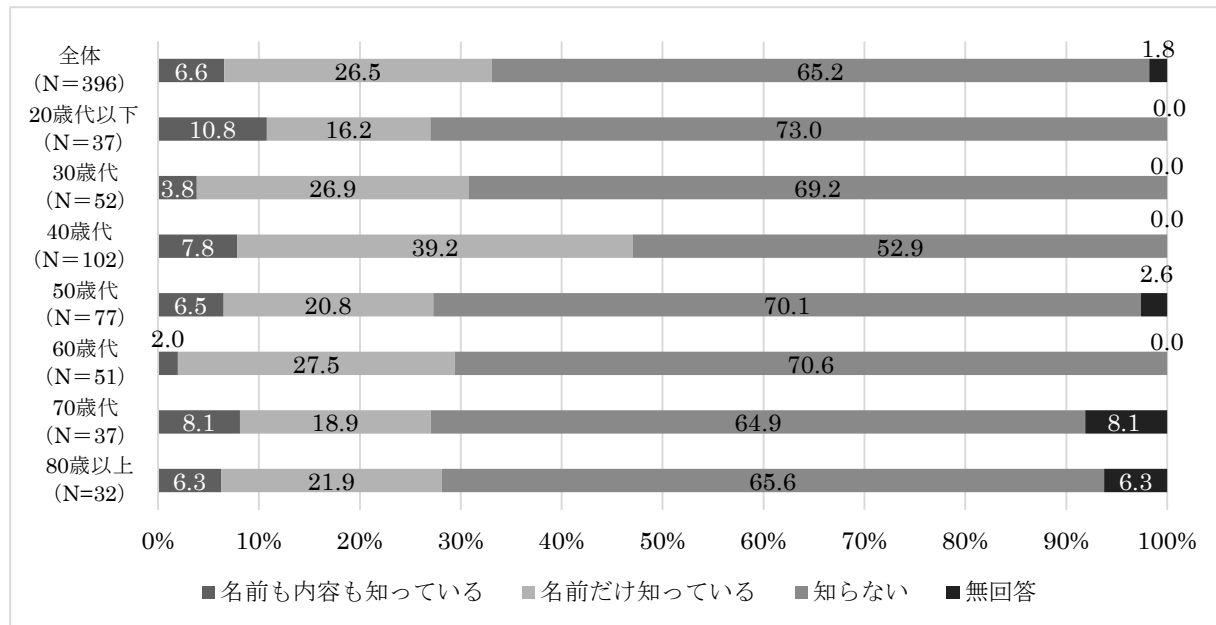
イ おとなの認知度

【おとな：年代別】

年代別に見ると、「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」と回答した割合が最も多い年代は、40歳代の47.0%で、次いで30歳代の30.7%、60歳代の29.5%でした。

(図はP.8図4を参照)

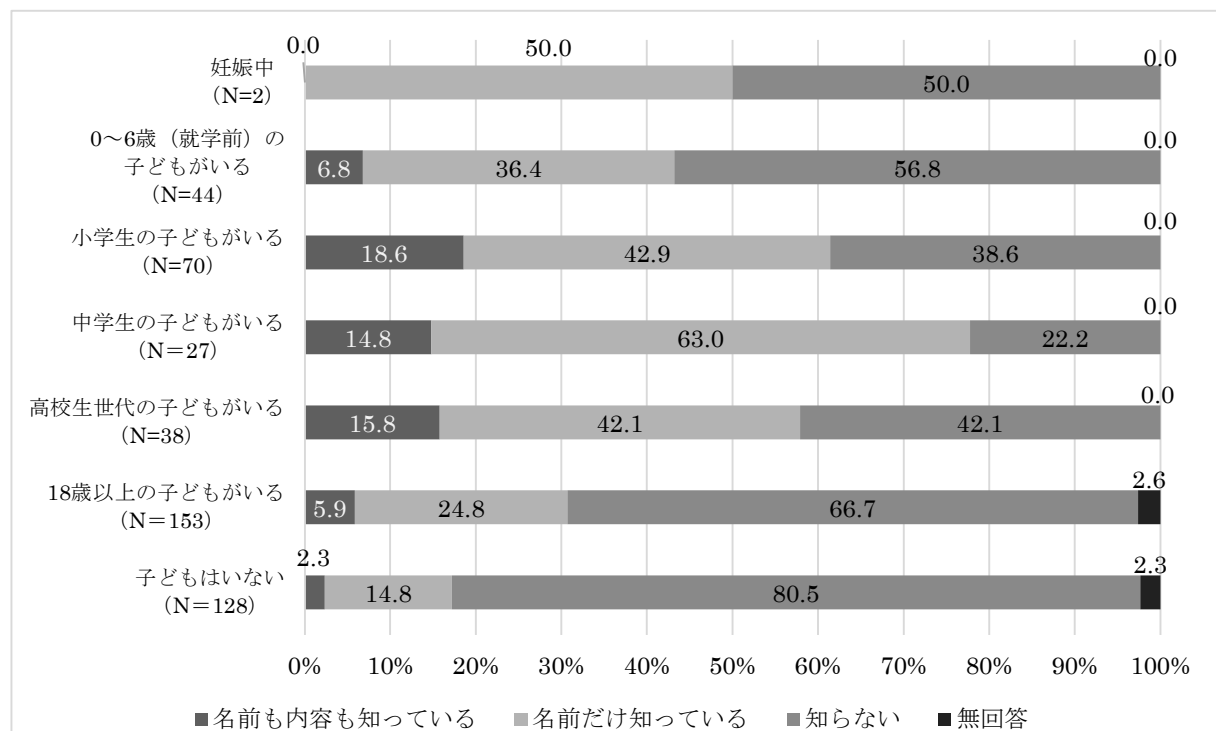
図4 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：年代別】 (%)



【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、条例を「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」と回答した割合が最も高かったのは「中学生の子どもがいる」おとなで77.8%、次いで「小学生の子どもがいる」おとなの61.5%、「高校生世代の子どもがいる」おとなの57.9%でした。これに対し、子どもは「いない」おとなは17.1%と低くなっています。

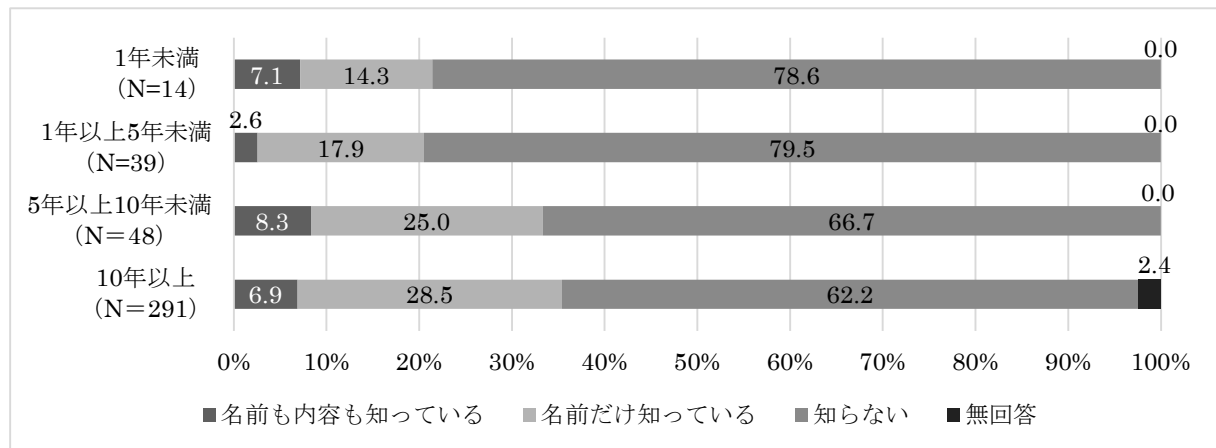
図5 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：子どもの有無別】 (%)



【おとな：居住期間別】

居住期間別で見ると、条例を「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」と回答した割合が最も高かったのは「10年以上」のおとなで35.4%、次いで「5年以上10年未満」のおとなで33.3%でした。

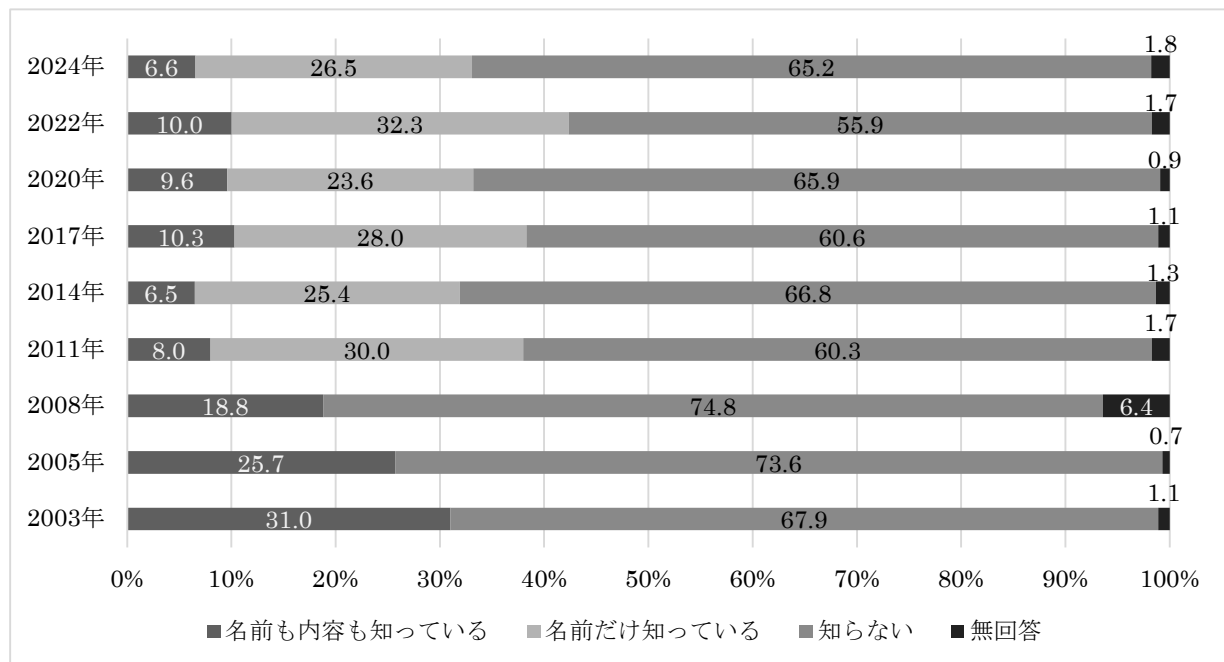
図6 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：居住期間別】 (%)



【おとな：経年比較】

前回の調査で、条例を「知っている」と答えた人は10.0%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と答えた人は32.3%でしたが、今回の調査では「名前も内容も知っている」と答えた人は6.6%に、「名前だけ知っている」と答えた人は26.5%と、いずれも減少しました。

図7 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：経年比較】 (%)



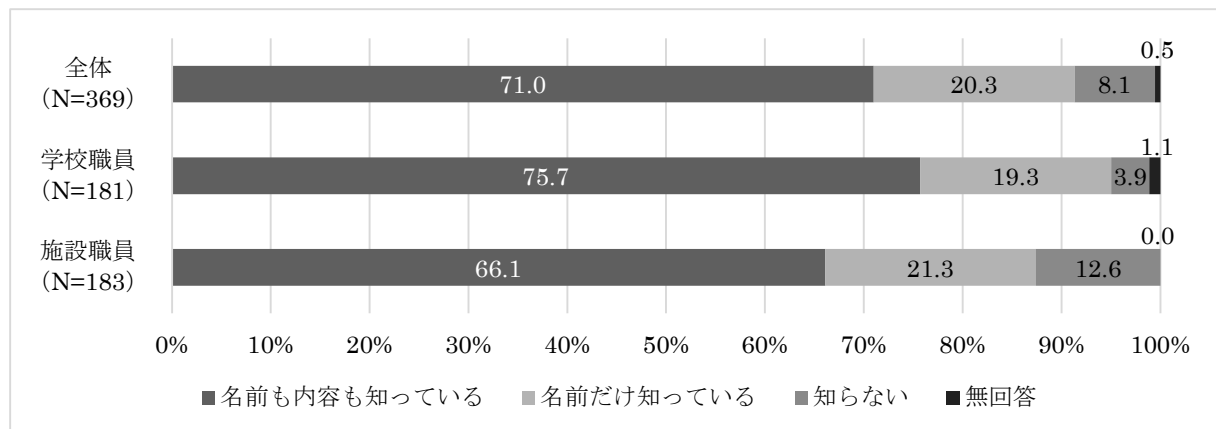
(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択
2011年～2022年の調査では「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の3択

ウ 職員の認知度

【職員：施設別】

施設別で見ると、学校職員の 75.7%、施設職員の 66.1%が条例を「名前も内容も知っている」と回答しました。

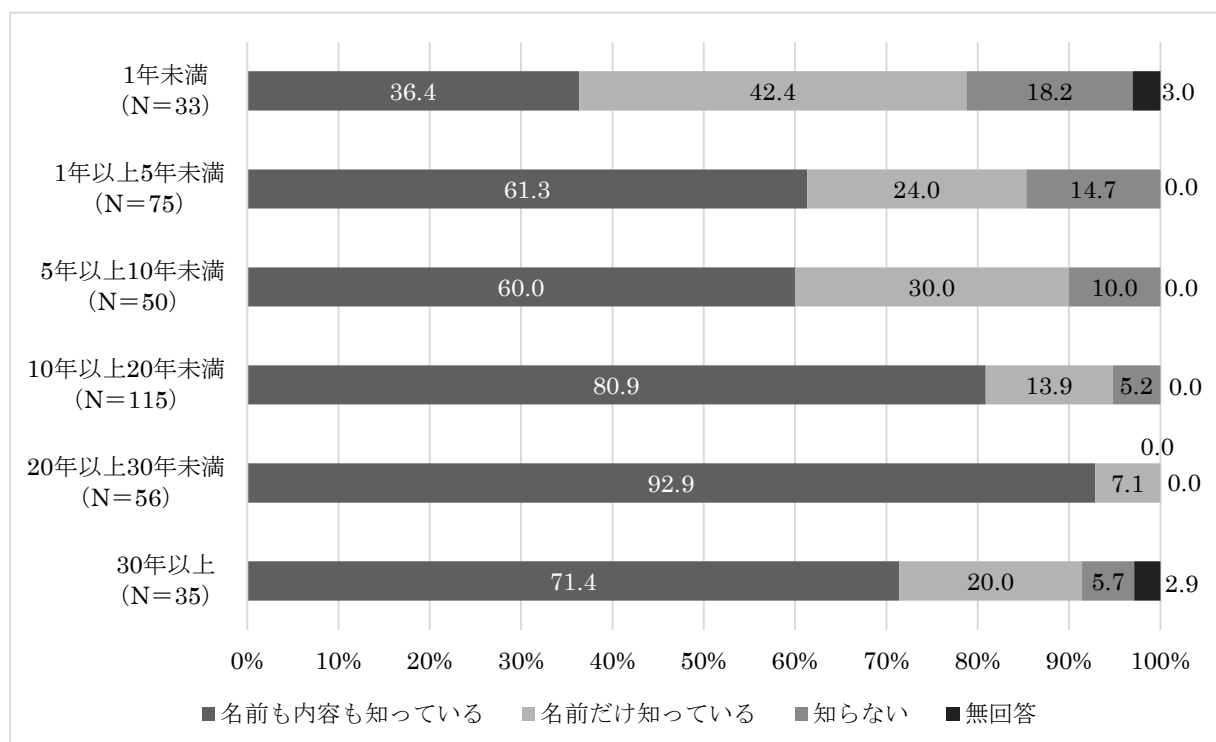
図8 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【職員：施設別】 (%)



【職員：勤続年数別】

勤続年数別で見ると、おおよそ勤続年数が高い職員ほど「名前も内容も知っている」「名前だけ知っている」と回答した割合が増加する傾向にあり、20年以上30年未満の勤続年数の職員の92.9%が「名前も内容も知っている」と回答しました。

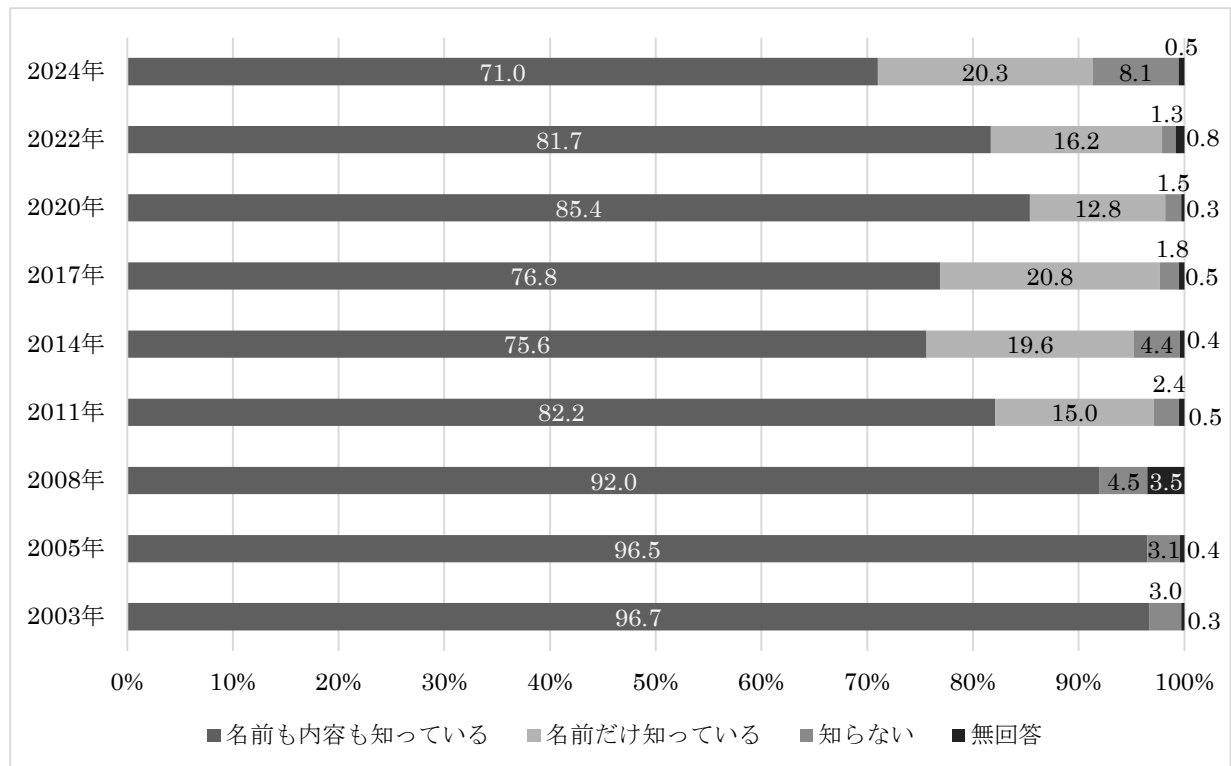
図9 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【職員：勤続年数別】 (%)



【職員：経年比較】

前回の調査では、条例を「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と答えた職員は97.9%でしたが、今回の調査では「名前も内容も知っている」「名前だけ知っている」と答えた職員が91.3%へと減少しています。また、「知らない」と回答した職員の割合は過去最高でした。

図10 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【職員：経年比較】 (%)



((注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択
2011年～2022年の調査では「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の3択

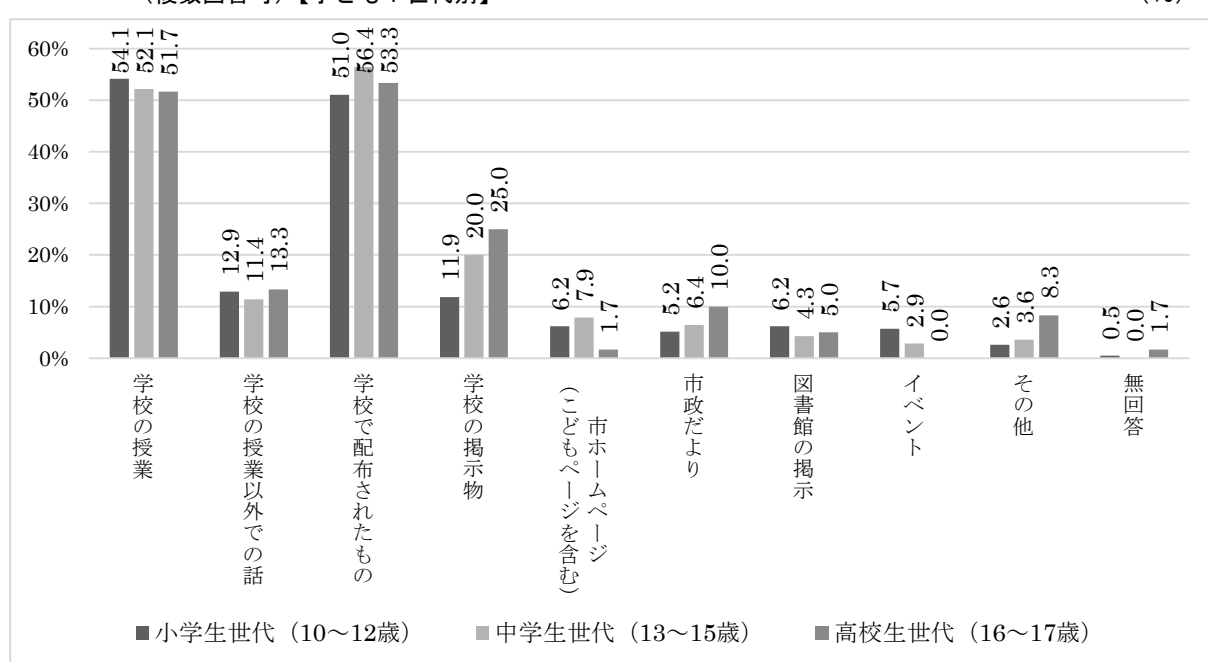
(2) 条例の認知方法（条例を「名前も内容も知っている」「名前だけ知っている」と回答した人）

ア 子ども

【子ども：世代別】

世代別に見ると、小学生・中学生・高校生世代ともに、「学校の授業」「学校で配布されたもの」と回答した割合が高くなっています。

図 11 Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をどのように見たり聞いたりしますか。
（複数回答可）【子ども：世代別】



「その他」の回答については、P. 44 参照

イ おとな

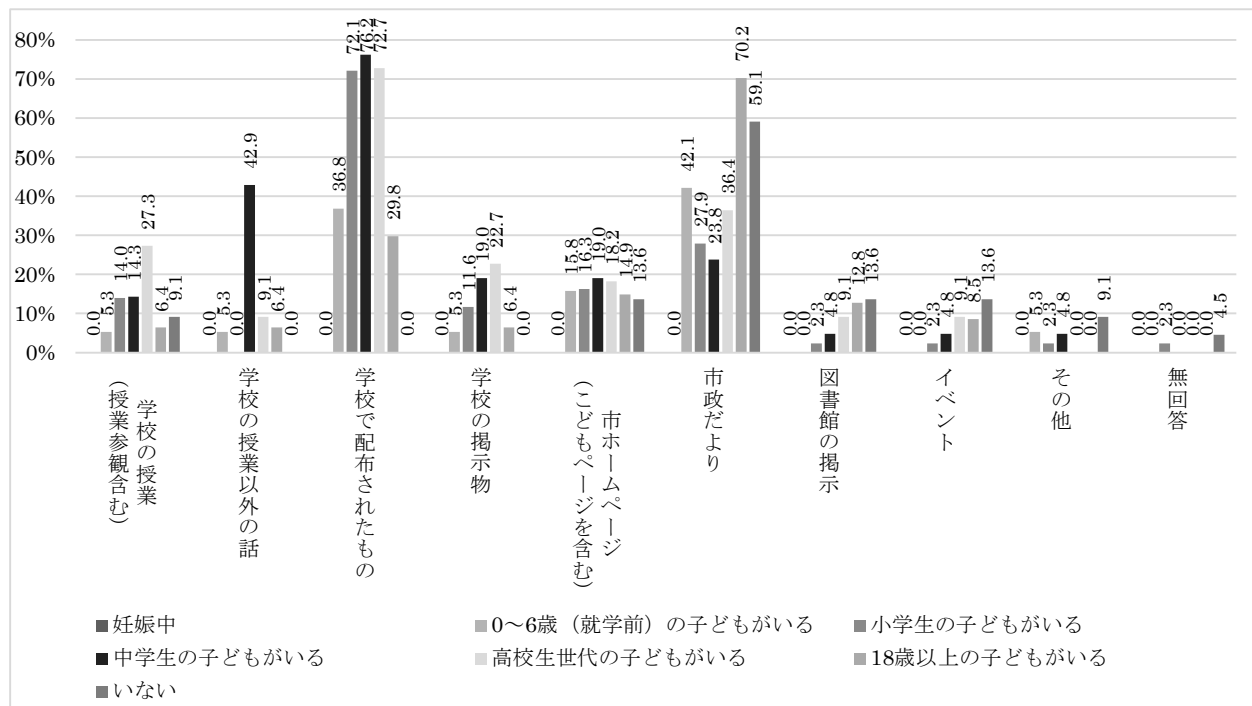
【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、小・中・高校生世代の子どもがいるおとなは、「学校で配布されたもの」と回答した割合が最も高くなりました。就学前・18歳以上の子どものいるおとなと、子どもはいないおとなは、「市政だより」と回答した割合が高くなりました。

（図は P. 13 図 12 を参照）

図 12 Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
(複数回答可)【おとな：子どもの有無別】

(%)



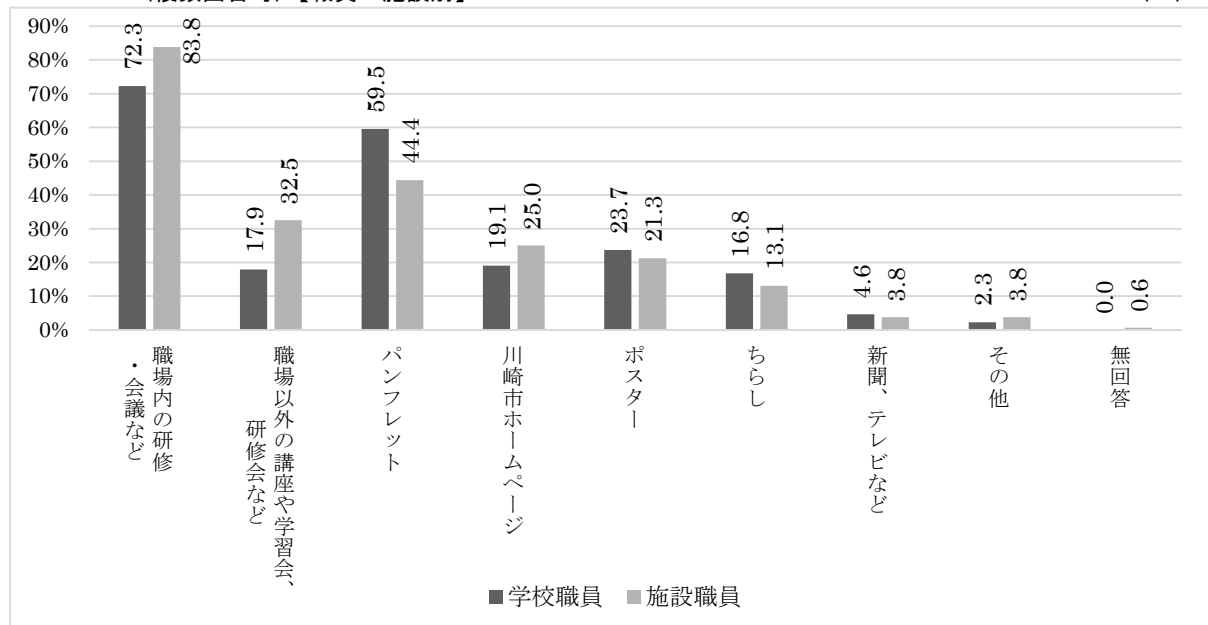
ウ 職員

【職員：施設別】

施設別に見ると、学校職員・施設職員ともに「職場内の研修・会議など」と回答した割合が最も高くなりました。

図 13 Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
(複数回答可)【職員：施設別】

(%)

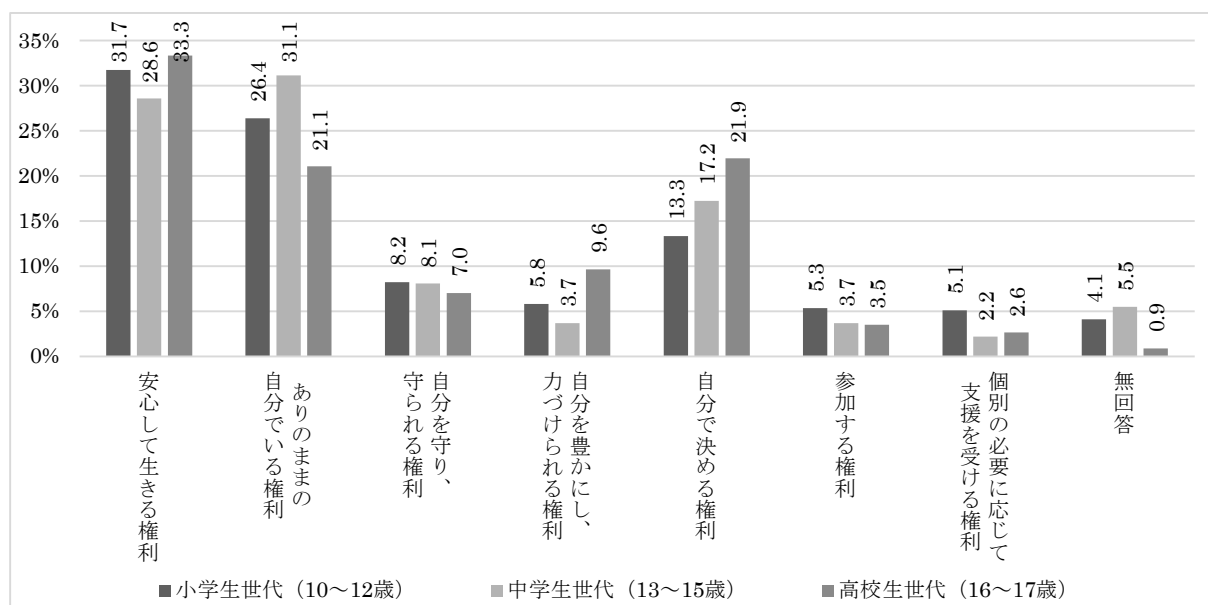


(3) 子どもの権利の中で、最も大切だと思うもの

【子ども：世代別】

子どもに対し、7つの子どもの権利の中で、自分にとって大切だと思う権利を1つ選んでもらったところ、最も割合が高い回答は、小学生世代と高校生世代は「安心して生きる権利」で、中学生世代は「ありのままの自分でいる権利」でした。

図 14 Q3 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【子ども：世代別】 (%)



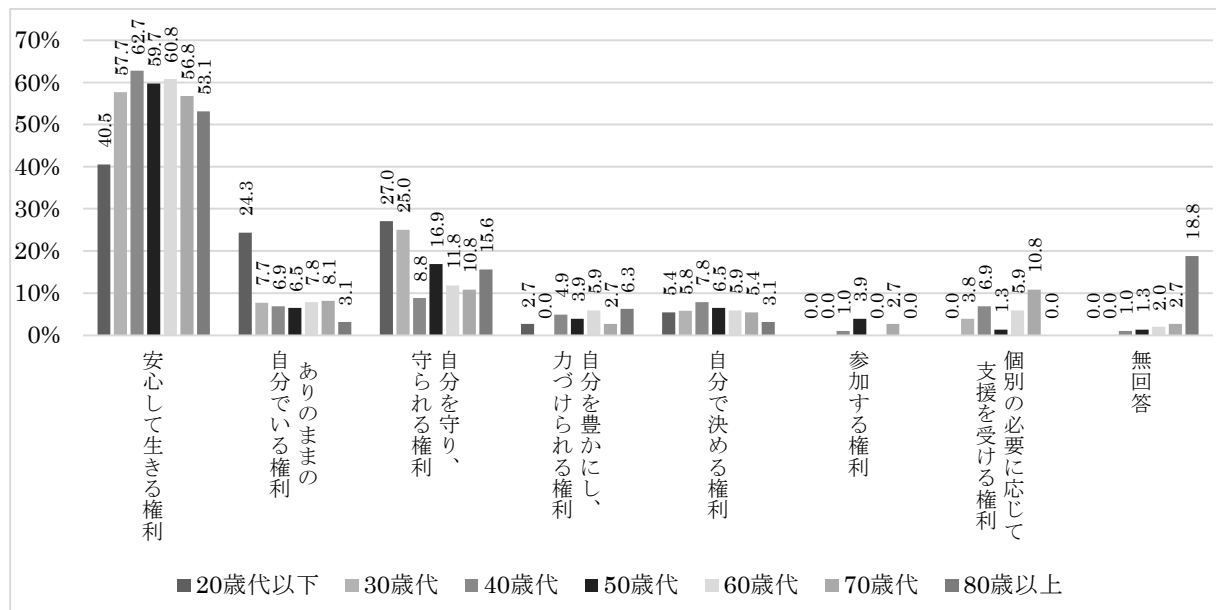
選んだ理由についてはP. 44～参照

【おとな：年代別】

おとなに対し、7つの子どもの権利の中で、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでもらったところ、全ての年代において最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」でした。2番目に多く選ばれた権利については、70代は「個別の必要に応じて支援を受ける権利」と「自分を守り、守られる権利」で、70代を除く年代では「自分を守り、守られる権利」でした。
(図はP. 15 図 15 を参照)

図 15 Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【おとな：年代別】

(%)



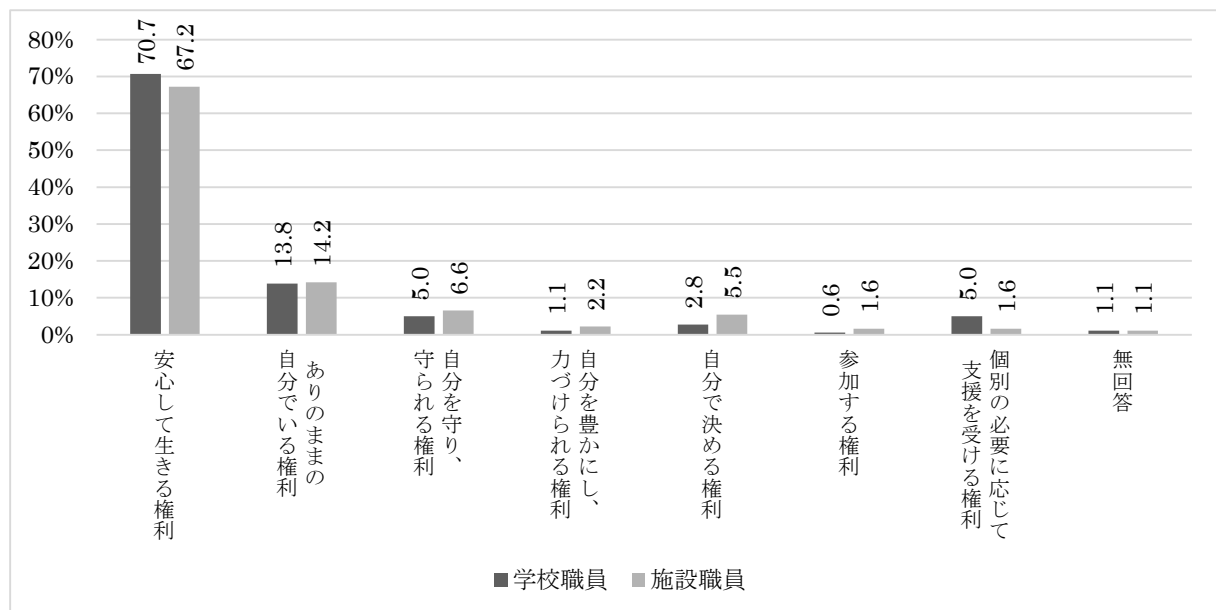
選んだ理由についてはP. 87～参照

【職員：施設別】

職員に対し、7つの子どもの権利の中で、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでもらったところ、学校職員・施設職員どちらにおいても最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」でした。2番目に多く選ばれた権利については、学校職員・施設職員ともに「ありのままの自分での権利」でした。

図 16 Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【職員：施設別】

(%)



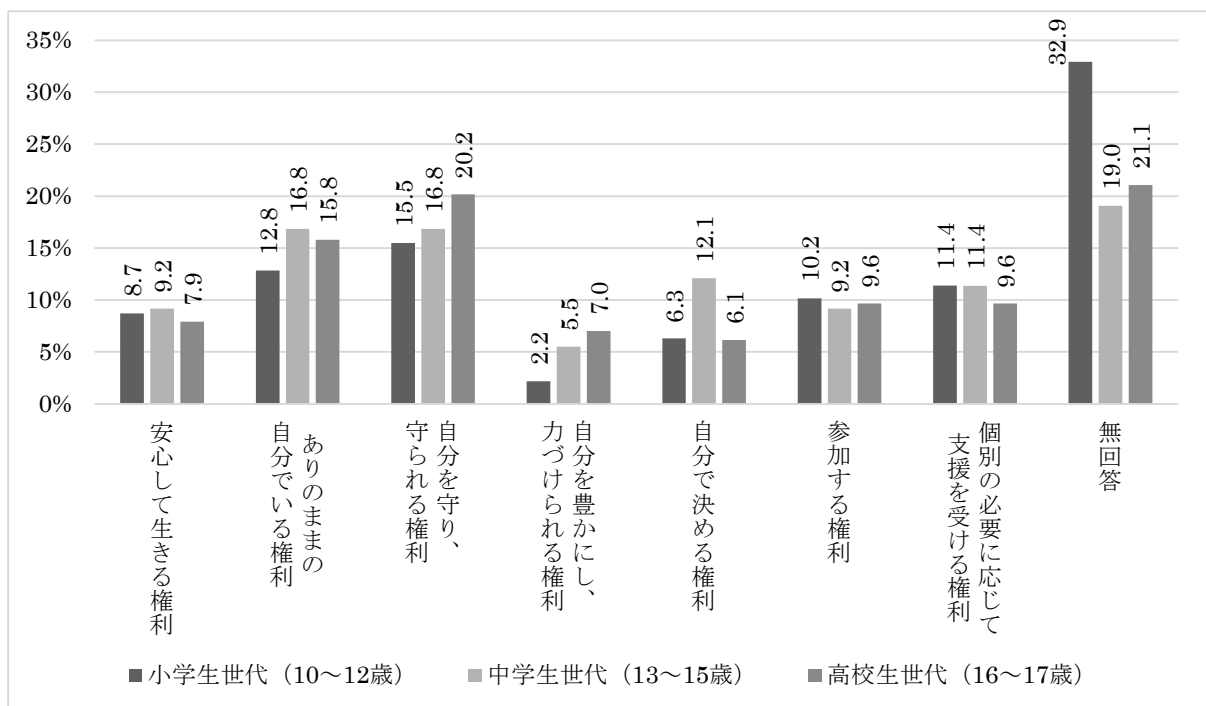
選んだ理由についてはP. 114～参照

(5) 子どもの権利の中で、守られていないと思うもの

【子ども：世代別】

子どもに対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでもらったところ、すべての年代において最も回答の割合が高かったのは「自分を守り、守られる権利」でした。中学生世代においては「ありのままの自分でいる権利」も同じ割合でした。

図 17 Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【子ども：世代別】

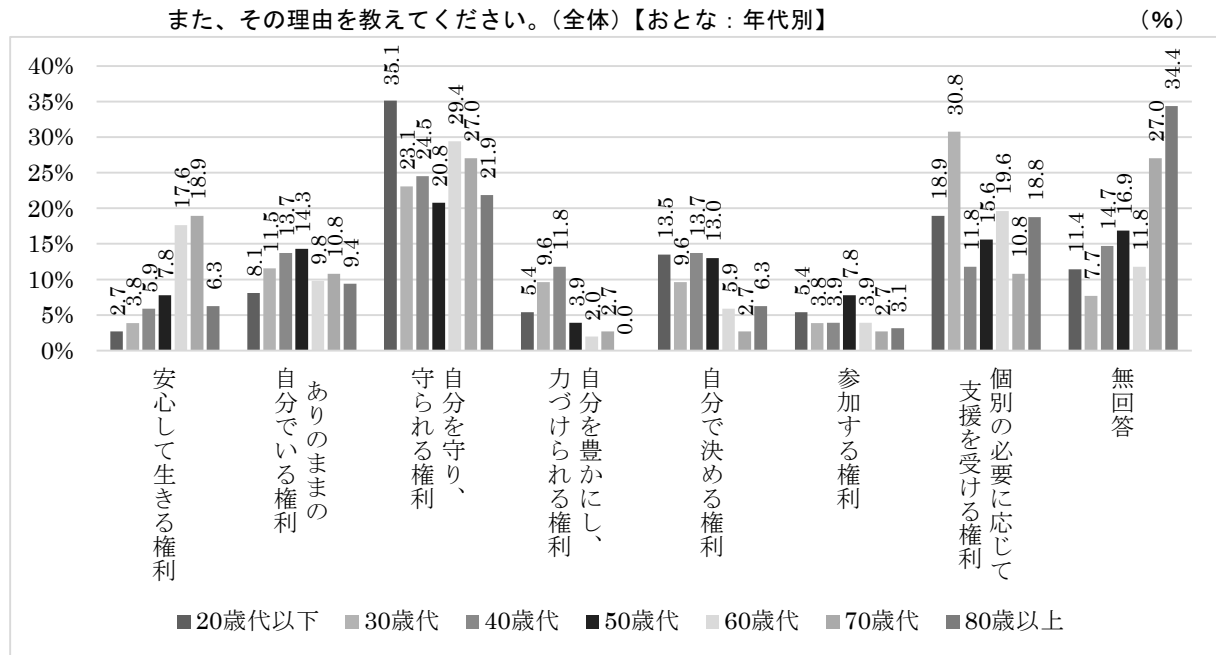


選んだ理由については P. 53～参照

【おとな：年代別】

おとなに対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでもらったところ、30歳代以外の世代において最も回答の割合が高かったのは「自分を守り、守られる権利」でしたが、30歳代は「個別の必要に応じて支援を受ける権利」でした。(図は P. 17 図 18 参照)

図 18 Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【おとな：年代別】

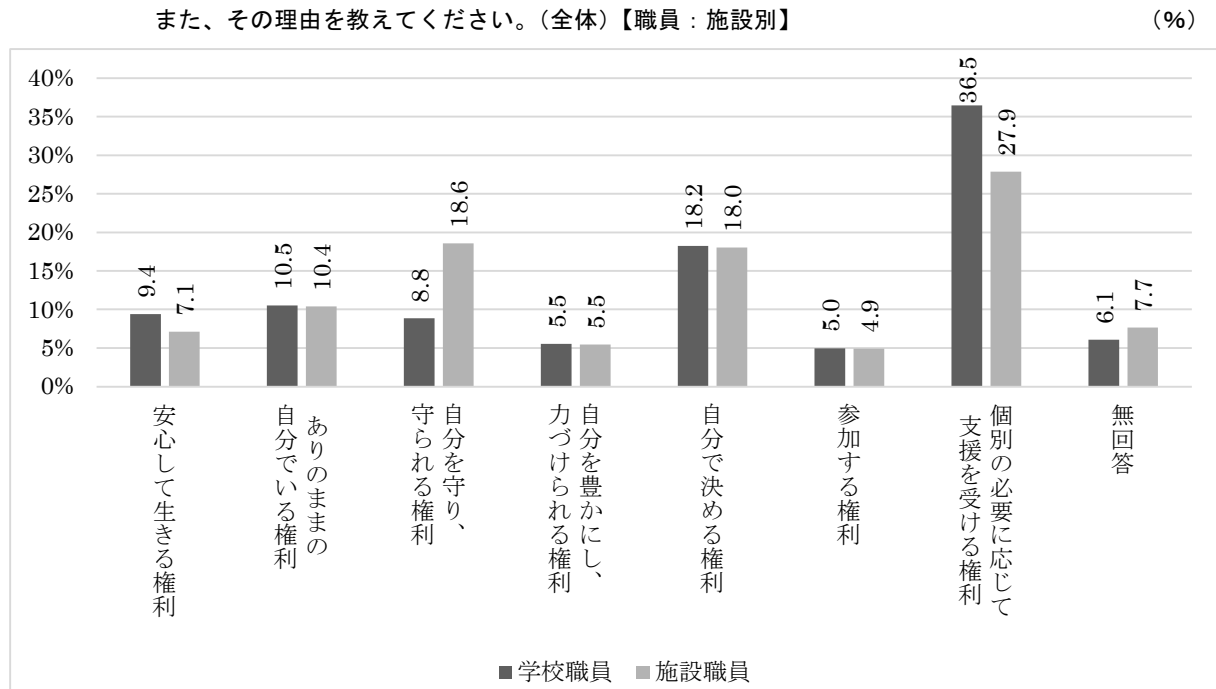


選んだ理由についてはP. 91～参照

【職員：施設別】

職員に対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでもらったところ、最も回答の割合が高かった権利は、学校職員・施設職員ともに「個別の必要に応じて支援を受ける権利」でした。

図 19 Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【職員：施設別】



選んだ理由についてはP. 118～参照

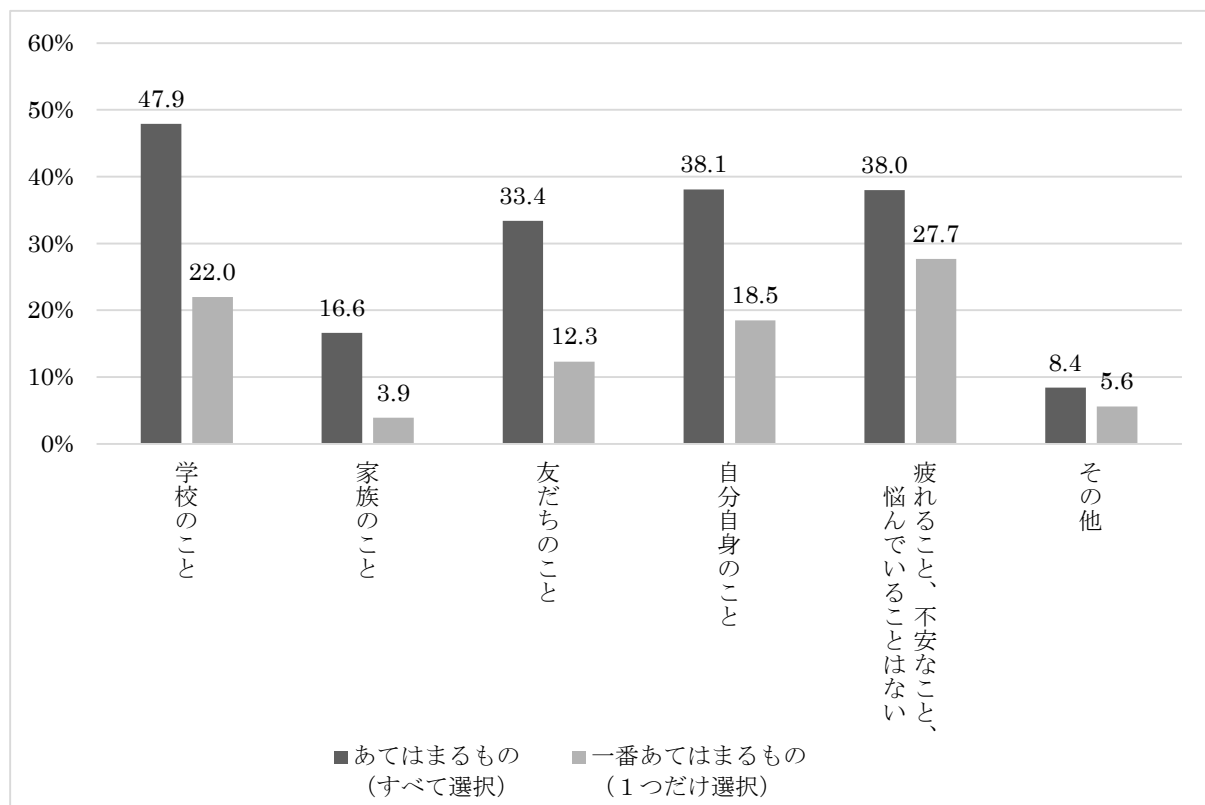
イ 疲れること、不安に思うこと

【子ども：全体】

子どもに、疲れること、不安に思うことはあるかをたずねたところ、最も回答の割合が高いのは「学校のこと」が 47.9%、次いで「自分自身のこと」が 38.1%でした。また、「疲れること、不安なこと、悩んでいることはない」と回答した割合は 38.0%でした。さらに、一番あてはまるものについては、「疲れること、不安なこと、悩んでいることはない」を除くと、「学校のこと」が 22.0%、「自分自身のこと」が 18.5%でした。

図 22 Q 6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。【子ども：全体】

N=772 (%)



『一番あてはまるもの』の「無回答」は 10.5%

「その他」の回答については P. 61 参照

ウ 気持ちを伝えられているか、受け止めることができているか

【子ども：世代別】

子どもに、家で過ごしているときに、自分の気持ちをおとなに話することができるかをたずねたところ、子ども全体としては、「できている」という回答が 82.9%、「できていない」が 16.5%でした。

世代別に見ると、「できていない」と回答した割合が最も高かったのは高校生世代で、20.2%でした。(図は P. 20 図 23 を参照)

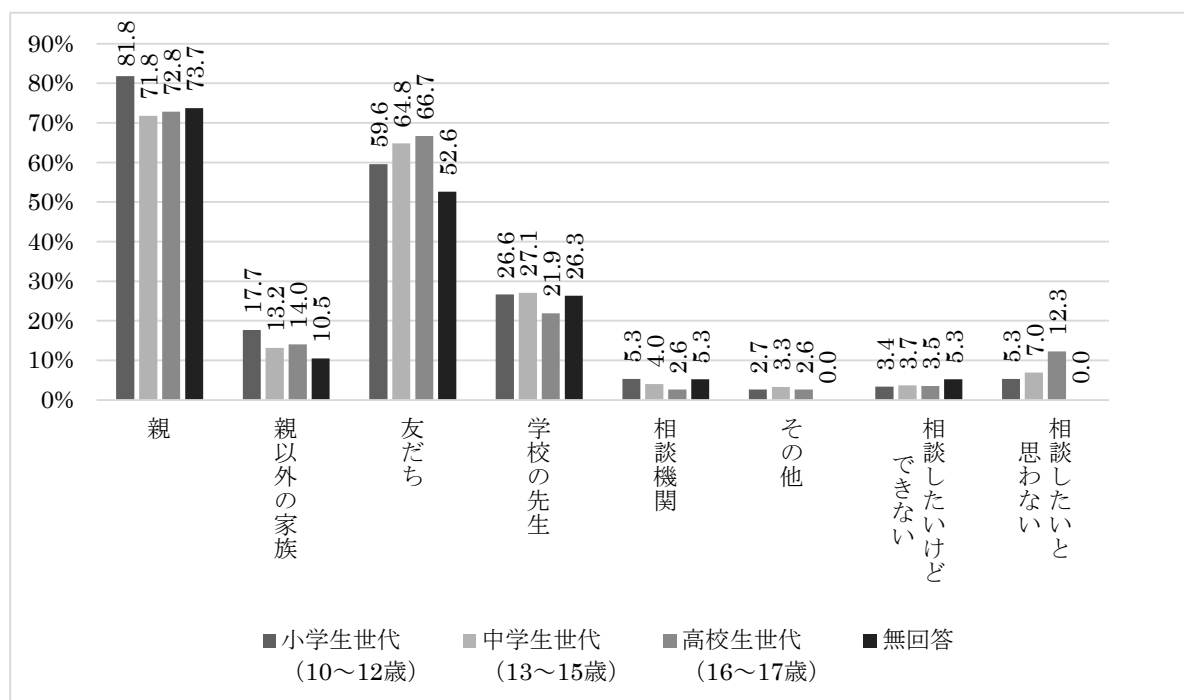
3 相談するところについて

(1) 相談する相手

【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談するかをたずねたところ、全世代で「親」と回答した割合が最も高くなりました。

図 38 Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(複数選択可)
【子ども：世代別】 (%)



「その他」の回答についてはP. 67 参照
「相談したいけどできない」の理由についてはP. 68 参照
「相談したいと思わない」の理由についてはP. 68～参照

(2) 相談する場所

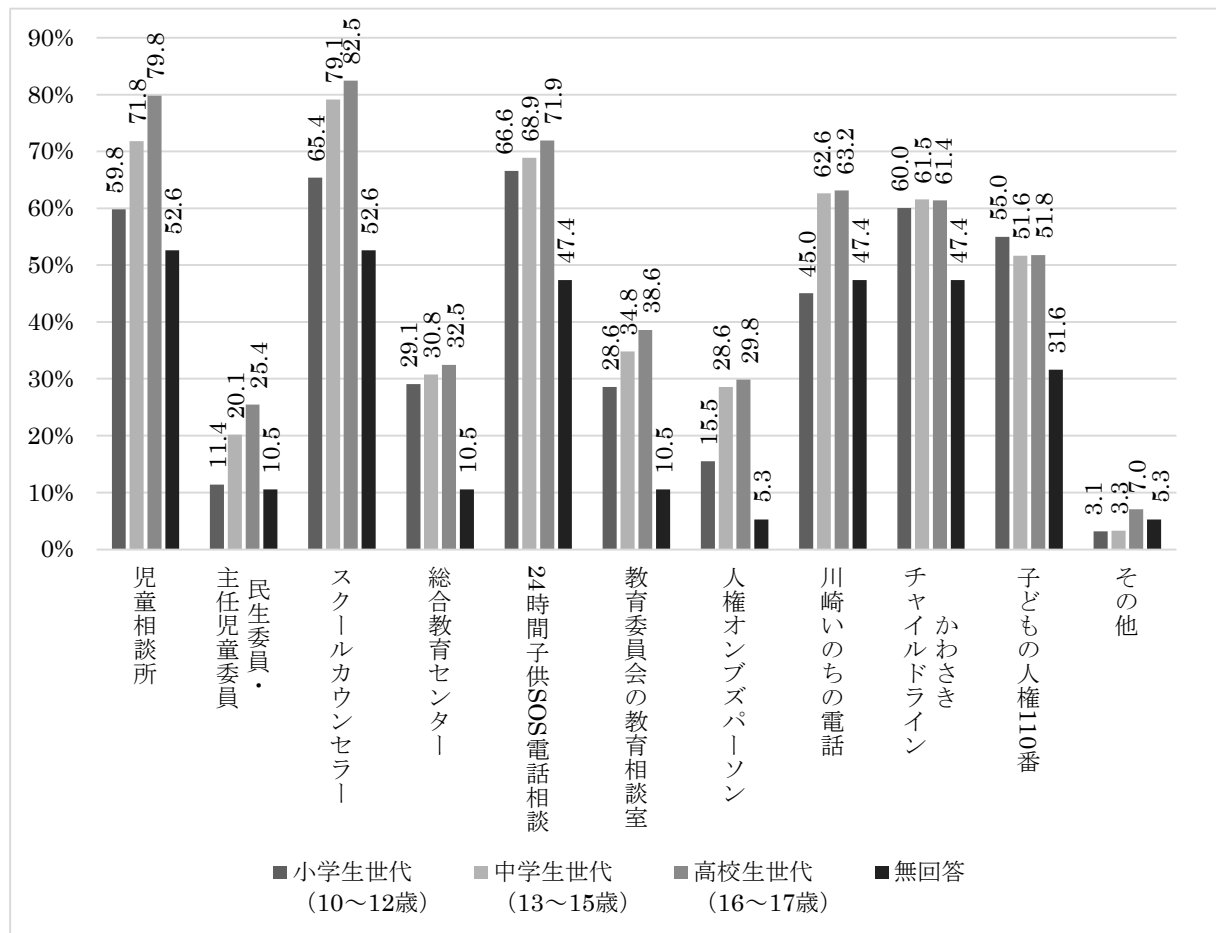
【子ども：世代別】

子どもに、知っている川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）をたずねたところ、小学生世代は「24 時間子供 SOS 電話相談」、中学生世代と高校生世代は、「スクールカウンセラー」と回答した割合が最も高くなりました。

さらに、実際に利用したところについてたずねたところ、どの世代も「スクールカウンセラー」と回答した割合が高くなりました。

（「利用したことのあるもの」回答については P. 69 を参照）

図 39 Q15 川崎市には次のような子どもの相談を受けてくれるところがありますが、知っているところがありますか。（複数選択可）【子ども：世代別】 (%)

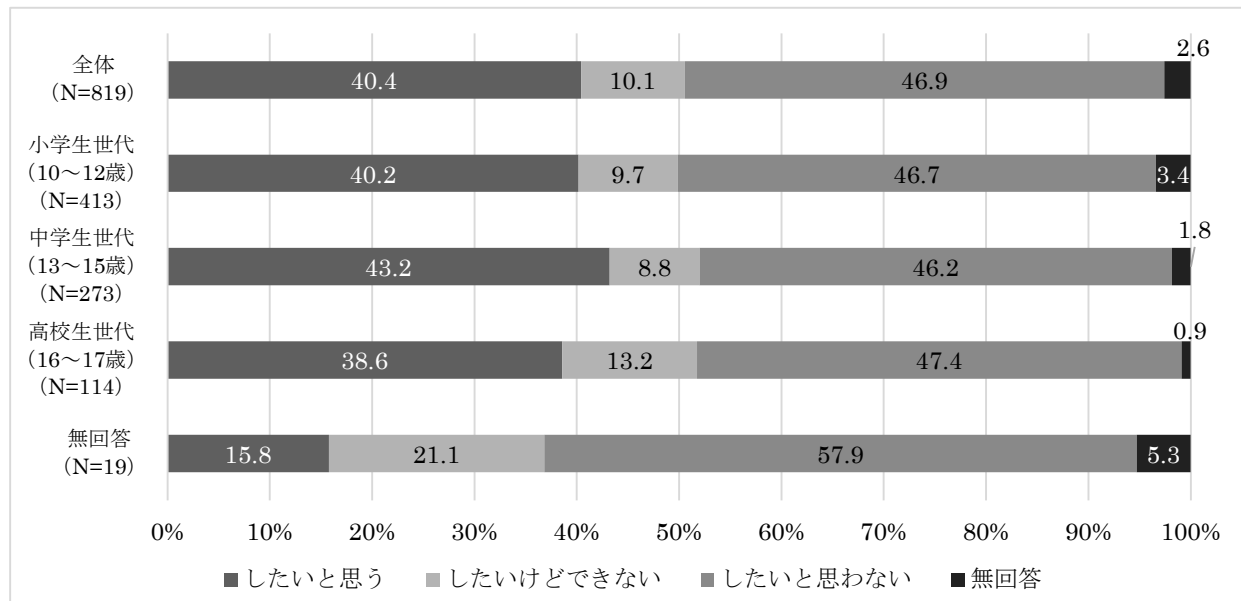


「その他」の回答について P. 69 参照

【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、Q15のような相談・救済機関に相談したいかをたずねたところ、「したいと思う」と回答した割合は、小学生世代で 40.2%、中学生世代は 43.2%、高校生世代は 38.6%でした。「したいけどできない」と回答した割合は、小学生世代で 9.7%、中学生世代は 8.8%、高校生世代は 13.2%でした。（図は P. 30 図 40 を参照）

図 40 Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q15 のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。
【子ども：世代別】 (%)

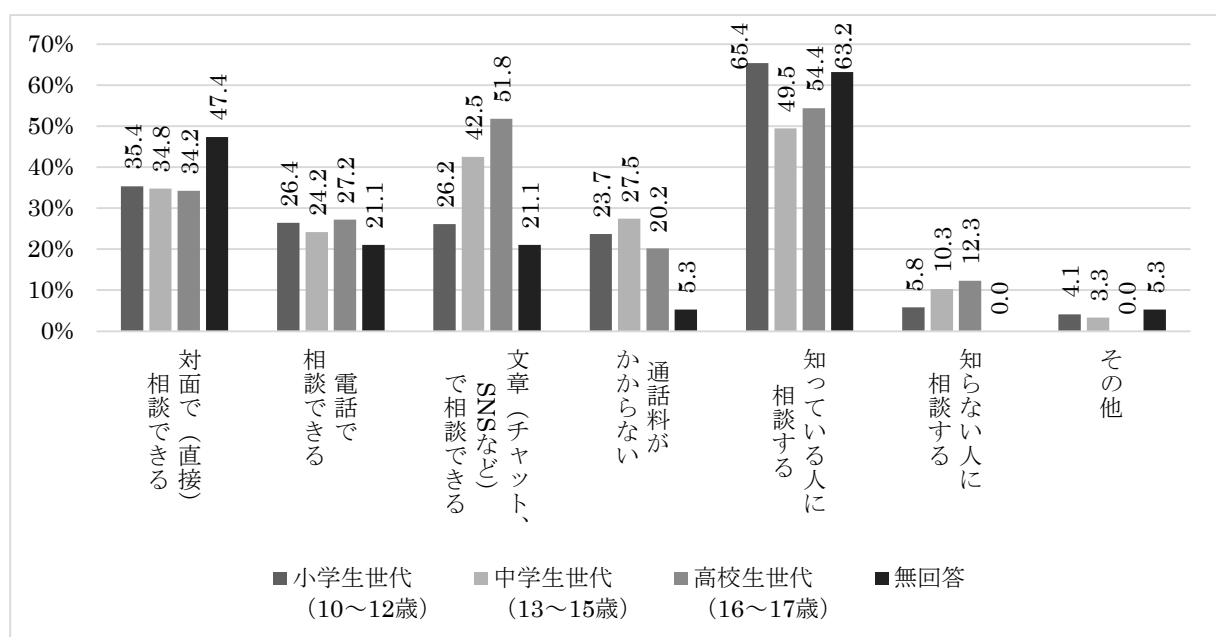


「したいけどできない」の理由については P. 70 参照
「したいと思わない」の理由については P. 71～参照

【子ども：世代別】

子どもに、どのようなところなら相談しようと思うかをたずねたところ、全世代で「知っている人に相談する」と回答した割合が多く、次いで小学生世代では「対面で（直接）相談できる」と回答した割合が高く、中学生世代と高校生世代では「文章（チャット、SNS など）で相談できる」と回答した割合が高くなりました。

図 41 Q17 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか（複数選択可）【子ども：世代別】 (%)

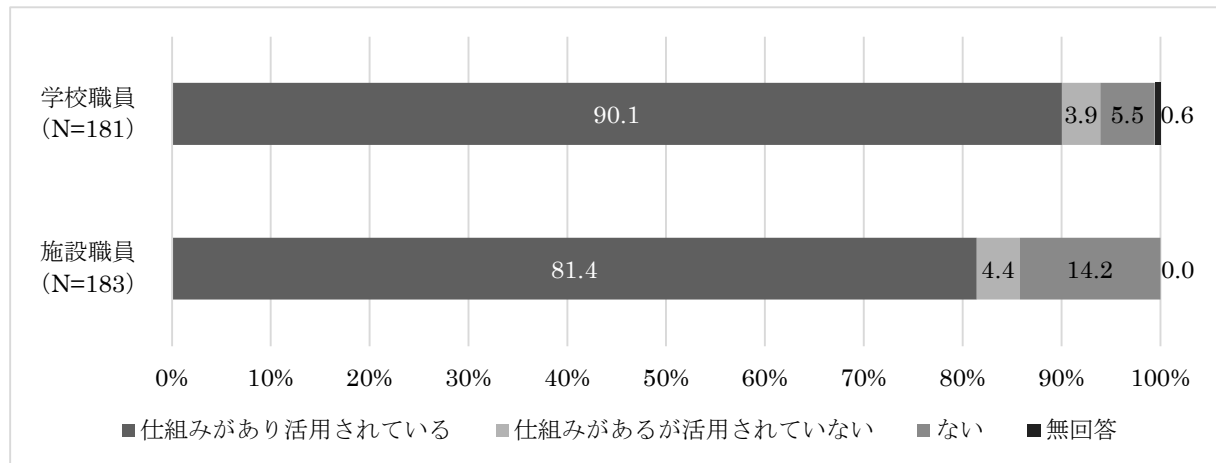


「その他」の回答については P. 72 参照

【職員：全体】

職員に、職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、悩んでいる子どもの情報を職場で共有して対応を考える仕組みがあるかをたずねたところ、「仕組みがあり活用されている」と答えた割合は学校職員が 90.1%、施設職員が 81.4%でした。

図 42 Q9 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、悩んでいる子どもの情報を職場で共有して対応を考える仕組みがありますか。【職員：全体】 (%)



「仕組みがあり活用されている」と回答した具体的内容については P. 127～参照
「仕組みがあるが活用されていない」と回答した活用されていない理由については P. 128～参照

4 学校・地域のことについて

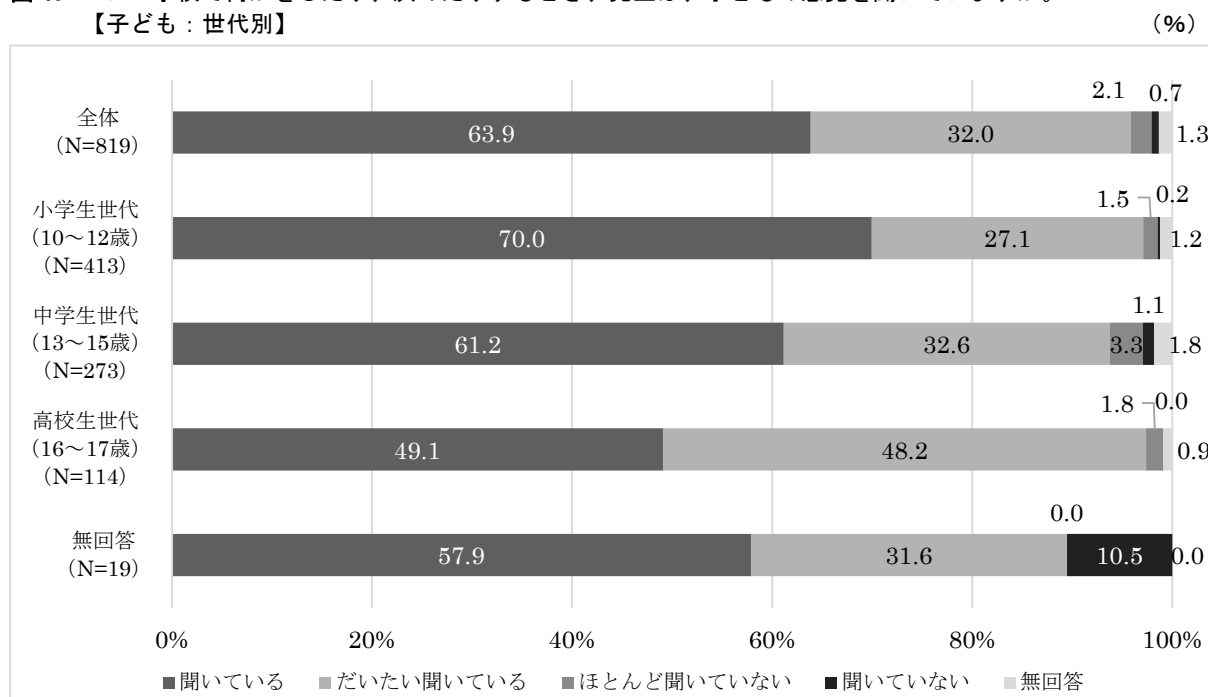
(1) 学校のこと

【子ども：世代別】

子どもに、学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、子ども全体で「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が合わせて95.9%でした。

図 43 Q18 学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか。

【子ども：世代別】

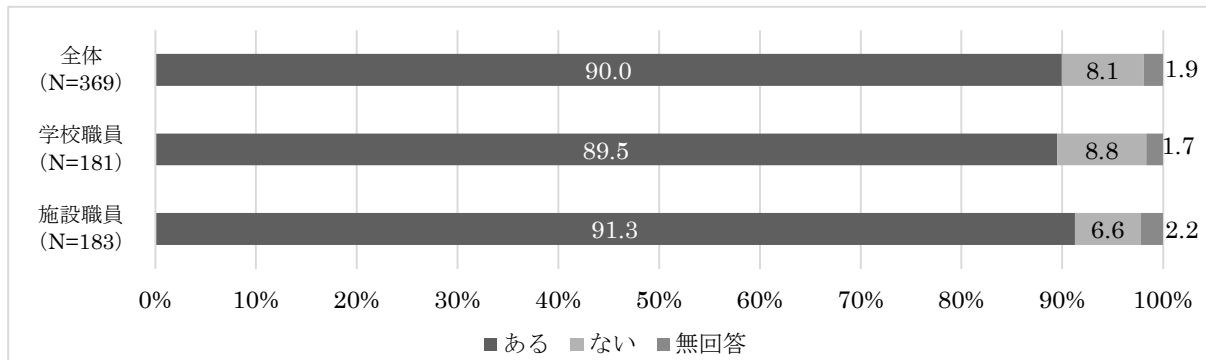


「ほとんど聞いていない」、「聞いていない」 ことについては P.71 参照

【職員：施設別】

職員に、職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがあるかたずねたところ、「ある」と回答した割合が、全体で90.0%でした。施設別に見ると、学校職員の回答した割合は89.5%、施設職員の回答した割合は91.3%でした。(図は P.33 図 44 を参照)

図 44 Q11 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。具体例や理由を含め教えてください。【職員：施設別】 (%)



「ある」と回答した具体例については P. 130～参照

「ない」と回答した理由については P. 131～参照

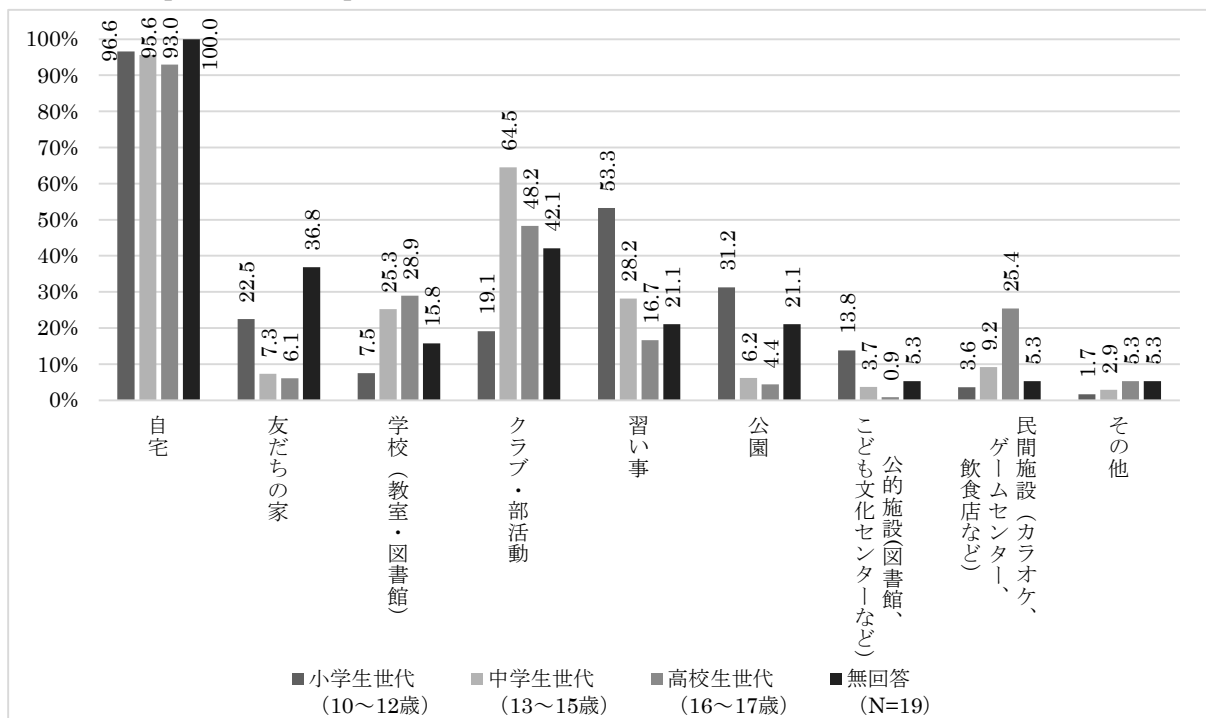
(2) 地域のこと

【子ども：世代別】

子どもに、放課後どこですぐすかたずねたところ、全世代とも「自宅」と回答した割合が高く、次いで小学生世代は「習い事」、中学生世代と高校生世代は「クラブ・部活動」と回答した割合が高くなりました。また、その中で一番安心して過ごせる場所については、全世代が「自宅」と回答した割合が高くなりました。

(一番安心して過ごせる場所の回答については P. 73 参照)

図 45 Q19 あなたは、放課後どこですぐしていますか。(すぐすことの多い場所を3つまで) 【子ども：世代別】 (%)



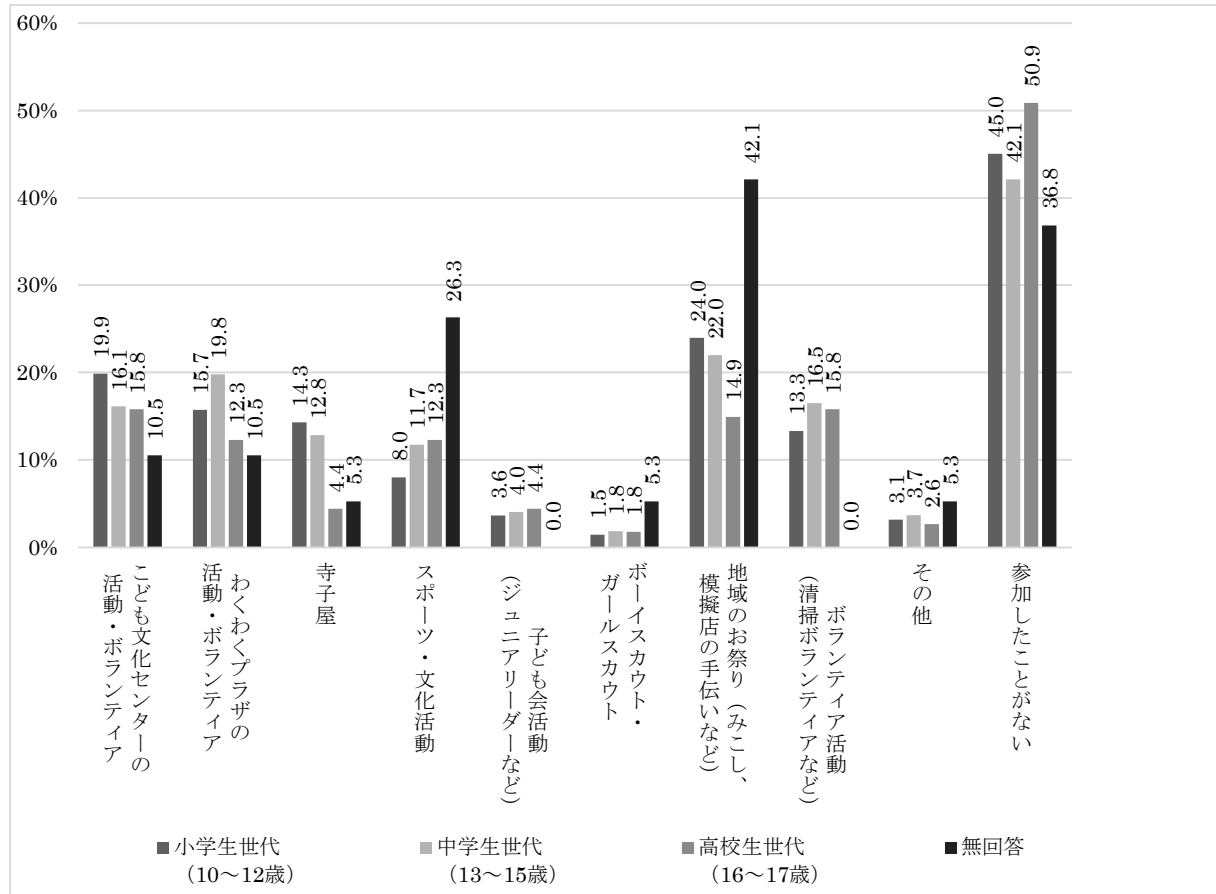
(無回答 = 7)

「その他」の回答については P. 74 参照

【子ども：世代別】

子どもに、地域の活動・ボランティア等に参加したことがあるかをたずねたところ、全世代で「参加したことがない」と回答した割合が最も高くなりました。

図 46 Q20 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加したことがありますか。(複数選択可)【子ども：世代別】 (%)

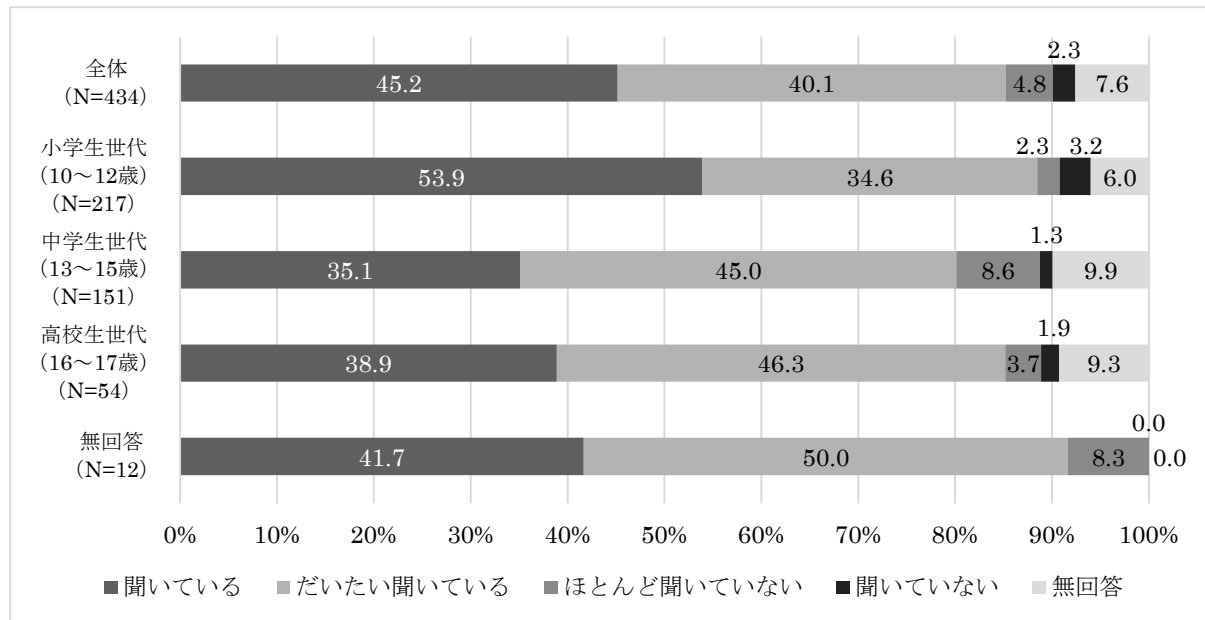


「その他」の回答については P.75 参照

Q20 の 10 項目のうち、「参加したことがない」を選んだ子どもと無回答の子どもを除いた 9 項目を選んだ子どもに対し、地域で何かをしたり、決めたりするとき、おとなは子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合は、全体で 75.7%でした。(図は P. 35 図 47 を参照)

図 47 Q20-1 Q20 において、1～9※を選んだ人にお聞きします。地域で何かをしたり、決めたりするとき、おとなは子どもの意見を聞いていますか。【子ども：世代別】

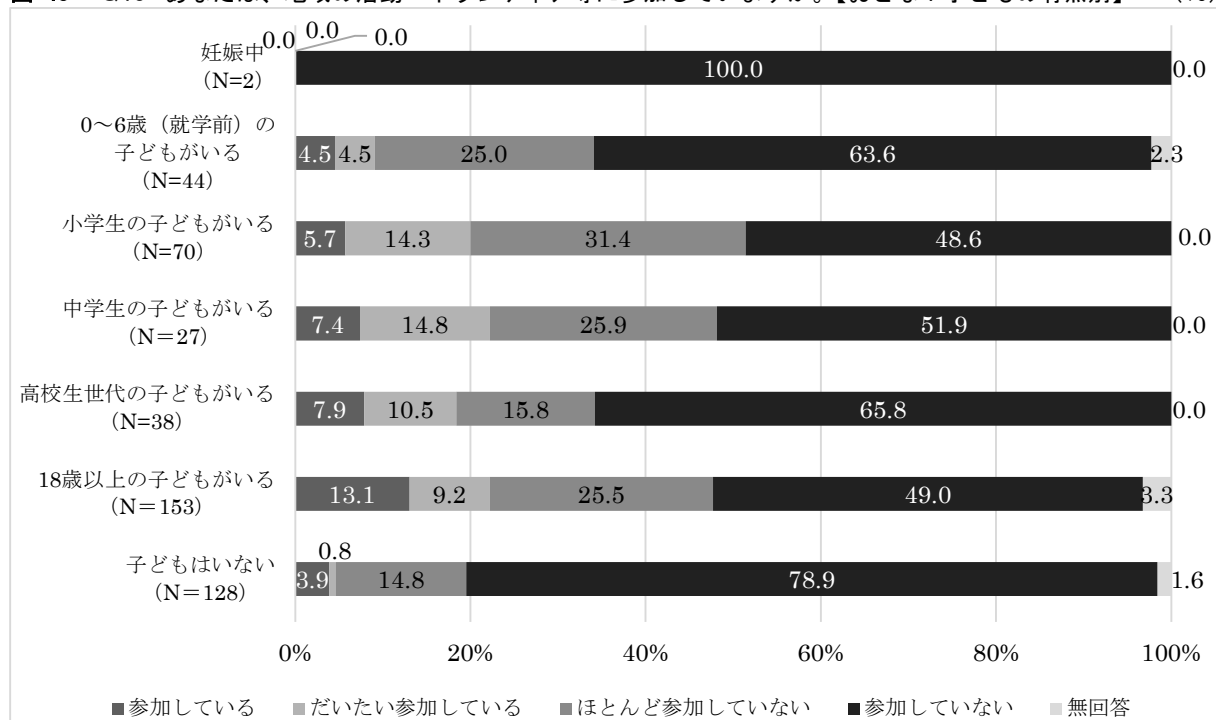
※Q20 の回答項目のうち、「参加したことがない」子どもと無回答の子どもを除いた9項目を示す (%)



【おとな：子どもの有無別】

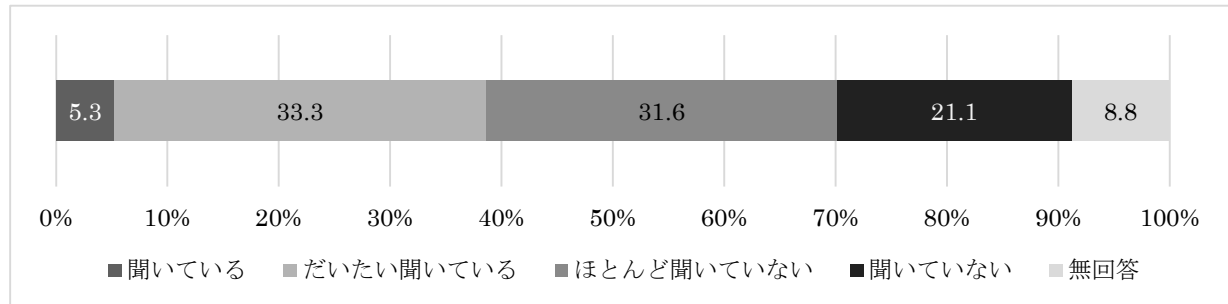
おとなに、地域活動・ボランティア等に参加しているかたずねたところ、「参加している」、「だいたい参加している」と回答した割合が最も高かったのは「18歳以上の子どもがいる」おとなで、22.3%でした。

図 48 Q18 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加していますか。【おとな：子どもの有無別】 (%)



「参加している」、「だいたい参加している」と回答したおとなに対し、地域で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いているかたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合は 38.6%でした。

図 49 Q18-1 Q18において、「参加している」または「だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。あなたは、地域で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。【おとな】 (%)

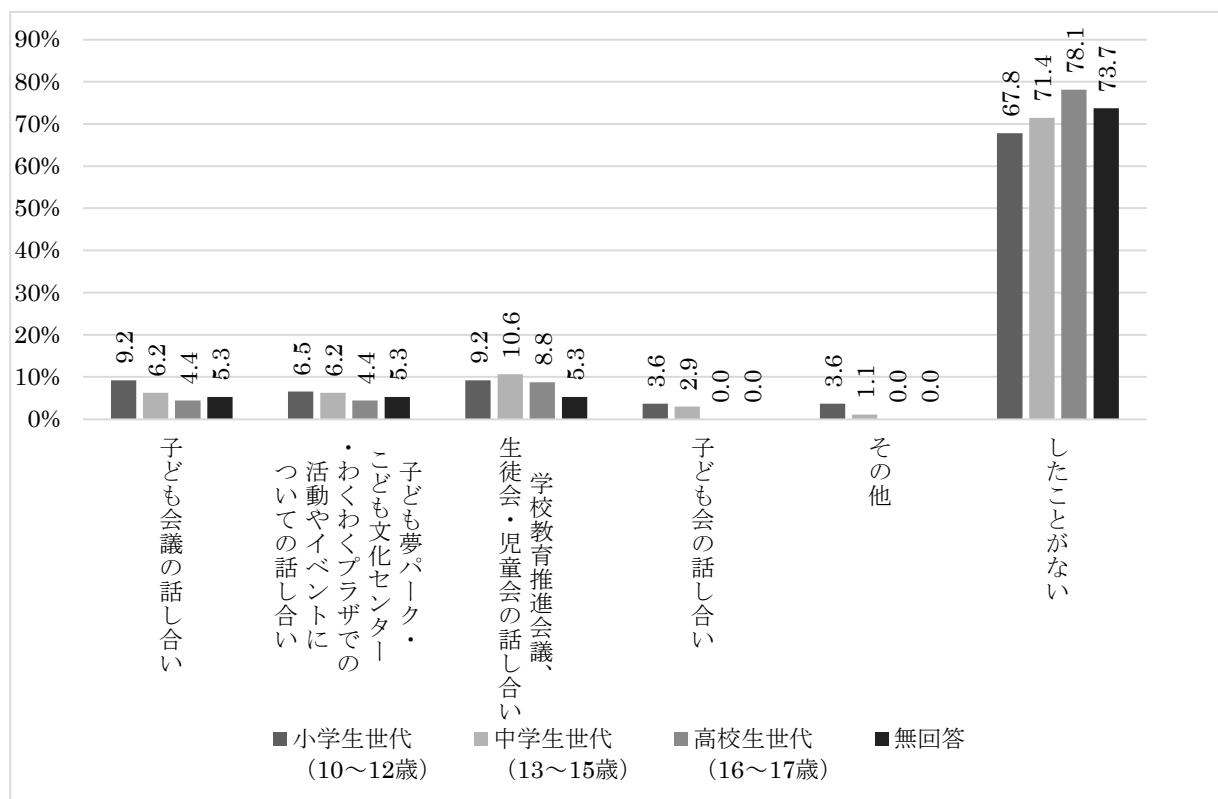


「聞いている」「だいたい聞いている」と回答したおとなの印象に残っていることについては P. 105 参照
 「ほとんど聞いている」「聞いていない」と回答したおとなの理由については P. 105 参照

【子ども：世代別】

子どもに、地域の活動の場で、話し合ったり意見を言ったりしたことがあるかたずねたところ、全世代で「したことがない」と回答した割合が最も高くなりました。

図 50 Q21 あなたは、次のような場で、話し合ったり、意見を言ったりしたことがありますか。(複数選択可) 【子ども：世代別】 (%)



「その他」の回答については P. 76 参照

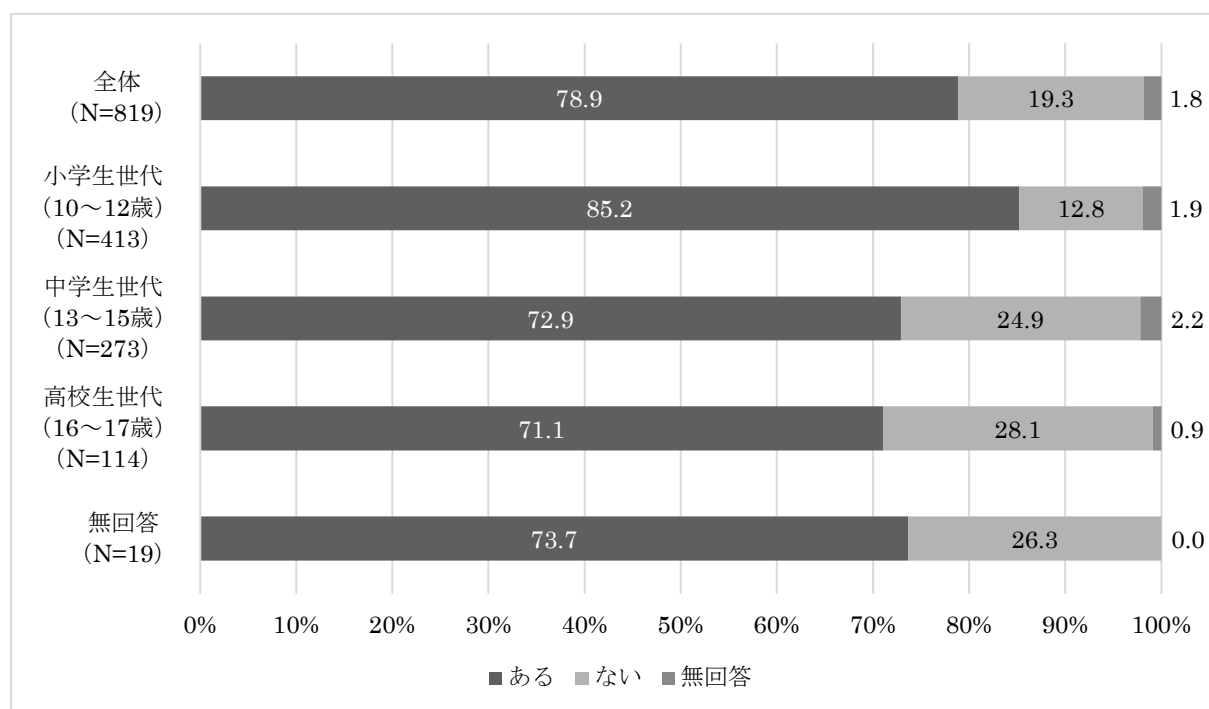
【子ども：世代別】

子どもに、地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所があるかたずねたところ、「ある」と回答した割合は全体で78.9%でした。世代別にみると、小学生世代が85.2%、中学生世代が72.9%、高校生世代が71.1%でした。

図 51 Q22 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。

【子ども：世代別】

(%)



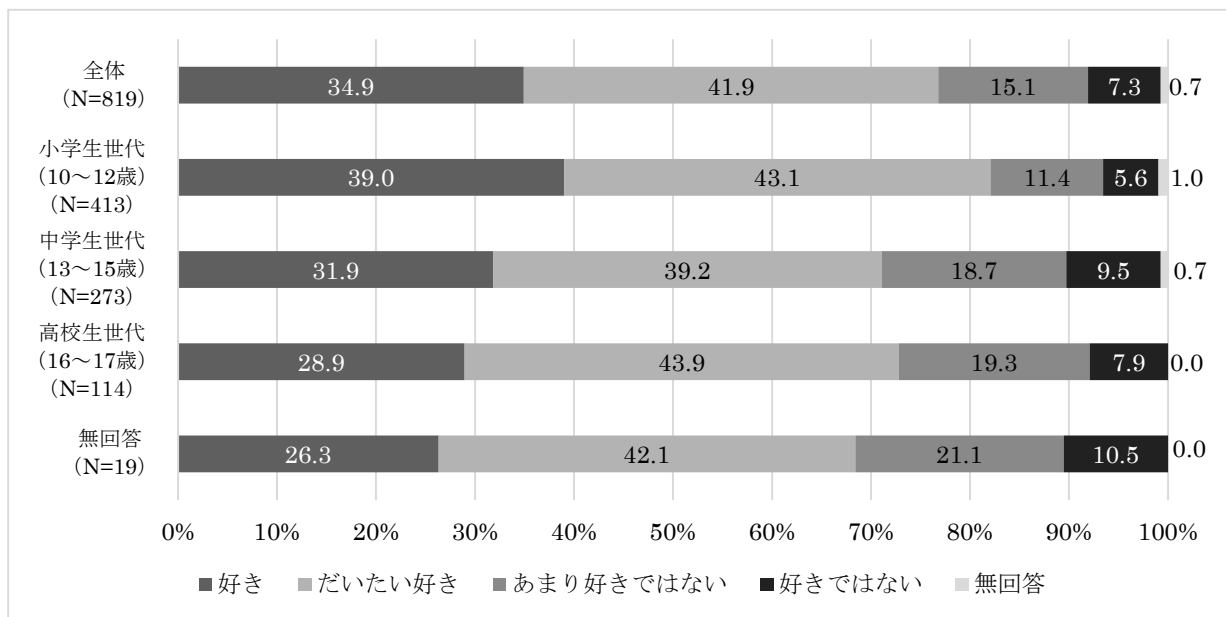
5 あなたの思いについて

(1) 自己に対する評価について

【子ども：世代別】

子どもに、自分が好きかをたずねたところ、子ども全体で「好き」、「だいたい好き」と回答した割合は合わせて 76.8%でした。世代別にみると、小学生世代が 82.1%と最も高くなりました。

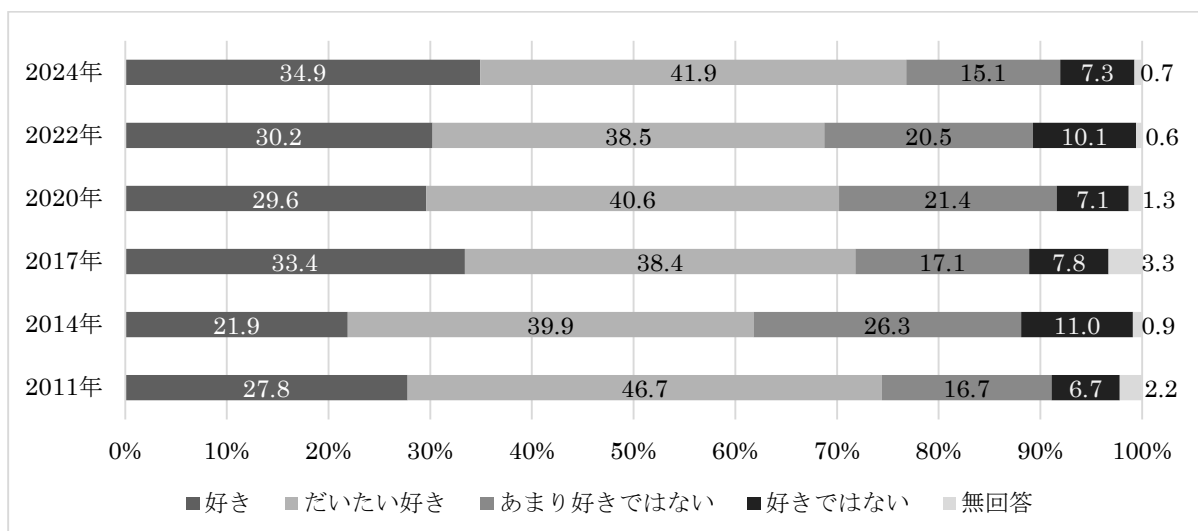
図 52 Q23 あなたは、自分が好きですか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：経年比較】

「好き」、「だいたい好き」と回答した割合は、前回調査が 68.7%だったのに対し、今回調査では 76.8%と増加しました。

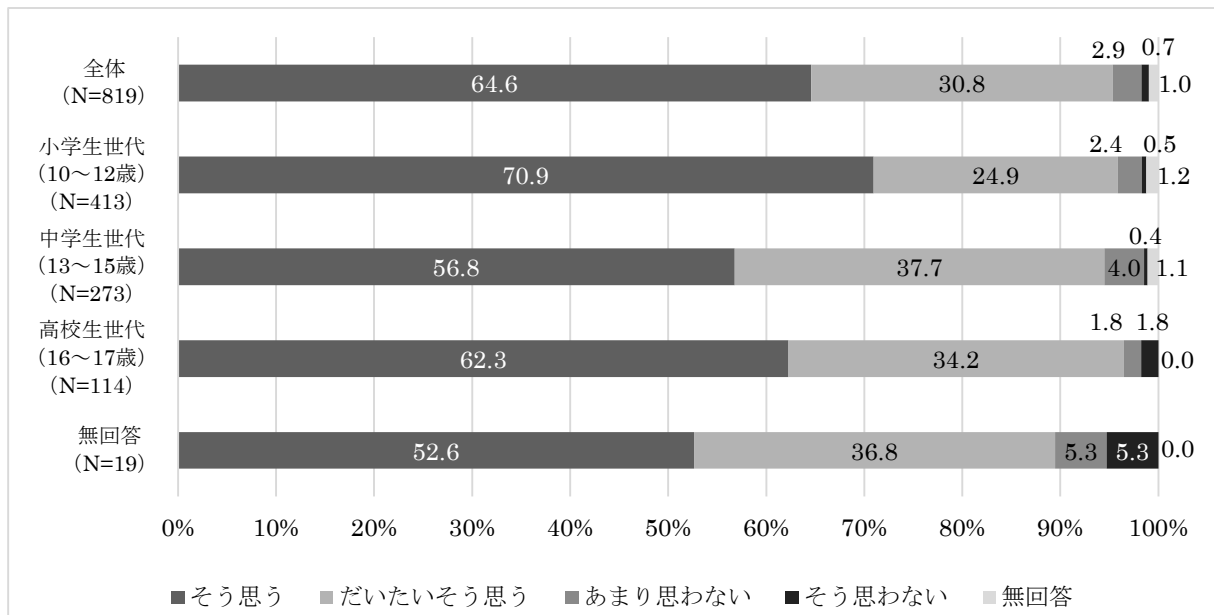
図 53 Q23 あなたは、自分が好きですか。【子ども：経年比較】 (%)



【子ども：世代別】

子どもに、自分が親や周りのおとなから大切にされていると思うかをたずねたところ、子ども全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は合わせて95.4%でした。世代別に見ると、高校生世代が96.5%と最も高くなりました。

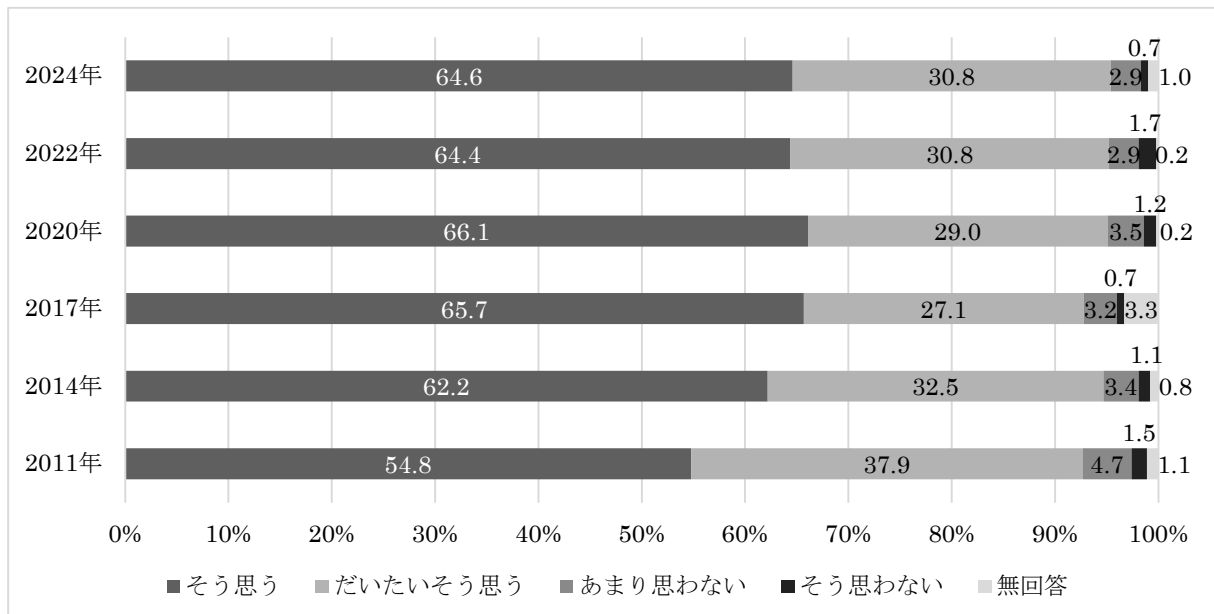
図 54 Q24 あなたは、自分が親や周りのおとなから大切にされていると思いますか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：経年比較】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は、前回調査が95.2%だったのに対し、今回調査では95.4%とほぼ同じ割合でした。

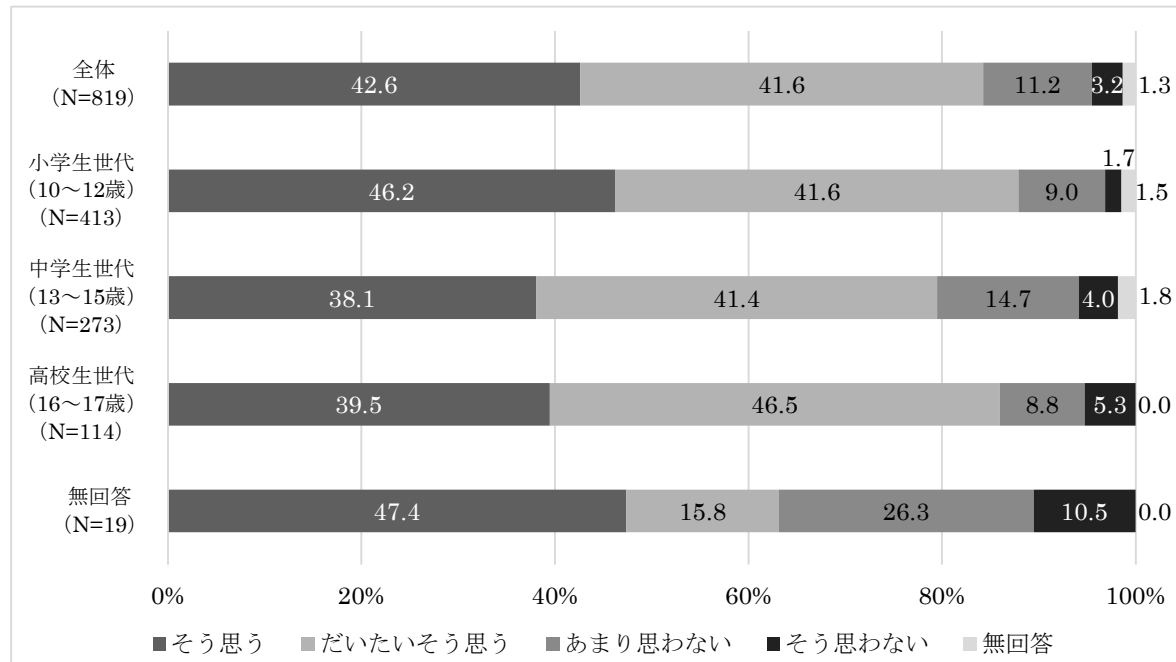
図 55 Q24 あなたは、自分が親や周りのおとなから大切にされていると思いますか。【子ども：経年比較】 (%)



【子ども：世代別】

子どもに、自分が友だちにとって大切だと思うかたずねたところ、子ども全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は合わせて84.2%でした。世代別にみると、小学生世代が87.8%と最も高くなりました。

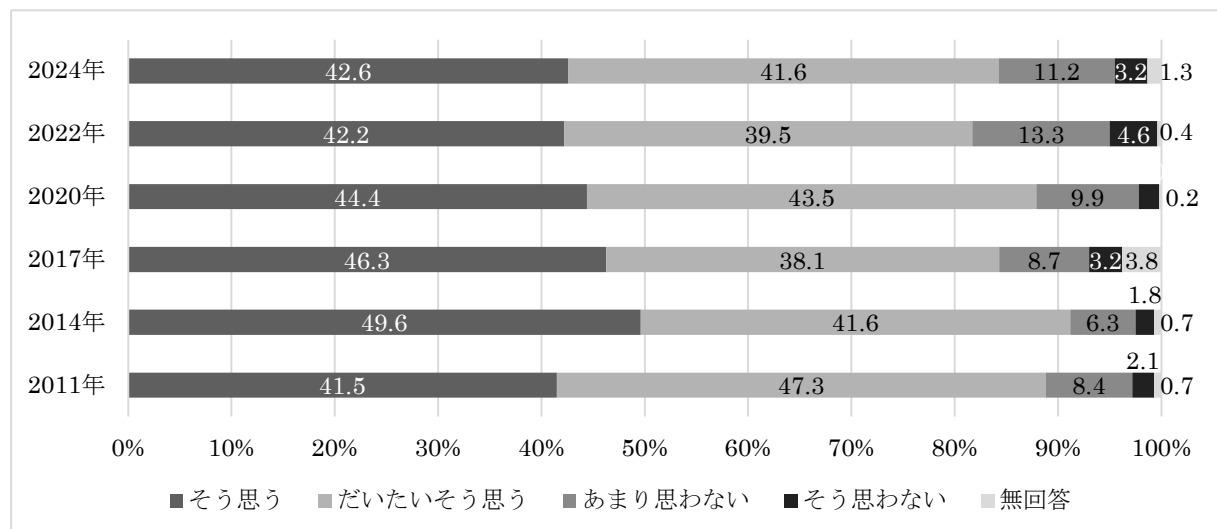
図 56 Q25 あなたは、自分が友だちにとって大切だと思いますか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：経年比較】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は、前回調査が81.7%だったのに対し、今回調査では84.2%と増加しました。

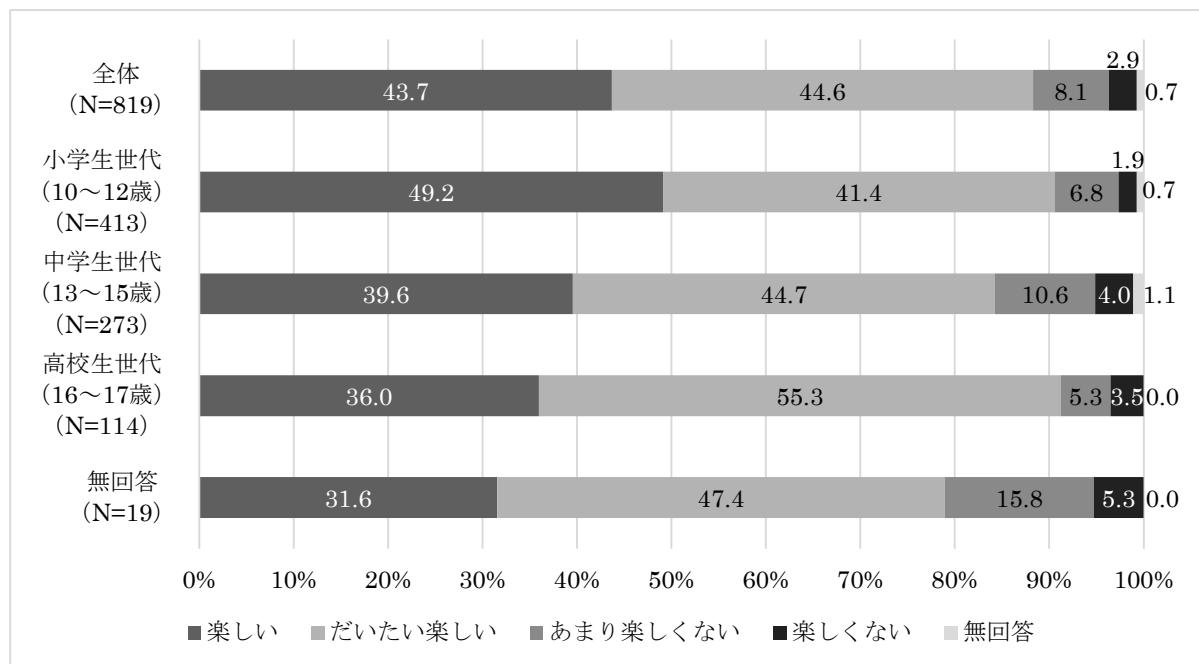
図 57 Q25 あなたは、自分が友だちにとって大切だと思いますか。【子ども：経年比較】 (%)



【子ども：世代別】

子どもに、毎日が楽しいかたずねたところ、子ども全体で「楽しい」、「だいたい楽しい」と回答した割合は合わせて88.3%でした。世代別にみると、高校生世代が91.3%と最も高く、続いて小学生世代が90.6%、中学生世代が84.3%でした。

図 58 Q26 あなたは、毎日が楽しいですか。【子ども：世代別】 (%)

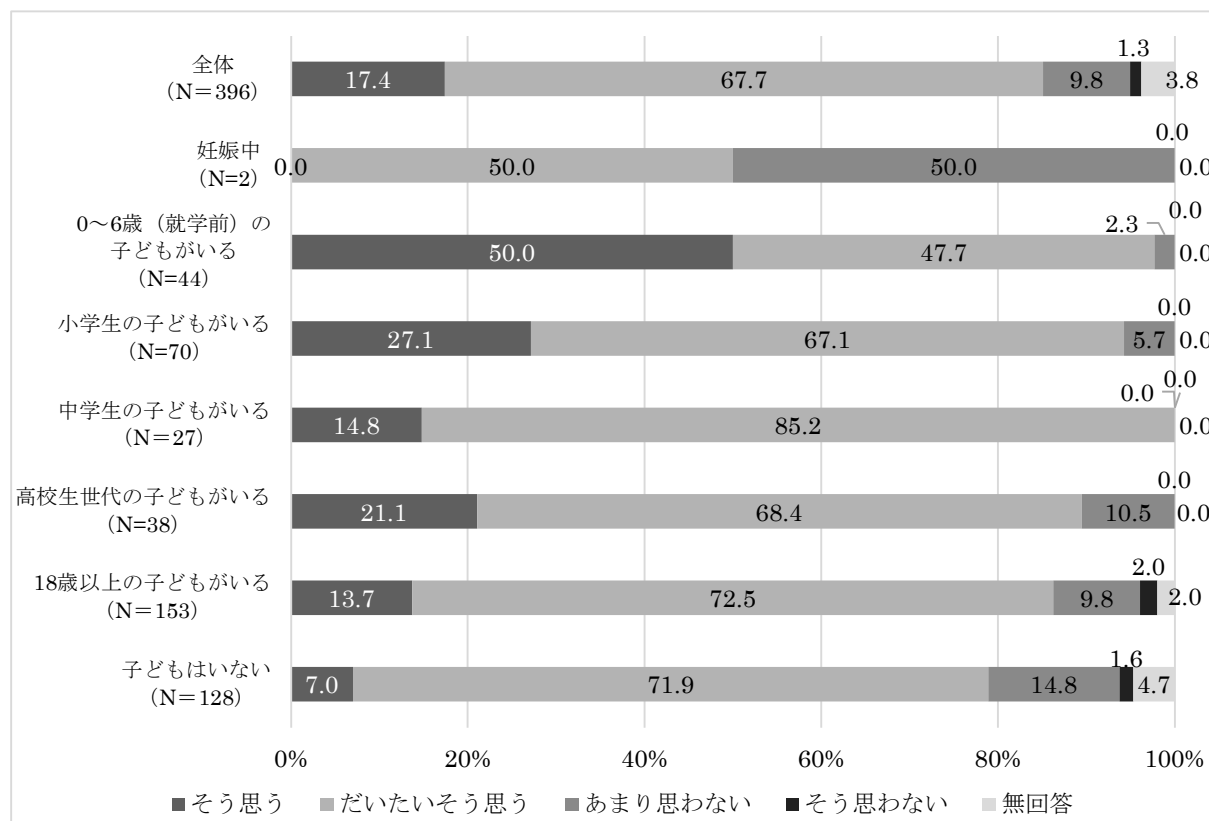


【おとな：子どもの有無別】

おとなに、子どもは、毎日が楽しいと感じていると思うかをたずねたところ、おとな全体で「そう思う」、「だいたいそう思う」と回答した割合は合わせて85.1%でした。子どもの有無別にみると、中学生の子どもがいるおとなの回答が100%と最も高く、続いて0～6歳（就学前）の子どもがいるおとなが97.7%、小学生の子どもがいるおとなが94.2%となりました。

(図は P. 42 図 59 を参照)

図 59 Q22 子どもは、毎日が楽しいと感じていますか。【おとな：子どもの有無別】 (%)



（２）安心して生きていくために大切だと思うこと

【子ども、おとな】

子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思うか、自由に書いてもらった内容については、子ども P. 77～参照、おとな P. 106～参照。

【職員】

職員に、あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できるように、子どもの権利を保障していくうえで、課題と感じていることを具体的に書いてもらった内容については、P. 132～参照。

子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思うか、自由に書いてもらった内容については、P. 138～参照。

参考資料

I 単純集計表

1 単純集計表（子ども）	44
2 単純集計表（おとな）	87
3 単純集計表（職員）	114

II 調査票

1 調査票（子ども）	144
2 調査票（おとな）	152
3 調査票（職員）	159

III 川崎市子どもの権利に関する条例 166

- ・統計資料は端数処理を行っているため、パーセンテージの合計が 100 と一致しないことがあります
- ・「その他」の回答や、自由記述についての標記は原文のままとし、類似意見については、（他〇件）としてまとめています。

I 単純集計表

1 単純集計表（子ども）

I 平成12（2000）年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 名前も内容も知っている	93	11.4
2 名前だけ知っている	308	37.6
3 知らない	409	49.9
無回答	9	1.1
合計	819	100.0

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をどのように見たり聞いたりしますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 学校の授業	216	53.5
2 学校の授業以外での話	50	12.4
3 学校で配布されたもの	213	52.7
4 学校の掲示物	66	16.3
5 市ホームページ （こどもページを含む）	24	5.9
6 市政だより	25	6.2
7 図書館の掲示	22	5.4
8 イベント	15	3.7
9 その他	16	4.0
（N値=404、無回答=3）		

【その他】

- ・子ども会議（10歳）
- ・塾のテキストに載っていた条例についての内容が気になったので、調べたら出てきた（11歳）
- ・かんぱんみたいなつ（12歳）他1名
- ・夢パーク（14歳）（他1件）
- ・塾（14歳）
- ・メディア（15歳）
- ・駅のポスター・掲示物等（16歳）（他1件）
- ・映画館（16歳）
- ・母子手帳（16歳）
- ・カルッツでじょうえいされたゾロリの映画（無回答）

Q3 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	251	30.6
2 ありのままの自分でいる権利	224	27.4
3 自分を守り、守られる権利	66	8.1
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	46	5.6
5 自分で決める権利	131	16.0
6 参加する権利	37	4.5
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	30	3.7
無回答	34	4.2

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

小学生世代

- ・子どものころは、愛情をもって育てられ、安心・安全が1番だと思ったから（他27件）
- ・安心できるかんきょうがないと、こちよく生活できないから（他26件）
- ・差別を受けて死にたいと思う人がいるから差別がないのが大切（他20件）
- ・安心して生きる権利は上記の1～7の権利の根幹にあると思います。安心して生きるという事は、ありのままの自

分でいる事ができるほど心の余裕があるという事であり、自分を豊かにし、力づけられる権利についても自分を豊かにできるほど心にゆとりがあるということにつながるのだと思うから（他 5 件）

- ・安全に生き、育つため（他 5 件）
- ・生きていくことが大切だと思ったから（他 2 件）
- ・心配していたら、成長できない（他 2 件）
- ・愛情があればえがおでいられるから（他 1 件）
- ・子どもたちが安全に、学校に行けることが大切だと思うから（他 1 件）
- ・今でも子どもをたいせつにしていない人たちがいるからあいじょうだったりひつようだし、まだ自分がなにも言っていないのにかつてにきめつけないようにするためには、りかいがひつようだと思うし、これからのみらいの子どもたちがあんしんあんぜんで生活できると思うからです
- ・障がいがある人も差別されずに安全に生活できるのは障がいの人も安心できるから
- ・みんなと仲よくできるから大切だと思いました
- ・愛情と理解をもって育てられたいと思うから
- ・事故とかにあいたくないため
- ・安心して生活をうけたほうが自分のためでも、相手のためにもなるから
- ・そもそも住めなかったかもだから
- ・いじめをうけないでいけるから
- ・安心して生きれないかんきょうだと、不安におぼれて、最悪の場合死亡につながるため 1 番を選びました
- ・不安だと、何もできないから
- ・いつ殺されるかわからないところで育っているならとても勉強してる場合じゃないから
- ・常にハラハラしていたら、毎日つらいと思うから
- ・好きな(場)所にいたい
- ・安心の国など、生きていけるっこういうことをきちんとしないと、もし、あばれだした人など、かつてにしているなら、まわりの人って、めんどくさくて、助けないかもしれん。だから大切
- ・不安がたくさんある環境で生きていくと自分をとぎしてしまい将来社会に出れなくなってしまうかもしれないから
- ・安心できないでいたら、疲れてしまうから
- ・子供が一番必要としているのは、親や教師などの大人からの愛情であると考えています
- ・みんなには、安心して生きてほしい。安心して生きれば、自分の個性も大切にできて、安心して、学べると思う
- ・これが守られれば幸せだと思う
- ・どの国でも必要だと思う
- ・戦争でたくさんの子供がぎせいになり、そんなの悲しすぎるから。日本は安心に生活できる国
- ・おちついて生活できるように
- ・大切である
- ・未来で活躍したり、楽しく過ごすには過去の経験が深く関わっていると思うから
- ・ほかも大事だけど、他の愛情や理解があることで、自己肯定感が上がるのかなと思う。それに、安心できる場所があるのは一番いいと思うから

中学生世代

- ・安心して生きることが、生きていく中で、1 番大切なことだと思うから（他 27 件）
- ・身の回りが安心・安全な環境でないと、そもそも生活していくことが不可能だから（他 8 件）
- ・子どもが不安なく生活することで、自分らしさを発揮して生活できると思うから（他 1 件）
- ・生きることが一番大事だから（他 1 件）
- ・「安全・安心に生活できる」ためには 2～7 の権利が守られる必要があるから、7 個の権利の要素が全て入っているのではないかと思った（他 1 件）
- ・この国で暮らす上で平和が大前提だと思うから
- ・皆が差別なく生活できることが大切だと思うから
- ・いじめなどがなく、のびのびと生きるために、一番必要な権利は安心して生きる権利である
- ・自分が様々なことをするには、守ってくれる大人が必要。帰れる場所があるのは大切だと思うから
- ・自分はたくさんの人からいじめを受けることが多く、それでも学校で安心して過ごせるようにしておくことが一番自分にとって大事だと思います
- ・心の豊かさにつながる
- ・自分の個性を出し、仲間との協力が毎日の生活に大切なため
- ・差別を受けず、安心して生きれるだけで、他の権利にもつながり、生きていけると思ったから
- ・学校や家庭など、子どもが生活していくなかで毎日を楽しく、安心してすごせることは大切だから
- ・愛情と理解がないと子どもが大人になったときに親のとおりな大人になってしまうから
- ・生活する上で、家族や友人から、愛情や理解をうけ、周りから差別をうけないことが大切だと思ったから
- ・みんながいっしょにすごせること

- ・毎日不安に思って生きることは大変だから
- ・子どもが育つときに最も必要なものは愛情で、正しい愛情をたくさんつけることで正しく成長していくと思う。
Most basic part of human
- ・子どもたちは皆公平に愛情と理解を持って育てられるべきであり、それが親や大人達の絶対の義務だと存じます。障害があるだけで愛されることなく、差別を受けるなどということは、全く正常ではございません。子どもという存在は、まさに芽生えた花のようなものだと考えております。そのせっかく生まれてきてくれたその花の芽を、愛情と思いやりというお水で育てて、安心して輝いて咲いていただきたいのが私の考えでございます
- ・生活は大事だから
- ・命がいちばん大切だから
- ・愛情と理解をもって育てられ、安全安心に生活できることがありのままの自分でいられることに繋がると思うし、そのような環境だと自分のことも守ってもらえるって解って相談したりできるのかなと思ったから
- ・安心して生きる権利が保証されればいじめや親からの暴力を受けている人が減ってありのままの自分を出すことにも繋がると思うから
- ・子供のうちにのびのびと好きなことをして暮らすことが大切だと感じだから
- ・怯えて生きたくないです

高校生世代

- ・生きる上で安心、安全が最も重要だと考えたから（他8件）
- ・安心して生きることが体にも心にも大切だから（他4件）
- ・1番基本的なことだから（他1件）
- ・2〜7はひっくるめれば1の中に入るから
- ・命が一番大切だと思うから
- ・人格形成や自己肯定力は正しい愛情によって育つものだと思う。正しい愛情をもって育った者は生きていく中で色々な困難や苦労も乗り越えていく事ができると思う
- ・自分もそうだが、最近愛情を受けられず育ってきた子供を多く見るようになったから、虐待や育児放棄が増えているため
- ・生活していく上で自分にとっては7つの中で一番なくてはならない権利だと思うから
- ・みんな違ってみんな良いという社会づくりに繋がると思うから
- ・1があることにより、3へと繋がると思うから
- ・子どもが順当に成長するために大切だと思ったから
- ・楽しく生きることが大切だから
- ・生きていけないと意味が無いから
- ・いろんなことが世の中では起こっているから安心して生きることができるのは大切だと思った
- ・どんな子も誰かから理解してもらい、愛情を持って育ててもらえることで他の権利の保障にも繋がるし、7つの権利の中で、最も優先的に守るべき権利だと思うからです
- ・全部大切だと思いますが、やはり自分自身が安心して生きているという当たり前こそが一番大事だと思いました。あと差別の件もとても重要だと思ったからです
- ・安心して生きることができる街であることが1番大切だと思ったからです。差別などもないことが大切だと思います。そうすることで、子供たちは元気に生活することができると思ったからです
- ・子どもにとっては、愛情を受けながら生きることが年齢が低いときほど喜びになっていると思うし、1人で育つことなんて不可能だと思うから
- ・生活の拠点として、安心して暮らせる場所と権利は必要だと思ったから

年齢無回答

- ・そう言う愛をしっているならしょう来、幸せになれる気がする
- ・平等に生きていきたい
- ・子どもたちには、どんなちがいがあっても、どこから来いても、平和にくらす権利があります。私たちは皆、平和にくらす平等なけんりを持っています

2 ありのままの自分での権利

小学生世代

- ・ありのままでいられることが自分にとっての大切だと思うから、ありのままでいるからこそ、人生を楽しめる（他27件）
- ・個性は誰にでもあってみんな違うからそれを尊重する（他13件）
- ・ありのままの自分でのいるからこそ色々な個性が見つけられたり本当は思ってもないのにむりしてあわせるのはくるといかに感じたから（他12件）
- ・みんなちがってみんないいと思ったからみんなおなじじゃなくていいから（他8件）
- ・ホッとできる場所がなければ、楽しく過ごすことができないので無理をしないで自分のありのままの姿で生きていくことで個性豊かな川崎市になると思ったからです（他6件）

- ・一人一人の個性を大切にすることで、一人一人が、安心することができると思ったから (他 4 件)
- ・自分の好きな物を好きだと思えることが大切だと思うから (他 3 件)
- ・個性を大切にしたり、秘密が守られることにより安心して自分を表現できるから (他 1 件)
- ・将来的にも、今の時代も多様性の時代になってきているから、ありのままの自分が大切だと思うから (他 1 件)
- ・からだをやすめなくちゃしんじゅうから
- ・今の時代は、差別がおおいから (他 1 件)
- ・一人一人の個性が大事にされ、体を休ませることができるのはホッと生活できるために大切だと思うから
個性があつての私だから、気をつかわないでゆったりできる場所はとても大切だから
- ・自分の個性があるのに、他の人に言われて傷つくより、個性があつている人のところで楽しくあそんだり人のしあわせをゆうせんしたからです
- ・からだをやすめなくちゃしんじゅうから
- ・自分の個性は駄目なんだと悲しんで欲しくないから
- ・クラスの中にも女の子だけ、男の子として生活している子がいて自分が生きたいようにとか、自分らしい生き方をしているとその子を見て思ったからです
- ・小どものころから自分らしくいられたら、大人になっても、自分らしくいられると思うからです
- ・最近、体がつかれていて、そのつかれがとれないから。少しのちがいで、ひていされるのがいやだから
- ・中学のこうそくでみた目のことでのこうそくが多いからやだ。だから大切だと思う
- ・遊ぶことも休むことも日常で大切な行動の一つで誰かに押し進められることなく、自分がやりたい方をやれば良いと思うから
- ・ありのままも自分を出せば、相手に自分がどんな人なのか伝わるし、今自分がどう思っているのか相手に伝わると思った。自分を出すことは、自分のためでもあり相手のためでもあるから大切だと思う

中学生世代

- ・個性が大切にされたり、ホッとできる場所があることは大事だと思うから (他 13 件)
- ・一人一人の個性が大事にされれば、みんなが暮らしやすい環境になると思ったから (他 9 件)
- ・ずっとがまんしていたり、辛い事が長い間続くような場所にいたら、心が壊れてしまうから (他 4 件)
- ・ホッとできる場所があることはとても重要だと思うから (他 2 件)
- ・ありのままの方がたのしいから (他 2 件)
- ・自分を休ませられる場所は誰にだって必要だから (他 1 件)
- ・一人ひとりの意見をみんなが大切にしているから (他 1 件)
- ・どこか一つでも自分自身を出せる場所がないと息が詰まってしまうから (他 1 件)
- ・他の権利の内容を多く内包しており、心が最も健康であることに必要と感じたから
- ・私はあまりありのままの自分を出せないで、誰もが自分らしくいられたらいいなと思ったから
- ・他と合せるとか回りが自分と違う意見だから自分もそっちにではなく自分が思ったのだからなどポジティブな考えのほうがいいと思った
- ・いじめや虐待がなくなれば安心して学校や家ですごせると思うから
- ・理由(内容)が自分の意見と同じだったから
- ・自分自身が、周りの人と違う考え方などを持っているから
- ・この時代では、他の人と合わせないと、イジメられちゃうとか思って、なかなか自分の個性とか、感情とかだせない人が多いから、そんな人も住みやすいような権利が良いと思ったから
- ・たまに変な子とが言われたりするから
- ・誰にでも個性はあるからそれを大切にされる必要がある
- ・周りに、左右されないで、自分らしく生きる事が、大切だと思うから
- ・勉強や友達関係でなやむことがあるけど、ホッとできる場所があれば安心して生活できると思ったから
- ・今の時代ジェンダーなど多様性の時代だから
- ・みんなが自分とは違う意見を出していたり、違うことをしたいといっていたときに自分はこういう風に考えていると意見を伝えたり、さらに仲が深まれば、一緒にいるだけで心が身体が休まるから
- ・お互いがあるままですぐにいられることで、皆がのびのびと生活できる、良い環境が生まれるから
- ・人として、大切にされ、お互いを尊重し、認め合えることで安心していきられると思うから、ありのままの自分が一番楽しく、自由に生きられると思うから
- ・中学の部活の拘束時間が長すぎて、体が休まらない
- ・今では、「多様性」という言葉は、煽り言葉になっているので、多様性を認めても良いとも解釈できる 2 番だが、現代社会では多様性を正しい方向で守ることが大切だと考える
- ・自分で決められなかったら、基本的人権の尊重に繋がらないと思ったから。また、制限されたなかで生活していくのは、息苦しいと思うから
- ・比べられることが嫌だったしストレスだった自分がしたいことを出来ることはとても大切だと思う
- ・自分の個性を受け止めてくれるから
- ・ありのままの自分で将来個性を生かした職業に就けると考えるから
- ・他人にどうこう言われず、ありのままに生きていきたいから

- ・自分が自分らしく生きられることは生きることにおいて、どれだけ充実した時間をすごせるかに関わってくると思うから
- ・いじめや家庭環境によってはその権利がなくなり、毎日が辛くなるから
- ・今までこの権利が守られてきたから、今自分は充実した生活を送れているし、他人の異なる意見も受け入れて考えられるようになってきているから
- ・最近では私達の年齢でも自殺をしている人が多く、命について考える事が多いから
- ・自分の好きなものを否定された事があるから、この権利があると、良いと思う
- ・ホッとできる場所、体を休ませる場所、遊べる場所がないとつかれちゃうし、個性を反対されたら、悲しい
- ・自分の好きなことややりたいことを持つことは心の支えになると思ったか
- ・心身ともに健康であることが、他にいろいろなことをする上で、大切だから
- ・自分の命は大事だから
- ・自分の個性が尊重されなかったり表現できない人が多いと思うから
- ・自分の人生は一回きり、どんなことでも悔いがないように幸せな人生をみんな生きるべきだから
- ・自分を否定されずに生きていくことが大切だと思ったからです
- ・これがなかったら他の人の意見に流されて、自分の意見や考えを言えずに縛られてしまうから
- ・でなきゃ楽しく過ごせないから

高校生世代

- ・個性がもっと大切にされる世の中になったら、自己表現が活発になり社会が豊かになると思うから（他3件）
- ・自由に生きることが大切だと思うから（他1件）
- ・自分のことを1番大切にすべきだと思うから
- ・学校の友達や周りの人達に合わせて自分らしさを隠して生活する事が辛い時があるから、自分らしさや個性を制限することなく出せるのは良い事だし、そういう環境がもっと欲しい
- ・秘密を守られることは大事だと思う
- ・家でそんな感じなので
- ・素の自分が周りに受け入れてもらえないと、学校や普段の生活でもすごく苦しくなるから
- ・発達障害をかかえている為、生きづらさがある。守られ、個性を表現しても、受け入れられる社会が必要
- ・最近見た目を気にするひが増えている気がするが、他人に言われて見た目や性格などを変える必要はなく、ありのままの自分を大切にすべきだから
- ・自分らしく生活することができる
- ・秘密が守られていないから
- ・俺らしくありたい
- ・それぞれの場所で一人一人考え方や生き方が違う人が生活しているので、互いに尊重しあい、認め合うことが大切だと思うから
- ・不登校は居場所が少ないと思った
- ・どこかでありのままの自分を出せないとつかれてしまうから
- ・他人との違いで差別されずに自分を愛せるようになることは素晴らしいことだと思うから

年齢無回答

- ・大人になっても自分の意けんをすなおにつたえるのは大切だとおもうから
- ・社会に出ていくときに自分がないと(ありのままの)未来が発展しないし、ありのままの自分があれば、苦しまずに生活できるから
- ・ありのままでいたいと思うことがよくある
- ・ホッとできる場所も大切だから
- ・人に左右されずありのままの人分をだすことは大切だから
- ・個性ゆたかな人がいっぱいいると楽しいから

3 自分を守り、守られる権利

小学生世代

- ・安心して生きる権利も大事だと思ったが、いじめなどから逃れたり、相談できたりした方が大事だと思ったから（他2件）
- ・つらい時や病んでいてどこにも居場所がないと思ってしまう時に、相談できる相手がいたらすごく安心するから（他2件）
- ・いじめられたことがあってすごく嫌な思いをしたから（他1件）
- ・みんな平等に平和な川崎にしたいから（他1件）
- ・それぞれの個性を大切にしたいから（他1件）
- ・自分を守られなくては社会で生きてられないから（他1件）
- ・いじめで、自さつしたというニュースをたくさん見ました。そんなことが川崎でも起きるのはとても悲しいから

- ・今のたんになの先生に出会って、ひとりひとりの個性を大事にしてくれるし、しんらいできるからいろいろな相談ができるようになったから
- ・自分が守られないと安心して生きられないと思うから
- ・悩みをかんとんに相談できる人がいると、安心するし、自分は生きてるからがあるんだなって思えるから
- ・いじめなどをされて、だれにも相談ができなかったら、もやもやするから、大人と相談するのも大事だと思います
- ・世界や日本、さまざまな国で、ぎゃくたい、いじめ、体罰など国も知らない所で、子供たちがつらい思いをしているからこそ、大人に相談できる、自分の意見が大切にされるのは、いいことだから
- ・命が大切だから
- ・今の私に必要だと思う
- ・いじめ、虐待、体罰などで、心が完全に閉じてしまうと、全てがなりたたないと思うから
- ・人を無差別になぐったりけったりするのはちがうし、人をきづつけるのはよくない事だから
- ・いじめなどをされると心もキズつき自殺などにつながるから
- ・人間助け合いが大切だと思うから
- ・守られたりしないといけないから
- ・学校でもいじめ防止の活動(スローガンや呼びかけ)がされているから
- ・もし自分がいじめられたり、虐待されたりしたら、誰も守ってくれないからだからこの権利が大切だと思う
- ・仲間外れなど、自分からは相談しづらいので、定期的に相談する時間を決めて作って欲しいと思いました
- ・自分で決められるようになるのがいい

中学生世代

- ・この権利が他の権利にもつながってくると思った (他 2 件)
- ・最近大人(芸能人)だけでなく X や Instagram など発信をしている中高生が誹謗中傷等で自殺をする人が増えているから (他 1 件)
- ・誰かに相談ができるという環境が守られている、子ども自身がこどものことを大切にできることが大切だと感じたから (他 1 件)
- ・自分が怖いと思ったときは誰かに助けてもらえる施設や個人があるし誰かが助けを求めてきてもしっかりと対応してくれている施設や個人があるから (他 1 件)
- ・困った時も、安心して相談できる場所が欲しいから (他 1 件)
- ・子どもの未来がなくなってしまうことが大切だから (他 1 件)
- ・子どもも一人の人間なのでいじめなどから逃れられる権利があるから
- ・1人1人の意見がそんちょうされるべきだと思うから
- ・虐待などが沢山起きていて怖いから大切だと思う
- ・学校や家などで何かがあった時に相談できるのは大切だと思うから
- ・いじめ・虐待のない幸せな生活がおくれるから
- ・小学校の時にいじめにあったから
- ・虐待などをうけたら、一生心に傷が残ってしまうし、自分が大人になった時、子どもに同じことをしてしまうかもしれないから
- ・悲しい思いをする子どもをなくしたいから
- ・いじめや虐待といったものはそもそも発見するのが難しいのに、大人が注意したり、やめるように促してもそうゆうことをする人たちはやめずに、さらに悪化していくので相談する人がいるのはとてもよいことだと考える
- ・今の時代、ネットによる陰湿ないじめなども増えています。被害を受けた身として 1 番大切ではないかと思いました

高校生世代

- ・自分は昔殴られた経験がありまして、心の傷ができたのが原因かが分からないけど、確実に自己肯定感が下がっているのを感じます
- ・身体は自由は守られるべきだから。また、思想の自由も憲法によって守られるものだから
- ・子どもは社会的に弱い立場なので守られないとその他 6 つの権利も守られないと思うから
- ・自分 1 人で守れる自信がないから
- ・たしかに、差別されず親に大切に育てられることもとても重要なことであるが、いくら大切に育てられてもどこか不満に思う子供は存在するかもしれない、そういうことに気軽に相談できる環境を作ることが大切だと思うから
- ・まずは自分の体が無事であることを保証しなければ、それ以外の精神的な保証もできなくなってしまう
- ・体も心も安心安全にしないと死にたくなるから

年齢無回答

- ・いしきたら、川崎市がもっと良くなると思ったから
- ・いじめはしてはいけない事だし、相談したことがあるから

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

小学生世代

- ・成長や自信につながるように力づけられるのは大切だと思ったから（他9件）
- ・自分の考えをはっきりいうのは大切だから（他1件）
- ・自分の成長や自信をもっと伸ばしたいし、力づけられてもらえたらうれしいから（他1件）
- ・自分の能力を高め、他人との交流をすることができるから
- ・ほめられないのにべんきょうしたくない
- ・自分を豊かにする事で、安心しやすいと思ったから
- ・協力して助け合うということが分かるからです
- ・色々な習い事をやらせてもらっているから
- ・教育の成長につなげられるという点がいいと思ったから
- ・自分も励まされて、力がついたから
- ・自分に対しての自信はとても大切だし、自分を成長させるのは子どものうちで必要だと思う
- ・自分を豊かに出来れば周りの視線を気にせずに、生きられるし、それと同時に力をつけられるから自分のためになることが沢山あると思ったから
- ・部活を一番がんばっているから

中学生世代

- ・自分を成長させたいから（他2件）
- ・自分は自分に自信がなくて自己肯定感が低いので、私のことを肯定してもらえると安定するから（他2件）
- ・遊んだり学ぶことなどの活動を通すことで、将来への道が数多く開けることになると思ったため（他1件）
- ・能力をみにつけるのは大切だと思ったから（他1件）
- ・自分の意見も大切だとおもうから
- ・自分を表現したり、新しいことに挑戦することで、精神的に豊かになり、心の健康を保つことができ遊びや学びを通して感性が磨かれ、創造性や感受性が高まることで、人生がより充実したものになると感じる
- ・勉強したいから
- ・学力等は、今後必ず役に立つから

高校生世代

- ・自らの成長を促進することができるから（他2件）
- ・子ども時代に、何に触れて何を感じるかが、その人の人生にとって多大な影響を及ぼすと思うからとにかく、質より量だと思う。
- ・子供のメンタルをより良い状態に保てるよう大人がサポートをするのはメンタルのみならず、将来の夢や目標にも関わってくると思うから
- ・学びたい
- ・どんな状況であっても遊びや学びの場で励まされることは嫌だと思わないから
- ・子供の頃の経験が感性を育てるから
- ・学ぶことは大人になるためにとても必要なことだから。学があれば色々な価値観を理解しやすくなるから
- ・自分が思うように自分の力を伸ばすことができるのはいいことだと考えるから
- ・自分の能力を高めるのは自分自身の権利で、未来に向けて頑張ることができるのは素晴らしいことだと思うから

年齢無回答

- ・おとなになって社会でたちうち出来るようになればと

5 自分で決める権利

小学生世代

- ・自分のことを自分で決められることが一番うれしいと思ったから（他8件）
- ・自分のことなのに他の人に決められるのは嫌だから（他6件）
- ・自分で物事を決めなきゃ、将来何も出来なくなるから（他5件）
- ・自分のことは自分にか分らないから他の人に決められると、自分らしく生きれない（他4件）
- ・人に決められるより、自分で決めた方が自分の力になると思うから。（他1件）
- ・自分がやりたいと思うことを実行できるから（他1件）
- ・自分が大切だと思うから（他1件）
- ・人生は自分で決めるものだから
- ・自分では色々決められるが、決める時に大人の意見が聞けないし自分と同じ人も居るだろうからこれにした
- ・大人が全部決めるのは良くないから
- ・自分自身で決めることで色々な成長が出来るから
- ・自分のことは自分で決めないと2番や6番の権利も守られないから
- ・困っていたときに先生や親に相談したら、困っていたことが解決したから

- ・何もかも決められていると、ただ指示に従っているだけで、不自由だから
- ・子供は自分の力だけではできない事も多いから、大人にしっかりたよれることが大切だと思う
- ・じぶんできめることによりしょうらいじぶんのすすみたいほうこうへすすめるから
- ・自分で決められないで大人などの言われるがままだと子供にとってそれが幸せとも限らないから
- ・自分のやりたいことができないのはいやだから

中学生世代

- ・自分で決めるということが大切だと思うから（他 9 件）
- ・誰かに決められる人生よりも自分で決めた人生で行くほうが大切だから（他 7 件）
- ・将来は自分で決めないといけないが増えるから（他 4 件）
- ・自主性を持った行動ができると思ったから。自分がこうだとかこうしたいなど希望があるときに自分一人ではやはり力が足りず諦めることになると思う。しかしこの権利があることにより自分で思ったことや考えたこと、一人では難しいことなどを大人に協力してもらい自分の希望を叶えることができる権利だと思ったから（他 2 件）
- ・自分で決められないことは、ありのままの自分ではいられないと思う。ありのままの自分ではいられないということは、個性が出せていないと言うことだと思う
- ・自分の人生は自分主体でやっていきたいから
- ・子供には自分の将来を選ぶ権利がある
- ・自分の意見を言うことが出来るから
- ・今、自分は大人、特に親に頼りすぎていてあまり自分の意思を持ってないような気がするから。もう中 3 だから、権利があるのだから自分で決めていきたい。やりたいことはやるし欲しい物は自分でしっかり考えて自分で買う！
- ・大人に押し付けられていると感じる事があるから
- ・自分で考えて行動してるのに、信じて貰えず親に決められて後悔したことが何回もあるから。自分を知ってるのは自分だけだと思うから
- ・自分の事を自分で決める事で人に頼らず成長する機会になる
- ・自分がなにも決められない人生を生きていたらと考えると、とても嫌だと感じたから
- ・大人がすべて決めても、未来にはつながらないと思うから
- ・子供という理由で、全て、親に決められてしまうことがあるが、すべて、を親に、任せて、自分自身での、決定権を見につけなければ、自立できないと、考えるため
- ・子どもは成長するにつれて大人から巣立っていくものだと思う。その過程で、少しずつ自分の決断が増えていくときに、その決断は尊重されるべきだと考えているため
- ・前よりも自分で何かを決めることが増えたから
- ・前よりも自分で何かを決めることが増えたから

高校生世代

- ・自分で物事を決めることが大事だと思うから（他 4 件）
- ・子どものうちから自分で何かを決めて行動するのは将来大人になっても必要になるから（他 4 件）
- ・自分の人生を人が決めちゃいけない（他 1 件）
- ・親に養ってもらっているため親の意志に左右されやすいからこそ自分の決定を尊重されたい（他 1 件）
- ・人生で楽しく生きるられる年齢無回答
- ・自由に暮らしたいから
- ・高校受験のとき、自分の内申点と志望校のレベルを比べたとき、レベルを落とした方が良いのではと言われたが、当日のテストで多く点を取ることを決め、努力した結果、志望校に合格できたから
- ・自分で決定することができることというのは、相手の意思を尊重するということであり、自らが行動するうえで何よりも大事であるから
- ・中でも必要な情報が得られる。がとても大切に思われた。何も知らないと何もすることができないから
- ・自分のことは自分で決めないと、なにも一人でできない人間になってしまいそう
- ・自分の人生だからなんでも自分で決めたい
- ・大人が勝手に自分の進路を決めてしまったり、情報を遮断したりすると、自分の未来の可能性が狭まって嫌だから

6 参加する権利

小学生世代

- ・自分だけ仲間がうれにされず、自分の思うことを言って差別されずに行動できることが大切だと思ったから（他 2 件）
- ・みんなで意見を言ったりするのは大切だと思うから（他 1 件）
- ・仲間をつくって仲を深めること仲よくできたり、自分を表現したりして社会でよりよく活動ができる（他 1 件）
- ・自分の意見を言うことができればみんなと意思疎通をすることができ学校での話し合いなどが活性化すると思うから（他 1 件）

- ・仲の良い友達を当て、異性を当てないと、いうことはおかしいと思うから
- ・自分の思ったことをみんながどう思っているのかが、わからないから
- ・人としゃべることは大事だと思うから
- ・自分
- ・仲間をつくることで助けてくれる人が増える
- ・学校での発表で、みんなが発表しているのをただ単に聞いているだけではなく、自分の意見をはっきりと言えるようになりたいからです
- ・誰でも参加ができるから
- ・子供でも市に住んでいるから
- ・社会で活動していかないと、自分は、何もできなくて、生きていけないと思ったから
- ・自分の意見を言うことが好きだし、はやく、社会で活動したいと思うからです
- ・将来自分を発信することがあるため

中学生世代

- ・人に表現をおしつけないから
- ・参加できれば、賛成・否定という回答ができたりするから
- ・ハブられたら詰む
- ・相手の意見や表現を話し合いでまとめて言われることよりも、自分からもこのようなことを言って仲間をつくるなど活動することができるのが大切だと思ったから。
- ・表現をする権利がないと他の権利が侵害されたときに、何もできないから
- ・自分の意見を言うことで変わっていくこともあると思うから
- ・仲間は大事
- ・子供でもしっかり参加権があるのは、尊重されていいと思うから

高校生世代

- ・社会に参加することによっていろいろな知識を持つことができるから
- ・自分を表現、意見を言うことは大切だと思う
- ・大人たちだけでなく、子供も住んでいる街で、大人だけの意見が通るのではなく子供なりに考えて意見していくことが大切だと思うから
- ・小さなころから何かに参加できて自分の意見を主張できる場所があるのは大切だと考えたからです

年齢無回答

- ・ダンスのイベントで、自分を表現する活動があるから

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

小学生世代

- ・国や障がい等でさべつするのはまちがっていると思うから（他3件）
- ・差別されない世の中ができていいと思ったから（他1件）
- ・その子どもに合わせて支えんしてもらったら、みんなで社会に出れるようになるから（他1件）
- ・支えんをうけたいのにうけられない、というのは、おかしいから（他1件）
- ・人に、差別をすることもよくないと思うし、いろんな人との交流をすることは、とてもいいと思ったからです
- ・国のちがいがあると戦争などのトラブルにつながるから
- ・色々な人がいるから差別されずあれでも社会に参加できるようになって欲しいから
- ・たまに人の悪口とかを言っている人がいる。それにのらないように気をつける
- ・だれでもじゆうなけんりはあるから
- ・差別されずに自分が生きたいようにできるから
- ・苦手なことがあっても支えて（支えんして）くれから
- ・いつ自分が障がい者になるか分からないから。また、障がいもちの人は、健康に生まれたかったと思うから
- ・1, 6を集合させた権利と思われる。一つにしぼれないので

中学生世代

- ・差別されたりすると4、2などの権利もないと思った
- ・みんなが安心して暮らせるから
- ・障がいがっても社会の一員だから
- ・誰でも社会に参加できる環境が大事だと思うから
- ・差別をせず、壁を超えることがこれから大切だから

高校生世代

- ・なんでもかんでもこうしろと言われて個性がなくなると社会にとってより良い選択ではない
- ・個別に合わせられるならこの上ないと思ったから
- ・多様性の時代だから

Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	73	8.9
2 ありのままの自分である権利	120	14.7
3 自分を守り、守られる権利	137	16.7
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	33	4.0
5 自分で決める権利	70	8.5
6 参加する権利	79	9.6
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	90	11.0
無回答	217	26.5

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

小学生世代

- ・差別は絶対ないとは言えない（他5件）
- ・ぎゃく待のニュースをよく見るから（他4件）
- ・学校でじっさいにいじめをうけてこない人があるから（他3件）
- ・男子だから、女子だからという言葉をよく聞くから（他2件）
- ・友だちとか兄弟と差別されたりするとかがまだあると思う（他1件）
- ・私達自分達の両親はきびしい、だが友達の両親はやさしい。だから、自分達の両親と友達の両親のしどうの仕方の差別がすごいと思う。時にはきびしく、時にはやさしく。あたりまえができていないと思ったから
- ・学校では、男子たちが口げんかやぼうりよくをふったりして安心して生活できない
- ・結局は家庭の環境に左右されてしまうから
- ・通学路が危ない
- ・学校で暴言や暴力をふるう子どもがいるから
- ・友達の中の数人が大人に無視されたり、強制的に何かをされたりしているから
- ・友達がそういう風になっていると話していたから
- ・私のれんあいしょうについて理解を一切としてされなかったから
- ・脅しをしていたり、少し危険な輪ゴムを飛ばすなどの遊びをしている人の近くにいと輪ゴムなどが飛んできて怪我をするかもしれないから
- ・学校に学校が不安で来れてない人などがあるから
- ・不安を感じながら過ごすことがあるから
- ・私のしらないところでは、まだ安心して生活できてない人がたくさんいると思うからです
- ・放火魔がいたため安心できません

中学生世代

- ・差別をうけている人があるから（他2件）
- ・ぎゃくたいやいじめで亡くなる人は減っていないから
- ・外国などで、こくじんだからなど、差別が起こっているし、殺人などのニュースは、毎日あるから
- ・この権利が守られていないような話をときどききくため
- ・川崎市内の条例や法律で子どもに対する支援や助けにつながるものが少ないと思う
- ・子供を育てる十分な能力のない親がいる
- ・家庭ではなく世の中
- ・ニュースなどで子どもが大人にぎゃくたいを受けたり、差別をされたりしているニュースを耳にするので守られていない
- ・最近放火があったから
- ・ぎゃくたい、いじめ
- ・現在進行形で守られてないのが現状で、親に対して天から与えられた小さい子どもの命が失われるニュースを、嫌ってほど目や耳にしているから
- ・現在の公園では、自由に、遊ぶことが禁止されていることが、多くストレスをかかえがちになるから
- ・友達に、親にずっと監視されたり、兄弟に暴行されている子がいて、そういう人達が安心できる場所がないと思ったから
- ・そういう親もいる
- ・移民がひどい

- ・塾の帰りが遅くなると、川崎駅とかで騒いでる大人がいて怖い時があるので、警察官がいてくれたら、安心します
- ・この世には親は気づいていないかもしれないけど自分は愛されていないと感じる人もきっといるだろうし、それで実際に悩んでた人もいると思うから。差別を受けないというのは中々現状では完璧になりにくいと思う
- ・登校時に車や自転車通っていて危ないから

高校生世代

- ・治安が良くない（他1件）
- ・愛情と理解をもって育てられているところとそうでないところがまだあると思うから
- ・変な人が多いから
- ・中学時代に（公立でありながら）担任の先生からのいじめパワハラを受けました。支援学級にいるのに、です。あってはならない事。あらゆるいじめ等がない社会であってほしい
- ・学校などでまだいじめなどがあるから
- ・今の時代
- ・まだ差別はあると思うから
- ・私の周りにも片親であったり、何らかの理由で家族の時間を過ごすことができない友人が一定数いるため
- ・そもそも全部守られてないから

年齢無回答

- ・安全・安心に生活できていることがない日があったから
- ・人によって良い態度もいれば態度が悪い人がある

2 ありのままの自分でいる権利

小学生世代

- ・まだまだ個性が許される世の中ではないと思うから（他9件）
- ・学校で、いじめられている子がいたら、ありのままで生きるのがむずかしい子がいるかとも思います（他7件）
- ・学校や友達の中で、自分が思うことをはっきり言わずに流れに身を任せてしまうからです（他6件）
- ・学校の中で、うわさなどがあったり、その人のひみつを、他の人にいったりしているから（他3件）
- ・ホッとできる場所がないと思うから（他1件）
- ・ひみつをとときどきいいたくなくても、なやみがあるとき人にちよくせついわなくちやいけないのがりゆうです
- ・ありのままでいると、ボーッとしたりしないで体を動かした方がいいと思う
- ・個性とかより、安全安心して思うけんりの方がいいと思うから
- ・車イスの為ホッとできる場所、遊んだりする場所がまだまだすくないと感じます
- ・周りの人が不快に思ったら離れられるから
- ・完全になくすことは今すぐは無理だと思うが、どうしてもありのままでいられないことが1人1人にあると思うから
- ・家にいても安心できなかったり、しっかり休むことがあまりできなかったりすることで、“ありのままの自分”を出すことができない
- ・一定の人のせい
- ・楽しく遊べる場所が少ない
- ・守られている方が多いけど、たまに、自殺する人も出てくるから、守られていないところもあるのかなと思う
- ・引かれるかも、、など思っ、そのままの自分を出せない人が多いと感じた

中学生世代

- ・いじめはなくなっていないから（他3件）
- ・周りにいる人によって大きく変わってしまうものだと思うから（他2件）
- ・なんだかんだ個性が矯正されている。集団社会に求められる必要最低限の調整とは思えないことも行われている（他1件）
- ・個性を大切にされても、相談ができない
- ・兄弟姉妹で比較されることは多いと思うから
- ・勉強しない自分はなかなか認められないから
- ・人にどう思われているかを考えるあまり自分が本当の自分でいられているのか不安だから
- ・ありのままでいたいと思っても周りの目を気にして性別関係なく自分のしたいこと、したい服装などができているかと言われたらそうではないように感じるから
- ・川崎市に限った話ではないけど、周りと違うということに対してまだ悪いイメージがあるから他の人との違いや個性が大切にされるというのは難しいと思う
- ・誰かが秘密として話したことがどんどん色々な人に広まって行ってそれがいじめにつながったり本人が傷つく原因になってしまうから
- ・部活にかけける時間が多すぎて、自分の時間が持てず自分の時間も、ゆっくり休み勉強する時間もないから
- ・学校では容姿についてバカにする人がある

- ・学校の校則で決められている事が多くて、ありのままの自分を自由に表現できないと思うから
- ・どうしても絶対全てが守られることが難しいため
- ・私立の先生方は生徒の思考や行動を尊重してくれる人が多いですが、公立の学校だと昭和のような昔ながらの考えを押し付けて来る人が多く居るからです。現に意見を主張して全否定されて不登校になってしまった学生さんを知っていますし、川崎市の教員の質をより高める必要があるのではないかと思います
- ・学校では、校則や生徒指導で個性が大切にされて居ないから。体調が悪くても、成績や推薦を気にして休めないから
- ・学校や友人関係などのコミュニティはそんなに単純な話ではないから。この世の中の人にはロボットだけではない。良心だけあるわけではない。ほとんどは人だ。そして、人にも多様性がある。性や匂い、体つき、障害、性格などだ。ここまで多様性があると、人は果たして全員の違い、個性が大切にされるだろうか。答えはNOだ。現に、私はいじめのようなことをされ、いじめのようなことをした経験がある。以上のことにより、ありのままの自分である権利は守られていないと思う
- ・ヲタクが排斥される世の中だから
- ・権利があっても、個性が大切にされたり秘密が守られるとかは自分が受け身(大切に“される”・守“られる”)だから自分の権利を守るためには友達とか関わる相手が気をつけないといけないもので実際にきちんと守られているかといわれたらそうでないかもしれないと思った。また、自分が人との違いの全部を素直に認めることができていないのかわからないなと思った。守られてる守られてないはそれぞれの価値観だからある人からしたら守られてないと感じるものかもしれない
- ・日本人だからこそ空気を読んで自分の意見が最後まで言い出せなかったりじぶんの意見を出さないまま雰囲気流されることが多いと思うから。自分はこうしたいと言ったらはぶかれるかもしれない、いじめられたくないという考えを持つ人もたくさんいると思うから
- ・守られていないというか、難しい。集団生活の中では、全てありのままの自分ではいられない。特に発達障害等を抱えてる子供は、ありのままが生活の中で不便、不適切と思われる事があるから色々訓練を受けている
- ・他の人との違いで嫌がられることもあると思うから

高校生世代

- ・「自分」を隠している人は多いと思うから
- ・大人が守っていないというよりは、子供が子供に対して個性を侮辱している時が稀にある
- ・不要な校則
- ・自由に遊べる場所が少なくなっている
- ・SNSなどのツールが発達したことによって公開されるべきでない情報がさらされたり、それによっていじめに発展することも少なくないから
- ・中学の時の先生に見た目のことでたくさん言われた
- ・いじめなどが起きていて、ありのままの自分でいられなくなっている人もいるから
- ・学校。先生。勝手にプリント、テストの結果を見られて顔に出す
- ・ありのままの自分なんて、自分でも分からないことが多いから
- ・公園などで遊んでいたら、うるさいと怒鳴られたり気軽に声を出して遊べる場所はもうない
- ・公園などがなく子供たちが元気に遊べる場所が少なくなっている。公園でもボールが使えないなどするから
- ・自分を抑え込まなければいけない場面が過去にあったから
- ・自分の安心できる場所がない
- ・学校のカウンセラーなどに相談しても、あまりよく病気について分かっていなくて、病人扱いされる
- ・他の人との折り合いがあるから
- ・自分が周りに気を遣ってしまうとありのままではいるのは難しくなってしまうから

年齢無回答

- ・ひみつが守られてなかったり、人とのちがいや個性があるのにバカにされていたりしているところを見たことがあるから
- ・ホッとできる場所が少ない公園も減っている

3 自分を守り、守られる権利

小学生世代

- ・いじめなどうけている子は自分から意見できる子はなかなかいないと思うから（他 23 件）
- ・いじめられているときになかなか大人や先生にいうことができないから。（相談があまりできない）（他 8 件）
- ・いじめやぎゃくたいがニュースで見ているから（他 7 件）
- ・まだ虐待などをしている人がいるから（他 4 件）
- ・いじめや虐待を受けて相談できずに自殺などしてしまう人々がいるから（他 2 件）
- ・見たことはないけど中には虐待、いじめ、体罰などをされているかもだから（他 1 件）
- ・逃れることができていないと思うから（他 1 件）

- ・よく、友達とけんかをする、1番最初に親に相談します。だけど、親(父)には全部、あやまれば、いいじゃんみたいな、自分が全部悪いみたいなことを言うから
- ・相談したくないこと、知られたくないことを言う、しつようはないと思う
- ・悪口を言われたり、なぐられたりしてる子がいるから
- ・ニュースなどで、いじめによって自殺してしまった子や、不登校などになってしまった子がいるということを知って、まだいじめがすごくいっぱいあることを知りました。だから守られていないと思いました。自分の近くにいじめなどで来なくなってしまった子はいないけど、小さな一言で相手を傷つけてしまうかもしれないから気をつけようと思いました
- ・学校でちょっとしたさべつがおこってしまう時があるから
- ・虐待までいかないとしても、子供が大人に気をつかってがまんしていると思うから
- ・認めてくれる人の方が多いけど時々意見を否定されることがあるため
- ・親には守られてはいるが、特に目立った活動はしているとは言えないから
- ・守られていないとまでは言わないけれどこの権利が行き渡っていない人がたくさんいると思います（他1件）
- ・あまりいけんをきかれてないしいけんがあまりたいせつにされていない
- ・学校や、友達関係、家族の間で、いじめや虐待があるから
- ・家族の問題で守られてないから
- ・気を使ってしまう

中学生世代

- ・まだいじめと言う問題が完全に解決出来ていると思った（他19件）
- ・いまだにいじめや虐待似合ってる人はいるだろうし簡単に逃れられるわけがないから（他2件）
- ・ニュースを見ているといじめや虐待で亡くなる子などを見たりするから（他1件）
- ・いじめとかあった時に、大人があまり守ってあげられていないなという印象があるため（他1件）
- ・今のままでは心配ごとやいじめなどの相談し難い問題をそうだんできる場所が少ないから（他1件）
- ・自殺があるから（他1件）
- ・そうだんしたことがないから
- ・まだこの権利は完全にはできていないんじゃないかと思います
- ・きっと今でも嫌なお思いをしている人がいると思うから
- ・そういうニュースを見るから
- ・かならずすぐにそうだんできる場所にすんでいる子もいると思うから
- ・当時の担任に理不尽な体罰を受けたことがあるので守られていないと思います
- ・よく「児童養護施設」という言葉を聞くので、そもそも、それは、虐待や体罰などが理由で、おきていることだから
- ・色々な権利、支援などがあるが、いじめなどを解決することにつながっていないから
- ・どうしても悩みを相談できない人はいるだろうし、自分の意見を否定されている人を見たことあるから
- ・身の回りでこのようなことが起きているわけではないが、もし自分に被害者になった時これを解決する力がなければ助けを求める先も不足していると思うから
- ・1人では守れないから
- ・今もいじめや虐待のニュースがあるから
- ・いじめとか、周りにそう話しても、やっぱり相手が変わってとか、特に学校だと、ちょっとした悪口とかうまれているから
- ・ニュースなどで度々学校でのいじめが取り上げられたりしているのでも自分が実際に目撃していないだけで、知らないところで起こっているのだろうと思ったから
- ・親が、育児に対する覚悟をもっていないケースが多い。子どもを育てる事によって起きるストレスに対応せず逃れようとする事で育て方をあやまることは多いのではないかな。それは虐待だけではなく、泣き止ませるためにおかしをあげる、などを含む
- ・不登校が減っていない
- ・虐待とか受けている子は受けていてもなかなか言葉にできないことが多いから

高校生世代

- ・学校内のいじめによって、自殺をする中高生が近年増えているというニュースをよく見るから。また、同様に親からの虐待によって命を落としている子が多くいるため（他7件）
- ・いじめが多い自分もいじめを経験したが先生から何か手を打つということが少なかった（他2件）
- ・いじめや虐待に対する相談を十分にできていない状況があると思ったから（他2件）
- ・親が自分の意見を聞かず、進路などを決めてしまうことがあるから（他1件）
- ・子どもが自分からだれかに相談しにくいときもあると思うから
- ・どれだけがんばろうがいじめはなくなるから
- ・学校に行っていればとくに、いじめの事をよく聞くし、自分もされたことがあるから
- ・学校にいる子が親から過剰な干渉を受けたりして大変そうだったから。川崎の話ではないが、ト一横界限の子供たちなどを見ると、子供を救う機関がこの国は未熟なように思われる

年齢無回答

- ・困っているときに学校で先生に相談したが、助けてすらくれず、笑い話で終わった経験がある（他 1 件）
- ・クラスでいじめをやめるようにしても先生にいてもとくに、やめるようなことがない

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

小学生世代

- ・よく意味がわからないから（他 1 件）
- ・ペンキょうを学んでいるときじょうだんでいわれた言葉が自信につながらなくなるときがあるから。（たとえば「こんなのも分からないの」など）
- ・励まされていなく、逆に馬鹿にされている人がいるから
- ・あやふやになってしまうから
- ・成長や自信につながるようにはげまされることがあんまりないから
- ・自分の好きな事などで豊かには出来ているが力付けられてはいないと思ったから
- ・あまり友達から励ましてもらったことはない

中学生世代

- ・力付けられてない気がするから（他 2 件）
- ・「守られていない」というより、誰がどのような形でそのような環境作りにむけて取り組んでいるのか、イメージしにくいので（他 1 件）
- ・自分で変わらないと、変わらないから、自分自身の問題だと思うから
- ・あまり中学などの授業での効果を感じられない
- ・励まされないでいじめにもつながっている時もある
- ・教師に間違ふと怒られる、間違ふ事を許されない圧力を感じる…そのせいで自由な考えができない
- ・私の学校では部活動が一つしか出来なくて（三年間同じことを続けることが良いとされていて）、将来の可能性が減っていると思うから
- ・大人の都合、社会の構造上、排除されることがあるから
- ・やりたいことができないお金が必要
- ・小学校・中学校時代を通し成長や自信に繋がるように励まされることはあったが、人によってはそれが少ないのではと思う機会があったため

高校生世代

- ・公園でのびのび遊びたいところを大人の勝手な都合で制限されているところがある（他 1 件）
- ・中学校で、クラスメイトが教員に意見した際、「口答えするな」など、上からそれを落さえつけて抑圧するような場面を見たことがあるから
- ・自分に自信がない人が多い気がするから
- ・実感がなくて
- ・力がついてないから

年齢無回答

- ・まだ自分に力がないから

5 自分で決める権利

小学生世代

- ・学校とかに行っている時に、私はこれがいいなと思うのに強制的に決められたりするから（他 4 件）
- ・自分で決めないで、友達とかが決めちゃったりして自分で決められないから（他 3 件）
- ・最終的には大人の意見が大きい気がするから（他 1 件）
- ・川崎市の子どもじゃなくても人はゆずりあっているのだから私はじしんをもって自分でこれがいいと言えるようなかんじになってほしいと思いました
- ・自分で権利を決めることができずに人にまかせていることがあるから
- ・自分の事は自分でやるって書いてあるから
- ・学校で自分の意見が言えていない人がいるから
- ・たまに〇〇しろ！
- ・学校の人に意見をバクられた時
- ・どこで必要な情報を得たらいいかわからないから
- ・たまに自分で決められない時があるから
- ・受検など
- ・先生や親がなんでも決めている
- ・内向的な子供は、大人に助言や、助けを求めることが苦手なので、大人が積極的に子供達に関わっていくべきだと思います

- ・学校で、将来の情報が少ない
- ・クラスの中に、自分が合唱のパートリーダーをやりたいと思っていた子がいて、手をあげようと思った時には、他のグループできめられていたのをみかけたからです
- ・まだ自分で決めないといけない経験をしていないからわからない

中学生世代

- ・親や学校が決めたことを押し付けられることがあると感じる（他8件）
- ・同調圧力と言うもので自分で決めることが困難な時代になっているから（他3件）
- ・誰かに頼ったりしちゃって自分で決められない時があるから（他2件）
- ・自分の考えは100%間違っている、嘘だと言われ、自分のことを自分で決められないから（他1件）
- ・あまり守られていない気がするから
- ・クリスマスプレゼントがほしいものじゃなかったことがある
- ・1人の意見を大切にされていないため
- ・自分で決める前に決まっていることがけっこうあるから
- ・部活動で勉強を優先したくても顧問になにを言われるかわからなくて強制というところがあるから自分で決められないから
- ・受験生で親と志望校選びをしているときに、金銭的な問題で塾に行けなかったり、いくとしたら結果を残さないといけないなど条件付きで物事を決めないと行けない場面があるから
- ・この権利によって何を、どんな場面で決めることができるのかを今自分が認識できていないから。権利は実際は守られているのかもしれないが、「自分のことを自分で決められている」と実感することがあまりないから
- ・友達と遊ぶときの門限とか、「心配症」で家のルールのおかげで皆と同じように遊べない。高校受験とか大学受験とか親に条件を決められちゃう
- ・祖母が教育についてうるさく口出しをしてくるから
- ・未熟な面もあり100%に自己決定権を望む訳では無いが自分について決める際ものによっては与えられる情報が少ないところがある
- ・子供たちの意見が尊重されていないと思う場面があるからです

高校生世代

- ・子供の意志決定に関して大人側の意見が強く、自分で決められているとはいえないから（他1件）
- ・親に進路を選ばされてる人がいる
- ・金銭的な理由などで諦めている人がいると思うから
- ・自分で決められてない
- ・個人の意見を聞かずに決められてしまうことがあるから
- ・そのお子様の親によっては守られていない可能性はあるのではないかと思います

年齢無回答

- ・自分できめれないから
- ・私のような子供は自分できめるには幼すぎます。何よりも、私たちが下す決断にはおやのみちびきが必要です
- ・自分の身の回りの人間もそうだが、自由な子共は見たことがない

6 参加する権利

小学生世代

- ・言ったことに対して否定したりする人がいるから（他4件）
- ・私もそうなんですが、はずかしかったり自信がなくて積極的に意見を言うことが苦手でできていないので私以外にもいると思うからです（他4件）
- ・自分の意見をいえていない人が多いから（他3件）
- ・クラスの中でもさんかできていない子がいるから（他2件）
- ・みんなで話しあっている時、話に入れていない人がいるからです（他1件）
- ・あまり自分のしたいことなどを言えていない子が多い気がするから（他1件）
- ・クラスで話す人やいっしょうけんめいきこうとする人があまりいないから
- ・川崎をあんな市にしたいと思うけどなんだからいいにくい
- ・いじめがあると自分の表現や仲間をつくるなどができないから
- ・しゃべるのがにがてだから
- ・適当に理由をつけて、やっていないひとがいそう
- ・子供だと出来ないことが多いか
- ・自分は出来ている方だと思うが、仲間外れなど目撃する時があるか
- ・5の権利と一緒に思うから
- ・参加できなければ自分で決める権利も意味がないし参加することに意味があることもあ
- ・2年生のときに手を上げているのにむしをされたことがあるから
- ・なにもかも参加できなかったら、そのたのしみなどが消えてしまうかもしれない

- ・参加したくないから
- ・私の思い込みも入ってしまっている場合もあるのですが、学校で障がいがあり、学習室に通っている生徒に苦手意識がある人がいてその人が廊下を通る時などに少し避けたり、まじまじとその障害者を見たりなどしているの、障害を持っていない人に対する態度とあからさまに違う人がいるからです
- ・子供だからダメ、大人ならいいとされることがあるから
- ・あまり自分の意見を言う機会がないから
- ・学校の授業とかでいつも同じ人が発言していて、みんながみんな参加していないから
- ・社会の場として自分の意見などを言ったことがないのであまり実感がないからです
- ・学校の授業のとき自分の表現を伝えられないときがある。喋ることが得意な人もいれば、苦手な人もいて、パソコンを使って喋らずに自分の表現が伝えられればいいのかなと思う
- ・よく周りに流されてしまうので、あまり自分の意見を言えなくなっていました

中学生世代

- ・自分で勇気を持って意見を言える人がいるけど、クラスの中には恥ずかしくて意見を言えない人がいると思ったから（他3件）
- ・参加する権利はあるけれども、実際に参加できる場があまりない。もしくは、そういう情報があまり入ってこない（他1件）
- ・子どもだけの視点でいうと、そもそも自分の意見というのを川崎市に伝える機会がないから（他1件）
- ・参加する場面がないから
- ・自分自身が自分を表現したり、自分の意見を言ったりしないから
- ・周りに流されてしまうから
- ・現在の教育では社会主義など現代日本のイデオロギーに反する思想を子供達から遠ざけてるように見えるから
- ・自分の意見を言ったり、表現できているのは、限られた人だけになっていたり、仲間をつくれていない人もいると思うから。社会で活動というのもよく分からない
- ・いじめられてるが、自分が守られてるとは言えないから
- ・タワーマンションの建築では、地域住民の意見が十分に取り入れられていないと感じるため
- ・自分があまりそういうのに参加した方がないから
- ・私が実際にされた訳でもないけど、自分で何か発言したりした時に、隠口を言われることがあったり、私自身クラスメイトに話しかけて無視されることがあったりするから
- ・選挙権を義務教育を修めた時点で与えて欲しい。また、中学校等では、卒業後には選挙に参加できるような授業をして欲しい
- ・まだ気持ちを表に出すことに億劫になってしまったり、意見をはっきり表現するということに慣れていなかったり権利としては認められているかもしれないがそれに対する抵抗、環境の問題はまだ解決されていない部分があるのではと考えられる
- ・市議会とかで何が行われているのかいまいちわからない
- ・なりたい委員会を性別を理由に先生にやめろと言われていた人がいたから
- ・具体的に何に対するものかわからない

高校生世代

- ・親が自治会に入っていない場合、自治会のイベント参加できないので社会での活動の権利が守られていないのではと思う
- ・個人的には5,6,7あたりで迷いましたが自分が一番感じるのはあまり社会に参加できていない部分です。今の政治もそうですが、子供が関与する機会が少ないと感じます
- ・自分の意見を言いたくても言えない人がいると思うから
- ・大人の都合のいいように動いてるように見えることが多いから
- ・社会での活動が少し少ないように感じるため
- ・何かしら意見を言おうとしていると、時々否定されることがあったのですが、特にそのような意見の出しあいを小さいうちからすると、否定されたとき、特にそのような活動の後に先生がいないところで何言ってんだこいつ、みたいなことを陰口みたいに言われるとにとてつもなく傷ついて今になっても引きずってしまうことがあります。難しいかもしれないけれども、うまく表現しづらいのですが、失敗してしまった時や否定された時の肯定的なサポートは本当に大事だと思います
- ・コロナからひきこもりの人が増えている気がするから
- ・あまり、周りの目を気にしてしまって自分の意見をはっきり言えていないと思ったから
- ・特に行政に参加できているという実感がない

年齢無回答

- ・学校でよくはぶかれる子がいる

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

小学生世代

- ・今でもまだ、見た目や障害、自分と他人の差で差別をされている人がいます。国のちがいで苦しんでいる人たちがおおぜいいると聞いたことがあるから、7の権利が守られていない権利だと選びました（他9件）
- ・なぜなら、私の学校の障害をもっている子が皆から無視されているからです。確かに何いつているかは聞き取れないけれど無視はあまりにひどいと思います（他5件）
- ・他の国からきた人などとあまり話したり、たすけたり、できていない（他1件）
- ・わからないから（他1件）
- ・もっと障がい者にたくさん支援をしてあげてほしい。足りないと思います（他1件）
- ・先生がたくさんいればみんなと一緒に授業を受けられるのかなと思うから
- ・自分とちょっとちがう所とかでも「あのちょっとちがくない？」みたいな事を言われたりしてしまうことがあるから
- ・学校に足の悪い子がいて、山登りやハイキングでいつも来ていない
- ・障がい者のぶの人がかじょうに助けてもらい他の人を見下している人がいると思うから
- ・守られていないわけではないが、もう少し色々できるのでは?というところで、人によって学力などがちがうと思うから、そこを支えられるようなものがあると良いと思った
- ・まだなにかに困っている人がいるかもしれないから
- ・本音を話せない子もいるから
- ・ただでさえ困難なく暮らせていないのに戦争、紛争で攻撃を受け、苦しんでいる国、地域があるから。そういうので勉強ができなかったり、病気で苦しんでいる人がいるからです
- ・支援を受ければ受けるだけ、変な目で見られる
- ・差べつによっていじめがあるから
- ・病気とか障がいについてよく知らないから
- ・他の人と少しちがう人がいたら、びっくりしちゃうかもしれない
- ・僕が小学6年生の夏休み明けに中国人の子が転校してきました。しかし、その子はみんなから少しいじめられているように見えました。また、先生も初日だから学校の事について教えるなどするはずなのに、適当な感じだったので、転校生としてもっと尊重すべきなのではないかと思いました
- ・いまだに家庭の事情が原因で苦しい生活を送っていたり亡くなったりしている家庭があるから

中学生世代

- ・差別は無くならないから（他3件）
- ・障害がないから（他1件）
- ・個別というところができていないと思った（他1件）
- ・学校に外国人の転校生が来た時自分は英語喋れないからとかでさけているから
- ・相談できる人はいるが、相談したらもっといじめられるかも、と思って相談できないかもしれない
- ・障がいを差別したりしてる人もいるし先生などもわかっていると思うけどいってない
- ・日本にはいじめがあるから
- ・交流が少ないから
- ・先生たちは差別がないようにってど力しているけど、子どもたちは障がい理解しきれず、すごい差別ではないけどあまりだれとでも仲よくできていなかったりするから
- ・支援をうけられていたとしてもそこが不十分であると感じたことがあったから改善できることがあると思った
- ・駅前で、ヘイトスピーチがあったりするから。子どもにも、価値感に大きく影響を与えると思う
- ・国や性別、障がいにより少しでも差を感じることもあるから
- ・他に比べて守られているところを見ないから
- ・障害のある子どもたちにとっては不便・不快などを感じる部分が多くあると思うから
- ・地域活動したことないから
- ・弟が障がい者でいつ差別されるか分からないから
- ・支援を受けられてない人がいると思うから
- ・障害者に対する扱いが普通の人と違うから

高校生世代

- ・国の違いや障がいなどで差別されることがまだ全てなくなっていないと思うから（他1件）
- ・歴史上の事件の関係があると思う。例えば中国人やそのハーフが平等にされてないことよく見る
- ・国の違いや障がいなどが不自然なことではなく、普通のことだという教育が足りないように感じるから
- ・1人1人違うのに個人での支援が受けられるのかわからない
- ・小学生の頃金銭的な理由で習い事や塾に行けない人がいたから
- ・なにか新たなことに挑戦するのが一つ一つに気軽に挑戦出来ないと思うから
- ・個別の必要に応じられる訳がないと思ったから

- ・国の違いや障害はいじめに繋がりやすく、偏見などを持たれやすかったり、それを支援するのも難しいと思ったから
- ・障害者とふつう?健康な人でまだ何か心?精神的にへだたりと思ったから
- ・使われてる部分をあまり見ないから

II 『あなたの生活』についてお聞きします。

Q 5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 いる	723	88.3
2 いない	80	9.8
無回答	16	2.0
合計	819	100.0

Q 6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。

(あてはまるものすべてに〇、その中で一番あてはまるものに◎)

【あてはまるもの】

	件数	%
1 学校のこと	370	47.9
2 家族のこと	128	16.6
3 友だちのこと	258	33.4
4 自分自身のこと	294	38.1
5 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない	292	38.0
6 その他	64	8.4
(N 値=772、無回答=47)		

【その中で一番あてはまるもの】

N=772	件数	%
1 学校のこと	170	22.0
2 家族のこと	30	3.9
3 友だちのこと	95	12.3
4 自分自身のこと	143	18.5
5 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない	214	27.7
6 その他	43	5.6
無回答	81	10.5

※複数選択している人がいたため合計がN値を超えています

【その他】

- ・土日の野球のつかれ (10 歳)
- ・塾のこと (10 歳)
- ・ならいごと (10 歳)
- ・塾の事 (11 歳) (他 3 件)
- ・受験の事 (11 歳) (他 1 件)
- ・勉強、学力 (11 歳) (他 2 件)
- ・中学校生活 (11 歳)
- ・中学受験 (11 歳)
- ・しょうらいの事 (11 歳)
- ・英語の習い事 (11 歳)
- ・体力 (11 歳)
- ・将来の事 就職の事 地球温暖化の事 バブル経済の崩壊の事 (11 歳)
- ・勉強 (12 歳) (他 2 件)
- ・本がたりない (12 歳)
- ・もし(塾) (12 歳)
- ・将来のこと (12 歳)
- ・アニメショップがない (12 歳)
- ・勉強 (13 歳) (他 1 件)
- ・将来のこと(仕事、学校、部活、人間関係など) (13 歳)
- ・受験 (13 歳)
- ・習い事 (13 歳)
- ・塾 (13 歳)
- ・好みが変わっている (13 歳)
- ・部活がきつくて毎日疲れているがその分やりがいがある、またレギュラーから落ちたりスランプとかになった時が不安 (13 歳)
- ・部活休みが少ない (13 歳)
- ・部活 (14 歳) (他 1 件)
- ・進路のこと (14 歳) (他 1 件)
- ・受験 (14 歳) (他 1 件)
- ・塾 (14 歳)
- ・勉強 (14 歳)

Q 7 あなたは、家ですごしているときに、自分の気持ちをおうちの人(おとな)に話すことができますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 できている	679	82.9
2 できていない	135	16.5
無回答	5	0.6
合計	819	100.0

Q7-1 Q7において、「2 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 おとなが話を聞いてくれないから	15	11.1
2 どのように話してよいかわからないから	56	41.5
3 おとなと話をする時間がないから	16	11.9
4 話したいと思うことがないから	54	40.0
5 その他	27	20.0
（無回答＝1 N値＝135）		

【その他】

- ・最初は相談してたけど理解してくれなくて、もうしないようにした(10歳)
- ・話すのが、こわいから話したら、おこられるかもしれない(10歳)
- ・知的の為、話を伝える事ができないが、顔、表情で伝えようとしている(10歳)
- ・言おうとしても、学校に行ったら、どうせ昨日の事言ったんだろ、と言われるんじゃないかと思い、話せない(10歳)
- ・親に話すのが怖いから(11歳)(他1件)
- ・話してもわかってもらえないから&お母さんには言えるんだけどお母さんに言ったらお父さんに言っちゃって母にもはなせなくなった。(父に言いたくないのは、「はんこうき」だからです(11歳)
- ・気を使ってしまって、タイミングがわからない(11歳)
- ・大人にはなしたりするとすこしはづかしいから(11歳)
- ・親がいろいろな人に言うから(11歳)
- ・おとなに話したら否定されてしまいそうだから(12歳)
- ・話の内ようがハズカシイ時がある(12歳)
- ・話づらい、気まずい(12歳)
- ・親は離婚して、忙しいから、疲れることを言いたくない(12歳)
- ・話したくないから(13歳)(他1件)
- ・話しても何か変わる気がしないから(13歳)
- ・話してもちゃんと聞いてもらえない(13歳)
- ・話して無駄に心配されたくない。聞いてきすぎて話したいと思わない(13歳)
- ・顔をうかがってしまうから(14歳)
- ・話を聞いてもうまくかわして否定したり話題がすり変えられる(15歳)
- ・障害があり、細かく希望を言葉で伝えられない(15歳)
- ・心配をかけたくない(15歳)
- ・話づらいと感じることもあるから(16歳)
- ・大人が自分が話していること真剣に考えてない(16歳)
- ・自分のことについて、話しても、解決には至らないと思うから(16歳)
- ・話したいと思わない(17歳)
- ・話せるような内容ではないから(17歳)
- ・人間性が違いすぎて話が合わないから(年齢無回答)
- ・自分から話づらい(年齢無回答)
- ・話せない気持ち(なやみ)があるから(年齢無回答)

Q8 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。(○は1つ)

	件数	%
1 聞いている	438	53.5
2 だいたい聞いている	331	40.4
3 ほとんど聞いていない	33	4.0
4 聞いていない	7	0.9
無回答	10	1.2
合計	819	100.0

Q8-1 Q8において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。
聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。（○は1つ）

	件数	%
1 実現されている	220	28.6
2 だいたい実現されている	454	59.0
3 ほとんど実現されていない	78	10.1
4 実現されていない	11	1.4
（無回答＝6 N値＝769）		

Q8-2 Q8-1において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。
実現されたことで印象に残っていることを教えてください。

小学生世代

- ・好きな物、欲しい物を買ってもらえる（他 65 件）
- ・家族みんなで出かける時に、自分が行きたいところを言ったら、連れていってくれた（他 51 件）
- ・食べたいと言ったら食べさせてくれる（他 37 件）
- ・やりたかった習い事をする事ができたこと（他 18 件）
- ・自分がしたいスポーツをやらせてくれる（他 13 件）
- ・友達のなやみをお母さんに言って、お母さんが友達のお母さんと話合いをしてくれてかいけつできている（他 12 件）
- ・ゲームする時間など（他 12 件）
- ・やりたい事ができていること（他 11 件）
- ・家のルールで自分の意見が実現されたとき（他 6 件）
- ・家のかぐのはいちをかえたこと（他 6 件）
- ・じゅくを決める時の事（他 6 件）
- ・友達と遊びに行くこと（他 6 件）
- ・ハムスター（動物）を飼いたい（他 5 件）
- ・お小遣いの交渉（他 4 件）
- ・べんきょうで集中できる場所がほしいと言ったら数日後につくってくれた（他 2 件）
- ・引っ越しをするかしないかなど（他 2 件）
- ・べんきょうのスケジュールについて考えるときに自分の考えをきいてくれたこと（他 2 件）
- ・受けんするかしないかで親は受けんしてほしいと言っていたけど私は嫌だったから「嫌だ」と言ったら受けんしなくていいことになったこと（他 1 件）
- ・おかしをつくったりすること（他 1 件）
- ・ゲームのかきん（他 1 件）
- ・志望校を自分で選ばせてくれるし、それをちゃんと紙に書いたりまとめたりしてくれたこと（他 1 件）
- ・自分から始めたいと言った水泳を始めさせてくれた
- ・水泳のふりかえを決めるとき、どの日にふりかえるかきいてきて、この日がいいと言ったらその日にしてくれた
- ・サッカーのいせきのこと
- ・おはか参りのお花をえらぶとき ・宿題が分からないときにいっしょにやってくれた
- ・たとえば、私が公園に行きたいとか、マイクラ(ゲーム)したいとか、言ったらママは、考えるって言うけど、だいたいは、ママが私の話をきいてます
- ・妹がいやなことをしていて大人に言ったらしかってくれたこと
- ・おじいちゃんとおばあちゃんの家で長くいれることになったこと
- ・土、日は、野球のため遊びにいけない、平日で行きたいところに遊びに行けたこと
- ・勉強のこと
- ・YouTuber になれた
- ・話し合いで、勇気を出して手を挙げ発言したら、その意見に皆が賛成してくれたこと
- ・目標に近づくために、親が色々サポートしてくれたおかげで、実現できた
- ・英検や漢検を受けてみたいと言ったら、「いいよ」と受けいれてくれたこと
- ・工作、手げいをやること。はりやカッターなどをつかっていいと実現されてる
- ・親同士がかりこんして、はなればなれだったけど、また一緒に暮らせるようになったこと
- ・学校に行きたくない時に、行きたくないと言ったらむりやり行かせようとせずに休ませてくれた
- ・塾のテストでいい点数を取ったら、スマホをもらえたり、ディズニーに行けたこと
- ・友達もわかってくれて良かったなということが印象に残っている
- ・学校のルールなど

- ・新車のいろが赤、がいいといったら赤にしてくれた
- ・やりたかった大会に出させてもらったこと
- ・貯金箱でお金を貯めたいと言ったら、かわいいはちみつの容器で貯金箱をすぐに作ってくれたのがうれしかった
- ・どうしても見たい映画があると言ったら、まだやっている映画館をさがしてつれていってくれたからです
- ・くもんがどうしてもいやでやめたかった時
- ・教室にいけないこと
- ・いろんなことにチャレンジできた
- ・夏休みの自由研究の方法など
- ・風呂のタイマー予約
- ・親は反対しているが、ゲームができています

中学生世代

- ・欲しいものを買ってくれた時（他 29 件）
- ・自分の進路についてしっかりと話を聞いてくれて自分の行きたいところに行けたこと（他 25 件）
- ・何が食べたいかと聞かれて、それを食べに行けた（他 21 件）
- ・旅行などでどこに行くか決めるとき、どこがいいか考えさせてくれたから（他 19 件）
- ・習い事で、自分のやりたい習い事を習いたいと思ったタイミングでさせてもらえます。自分のやりたいことがわかるようになるしとても楽しかったので感謝しています（他 8 件）
- ・好きなことをやらせてもらえる（他 5 件）
- ・スマートフォンの使用時間を延ばしてもらったときや勉強の時間など（他 4 件）
- ・部活を応援してもらっている（他 3 件）
- ・塾に行きたいといった時行かせてもらえた（他 3 件）
- ・家事のぶんとや自分たちのへやをどうするかなど（他 3 件）
- ・お小遣い制度を作ってほしいと言ったこと（他 3 件）
- ・親にアドバイスをもらって、友人関係や部活の悩みを解決している（他 2 件）
- ・勉強面でのお願いを実現してくれている（他 2 件）
- ・野球などのスポーツをやるときに決めた（他 2 件）
- ・やりたい事（ギター）を始める時に楽器を購入してもらった事（他 1 件）
- ・海外留学に、参加したいと、相談したとき、実現した（他 1 件）
- ・門限を伸ばしてもらう
- ・これをやるからこれをやってという交渉をしたこと
- ・ゲームができる環境にもらった
- ・何か用があって休まないといけない時にしっかり対応してくれているから
- ・学校出配られた少し遠いところのスタディツアーに行きたいといったら、申し込んでくれた
- ・元々部活に入っていたけど別の習い事をしたいと言ったらさせてくれた
- ・友達と初めて電車で、乗って出かけ、夕飯を食べる許可をもらう時です。なぜかと言うと、私は、あまり 1 人で電車に乗って出かける事がないため少し反対されると、思ったのですが、「いいよ」と、許可された時が、嬉しかったです
- ・新しく習い事をするために今まで習っていたものを全てやめたこと
- ・車
- ・引っ越しを考えていたとき、私以外の家族はみんな賛成だったけど、私が嫌だと言ったらならやめようと言ってくれたこと
- ・実現されないことはほとんどないから逆に印象にも残りづらい
- ・友達を見て電子決済のほうが楽だと思い親に paypay を入れて欲しいと言ったら入れてくれた
- ・自分のことを理解してくれている人がいて嬉しいと思った
- ・家族も共感をもてたものに対して実現されている
- ・ゴミ箱を買うときに自分がほしかったほうを買ってくれた
- ・部活を辞めたいと言ったら優しく了承してくれた
- ・「学校に行きたくない」と言ったら休ませてくれる、行くことを強制してこない
- ・受験にあまり積極的でなくても、それでもいいんじゃないといってくれる
- ・英検を取りたいと言ったら教材を買ってくれる塾に行きたいと言ったら行かせてくれる
- ・部活でつかれたから、今日は電車で帰りたいと伝えたら、ひと駅分でもかかわらず許可をくれた
- ・炊飯器の中にシャモジを入れないでほしいこと。入れっぱなしだと熱くて持てないので
- ・日常生活ですが、意見を出すと賛成して行動に移してくれて、しっかり考えも聞いてくれます
- ・遊びに行きたいときに、行かせてくれた
- ・引越しの時にどんな家に住みたいか希望をきいてくれてそれにそってどこに引越すか決めてくれたこと
- ・部活関係で審査を受けようと思っていたが部内戦と日にちがかぶってしまい、審査を受けるかどうか迷っていた。その時審査料はすでに払ってしまっていたが、家族は審査を受けずに部内戦に出ることを許してくれた。これによって、その年全国大会に出場する切符を得ることができた

- ・買い物についてきてくれる
- ・学校に行かせてもらっている事
- ・食べたいものをたべたり、プール・海など行きたい場所に行ってリフレッシュしたこと
- ・家のルールなどは話し合いで決めることが多い。昔は圧に負けていたが、最近はしっかりと自分の希望を通せるようにしている ・心が疲れたことを話したらリフレッシュする期間を与えてくれたこと
- ・川崎市に引っこした時、行き先を選んだのは、僕はどうかと聞かれて川崎市といった時だった。家族の今後に関わる選択を僕に任せてくれたという点で印象的だった
- ・野球の試合に行かせてくれた
- ・脱毛がしたいといったこと

高校生世代

- ・志望校を自分で決めることができたこと（他 14 件）
- ・欲しいものが手に入る（他 7 件）
- ・自分がここに行きたいと言った場所につれていってくれる（他 7 件）
- ・自分がやりたいと言って習い事を始めたこと（他 5 件）
- ・行きたい塾や予備校に行かせてもらった（他 2 件）
- ・何のご飯を食べたいか（他 1 件）
- ・海外に行ったり(留学)などやりたいと言ったことは基本やらせてくれている
- ・テストの点数が上がったら、ゲームの時間をのばしてもらうこと
- ・誕生日プレゼント、見たい TV 番組等
- ・形式的に聞いているだけで、本当は必要ないとも思っている
- ・自分が好きなアーティストのコンサートに、友だちと行かせてくれたこと
- ・夏休みのとき友だちとえいが見に行けたりまつりもたくさん行けたこと
- ・SNS 利用の自由化 ・帰宅時刻が遅くなることを許してもらっている
- ・学校に行けること
- ・おこづかいが増えた
- ・文理選択、部活
- ・家事の役割分担や家での時間配分について
- ・防災について話しあった際に私の意見が採用された
- ・株投資
- ・学校に行けていない時期があったが責めたりされずむしろ学校と連携して様々な支援をしてくれた。中でも自分が学校を転校したいと言ったときにすぐに転校を実現してくれ
- ・高校に入り、中学とは違う部活に入りたいと言った。否定されるかと思ったが、両親に頑張ってと賛成してくれた
- ・川崎市のジョイフルバンドに参加したこと
- ・遊びに付き合ってくれる
- ・部屋の構造を勉強などの理由で変えたいと言ったら変えてもらった
- ・かみを切るとき時間を指定したらその時間に切ってくれた
- ・勉強について
- ・自分の将来の夢に向って応援してくれる
- ・家具を新調する際の意見
- ・1人でチャーハンを作ってみようという時に親が作り方やコツを教えてくれた
- ・小学校低学年のとき、友人関係の悩みを愚痴のつもりで親に話したところ、親は学校に働きかけ、その結果友人関係は改善された。自分は気づかなかったけど普通にいじめだったらしい。また、親は料理のレパートリーが少ないので、新しい料理作ってと駄々を捏ねたら、数種類だけレパートリーが増えた

年齢無回答

- ・習い事に行かせてもらっている（他 1 件）
- ・行きたい場所や食べたいごはんなど（他 1 件）
- ・おやは私の意見を尊重してくれる
- ・否定を全くせず、どんどん挑戦させてくれたこと
- ・部活の事で相談したり欲しい物
- ・友達とごはんを食べたい→時間や金額を話し合い行かせてもらった
- ・進路の文理選択の際、自分が悩んでいることを伝えたら、自分の意見が定まるまで待っていてくれた
- ・日用品に関しては困ったことはない
- ・トランプ、レジシ
- ・服の購入をしたいと言ったときにお金をくれた

Q9 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 ある	465	56.8
2 だいたいある	265	32.4
3 ほとんどない	65	7.9
4 ない	7	0.9
無回答	17	2.1
合計	819	100.0

Q10 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。
（ホッとできる場所すべてに〇、その中で一番ホッとできる場所◎）

【ホッとできる場所】

	件数	%
1 自宅	761	93.3
2 友だちの家	189	23.2
3 学校（教室・図書室）	284	34.8
4 クラブ・部活動	226	27.7
5 習い事	161	19.7
6 公園	158	19.4
7 公的施設 （図書館、こども文化センターなど）	148	18.1
8 民間施設 （カラオケ、ゲームセンター、飲食店など）	181	22.2
9 その他	63	7.7
（N値＝816、無回答＝3）		

【一番ホッとできる場所】

（N値＝816）	件数	%
1 自宅	645	79.0
2 友だちの家	14	1.7
3 学校（教室・図書室）	36	4.4
4 クラブ・部活動	28	3.4
5 習い事	13	1.6
6 公園	14	1.7
7 公的施設 （図書館、こども文化センターなど）	7	0.9
8 民間施設 （カラオケ、ゲームセンター、飲食店など）	13	1.6
9 その他	25	3.1
無回答	26	3.2

※複数選択している人がいたため合計がN値を超えています

【その他】

小学生世代

- ・祖父母の家（他8件）
- ・1人でいられる時（他3件）
- ・親せきの家（他1件）
- ・放課後デイ（他1件）
- ・家の私の机の下
- ・しぜんの中
- ・推しのユーチューブ見る時
- ・トイレ ・ふろ ・塾
- ・縁があり人が少ない所
- ・友だちとの中
- ・日中一時支援
- ・ディズニー
- ・好きなことができる場所
- ・ホテル(外国の)
- ・すみっこ(はじっこ)
- ・学童保育 ・オンラインゲーム内
- ・アニメショップ

中学生世代

- ・祖父母の家（他2件）
- ・トイレ（他1件）
- ・自分の部屋の布団の上
- ・水族館
- ・汚部屋
- ・自分の部屋
- ・教会
- ・外
- ・車（自家用）ドライブ
- ・森林

高校生世代

- ・そふぼの家（他1件）
- ・自分の部屋

年齢無回答

- ・自分の生きたい場所
- ・おばあちゃん、おじいちゃんの家

Q11 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがひ、障がひのあるなしにかかわらず「子どもは大切にされている」と思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	397	48.5
2 ときどき思う	333	40.7
3 ほとんどそう思わない	62	7.6
4 そう思わない	17	2.1
無回答	10	1.2
合計	819	100.0

Q12 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがひ、障がひのあるなしにかかわらず「子ども必要な支援を受けられている」と思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	352	43.0
2 ときどき思う	366	44.7
3 ほとんどそう思わない	74	9.0
4 そう思わない	18	2.2
無回答	9	1.1
合計	819	100.0

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きます。

Q13 あなたは、おとな（親、先生など）からたたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたり、無視されたりすることがありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある	170	20.8
2 ない	641	78.3
無回答	8	1.0
合計	819	100.0

Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 親	631	77.0
2 親以外の家族	127	15.5
3 友だち	509	62.1
4 学校の先生	214	26.1
5 相談機関	37	4.5
6 その他	23	2.8
7 相談したいけどできない	29	3.5
8 相談したいと思わない	55	6.7
無回答	5	0.6

【その他】

- ・学校カウンセラー（10歳）（他1件） ・相談相手は人形（10歳） ・習い事の先生（11歳）
- ・マンションの親しい大人（11歳） ・学校にいるカウンセラーさん（11歳）
- ・親の中でも母親（父親には恐怖心があるため） ・ラインのオープンチャット（12歳）
- ・AI（チャレンジパットの中の機能）（12歳） ・部活のコーチ、先輩、好きな人（13歳）
- ・テスト点数（13歳） ・塾の先生（14歳）（他1件） ・何時間もすれば忘れていく（14歳）
- ・部活の先輩、コーチ（15歳）（他1件） ・私の家はキリスト教なので、お祈りでよく神様に相談します（15歳）
- ・内容によって相談相手を変える（15歳） ・先輩（16歳）（他1件）
- ・塾講師や家庭教師の先生（16歳） ・児童養護施設の職員（17歳）

【相談したいけどできない理由】

- ・なんか気まづい。ないちゃうかも（10 歳）
- ・心配するかもしれないから（10 歳）
- ・相談電話はあまり電話していいのかわからないから（10 歳）
- ・こわいし、なんか、なやみあった人だとおもわれたくない、しんばい（10 歳）
- ・話す自信がない。今までそうだったことがない（10 歳）
- ・自分がしたことが元だから（10 歳）
- ・親に心配がかかりすぎるものはできない（11 歳）
- ・もうしわけない気持ち（11 歳）
- ・相談できる（電話）ところは他人だから気やすくいえなしかけられない（11 歳）
- ・親には話したくないし、それでまたグチグチ小言を言われたりするかもだから（11 歳）
- ・相談したらどうなるか分からなくて怖いから（11 歳）
- ・自分たちで解決できることかもしれないし、相談相手からしたらそれが小さいことに感じるかもしれない、話を聞いてくれないかもしれないから（11 歳）
- ・自分がわるいから（12 歳）
- ・どう相談すればいいかわからない（12 歳）
- ・言ったことで否定されてしまったことがあり、それがトラウマだから（12 歳）
- ・相談をすることができるのは親や友達だけだと答えただけ、親や友達が原因で苦しんでいることだってあります。そのようなときは、相談相手がいないので、相談したいと思うけれど相談することができません（12 歳）
- ・ちゃんと話を聞いてくれる人がいないから（13 歳）
- ・上手く説明できないから（13 歳） ・親が怖い（13 歳）
- ・親などに嫌なことをされて「やめて」って言ったら余計イライラされると思うから（13 歳）
- ・伝えたいけど伝えにくい（14 歳）
- ・言葉では十分に伝えられない（15 歳）
- ・相談したら相手を嫌な気持ちにさせてしまって、それによってまた悩むから。面倒なことになるから（14 歳）
- ・すでに何人も相談したのに話を聞いてくれなかったから。（15 歳）
- ・言える人がいない（15 歳）
- ・悩みや相談事をあまり理解してくれない（15 歳）
- ・言ってもどうにもならないと思うから（16 歳）（他 1 件）
- ・家族の親でのなやみもあるから（年齢無回答）
- ・言いづらい（年齢無回答）

【相談したいと思わない理由】

- ・なやみごとがない（10 歳）（他 2 件）
- ・うちあけても毎かいそんなかわらないから（10 歳）
- ・前してもいい答えが来なかったし、「うーん…ちょっと待って?」とか言ってめんどくさがっていたから（10 歳）
- ・いうことが無いから（11 歳）
- ・なんとかなるから（11 歳）
- ・親には、心配かけたくない（11 歳）
- ・もっと強くなって仕返ししてやると思っているから（11 歳）
- ・自分のことだから（11 歳）
- ・たいしたことじゃないと親に無視されるから（11 歳）
- ・そんな大事なことじゃないから（11 歳）
- ・特に理由はありません（11 歳）
- ・必要性がない自己解決できる／時間がないしムダ（12 歳）
- ・理由などない（12 歳）
- ・面倒くさい（12 歳）（他 1 件） 大体自分でかいけつ出来る。1 日たてば忘れる（12 歳）
- ・気を使われたくないから（12 歳）
- ・たいしたことではないし（12 歳）
- ・話したくないから（13 歳）
- ・話しても変わらないと思っているから、あきらめている（13 歳）
- ・自分でなんとかするから（一部）（13 歳）
- ・申し訳ない（13 歳）
- ・面倒（13 歳）
- ・がまんすればいい。相談がめんどくさい（13 歳）
- ・それですべて解決するとは思わない（14 歳）
- ・困ったとしても特に重大では無いものだと思うから（14 歳）
- ・全員同じだから。他の人に頼っても、他の人が悲しい気持ちになったり、負担に思っ、突き放されるから。それな

ら自分だけで抱えた方が効率いいし楽し、信じてあんまり意味無いと思うことを何回も経験してきたから、期待してない（14歳）

- ・相談をすればきっと真剣に考えてくれるという安心だけで充分だと感じている（14歳）
- ・相談しても解決しないことだから。大事になると嫌だから（14歳）
- ・自分の問題だから（15歳）
- ・聞いたところで解決できる気がしないため。主観のすれ違いは少なからず起こるものだから仕方ないと受け止めている（15歳）
- ・自分の心の内を知られるのが怖い（15歳）
- ・面倒なことになるくらいなら別に相談するよりも現状維持でいいから（15歳）
- ・大人はたかだか何十年か早く生まれただけで自分より優れているとは限らないし、もっと頼れる同級生がいる、みんな自分のことで精一杯だし、自分も大人になった時に自分みたいなお子さんから相談されたらイラつく（15歳）
- ・めんどくさいから（15歳）
- ・意味ないから（15歳）
- ・もう両親に期待しない私には神様がいるから（15歳）
- ・相談したところで解決できることは少ないから（16歳）
- ・寝たら、忘れてしまうから（16歳）
- ・自己利益しか考えていない無能な大人が多いから（16歳）
- ・どうせ自分が悪いのだと半ば諦めているから（16歳）
- ・極力なやんでいることは相談したくないと思ってしまう（16歳）
- ・めんどくさいし意味ない（16歳）
- ・大体相談するときは大事なことしかしないので、あまり大きな相談出ない限りするのはめんどくさいからです（16歳）
- ・時間が経てば忘れられるから（16歳）
- ・相談しなくても解決できるから。相談してもあまり意味がないから（16歳）
- ・自分から聞くくせに話聞かないから（16歳）
- ・自己解決できるから（17歳）
- ・大人はゴミだから（17歳）
- ・話して解決に近づくような悩み（進路など）は話そうと思えるが、例えば友人関係の悩みなどは話し難い。理由は、友人関係の悩みの場合、悩みを話すことがその友人の陰口を言っていることと同じになってしまいそうで、罪悪感にかられるから。また、悩みを打ち明け、大事になったら恐ろしい（17歳）

Q15 川崎市には次のような子どもの相談を受けてくれるところがありますが、知っているところがありますか。また、実際に利用したところがありますか。（知っているものすべてに○、利用したことがあるものすべてに○）

【知っているもの】

	件数	%
1 児童相談所	544	66.4
2 民生委員・主任児童委員	133	16.2
3 スクールカウンセラー	590	72.0
4 総合教育センター	243	29.7
5 24時間子供 SOS 電話相談	554	67.6
6 教育委員会の教育相談室	259	31.6
7 人権オンブズパーソン	177	21.6
8 川崎いのちの電話	438	53.5
9 かわさきチャイルドライン	496	60.6
10 子どもの人権 110 番	433	52.9
11 その他	31	3.8
無回答	62	7.6

【利用したことがあるもの】

	件数
1 児童相談所	19
2 民生委員・主任児童委員	10
3 スクールカウンセラー	35
4 総合教育センター	10
5 24時間子供 SOS 電話相談	3
6 教育委員会の教育相談室	4
7 人権オンブズパーソン	8
8 川崎いのちの電話	5
9 かわさきチャイルドライン	6
10 子どもの人権 110 番	2
11 その他	5

【その他】

- ・りょういくセンター（10歳）
- ・学校の相談（10歳）
- ・子ども文化センター（11歳）
- ・生きずらびと（12歳）
- ・学校でする教育相談（14歳）
- ・天国（17歳）

Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q15のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 したいと思う	331	40.4
2 したいけどできない	83	10.1
3 したいと思わない	384	46.9
無回答	21	2.6
合計	819	100.0

【「したいけどできない」理由】

小学生世代

- ・初見の人だから悩みをうまく話せない（他6件）
- ・なかなか相談する勇気がでない（他3件）
- ・はずかしいから（他3件）
- ・こわくてできない（他1件）
- ・どう話せばいいかが分からない（他1件）
- ・家から連絡するとき、親に見られたくないからから（他1件）
- ・困らせてるかも
- ・スマホをもっていない
- ・でもほんのすこししてみたい
- ・みんなにいわれて広まるかもしれないから
- ・私は信用できる人が近くにいないからしんじていいのかわからない
- ・言いたく無い。自分の中でしまっておきたい
- ・少しめんどくさそうだし、電話するのは少し嫌だ
- ・なんだか友達とかにお前相談しただろとか言われそう
- ・しょうがない
- ・自分のことで、関係がない人に迷惑がかかったり心配したりしてほしくないから
- ・親にバレたらめんどくさいことになりそう
- ・したいとは思うけど、そこまで行くのに抵抗があったり、具体的に何をしてくれるのがわからず行きづらいから
- ・行動力がないから
- ・もうしわけないから
- ・するひまがない
- ・でんわしにくいから
- ・相談電話はあまり電話していいのかわからないから
- ・もしそれが、ちょっとしたことだったらって思うとできない
- ・人見知りだから
- ・自分の気持ちを整理できずに苦しくなってしまうから

中学生世代

- ・どうせ言っても何も解決しないから（他3件）・できるだけ自分で解決したいと思いがちだから
- ・誰にも知らされないとしても、恥ずかしくて言えない（他2件）
- ・緊張感があるから（他1件）
- ・対応に不安があるから（他1件）
- ・する勇気がないから
- ・LINEを持ってないし、電話をかける勇気がない。メッセージくらいなら安心出来るかもしれない
- ・不安
- ・周りに、使ったことがある人があまりいないから抵抗がある
- ・誰が相談にのってくれているのかわからず、こわいと思う
- ・結局、家庭で解決するしかないと思うから
- ・気まずいため
- ・相談をためらってしまうから
- ・万が一でも誰かに知られるのが怖いから
- ・興味はあるけど少し怖い
- ・どこまで相談しても良いのかよくわからない。大したことなくても良いのかわからない
- ・面倒くさがりが勝ってしまうから
- ・ハードルが高い気がする

高校生世代

- ・勇気ない（他2件）
- ・赤の他人だから
- ・家族全体に影響を与えたくない
- ・電話するのが難しい
- ・人見知り・やり方が分からない
- ・電話が苦手だから。する時間がないから
- ・身近に思えない。知らない人に話すから気をさらに使いそう
- ・電話越しに素直な気持ちを吐露する事ができるか不安
- ・学校などに連絡がいき、過剰な心配をされたり、大ごとになりたくないから
- ・言ったことがその周辺にいた人にたまたま聞かれたり、書いたことが不特定多数の、どれくらいの人に見られるのかわからないことが怖い。また、何か対応すると言われても自分の思い通りの対応をしてくれないことがありそうなイメージがある
- ・後回しにされた経験があるので

年齢無回答

- ・バレるのがこわいから
- ・自分と問題を抱えてる人々と対峙します
- ・言いづらい
- ・親にばれそう、やり方がわからない

【「したいと思わない」理由】

小学生世代

- ・あまり困ったり悩んだりする事がない（他 29 件）
- ・親に相談できるから（他 24 件）
- ・知らない人に相談するのが嫌（他 18 件）
- ・親や友だちに相談する（他 10 件）
- ・周りに相談できる人がいるから（他 12 件）
- ・友達のほうがわかってくれそうだから（他 8 件）
- ・面倒だから（他 7 件）
- ・自分で解決できるから（他 6 件）
- ・家族にそうだんするから（他 5 件）
- ・他人は信用できない（他 4 件）
- ・そこまで大きな悩みではないと思うから（他 3 件）
- ・他の人に知られないという保証がないから（他 3 件）
- ・親の方が信用できるから（他 2 件）
- ・だれにも話したくない（他 2 件）
- ・言いにくいから（他 2 件）
- ・怖い感じがするから（他 2 件）
- ・お母さんがいるから（他 2 件）
- ・どういうふうに相談すれば良いかわからないから（他 1 件）
- ・自分の事をしらない人に相談してもわからない（他 1 件）
- ・母や友達以外は他の人に言いたくないから（他 1 件）
- ・はずかしい（他 1 件）
- ・しっている人の方が安心してはなせるから（他 1 件）
- ・良くわからないから（他 1 件）
- ・自分の悩みを公にしたくないから
- ・電話が出来ないし 1 人ではその場所に行けないから
- ・おおごとになりそうだから
- ・勇気が出せない
- ・他の事をやっていれば忘れるから
- ・困ってもすぐにすっきりするから
- ・なんとかなるから
- ・どんな人につながるかわからないから
- ・大人に相談できるから
- ・電話しているところを聞かれそう
- ・めいわくだと思う
- ・でんわなどするにきんちょう?のようなものをするから
- ・自分のことを話すのはいいけど、悩みを人に言うのが辛い
- ・いちいち関係ない人に首を突っ込まれたくないから
- ・なるべく自分で解決したい
- ・ほんとに具体的に答えてくれるのかな
- ・学校で配られるけど、手間がかかるから
- ・自分目線だけでしか見れないから
- ・聞いてもあまり変わらない
- ・自分の気持ちを分かってくれるかが心配
- ・話を理解してもらえない気がするから
- ・悩み事をしられたくないから
- ・私は、母や先生一番信頼した友達などに相談しているから。みんな、私にとって良いアドバイスや行動をしてくれているため、今は救済機関に相談しなくても大丈夫な状況だから
- ・本当に誰にも言えないときだけ使うほうがいいと思うのであまりしらないと思いませんでした
- ・友達に相談した方が楽しめ早いし共感を得られるし他の楽しい話題を話せるし、あと、本読んだりアニメ見たり折り紙折ったり絵描いたりしてしてストレス発散した方が楽しいから
- ・基本周りの人たちで解決してるから
- ・家族や、学校の先生などに相談するだけでじゅう分だと思ったから
- ・今の生活にとっても満足しているから
- ・しにくいから・別に電話してまで相談しなくてもいいかなと思ったから

中学生世代

- ・親(家族)がいるから（他 17 件）
- ・身近の人に相談できる人がいるから（他 15 件）
- ・まだ相談することはないから（他 9 件）
- ・めんどくさいから（他 6 件）
- ・表面的なことしか言われず解決できないから（他 5 件）
- ・友達に聞くので（他 5 件）
- ・知らない人に相談しにくい（他 5 件）
- ・相談するほどの悩みはないから（他 4 件）
- ・よくわからないから（他 3 件）
- ・あまり信用できない（他 3 件）
- ・自分のことは自分で解決したいから（他 2 件）
- ・大事になってほしくないから（他 2 件）
- ・別の人に相談するから（他 1 件）
- ・少しこわい（他 1 件）
- ・する必要がないから（他 1 件）
- ・知らない人に相談するよりも身近な人に相談したいから（他 1 件）
- ・本当にそれを聞いて本当に相談にのってくれるのかわからない(やったことがないから)
- ・誰にも話したくないから
- ・話したくないから
- ・ママがいるから
- ・スクールカウンセラーで十分だから
- ・電話するのは嫌だし、時間ない
- ・内申点に傷がつきそうだから
- ・第三者に介入されたくない
- ・知らない人より知っている人に相談した方が安心できるし、経緯などが説明しやすいから
- ・何も変わらなかった
- ・メンタルクリニックに行ってるから
- ・自分の身近な人が 1 番わかってくれると思っているから
- ・なったことがないからあまりわからないけれど誰にも知られたくないから。別に信用していないわけではないけれど自分中からの外にそれを出すという行動自体が嫌に感じらるような気がする。また実際にこのように思っている人は少なからずいるような気がする
- ・人見知りなので話そうと思わないです
- ・相手が疲れると思うから。説明するのが下手だから。相手を困らせるから。神経を使うから。
- ・自分のことを知っている人の方が信頼できるから
- ・知らない人と話すのが不安
- ・根本的な解決ができる保障はない
- ・自分のことをよく知っていないから
- ・相談救済機関以上に信頼している人たちがいるから
- ・あまり身近に感じないから
- ・相談で何かが変わるか疑問
- ・自分のことをあまり話したくない
- ・優しい人だとはわかっているけれど、相手は知らない人だから、言い出すのが怖いのと、共感してくれるかわからない
- ・重要なことだとしても、家族や先生への迷惑や、相談することによっての自分への負担が後々降りかかってくるとわかるから
- ・知らない人に言うのは抵抗があるし、その人は周りの環境を詳しく知らないから
- ・近くにないし、時間もない
- ・知らない人と話すことは緊張する
- ・相談して何か変わるわけでもないし、正しい方に矯正されそうだと思うから

- ・どのような制度なのかいまいちわからないから
- ・ハッとするような素晴らしい解決方法を教えてくれるような優秀な人材ならそんなところで働かないから
- ・意味ないから。早く対応してもらえない
- ・救済機関が必要なほどは悩まないから

高校生世代

- ・周りに相談できる人がたくさんいる！（他6件）
- ・家族で充分に話せるから（他4件）
- ・めんどくさいから（他4件）
- ・相談・救済機関に相談しても解決するのか不安（他2件）
- ・よく知らない人よりも、信頼できる自分の知っている人に相談したほうが安心できるから（他2件）
- ・自分で解決できると思うから（他2件）
- ・知らない人に話をするのが不安（他1件）
- ・家族や友人に話すことができるから（他1件）
- ・自分の心が開ける人に相談したいから
- ・祖母にそうだんできます
- ・誰なのか分からなくてあまり信用しようと思えないから。裏切られるのが怖い
- ・他人より自分のこと知ってる友達とかに相談した方が楽
- ・相談内容をはじめから説明するのが面倒くさいから。（相談するのなら深いところまで把握してもらいたい。）
- ・自分の悩みを全く知らない他人に話したくないという気持ちがあるため
- ・僕の場合は相談所に電話するなら家族など身近な人とするからです。別に電話が嫌いなわけではありません

- ・なんとなくハードル高いどんな些細なことでもいいとかスクールカウンセラーの手紙とかに書いてあるけど、実際に少し想像した時に相談・救済機関に相談するほどのことじゃないって思うから

- ・そこまで大きな悩みはないから
- ・対応に予想がつくから。小学生の時に今の状況なら相談したかもしれないけど、今は自分で判断できる
- ・友達などに話して解決することがほとんどだから
- ・家族、友達、先生で充分だから
- ・怖いから
- ・自分のことをよく理解してくれている人や身近な人の方が相談しやすいアドバイスや励ましも自分が求めているものが返ってくるから
- ・わたしの状況をより詳しく知っている両親に相談したいと思うから
- ・あまりよくなかった
- ・1回電話したことがあるが根本的な解決には至らなかった
- ・普段から通話をしないので、電話相談は苦手
- ・知らない人に自分の中身を知られるのは嫌だ
- ・本当に追い詰められた場合は親に相談する。そもそも知らない人に悩みという自分の心の柔らかいところを晒したくない
- ・大人はゴミだから
- ・電話に効果を感じない

年齢無回答

- ・役に立たなそう
- ・親や先生がいるから
- ・知らない人に相談できないから
- ・ひつようないから
- ・必要な人にさええられているから
- ・親に相談するのが一番気が楽だから
- ・りれきにのこるし、勇気がいる

Q17 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 対面で（直接）相談できる	289	35.3
2 電話で相談できる	210	25.6
3 文章（チャット、SNS など）で相談できる	287	35.0
4 通話料がかからない	197	24.1
5 知っている人に相談する	479	58.5
6 知らない人に相談する	66	8.1
7 その他	27	3.3
無回答	31	3.8

【その他】

- ・学校とかで書く。こぶんでそうだんきょうしつをつくる（10歳）
- ・家族（10歳）
- ・頼できる人に相談する（10歳）
- ・LINE（10歳）
- ・親（10歳）
- ・相談したいと思わない（11歳）
- ・ただただきいてくれるだけ（11歳）
- ・家族以外、友だち以外に相談したいと思わない（11歳）
- ・個人情報がかきかれないところ（11歳）
- ・絶対に人に言わない（11歳）
- ・無料で気軽に行ける（12歳）
- ・すぐに相談できる（12歳）
- ・なし！！（12歳）
- ・家族以外に相談したくない（12歳）
- ・何か、アニメキャラとかが聞いてくれれば（12歳）
- ・だれかに悩み事を見られたり、知られたりしないような安心できる環境で相談したい（12歳）
- ・24時間いつでもやっているところ（日付も関係なし）（13歳）
- ・個人情報の保護が確実で相談に真摯に答えてくれる（13歳）
- ・家族にバレないところ（14歳）
- ・しよと思わない（14歳）
- ・信頼出来る人なら（15歳）
- ・本音を話してよい場所、環境（15歳）
- ・なし（15歳）
- ・必要な情報を入力すればほとんど機関と関わりを持たずに解決できどこかの機関。（15歳）
- ・友達とあそんでいる時（年齢無回答）

Ⅳ 『学校・地域のこと』についてお聞きします。（今までの学校生活や地域での過ごし方について教えてください。）

Q18 学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 聞いている	523	63.9
2 だいたい聞いている	262	32.0
3 ほとんど聞いていない	17	2.1
4 聞いていない	6	0.7
無回答	11	1.3
合計	819	100.0

Q18-1 Q18において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。聞いてもらえなかったことはどんなことが教えてください。

【ほとんど聞いてもらえなかったこと】

- ・生徒に授業をやらせて出ていく先生がいます（11歳）
- ・校外学習などのルール。（でも、子どもがしっかりしていないからだとおもう）（11歳）
- ・すべて（12歳）
- ・授業のときに分からないと言っても、「話を聞いていないだけ」と言われた（12歳）
- ・言ってるのにきいてくれない（12歳）
- ・席がえの回数が他のクラスより少ない（12歳）
- ・クラスの目立っている人の意見だけを聞いている。（合唱コンクールの座席、目標決め（クラスとか））（13歳）
- ・多数決のときとか、多数の人の声は聞くけど、少数派の人の声は聞かない。学校で選挙があったときも、信任選挙で選択しがそれしかないし、委員会決めるときも、勝手に決められた（13歳）
- ・身体がつらいけど、部活、内申書が気になり休みづらいから（学校を）（14歳）
- ・学校で暑さによって登下校時体操着も可能にしたいという生徒の意見を話し合ったが可決されなかった。それなのにいざ本当に暑くなった時先生たちだけでさっさとそれを可能にしようという結論が出された時は結局は先生が決めるのだなというふうに感じてどこか腑に落ちなかった（14歳）
- ・先生の好き嫌いで判断している。小学校の時、先生のお気に入りの子が「あの子が言葉が強い」と言うと、先生は、信じて言われた子をすぐ注意（15歳）
- ・企業見学に行きたいから協力してくれと頼んだら、それは企業にめいわくだと決めつけられ、拒否された。企業が決めることなのだから協力すればいいのに、と思った（15歳）
- ・行事の企画や内容などを生徒が決めると言っていたのに実際は全て先生が決め、私たちはそれに従って動いただけだった（15歳）
- ・クーラーの温度や、服装など、柔軟に対応してくれなかった（16歳）

【聞いてもらえなかったこと】

- ・クラスで遊ぶ時に他の人が遊びたい遊びを言っても全部先生が決めていた（10歳）
- ・友達にされたことなど（13歳）
- ・きいてるかきいてないかしらない（15歳）
- ・川崎市立の学校の先生はお気に入りの生徒の言い分だけを聞いて他の生徒は無視した（15歳）
- ・学校側がほとんど決めている（年齢無回答）
- ・相談、自分の考えること（年齢無回答）

Q19 あなたは、放課後どこですごしていますか。
（すごすことが多い場所3つまで○、その中で一番安心してすごせる場所◎）
【すごすことが多い場所】

	件数	%
1 自宅	785	95.8
2 友だちの家	127	15.5
3 学校（教室・図書室）	136	16.6
4 クラブ・部活動	318	38.8
5 習い事	320	39.1
6 公園	155	18.9
7 公的施設（図書館、こども文化センターなど）	70	8.5
8 民間施設（カラオケ、ゲームセンター・飲食店など）	70	8.5
9 その他	41	5.0
無回答	7	0.9

【その他】

小学生世代

- ・学童（他5件） ・放課後デイ（他3件） ・塾（他3件） ・祖父母の家（他2件） ・校庭
- ・机の下 ・音楽しつ ・マンションの共有スペース
- ・日中一時支援 ・1人でいれるところ ・友達の家の前の道 ・私立なので学校だけ

中学校世代

- ・塾（他4件） ・外 ・放デイ

高校生世代

- ・塾（他1件） ・そふぼの家 ・バイト

年齢無回答

- ・自分の行きたい場所

【その中で一番安心してすごせる場所】

(N値=812)	件数	%
1 自宅	625	77.0
2 友だちの家	19	2.3
3 学校（教室・図書室）	20	2.5
4 クラブ・部活動	35	4.3
5 習い事	21	2.6
6 公園	16	2.0
7 公的施設 （図書館、こども文化センターなど）	9	1.1
8 民間施設 （カラオケ、ゲームセンター・飲食店など）	9	1.1
9 その他	13	1.6
無回答	45	5.5

Q20 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 こども文化センターの活動・ボランティア	146	17.8
2 わくわくプラザの活動・ボランティア	135	16.5
3 寺子屋	100	12.2
4 スポーツ・文化活動	84	10.3
5 子ども会活動（ジュニアリーダーなど）	31	3.8
6 ボーイスカウト・ガールスカウト	14	1.7
7 地域のお祭り（みこし、模擬店の手伝いなど）	184	22.5
8 ボランティア活動（清掃ボランティアなど）	118	14.4
9 その他	27	3.3
10 参加したことがない	366	44.7
無回答	19	2.3

【その他】

- ・農業体けん（10歳）・幼稚園のお手伝い（10歳）・ほいくえんのしょくぎょうたいけん（10歳）
- ・フリーマーケット（10歳）・学童のボランティア（10歳）・中原少年消防団（11歳）
- ・羽つき（11歳）・遊歩道の草むしり、そうじ（11歳）・Y・MCA 保育園のボランティア（11歳）
- ・二ヶ領用水の清掃ボランティア（11歳）・学校での清掃ボランティア（11歳）
- ・保育園のボランティア（12歳）・りょう育センターでの手伝い（12歳）
- ・神社そうじ（13歳）・地域のお神輿や餅つきなど（13歳）・保育園のボランティア（13歳）
- ・社会を明るくする運動（14歳）・地域の交流イベント（15歳）
- ・地域教育委員会の市民館ジャック企画スタッフ（15歳）・マンションのボランティア（15歳）
- ・ゴミ拾い（15歳）・保育園（15歳）・スポーツセンターの水泳（16歳）
- ・川崎大師日曜教苑（16歳）・こども食堂の手伝い（17歳）・バイト（年齢無回答）

Q20-1 Q20において、1～9を選んだ人にお聞きします。地域で何かをしたり、決めたりするとき、おとなは子どもの意見を聞いていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 聞いている	196	45.2
2 だいたい聞いている	174	40.1
3 ほとんど聞いていない	21	4.8
4 聞いていない	10	2.3
無回答	33	7.6
合計	434	100.0

Q20-2 Q20-1において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。地域の活動・ボランティア等でもっと子どもの意見を聞いてほしいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	15	48.4
2 そう思わない	16	51.6
合計	31	100.0

Q21 あなたは、次のような場で、話し合ったり、意見を言ったりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 子ども会議の話し合い	61	7.4
2 子ども夢パーク・こども文化センター・わくわくプラザでの活動やイベントについての話し合い	50	6.1
3 学校教育推進会議、生徒会、児童会の話し合い	78	9.5
4 子ども会の話し合い	23	2.8
5 その他	18	2.2
6 したことがない	578	70.6
無回答	62	7.6

【その他】

- ・学校の委員会やクラブなど（10歳） ・学校の代表委員や委員会など（10歳）
- ・お楽しみ会やじゅ業中に意見を言う（10歳） ・学童で、意見を言った（おまつり行事）（10歳）
- ・学校の授業（10歳） ・学校のクラスの決め事（10歳） ・委員会（11歳）（他2件） ・授業中（11歳）
- ・だいひょういいん（11歳） ・学級会（11歳） ・学校（11歳） ・代表いいん会（12歳）
- ・学校の教室でのことをきめるとき（12歳） ・学校（12歳） ・学校での話し合い（13歳）
- ・クラス内の会議。リーダーになることや意見を積極的にいう系です（13歳）

Q22 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある	646	78.9
2 ない	158	19.3
無回答	15	1.8
合計	819	100.0

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q23 あなたは、自分が好きですか。（○は1つ）

	件数	%
1 好き	286	34.9
2 だいたい好き	343	41.9
3 あまり好きではない	124	15.1
4 好きではない	60	7.3
無回答	6	0.7
合計	819	100.0

Q24 あなたは、自分が親や周りのおとなから大切にされていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	529	64.6
2 だいたいそう思う	252	30.8
3 あまり思わない	24	2.9
4 そう思わない	6	0.7
無回答	8	1.0
合計	819	100.0

Q25 あなたは、自分が友だちにとって大切だと思いますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 そう思う	349	42.6
2 だいたいそう思う	341	41.6
3 あまり思わない	92	11.2
4 そう思わない	26	3.2
無回答	11	1.3
合計	819	100.0

Q26 あなたは、毎日が楽しいですか。（〇は1つ）

	件数	%
1 楽しい	358	43.7
2 だいたい楽しい	365	44.6
3 あまり楽しくない	66	8.1
4 楽しくない	24	2.9
無回答	6	0.7
合計	819	100.0

Q27 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。なんでも自由に書いてください。

小学生世代

- ・差別なし!!（他 23 件）
- ・子どもが意見をもっと言えるようになったら社会に参加しながら成長できると思う（他 22 件）
- ・大人の人が子どもが安心して生きれる社会をつくる（他 18 件）
- ・いじめをしなくだれでも安心してすごせてだれでも仲よくしてくれる（他 14 件）
- ・相手や大人が子どもの意見を尊重する（他 13 件）
- ・自分の意見を聞いてくれる場所を増やし、できるだけ子どもに寄り添った多くの意見を出すことができるようにする（他 12 件）
- ・だれでも、どんな子でも受け入れること。（周りの人が）周りの人が、その子のせいとかや、好きなもの、ことを受け入れること（他 11 件）
- ・毎日楽しくすごすことが大切（他 11 件）
- ・ボランティアなどの活動に参加する（他 11 件）
- ・楽しく勉強することが大切だと思います（他 9 件）
- ・大人が子どもの意見に耳をかたむけることが大切だと思います（他 9 件）
- ・好きなことができるかんきょう（他 7 件）
- ・愛情をこめてあげることだとおもう（他 6 件）
- ・他の人との交流が大切だと思います（他 5 件）
- ・平等な社会（他 5 件）
- ・人々がきずかい合って生きていく世の中（他 5 件）
- ・友達が大切だと思う。友達がいれば活動をしていく時一人じゃない友達がいれば安心して活動ができる自分らしく話したら笑ったり出来るから（他 5 件）
- ・学校などに楽しくいくことが大切だと思う（他 4 件）
- ・たくさんあそぶこと！（他 4 件）
- ・自由に生きる（他 4 件）
- ・犯罪がなく、安心してすごせる街づくり（他 4 件）
- ・子どもが遊ぶ場所が少ないのもっと沢山ほしいです（他 4 件）
- ・みんながたすけあうことが大切だと思う（他 4 件）
- ・コミュニケーション能力が必要だと思う（他 3 件）
- ・多様性をみんながみとめる（他 3 件）
- ・大人からの支え（他 3 件）
- ・安心できる家てい（他 3 件）
- ・しょうがいとかかんけいなく過ごすことが大切だと思います（他 3 件）
- ・いろいろな事にチャレンジできる環境をつくっていくこと（他 2 件）

- ・仕事体験などの体験をふやす（他2件）
- ・友達と楽しくすごすこと☆彡（他2件）
- ・強制させない（他1件）
- ・ひつような(個人にあわせた)しえんやりかいが大切だともう（他1件）
- ・まわりのかんきょうから変える（他1件）
- ・親とかが暴力をふらないで子どもを大切にする（他1件）
- ・私はあいさつがすきなので、ちいきの人やゴミ出しで会った人に「おはようございます」「こんにちは」とあいさつすることが大切だともう（他1件）
- ・道徳をもっとたくさん学ぶべきだと思う（他1件）
- ・大人が小人の手本となること（他1件）
- ・仲間と協力し、助け合う（他1件）
- ・大人が協力する（他1件）
- ・色々な選択しをあたえる（他1件）
- ・いろんなことを教えてくれる人が一緒にいてほしいです（他1件）
- ・皆が間違いあって笑えるような社会にしたいです（他1件）
- ・自分の好きなこと、ものが一緒に人を探せばいいと思う。アンケートなどで好きなものを答え、同じ好きなものがあるひと(子ども)と、実際にあってみたり、リモートなどで会話できればいいと思う。様々な人との関係を築けて、社会性にも繋がると思う（他1件）
- ・子どもが参加しやすいボランティアかつどうをつくったり話し合いをする。また、子どものいけんをとりいれる
- ・金によるうがある
- ・やりたいことをおもいっきりして楽しんで大好きな学校生活をおくること
- ・子供が自分の足で歩いていけて安心して過ごせる場所をつくること
- ・「川崎子どもの権利に関する条例」を大切にしていこうことだと思う
- ・意見を否定しない
- ・こどものことをしっかり分かってくれる大人
- ・ルールを守り、みんなの意見をきき合っていくのが大切だと思います
- ・支え会える人がいることが大切だと思います
- ・自分で決める手伝いをしてくれる人
- ・つねにイベント情報を確にんして自分のためになるようなイベントがあったら親に「このイベントに参加したい」とていあんしてみることが大切だと思う
- ・生きるかんきょう食べれるかんきょう
- ・1人1人を大切にしてい意見聞きあい、多数決ではなく、いいところをとりあうような個性を大切にする
- ・自分だけのスペース
- ・家族でりょ行にいったりする
- ・教育レベルの向上
- ・友だちといっしょにお仕事ごつことか社会にかんけいあるものをあそびながらまなぶ
- ・大師河原の干潟館のような施設がもっとあってほしい。いつまでもあってほしい
- ・自分の意見に折り合いをつけるのも大切かと思う
- ・自主性が大切
- ・人としっかりわかりあい話し合うことが大切だと思った。友達も家族も先生でも嫌なことがあったら言って、感謝はしっかり伝えてなどの、コミュニケーションが大切だと思う。自分のことは自分しかわからないのだから、言えることは言える限りでいいから伝えていくことが自分の安心であって、安全であると思う
- ・子供の性格がもっとフレンドリーになるよう教育していく
- ・一人ひとりの子どもへの配りよ
- ・周りの人が子ども達に意見を求めたり、自主性とかを大切にしたらいいと思う。ただ教えるだけ、はあまり良くないと思う
- ・自分のことを話せる(正直になんでも)人がいることが大切だと思う
- ・教室にいけない人のための教室をどの学校にもつくってほしい。私の学校の別室では給食が食べられないので出してほしい
- ・子ども1人1人の意見を定期的に聞いて改善していくこと
- ・先生とかが、一人一人の意見をしっかりきくこと
- ・見た目をが良かったらいいと思う。大人は第一印象が大事だし、私ももし最初に友達を作るならかわいい人を選ぶし、モテてる人は全員可愛いから
- ・どんなことでも受け止めてくれる人
- ・外国に金をくばる前にまず国民に金をばらまいてくれるすばらしい政治家がいることが大切だと思います
- ・安心とかはめっちゃめっちゃしてるんで大丈夫です。ジャンプ SHOP ほしいです!
- ・もくひょうをあきらめない
- ・みんなちがってみんないいを大切にすれば、良い成長が得られると思う

- ・まともに生きる
- ・けいご
- ・話すのが苦手な人や、いやな人をないがしろにせず意思を尊重して、優しく接してあげること
- ・はげまし合い
- ・犯罪を犯さない
- ・先生が学校のわるぐちやぼうげんをはいてくるのがいや
- ・子どものいけんもききながらときにはおこる
- ・遊びながら学ぶ
- ・道が安全
- ・小さなことでもほめて、どんどんできるが増えるので、一人一人を大切にしてほしいです
- ・主体せいを持って、文句があるときは、どんな立場の人でもはっきりということ
- ・けんこうによく運動をする
- ・自分の周りの人たちも、幸せで仲良く出来る世の中であることが大切
- ・大人と子供平等に!!話し合う!!
- ・私は普通の生活の中で自他共に認められるようになるのがとても大切だと思います
- ・子どものいけんもききながらときにはおこる
- ・学校の先生が児童同士の関係をしっかり知っている事
- ・差別されずにみんなが自分の意見や体などを大切にしてくれること。困ったときに相談する場所があること
- ・学校の授業などでなるべく話し合いや授業で共有をし、コミュニケーション力を高めたほうがいいと思う。理由は共有や話し合いをすることにより社会へ行ってもすぐ話せていい仲良しができると思うし、プレゼンの時なども自分の考えを示すことなどに伝えられるから
- ・学校の活動にさんかする
- ・みんながみんなのいけんをきく
- ・学校でのむりやりの教育をやめさせること
- ・家族のみんなが1人も欠けることなく成人すること
- ・家族に聞いてもらえる環境やってみたいことに挑戦する
- ・一人一人が公平に生きれるような生活にする
- ・何でも、自分を信じること、自分の個性を生み出していくこと、分からないことがあったら、だれかに助けを求めることが大切だと思います
- ・大人による障害者への知識協力(社会)
- ・まずは、相手への理解をすることが大切だと思っています。私は子供ですが、少し変わった子がいると、何か複雑な考えになる事があります。なので、相手の事をよく知る事は大切だと思います
- ・ほどほどに自己主張をすること
- ・どんな人もしんらいされ大切にされること
- ・話し合う機会をつくる
- ・さべつをうけないあい情をもらって金にもようがある十分なきょういくをうける
- ・さすがに法律違反ややばい事をしちゃいけないけど、ルールという決まりの中で自分らしく成長していける環境が大切だと思う。周りが悪いと自分も悪い方向に流されてしまうかもしれないから
- ・インターネットで、悪いことを吸収するか良いことを吸収するかわからないけど、インターネットを自由に試してみる。今まで開けなかったページを開くことで良くないことを知るかもしれないけど、それもおとなになっていくまでの知識として考えて、地域のお祭や、此处で何かをやっているなど、知らなかったことを知れると思った
- ・あなたの真価をわかっているのは私しかいないという幸せな誤解を招くこと
- ・心があたたかい大人が増えるといいと思う
- ・1人1人の個性を生かすこと。他の人たちと協力すること
- ・家族
- ・大人と子供がわかりあって生活していける社会
- ・周りに大切な人がいる
- ・学校のむしょうか!!! (3人以上とかなしで)
- ・歩きタバコ禁止条例!!!
- ・イベントを企画する
- ・もやもやした気持ちになるべくならないようにすること
- ・みんなの意見をきき合っていくのが大切
- ・親がほめたり、子どもの意見をちゃんと聞いてそのことに熱心に考えたりすればいいと思う。(しかるのも大切)
- ・1人でも生活ができる能力をつける学校教育が大切
- ・なんでも受けいれたりそんちょうする気持ち
- ・たくさんの本当の愛や自分をうけいれてもらえるところ、色んな人からの信用
- ・みんながその人を支えて、意見を言わせてあげる。すなおにいろいろ言う

- ・経験や褒められること
- ・X(旧 Twiteer)をなくす→悪口やアンチばかりだから
- ・基礎基本をしっかりと身に付ける
- ・一人でも心配があるときに行くこ文みたいななのをつくる
- ・川崎市がもっとサポートする
- ・外でこまっていたり不安があるときにそうだんでんわをいろんなところにつくる
- ・学校でのじゅぎょう
- ・一人一人の子どものこせいを大切にし、たくましく育て、楽しいときはおたがいに笑い合い、つらくて苦しいときにはよりそい合い、おこられればおこられるほど成長する。それが分からない大人はたよりにはならない
- ・文化センターでゲームの会とか開いたりしたらいいと思う
- ・健康に教育を受ける
- ・古い考え方をなくす
- ・差別されずにありのままの自分で、好きな物を見つれたり好きな人ができて、それを笑ったり、悪口を言わずに、あたたかく見てあげればいい。生きる意味をしりその意味どうり生きていけばいい。だれか1人が自分のことを愛してくれる
- ・子供、大人もみんなで話し合う
- ・思ったことをすなおに親に言う
- ・子どもがやりたいことはとめないでほしい。子どもは個性ゆたかだからその子がやられたり、いわれたらいやなことはやめて、してもらったらしいことはできるはんいでいいからやってほしい
- ・ばきんをしたりする
- ・子どもが自分で将来を選択する事ができて、大人に決めつけられない
- ・周りの人の見守り
- ・子どもに住む場所・食物・服を与え、愛情をこめてあげることだとおもう
- ・ほかの人の意見を聞くこと
- ・幸せな日々を送ること。元気いっぱいであること
- ・自分のことを尊重したり、大切だと思ったりすること
- ・自分から SOS を出せるようにする。もう少し市から支えんを入れた方がいいと思う。安心していれるようにすること
- ・周りの人、大人が安心できることから始めることでこちらも少し安心できると思う
- ・自分の事を思い、やすみたいときは、やすんで、うごけるときでいいからっていうこと、とかを、大事にしていきたい
- ・自分らしさを表現出来ることちゃんと人の好きも理解すること
- ・社会の仕組みの理解

中学生世代

- ・一人一人の意見を大切にすること（他 20 件）
- ・一人一人の個性を大切にすること（他 15 件）
- ・意見の言いやすい環境作り（他 12 件）
- ・まわりの助けが必要だと思う（他 12 件）
- ・子ども、大人関係なく1人1人が安心して暮らせる町づくりを心がけるべきだと思う（他 11 件）
- ・差別をしないこと（他 10 件）
- ・大人も子ども意見が遠くとも理解しあい尊重していくこと（他 10 件）
- ・自分の考えていることを発信する力（他 8 件）
- ・自分らしく堂々と生きていったらいいと思います（他 7 件）
- ・自由にやりたいことができること（他 7 件）
- ・自由が大切（他 6 件）
- ・社会に参加する機会をつくる（他 6 件）
- ・自分のことを好きになって自分のことを認めること（他 5 件）
- ・子供の意見を聞くこと。聞くふりじゃなくて聞いてくれるなら話したいと思う（他 5 件）
- ・自分のことを自分で決められること（他 4 件）
- ・コミュニケーションをとって交流を深めていくことが大切だと思う（他 4 件）
- ・無償の愛が大切（他 4 件）
- ・困った時に周りに相談できること（他 4 件）
- ・いじめをなくす（他 3 件）
- ・好きなことをする時間が十分に確保されている（他 3 件）
- ・理解してくれる大人が必要（他 2 件）
- ・子どもが過ごしやすい環境をととのえる（他 2 件）
- ・様々な価値観に触れることが大切だと思う（他 2 件）

- ・大人との関わり地域の人との関わり（他 2 件）
- ・勉強すること（他 2 件）
- ・過保護過干渉にならないこと（他 2 件）
- ・しっかりと自分の意見を持つ（他 2 件）
- ・スポーツ（他 1 件）
- ・親や先生の教育が大切だと思った（他 1 件）
- ・いっぱい友達と遊ばせてあげる（他 1 件）
- ・川崎市子どもの権利に関する条例を守ること（他 1 件）
- ・良く補助金とか聞くけどやっぱ一時的な物になってしまうから、子育てに重点的な支援を送ることが大切だと思います（他 1 件）
- ・人間関係（他 1 件）
- ・小学生や中学生が思っていることを直接川崎市議会などに伝えられる（スマホでも答えられる）場所を作ってほしい（他 1 件）
- ・自分自身の意見が反映される（他 1 件）
- ・色々な人の居場所を増やすために、もっと簡単に参加できる活動を増やしたり、それをもっと盛り上げていく必要があると思います（他 1 件）
- ・大人が、意見をおしつけず、子供の意見をよくきき、尊重してくれること（他 1 件）
- ・お金
- ・休める場所、おちつく場所
- ・大人が協力しないといけないと思う
- ・ルールを守る
- ・子供のことを尊重できる場所を作って意見を聞き、大人が行動する
- ・安心できる環境をととのえる
- ・いじめとか教室学校内での差別みたいなのをなくすべき。このせいで自信を無くしている人がいっぱいいると思うので、1人1人が自分に自信をもてるような学校作りをするべきだと思う
- ・進路について考えてることを聞いてくれること
- ・一人一人の意見を尊重して自分が決められる立場などを作ったり、みんなと一緒に頑張れるような場所や状況を作ることだと思います
- ・自分の都合や「心配」という理由で子どもの行動を制限しない親
- ・できる限り自分の行動や考えが尊重されて、周りの人と比べられないことが大切だと思います。その理由は、自分自身に関することを否定されると、その先の自分の行動に自信が持たなくなって消極的になってしまうからです。もしそうになると、自分らしく生きたいと思っても、周りに意見を合わせてしまったり成長するための日々の生活や勉強、部活動などにも自信が持たず、参加したいと思えなくなってしまう
- ・子供にも権利があることを理解し、もっと自分の意見や気持ちをまわりに伝えることができれば良いと思う。また、それをまわりの大人や友達が受け入れ、尊重することが大切だと思う
- ・友達や家族を大切にする
- ・圧をかけないこと
- ・個性をはっきりすることが大切！
- ・参政権の年齢の引き下げる
- ・信頼出来る大人と関わりながら職場体験など将来のことを学ぶ
- ・より楽しい社会にしていこうとする
- ・いじめなどを先生に相談してちゃんと対応してくれる
- ・安全安心な環境の中で個性を尊重し、積極的にボランティアなどに参加し、失敗して学ぶ事が大切だと思う。
- ・大人がどうにかすべきト一横とかそれこそ川崎とか治安悪いところをどうにかして欲しい、目を逸らさず治安は改善してほしい、それこそ子供の安心して生きる権利のために
- ・生きてたらなんとかなる
- ・子どもでも大人と一緒に体験できる場所やイベントがあることそこに体験する事が大切（他 7 件）
- ・子どもの意見を否定せずにきいてくれる大人がまわりにたくさんいることが大切だと思う（他 6 件）
- ・みんなが同じ方向に進んで生きていくことが大切だと思う
- ・平等な世の中
- ・一人一人の意見を尊重して自分が決められる立場などを作ったり、みんなと一緒に頑張れるような場所や状況を作ることだと思います
- ・学校に楽しく行く
- ・道徳
- ・なやみや不安があるときに、すぐによりそえるいばしょがあることが大切だと思う
- ・自分が楽しむこと
- ・子どもを傷つける、自由をうばう大人の排除
- ・子供がどんどんしてほしいことを国に言うべき

- ・ 勇気
- ・ 警察や相談機関がちゃんとすること。（虐待の通報を無視したりしない）信頼できて頭の良い人が国を取り締まること
- ・ 友達や先輩、先生などとのコミュニケーションや接し方
- ・ 気持ち
- ・ 学校など、社会のことなどを含む様々なことを学べる場と、安心できる場(家など)が行き来できることが大切だと思う
- ・ 何かを提案する時に子供にとってマイナスに提案して欲しくないです
- ・ ポジティブに生きる
- ・ 海外のように学歴社会じゃなくすることが大切だと思う
- ・ このアンケートの結果が実際に活用されること
- ・ 川崎市のみならず日本全ての自治体がこういうことをもっと積極的に促進しないと社会に出たとき困惑すると思います。僕は今までこういう面でかなり恵まれてきた方だと思いますが、まだ理不尽な扱いをうけていることをよく聞きます。このような制度の認知度を上げるのが一番かと
- ・ 街が綺麗に保たれていること
- ・ 子どもが安心して成長していくために、おとながしっかり子どものめんどろを見ること
- ・ 啓蒙思想の強制
- ・ 子供がみんな平等にくらせる社会を作っていく必要があると思う
- ・ 生きてても良いと思えるような環境
- ・ 子供の頃に沢山の愛情を注がれることだと思う。人に触れ、人に対して信頼関係や繋がりを感じられた人は社会で成長していく中での人間関係を築きやすから
- ・ 全体的に見てやっぱり大人と同じくらいの立場に立ってもいいのではないかと思います。危ないとかそういうのはしょうがないけれど、みんなが同じ足踏みになる公平ではなくみんな同等のステップがある平等が大切
- ・ 将来の仕事とかやりたいことを見つけれたり相談できる機会が学校とかでほしい
- ・ 差別や暴力がないこと
- ・ 自分自身や友達の良いところについて考える時間を設けること
- ・ 高等学校、大学の学費を無料にする
- ・ いっそのことアメリカが大学進学などでボランティア活動などを重視するように、それに習ってみたらボランティアなどの活動は活発になるからそうしたら社会に参加しながら清張していくことができるんじゃないかと思う。けど、どうしても義務的になってしまうんじゃないかと思う
- ・ 大人がもっと子供のことを思いやる！！
- ・ イベントなどで社会にふれる機会をふやしたりイベントなどで自由参加だと行かなかったりするから半強制にする
- ・ 物事に疑問をもって視野を広く持つ
- ・ ほとんどが高齢者優先で、結局子供は蔑ろにされているため、そこをどうにかしてほしい
- ・ 助け合いをする
- ・ もっと社会に出る為の選択肢を知りたいです。自分が何をしたいのかが分からなくなるので、色々な選択肢の中から、やってみたい事などを探したい
- ・ 大人に何も言われないで子供らしく生きれる環境
- ・ 自立する
- ・ 見えない不安や話せないような悩み事等を1つでも無くすために、このような匿名のアンケートを11才以上ではなく、もう少し簡単なものにして、7才から答えられるようなものにしていけば良いと思う
- ・ 良い人間関係を築くいろんなものに興味を持つ考えたことは行動におこす
- ・ 友達や仲間を作ること!!
- ・ 不審者に対する対応をもっと厳しくそして早くする必要があるとおもう
- ・ 親からの愛情と常識を学べる場所
- ・ 必要なことは大人が話してあげる。それを僕たちが身につけていって社会に貢献できるようにすること。とはいえ心に傷が増えるような環境をなくすことも大切
- ・ 自分の周りの環境。とくに親の態度と学校の雰囲気
- ・ 相談したりして子どものことを知って理解してあげることも大事だけど、もうすでに自分たちのことを理解してくれていて助けてあげる存在があってそれを子どもたちもわかっていることが大切だと思います
- ・ 色々な体験をしていきそれらを体験していき経験を積んでいく
- ・ 周りを信じること
- ・ 周りの大人が子供の成長を見守り、間違えていたらきちんと叱ってあげる社会。また、困っていたら教えてあげる社会
- ・ 社会の一員だと感じられる社会であること
- ・ 成績で態度を変えない親

- ・自分の好きなこと、得意なこと、何をするのが1番楽しくて、何をする则自分もみんなも幸せなのか、それを知ることと考えることが子供には必要であって、大切であると思ひます
- ・誰もが持続可能な教育環境
- ・自分の意見を市や自治体などにとくめで直接意見をいえる場をもうける。（アンケート的な感じで）
- ・子供の意見を聞く場所を設ける。すでにある場合はそう言う場所がありどのようにすれば聞いてもらえるかを知ってもらう
- ・子どものうちにチムスポーツ系やボランティア、話し合いごとに参加させる
- ・子供が大人へと成長するにあたり自主性というのは大事なものであると思うので、学校に置いても校則を合理的なものにしたり、文化祭や体育祭をより生徒主体のものにして行くことが大事だと考える。また市として取り組むのは難しいかもしれないが電車通学をするものとして子供に対して怒鳴ったり舌打ちしたりする人があるのを、目撃したりされたりする。そのようなものは子供を不安に陥らせるものであると思う
- ・子どもの意見を大切にしながら大人も子どもと一緒に立場で考えていくことが大切だと思う。子どもも勿論、見守っていく大人の権利も大切だと思う
- ・子どもが中心となった地域の交流などの、活発さが大切だと思います
- ・大人からの愛情と理解が不可欠です。親や教師、地域の大人が子どもを見守り、応援し、失敗しても叱責するのではなく、学びの機会として共に考えることが大事だと思います。子どもが自分らしさを発揮できるようにするためには、ある程度自由が必要です。しかし、自由には責任も伴います。自由に行動する中で、他者や社会のルールを学び、守ることも同時に必要です。子どもは様々な活動を通じて成長します。遊び、学び、スポーツや文化的な活動など、広範な体験が子どもの世界観を広げ、創造力や問題解決能力を養います。子どもは自分の考えや感情を表現することで、自分自身を理解し、他者と関わる力を高めます。芸術や言葉、スポーツなど、表現のためのさまざまな機会を与えることが大切です。また、その表現が尊重されることで、自己肯定感や自信が育ちます
- ・子どもが社会に参加しやすくもそうですが、子ども自身も、社会のことや川崎市について考えるきっかけがどこかでつくられると、より子どもたちの望んでいること、がわかるんじゃないかなと感じました

高校生世代

- ・ちょっとしたことでも悩んでいる子が今よりも気軽に相談できるような機関（他5件）
- ・子どもが積極的に発言できる場所を設けること（他5件）
- ・社交性を高め、自分の意見を発信していけるよう、地域内での交流の場が必要であるとする（他4件）
- ・子どもたちの考えが尊重されるようにする（他4件）
- ・ルールを守りながら、自分がしたい事をしていたい時にできること（他4件）
- ・環境を整える（他3件）
- ・職場体験など、子どもが将来の夢を広げられるような活動を積極的行うことが大切だと思います（他2件）
- ・もっと大人が子供の意見を聞くことが大切（他2件）
- ・子供の話をひいてほしい場所（他2件）
- ・子どもが安心して過ごせる場所を作ること（他1件）
- ・遊ぶ場所を増やすこと（キャッチボールなどボールを使って遊べる公園が少ないような気がする）（他1件）
- ・個性の尊重（他1件）
- ・思いやりが大切だと思います（他1件）
- ・社会のことについて子供が関心を持つこと（他1件）
- ・おとながそばで見守りながら子どものすることを応援し、のびのびと成長できる環境を作ること（他1件）
- ・支え合うこと（他1件）
- ・子どもたちによりそうことが大切だと思う（他1件）
- ・社会制度・学校制度などを整えて、今の時代に合わせた制度をとるべきだと思う（他1件）
- ・保護者が何でもかんでも制限しない（他1件）
- ・おとながそばで見守りながら子どものすることを応援し、のびのびと成長できる環境を作ること。子どもにとって社会に参加することをもっと気楽に捉えられるような機会や場を作っていくこと
- ・義務教育
- ・差別やいじめがないこと
- ・いろいろな人と関わって愛情をもらって、自由にのびのびと生活することができる。自分のしたいことができ笑顔で暮らせること
- ・企業体験などを活発に行うことや、政治に触れる機会を多くすること
- ・ボランティアを通しての学び
- ・自己決定
- ・いろいろな人と関わって愛情をもらって、自由にのびのびと生活することができる。自分のしたいことができ笑顔で暮らせること
- ・お金がなくても学べるところ(高校、大学)
- ・なんでも親や教師が制限しない

- ・おとながそばで見守りながら子どものすることを応援し、のびのびと成長できる環境を作ること。子どもにとって社会に参加することをもっと気楽に捉えられるような機会や場を作っていくこと
- ・自然が豊かな場所
- ・安心して過ごす家庭や高い教育を受ける場所があることが大切だと思います
- ・責任を持つこと
- ・子供が”社会”を身近に感じて親しみやすいものであると感じさせることが大切
- ・寄付金
- ・基本的には子供を自由に生活させて間違った行動をするようなことがあれば、大人が正しい道へと導いていくことが大切だと思う
- ・大人も楽しくいること
- ・機関が色んな言語ができて、本当にみんなを保れてカバーして安心感を与えてくれることです。僕自身も今ジムなどに行って自分強くしています。やっぱり自分がもう傷できて他人をそうさせたくなくて助ける人になりたい
- ・気軽に心の奥底から話せる人がいるとメンタルが安定できてよいと思う。誰かに責められるのではないか、裏切られるのではないかと不安になってしまい、がちなので人間不信になりそう
- ・憲法などで「子供の安全を守る」というようなことが書かれていても、実際は実現できていない部分があるのを知ってるので、その部分を変えられたらいいと思います
- ・周りとの関わりがしやすい
- ・子どもが安心してすごせる場所をもっと増やす。一人でも虐待などをうけている子を減らす。問題にいち早く気づくことが大切
- ・子どもたちがそれぞれの得意なことを伸ばせるような環境、得意なことが分からない子はそれを見つけれられる環境、他には頑張っている子、頑張ろうとしている子供の背中を押してあげられるような環境をつくる
- ・子どもたちがそれに関する国及び自治体等の施策をしっかりと知ること
- ・子どもに不安を感じさせない
- ・子供が困った時や悩んだ時は話し合う時間を作って、話し合うようにしてます
- ・子供が心置きなく話せる相手が家族であろうが学校内であろうが必要である。楽しいことも悲しいことも一人で抱え込むことは子供にとってとても大きなストレスになるし社会でのチームワークなど求められる能力が鍛えられないだろう
- ・子どもの好きや得意はていつの間にのびてあげること
- ・治安改善いじめ防止対策強化子供治安対策
- ・失敗して生きづらくなってもいつでもやり直せる場所が必要
- ・社会規範の中で何か色々な事を挑戦、経験したり、色々な考えを学ぶ
- ・周りとの関係を築く
- ・周りの大人に見守られながら段階的に自立していくこと
- ・色々な人(年齢や性別が違う)と沢山会話して幅広い考えを持つこと
- ・学校以外で活動する場所をつくること
- ・親や先生に理解をしてもらうこと。教育方針が一貫していること。(親と先生の間で違いがあったら親が助けてくれる等)
- ・多様性を受け入れられるような環境づくり
- ・大人が子供の考えを肯定しながらも、アドバイスを言ってより豊かな考えにしてくれること
- ・大人が自分が偉いと思って子供の言うことを聞かずに自分の意見を押し倒すことがないようにすること
- ・大人に自分の意見をはっきり言え、それを認めてくれるような社会。子どもだからあてにならないと思わず、しっかり耳を傾けてほしい
- ・全員が教育を受けられること
- ・大人に大切に思われ、見守られながらも、自分で考え行動していくことが大切だと思います
- ・大人共を再教育すること。責任の重さを今一度理解してもらうこと。大人が子どもを甘く見ないこと
- ・悩みもがき苦しみ、その中で自己をどうやって出していくのが大切
- ・こどもを守ることはもちろん大切なんだけど過保護になりすぎないというか地域が見守るだけみたいな感覚で情報は沢山渡して好奇心を育てることが大切
- ・たくさん食べて、たくさん寝て、たくさん遊んで、お話しすることが大切だと思います
- ・もう少し精神障がいについて、へんげんなく学んだ方がいいと思う。スクールカウンセラーがかいぜんされた方がよい←訪問看護のような対応をしてほしい
- ・子供から大人まで使える公共施設の充実さ、ボランティアの募集・成果報告
- ・児童養護施設の生活の細かいところまではあくしてほしい。生活を変えてほしい
- ・母子家庭や父子家庭の生活保護を取りやすくしたり高校の授業料無償化の年収制限を撤廃するなどの社会保障の充実
- ・毒親を排除する。クソみたいな教員もすぐに排除する
- ・社会への参加は友達が鍵になると思うので、友達が欲しいけど作れない子がいたらなんとかしてあげてほしい。寺子屋のような、友達が增えるきっかけとなるような施設はすごくいいと思うのでもっと増やしてほしい

- ・おとながまず率先して子供に話を聞くことそれに対処していくこと

年齢無回答

- ・いじめをなくす事が大切だと思う。いじめられた側はじしんをなくしてしまうから（他2件）
- ・意見や考えを聞いてくれることが大切。→聞いた上でダメなら納得できる（ダメな理由に納得すれば）（他2件）
- ・けじめをつける、ルール、マナーを守る、時間に気をつける
- ・ちゃんと学校で教育する
- ・家族も家族みんなにたいしてやさしく、色々な人にもやさしくする
- ・自分のへやが欲しい
- ・いじめをなくす事が大切だと思う。いじめられた側はじしんをなくしてしまうから
- ・ちゃんと聞くこと
- ・いろいろなことを学校の行事として体験させ、社会のことをいろいろと知ってもらう
- ・自由にのびのび
- ・りふじんなことでおこるのではなく本当に必のような時にしかるほうが子どもにはひびくとおもう
- ・安心安全な環境づくりは大前提として自己表現をする機会や失敗を糧にする力が必要だと思う
- ・家族からの受とサポート、尊敬と学習の機会
- ・子どもだけで何かをやりとげたり、協力することはむずかしいと思うので、しっかり見守ってくれる大人や社会が大切だと思う ・自分の意見をいろんな人や大人におそれることなく発信していくこと
- ・努力をする。勉強をたくさんする。人とコミュニケーション
- ・日本にもっと希望がもてるようになればいいと思う。とくに最近は暗いニュースが多く未来に希望をもてる要素が少なすぎる

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

Q28 あなたの令和6（2024）年4月2日時点での年齢をおしえてください。

	件数	%
10 歳	135	16.5
11 歳	173	21.1
12 歳	105	12.8
13 歳	91	11.1
14 歳	78	9.5
15 歳	104	12.7
16 歳	92	11.2
17 歳	22	2.7
無回答	19	2.3
合計	819	100.0

Q29 あなたの性別を教えてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 男性	382	46.6
2 女性	418	51.0
3 選べない・答えたくない	19	2.3
合計	819	100.0

Q30 あなたの住んでいるところをおしえてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 川崎区	131	16.0
2 幸区	92	11.2
3 中原区	146	17.8
4 高津区	120	14.7
5 宮前区	138	16.8
6 多摩区	97	11.8
7 麻生区	94	11.5
無回答	1	0.1
合計	819	100.0

Q31 あなたは、川崎市に住んで、どのくらいになりますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 1年未満	27	3.3
2 1年以上5年未満	36	4.4
3 5年以上10年未満	92	11.2
4 10年以上	660	80.6
無回答	4	0.5
合計	819	100.0

Q32 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 父	747	91.2
2 母	808	98.7
3 祖父	42	5.1
4 祖母	69	8.4
5 兄弟姉妹	630	76.9
6 おじ	3	0.4
7 おば	7	0.9
8 その他	27	3.3
（無回答=4）		

Q33 あなたは平日（月曜日から金曜日まで）の昼間におもに何をしていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 学校ですごしている	762	93.0
2 学校以外のところでは	55	6.7
3 働いている	2	0.2
合計	819	100.0

2 単純集計表（おとな）

I 平成 12（2000）年 12 月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きます。

Q 1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は 1 つ）

	件数	%
1 名前も内容も知っている	26	6.6
2 名前だけ知っている	105	26.5
3 知らない	258	65.2
無回答	7	1.8
合計	396	100.0

Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 学校の授業（授業参観含む）	13	9.8
2 学校の授業以外での話	5	3.8
3 学校で配布されたもの	52	39.4
4 学校の掲示物	10	7.6
5 市ホームページ （こどもページを含む）	20	15.2
6 市政だより	68	51.5
7 図書館の掲示	11	8.3
8 イベント	8	6.1
9 その他	4	3.0
（無回答=2、N=132）		

【その他】

- ・保育園看護師として働いている時に
- ・親から聞いた
- ・そういうものがあるとなんとなく知っているだけ
- ・里親研修
- ・職場
- ・不登校のサポート団体の配布物

Q 3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を 1 つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	228	57.6
2 ありのままの自分でいる権利	33	8.3
3 自分を守り、守られる権利	60	15.2
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	15	3.8
5 自分で決める権利	24	6.1
6 参加する権利	6	1.5
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	18	4.5
無回答	12	3.0
合計	396	100.0

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・安心して生きることが全ての基本だと思うから（他 40 件）
- ・安全安心に生活できることが命を守る最低条件だと思うから（他 40 件）
- ・2～7 の権利は、1 安心して生きる権利が成立しなければ、成り立たないと思うから（他 25 件）
- ・愛情を受けて育つとまわりの人にも愛情を与える事ができるから（他 15 件）
- ・生きていくことが大事だから（他 12 件）
- ・差別を受けずに安心して暮らせることが一番大切だと思うため（他 5 件）
- ・最低限必要（他 4 件）
- ・権利として、当然保証されるべき事だと思うから（他 3 件）

- ・安全が最も重要と思われたため（他2件）
- ・子供は未来の希望です（他1件）
- ・命に関わるところかと思います（他1件）
- ・命にかかわること
- ・子ども達は、色々な人に守られながら、成長していくべきだと思うから
- ・子どもは1人で生きていけないから
- ・生まれた所、家族などに左右されず、安心して生活できることが大切
- ・まずは安心が保障されるべき
- ・憲法の考え方が示されている
- ・2〜3を受けるためにも1があることが大前提だから
- ・生まれながらにして子供にある権利だから
- ・その子どものまわりの環境・場所・大人・友だち全てに安心できる状況で育ってほしいと思うから
- ・みんな平等に分けへだてなく育ってほしい
- ・子供は自分で自分を守れないので！
- ・安心があってこそ、様々な感性や教養を身につけられるから
- ・生活が基バンだと思うので
- ・一瞬3と思ったが、まだ意見を持ったり、相談を自らすることのできない年齢の子どももいるので、1がもうらできていて大切だった
- ・どんな環境に生まれても愛されて生きることが必要だから
- ・人権の保証
- ・当たり前のことと思うが、現実にはそうでない環境で過ごす子どももいると思うから
- ・ここからはじまる
- ・子どもという社会的権力を得ない子たちが、親は勿論、周囲の人からも安心、安全に育ててもらうことが大切
- ・子どもたちがネグレクトや身体的、精神的虐待などにあわぬように生きられることはとても大切なことだと思う
- ・小さい時から身近にいて、それが普通だと思うような生活をさせる。それには大人の努力が大切である
- ・1番があって、子供は、大人になると思います
- ・他の項目よりも生命に関わるものに思えるから
- ・今の世の中では、川崎市に限らず、心から安心できる場所が少なくなった気がします。子供達には、子供らしい無邪気さで安心して探して欲しい
- ・すべての子どもたちが、幸せだとおもえる社会になって欲しい。心の財産だと思う
- ・どれも「権利」というのはなんとなく疑問に思うけど、権利というなら他のは自分次第などところがあるが安心安全は子供だけではどうにもならないから大人がなんとかしてよ、という意味で権利かな
- ・56歳のオヤジです。公立中学生時代は校内暴力、イジメが蔓延っていました。自分は特にイジメにはあっていませんが、教師は見ても見ぬふりさえしていました
- ・安心できる心を持ってないと、何も前に行動もやる気も伴えないから
- ・自立、独り立ちするまでは、安全に暮らせることが1番だと思う
- ・値上げのニュースばかりで「うち大丈夫？」と言われてしまった。不安な情報で心配させたくないが、高学年ともなると察する力がすごいので「今だけでしょ」と紛らわしている
- ・精神的な安定は絶対必要だと思う
- ・親の都合や団体生活の中で辛い思いをしている子供たちを守りたい
- ・自由の中で大切な物だから
- ・どの人格も否定されることなく受け入れ理解される場所（環境）があるべきだと思う。家庭環境に関係なく、差別を受けず、1人ひとりを尊重できる場所があることで、愛情を感じ子どもを大きく成長させ、1人ひとりの力が発揮されると考える
- ・どこに行っても安全に学べて遊べる地域と権利が必要
- ・発達障害の子を育てていると、差別される事からはどうしても避けて生活できない。まずは大人が、自分らは違うからと思わず理解しようと努力し何々だからと言う目をやめ一人一人のユニークを楽しみたい。自分を大好きと思えるような子供たちになってほしい
- ・勉強が出来なかったりしても、母親としては安心して生活出来る環境をつくれていれば子供も幸せなんじゃないかなと思う
- ・まずは家族や友達、地域からしっかり愛情を受けて育って欲しいと考えるから。交通、防犯を含め安心して生活できる環境であって欲しいから
- ・安心できる場所があれば人は、落ち着くと思うし愛情と自分の事を認めてもらい信じてあげられる環境や人がいれば安心して生きていけると思う
- ・何をもってしても、まずは自分が誰かから愛情を持って接してもらえるとということがすべてにおいて心のささえになるから

2 ありのままの自分でいる権利

- ・ 個性的な人が増え、自分らしくいる事が大事その中で社会とつながる事が望ましい（他 3 件）
- ・ 心も身体も休ませる場所がないと次の一步を出せなくなってしまうから（他 2 件）
- ・ 情報化社会で、幼い子どもでも容易に様々な情報を得ることができます。だからこそ左右されずに自分らしく、個性を大切に生きてほしいから
- ・ 大人になった時自分の考えをしっかり持って生活できる
- ・ 自由
- ・ 全て当たり前のことの様に思いますが、子どもだけに正しく判断できないこともあるため
- ・ ひとりひとりがちがうことを知って、みとめ合うことで、差別がなくなり、世界平和につながると思うから。やわらかい頭をもつ子どもが多くなると、それにつながると思う。みんなちがってみんないい
- ・ いろんな人がいて良いと思う
- ・ 画一性がある教育はもう古い感じがする
- ・ 出来そうで、なかなか出来ない事だと思うから
- ・ その子らしく生きてほしいから
- ・ 自分で最初に決めた道筋で最後まで貫く
- ・ 昭和、平成初期の部活動など行きすぎた管理で、将来、成長が奪われてしまった経験があるため
- ・ 個性や秘密が守られることはとても大切だから
- ・ 人間にはホッとできる場所があることが大事
- ・ おとなの理論で頭から子どもを否定しないでほしい。“だめ”よりも良くできた事をほめたり、“こんな方法もあるよ”と言ってみたり…。私はしかられて育った世代なので、もうその育て方はやめてほしい
- ・ 自分の中でホッとできる場所すなわち自分の居場所があることはプラスにつながるから
- ・ 他の人と違ってはいけない、人と違うことは変だとクラスメイトの反応から感じていたから、そんなことはない小さいころから知っていたし、誰かに言われたかった
- ・ 大人になってもありのまま生きている人、個性的な人や自分の好きなことややりたいことをやっている人に魅力を感じるし、すごい人と感じることが多い
- ・ 子どもの頃からありのまま生きるように教えれば、将来すごい人になるかもしれない
- ・ さまざまな背景、環境の子どもたちでも飾らずに人間らしく生活出来ることが必要と思えるので。
- ・ 子どもそれぞれに色んな違いや個性、疾患、障害、家庭の事情があります。その違いによって差別されないようみんなが行きやすい社会でたるべきだと思います
- ・ インターネットの利用機会が幼い頃からあり、関連する犯罪や事件に子どもが巻き込まれることが増加しているから
- ・ 自分の趣味や家庭環境も含め、安心して過ごせる場所は大切だと思う
- ・ 保護者からのプレッシャーや周りの子供の発言から、自分らしさを出さないようにしたり、無理やり周りと合わせたりしている子供達の様子を見て、もっと自分の個性を大切に生き生きと生きて欲しいから
- ・ ありのままにいられる権利を守られることで、心身が健康であり、他の権利も守られていくと思うから

3 自分を守り、守られる権利

- ・ 命を守らなければ、他の権利につながらないから（他 3 件）
- ・ 一番もっともむずかしい権利だと思し、子供をいかに努力がほしい（他 1 件）
- ・ 子どもが、安心して安全に生活できる事が大切（他 1 件）
- ・ いじめ虐待、体罰など、あってはならないと思います。弱い子どもにとって守ってあげられるのは、大人、社会しかない（他 1 件）
- ・ 助けが必要な時相談できる事(人)がいてほしい
- ・ 気軽に相談できる相手が必要だから
- ・ いじめ、ぎゃく待体罰などは、仲々、本人が言い出せない事が多いので、相談されたら、真剣に耳をかたむける様にしたい
- ・ 他の権利よりも、守られなかったときにその後の人生への影響が大きいと思った
- ・ 今の時代、子ども達はいじめに苦しんでいる。いじめる側も、いじめられる側も、安全に守られる環境になく、人を信じられなくなっている。個が守られることが大切だと思う
- ・ 自分の意見が尊重されるので
- ・ 心や体が守られることは最低限の権利だと思うため
- ・ いじめは社会から無すべき
- ・ 自分じしんを皆大切にまもられる
- ・ 自分が守られることを知っていれば、自ずと他の全てを自分で選ぶことができると思う
- ・ 人間はまずは生理的欲求の充足が必要だから
- ・ 自分が小学生の頃、いじめに遭っていましたが、学校には相談できませんでした。相談し、逃れられると良いです
- ・ 少なくとも最低限人間らしい生活、家の中がやすらげる安全な場所であることが守られる必要がある
- ・ お金では解決できないことだから（いじめなど）

- ・いじめは1対1でなく多数なのが常、助けが必要
- ・安心して生きる権利も大切だが、先ずは、「自分を守ること・命を守ること」が一番大切だと思う。「守られる権利」がいき渡ると良いと思うから
- ・まだ未熟だから守ってもらわないと壊れてしまうから
- ・自分だけで自分を守るのが難しい立場だから
- ・幼いうちは身近な大人の言葉が絶対的な部分があると思う。何か正常で、何が異常かを周りが見守り、教えていく必要があると思う
- ・どれも大事だが、基本的人権のために特に必要だと思うため
- ・自分自身が幼い頃いじめで苦しんだ為
- ・今だに学校でいじめがあり、問題だ
- ・虐待件数が増えているため
- ・いじめが減る事につながると思う
- ・いじめは許されることではない
- ・他の人の意見に流されることが多くなっている中で、権利としてしっかりあることが大切だと思ったから
- ・子どもが生きていく中で、身近な人以外に頼れる場所があると安心するので
- ・“身勝手な大人が小さい子を痛めつけるニュースを見ると、とても腹が立って、とても悲しくてたまらなくなる。まず、何をするにしても、健康な心身でいなければ、はじまらない。”
- ・傷つき、苦しい状況において周囲から守ってもらえたか、守ってもらえる環境、制度があるかどうかはその後の人生において重要になると思うから
- ・戦う（抵抗や相談等）事は更なる悪化を生むため逃げるのが大事。
- ・今の学校では先生が対処しないまたは、分からないというケースが多くなっています。だからこの守られる権利は大切だと思いました
- ・しっかり虐待やいじめを受けている子供の意見も聞くべきだと思うから
- ・自分自身が守られることから、すべては始まると思うので。すべての子がそれぞれ守られている環境にあれば解決できることは多いと思います
- ・学校や行政から圧をかけて抑止力を発揮するべきだから
- ・全ての子どもが生きてそこにいて、個人として尊重される環境であってほしいです
- ・問題があったときに一時的に退避して、しばらく休んだあと元に戻れる場所があることは重要だと思うから

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・子供は成長する時期に様々な経験をしていくべき、また強くなることが社会の安定にもつながると思うから
- ・子供の成長につながる全てのもとだと思います
- ・遊んで学びを得るから
- ・生きる力を身につけるため
- ・子供の頃は近所の子とか同級生とか…共同作業や学びとかそんな中でもまれなから親への感謝とか友人へのおもいやりとかを学ぶのでけんかもするし、仲直りもする。子供達本人が学ぶ事を経験することか大切
- ・豊かに成長できる環境は、大人になる為に必要であると考えから
- ・興味ある事をのばしてあげることが子どもの将来につながるきっかけになると思うから
- ・公園や学校で、友達と仲良く遊ぶのが、成長につながる
- ・想像力や創生力を伸ばし、クリエイティブな環境で個性を伸ばす。

5 自分で決める権利

- ・子供に対して押しつけは良くない。気軽に相談出来る所を増やし一緒に対処し、本人の納得出来る答を見つけてあげ、大人も見守る体勢を築いていく（他1件）
- ・自分のことを理かいるのも、何するにも自分で選たくする力が必要だと思うから
- ・保護者が必ず間違っていないとは限らないと思うから
- ・子ども自身の意見を大切にしたいから
- ・現代社会は、人の意見に流される人が増えてきている
- ・個性を尊重し、自分のことに自身をもつこと
- ・自分のことは自分で考え、決めることは大切。小さなことでも決めることができるのは大人になる前でも大切
- ・子どもと言えど1人の人間として自分のことを決めることが大事
- ・自分決めることは大事
- ・自分で決めるの良し、だがおとなの話し、必要が得られる
- ・生きる事に必要
- ・自分の意見を尊重出来ること
- ・何事も人の意見に左右されず決めれる事ができる大人になって欲しいから
- ・自分で決定できる権利を大切にすることで、自己決定する力、粘り強く取り組む力をつけることができる。学校教育目標とも合致している。今の子どもたちにとって必要な、大切にしたい権利と思う

- ・子どもは、子供であるという理由で自己決定を妨げられることがある。その中には正当なものもあるが、不当なものも含まれている。また、情報が十分に与えられないということもある。それらを改善するために、自分で決める権利を強調することは大事だと思う
- ・大人に決められて守られて来た反面、決断に責任を持つことと判断基準が乏しい中で決めること
- ・人のせいにしないで自分で納得して進路や人生について考えて欲しいので
- ・自分で生きていく力をつけることにつながると思うため

6 参加する権利

- ・社会や組織の中で、協調性をもって自己表現するとともに他表現も認めることができる
- ・大人になって意見が言えないと自分の存在意義がなくなるから
- ・多様な社会参加へ早期に馴じませる為
- ・自分のことを表現する権利は大切だと思うから
- ・社会に出て人や物事に接し、経験するというのが、何よりも人を成長させると思うので
- ・障害あるないにかかわらず、仲間を作ることは大切だと思います

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・低所得者世帯で、大学までと思っても奨学金を利用しても返済する心配で進学できない
- ・現代社会において、一番考えなければならない精神であるし、行政がやるべき仕事のひとつだと思うから
- ・差別されず、成長出来るように
- ・しょうがいがある子どものいっぱんの仕事が好きくない
- ・子供や親といった個々の努力では変え難い問題を社会で把握し支援する必要があると感じるため
- ・日本のシステムの中で最も欠如している項目である
- ・多様性の時代だから
- ・安心して学べる
- ・差別されない、ということが基本的人権の尊重そのものだから。どんな子どもも等しく尊重されるべきだと思う
- ・ダイバーシティ、インクルーシブな社会の実現に向けて不可欠だから。2にも重なる
- ・子どもは生まれながらに不平等、国の違い、経済的理由、身体的特徴
- ・近年、精神に身体的に障害を持つ子供が多くなっています
- ・支援を求めて悩む親も増えています
- ・例えば支援級 病院
- ・良い先生ばかりとは言えません
- ・口コミで広がる情報も当てにはなりません
- ・障害は個人差があるからです
- ・支援が必要な人に速やかに的確に受けられる体制が必要です
- ・外国人も多い川崎では助けが必要な子供も多いと思うから
- ・通常の学校教育ではカバーできない知能の子供もいるため
- ・子どもも一人ひとり考えや生活環境、経済状況等も違うから
- ・少数派の子どもたちが多数派に抑圧されないようにするために

Q4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	34	8.6
2 ありのままの自分でいる権利	47	11.9
3 自分を守り、守られる権利	99	25.0
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	24	6.1
5 自分で決める権利	40	10.1
6 参加する権利	18	4.5
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	67	16.9
無回答	67	16.9
合計	396	100.0

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・大人の理解不足とどうしたらよいかわからないという学習体験不足

- ・公園の設けなどをもう少しこまめにかくにんする必要があると思う
- ・親の虐待に合い、小さくて命をうばわれる事件が多発していて、周囲が無関心になってきている
- ・役所、児童保護施設で積極的に不審家庭に入れ！
- ・虐待やいじめが多発している
- ・個人の受け方で違うことだと思うし、差別は、なくならないと思うから
- ・定義がばく然として良く理解されていないと思う
- ・親・環境によっては、無理なのでは
- ・7つの権利の内容に重複する点が多いので、1とする
- ・虐待で亡くなっている
- ・差別、家庭環境がいろいろになり、むずかしい状態におかれていると思います
- ・家庭によって状況がまるで違うのが現実だから
- ・小さな子供への虐待が、絶えていない
- ・子供の生きるためのお金を親がつかってしまう
- ・差別を受けず生活出来るように
- ・十分な生活支援を受けることができない家庭、子供たちがいるから
- ・子供は家族が守るべきという時代に合わない考え方が国の中にある
- ・自分で決められることではないから
- ・子どもが親や、身近な人を選べないから
- ・子どもを狙った犯罪等があるため
- ・公園で、保育所0才2~3才の子供来ますが親のあつたさがつたわらない
- ・経済的理由
- ・虐待による悲しいニュースの多いこと
- ・虐待や貧困の問題が多い
- ・自殺する子供がいる
- ・川崎市市内においても、子どもに対する虐待やネグレクトなどの事案が報道などで見受けられます
- ・歩きタバコなど子供が危険と思われる大人が多いから
- ・対人関係ではどうしても差別がうまれる為

2 ありのままの自分でいる権利

- ・ホッとできる場所がわからない(どこか) (他1件)
- ・個性は大切にされていないのではと思う
- ・個性より協調性が求められる場面が多いから
- ・一般的に、個性の強い人は、変な目で見られがちだから仲間との集いに入りにくく、孤立しがちで、ホッとする場所が必要と思う
- ・集団生活の中で個性を大切にすることは難しいと思う
- ・無意味な校則がまだたくさんあるから
- ・みんなと違うところがあるとはやしたてられたりすることがまだあるから
- ・まだ差別等あると思う
- ・環境に影響する大人だけではなく周りの友人も考える必要があるのにしんとうしていない
- ・公園で花火やボールあそび禁止の場所が多い
- ・どうしても作ってしまうと思うから
- ・ありのままであることを受け入れてもらえない子も多いと思う。親がこうあってほしいという願いも強い
- ・現行、現状においては、社会的環境整備不足だと思う。
- ・他の人との違いやが大切にされ秘密が守られるまた、ホッとできる場所で楽しく遊んだり体を休ませたり出来る
- ・個性や秘密が守られていない
- ・ホッとできる場所が少ない
- ・それぞれ個性があるので、学校になじめない子供達をもっと尊重する必要があると思います
- ・夜遅くに散歩子供を見かける。ホッとできる場所がないから、自分で見つけるために家を飛び出したのかなと思うため
- ・教育の中で軽視されがちなことのように思えるので
- ・まだ偏見のある時代だから
- ・3も含まれますが学校で不登校の児童が必ずといっていいほどいるのを聞いたり、目にしたから
- ・近年 SNS の発展から、自分の秘密を簡単に拡散されたり、遊ぶ場所に関しても、昔のようにノビノビ遊ぶ場所が減ったと思う
- ・自分は他の人違うことが気がつかない
- ・集団生活の中では、ありのままの自分では過ごしやすい時もある
- ・インターネット等の拡散

- ・川崎市に40年住んでいますが、残念ながら何も改善していません。川崎市の学校で求められるのは協調性ばかりで、個性が育ちにくい環境です
- ・学校生活（団体生活）をしていると、どうしても、周りと合さざるを得ない時があると思うから。人と違う個性は差別の対象になってしまうことも残念ながらあると思うので
- ・親からの期待で自由が無さそう
- ・外見や出自などに対する偏見や差別、画一化した教育によって不自由や苦しみを感じている子供がまだ多くいる気がします。登校拒否をする子供が身近に沢山います
- ・子供が不登校になり、世間的には学校に行かねばならないという強制感があり、子供に無理をさせてしまったと今ながら強く感じるため
- ・大人の世界もそうだが、空気を読んで周りに合わせる風潮があるから
- ・個性的なところは否定されがちで、勉強などは学校で学べても、コミュニケーションや生き方には個性を無視した一律な教育が多いのではと思う
- ・人とかけ離れた事をしたり、自己主張が強いと陰口を叩かれてしまう。自分らしく生きて行くほど難しい
- ・個性に対する世の中の認識が熟成していない。まずは社会が多様な個性を理解出来ることが大切
- ・校内研修で、性の多様性研修を行った。性の問題について悩みを抱えている子どもたちが多いことを研修した。そのための学校としての体制がこれからの課題だと考えているので。まだ守られていないと思う。
- ・小学校6年間の中で、個性を尊重し、向き合ってくれた先生が少ない。義務教育9年間もあり、子供には目の前の環境だけが全てではない、と、教えているが、学校と言う狭い空間や狭い考えに大人の私が日々不安を感じている

3 自分を守り、守られる権利

- ・メディアで問題が取り上げられているため（他14件）
- ・いじめはなくなってほしいがまだ多く残っていると思う（他7件）
- ・子供の自殺者が多いDV等のニュースが絶えない何ら改善されていない（他6件）
- ・いじめや虐待が多いから（他3件）
- ・子どもが自分で考え相談するという点は、年齢によっては、判断できないと思える為（他1件）
- ・子供の異変に気付いたら訴えられる機関が少ない
- ・いじめや虐待から逃れられない子どもがたくさんいると思う
- ・今は情報（スマホなど）があり、いじめなども直接的ではなくSNSなどが多い
- ・最もむずかしいから
- ・時間がかかると思います
- ・なんとなく
- ・いじめ、虐待が後をたゞず又行政においても後手が多い。非常に切つないかなしい出来事が多すぎるから
- ・親によるぎゃくたい、ねぐれくと、学校でのいじめなど見えにくいところで子供が悩んでいると思うから子供は言えなかったり間違いが分からないことがあるから
- ・いじめ、虐待などは無くならないのではないかなと思う
- ・TV・ニュースから受ける影響もありますが、大人・教育者が正しい判断をできないことが多い。相談が必要な事態をつくってしまう、気づかない、故に相談もしにくい環境になる
- ・常に虐待や体罰がみられる
- ・毎年、亡くなる子どもが多くいるから
- ・現実的に無くなっていないから
- ・助けないで、見てだけの人が多い
- ・兎相の対応が不十分と感じる
- ・自身にとって有害な人間は少なからず存在し、全て守ることはできないのが現実だから
- ・子供の目線でみた相談しやすさが出来ていない
- ・しつけなのか、虐待なのかの判断が難しい
- ・内容的になかなか相談しづらい
- ・守られていないというより、守るための様々な継続的な活動が必要
- ・子どもの意見はあまり聞き入れていない
- ・大人になっても守られない。又は守らない人が多い
- ・不登校・自殺などがなくなるから
- ・指導する人材と活動資金を確保するべき
- ・学校でのいじめに対していままでの例として校長は初めは自分の保身として必ずいじめはなかったと云う
- ・助けが必要な子どもが支援されずにうもれている状況だから。（貧困や虐待など）
- ・ぎゃく待されているか、わからない公園やどうろで朝はおはよう、昼間はおかえり、ってどの子にも、こえかけます
- ・被害を受けた方が環境を変えたり、泣いてることが多いように思う。加害者にもっと罪の意識を持つようにしてほしい
- ・子供が身近に家以外でかけこめる場所など見かける事がほとんどない

- ・相談できる場所や、施設について、周知されていると感じない
- ・幼い子供達が、親やその関係者などに命をうばわれる事件を聞くと、悲しくなる。もっと行政が、しっかり対応して欲しいと思う
- ・いじめや虐待をうけている人は何人もいた。けれどそれを見つめるのは子どもだし、それをいじめと判断するのも、相談するのも子ども。きっかけは子どもなのに守られるわけがない
- ・ヤングケアラーの問題も含め、子ども自身が誰かに相談してもいいと気づけていないケースもあるように感じる
- ・毎日の様に耳にするいじめ虐待信用している人からの事が多く安心安全には生活できていないと思う
- ・逃れる方法や相談場所(方法も)を知らない気がする
- ・昔のいじめより、いんげんないじめが多くなっている
- ・特に川崎市という地域において、逃れたり相談したりしにくい。地域性なのか、コミュニティが狭い
- ・年々若者の自殺率が高まっているとニュースで見たことがある
- ・いじめ、虐待と世の中で続いているから
- ・子供のことを親が決めていることが多い。特にスポーツでは親がこうしろああしろと言って育ててる。
- ・子供の特にいじめによる自殺が社会問題になるたびに教育委員会の対応に疑問を持つ
- ・いじめは自分だけで解決できるものではなく、やはり周りがあることなので、子どもが自分で自身を守ったり、助けを求めたりするのは難しい状況と思われる
- ・子供が未来に希望を持てるようにしてほしいと思う
- ・今の学校では先生が対処しないまたは、分からないというケースが多くなっています
- ・友達からのいじめ、教育者からの体罰、親からの体罰や虐待等の報道が絶えないからである。
- ・いじめがなくなる、教師の力不足もあるかも知れない
- ・子どもが被害にあう事件が後を絶たないから
- ・加害側の自覚の有無は別問題として、まだ現実としていじめや虐待が存在するため完全にゼロというのが理想論とは思いつつも、そこに向けて子供達、家庭、地域で目指していきたいという思いを込めて選択いたしました
- ・自死を選んでもうくらい追い詰められてしまう子どもたちがいるから
- ・今でもいじめで亡くなる子は無くないしそれに関わった大人達も何もして無い事があるから。もちろん色々助けてる大人の方が多いとは思がいじめや虐待じゃないか？と思うような光景を目にすることがあります
- ・世間では色々なニュースがあり、変わっていない。人は、守られる権利がある
- ・道徳心を育む教育になっているか疑問です。GHQが作った教育ではなく、戦前教育の見直し、教育勅語は学ぶべきだと思います
- ・小さな子供は虐待されていても逃れることが出来ていない。相談もできないでいる
- ・どうしてもいじめられてる人の方が立場が弱くなってしまうと思う。いじめられていると周りに言うことでさらにいじめられるから相談できないなど。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・近年公園で遊んだり、騒いだりするとすぐに問題となり、成長の機会が減っている為、1番守られていない権利だと思います（他1件）
- ・家庭によって経済面など、差がある（他1件）
- ・他人から励まされ、力づけられる機会は多くないと思うから
- ・特にそういう機会があるということを知らないの
- ・遊ぶ環境も学ぶ場所も結局は親の所得に依存しているケースが多い。私自身土・日サービス業で仕事をしているが子供の居場所探しに頭を悩ませています
- ・個々の差が出ているように感じている
- ・ネット上の意見はこの正反対と言える意見が多く存在し、現状、これに触れる機会に制限はなく、またフォローもないため ・大人が先回りし過ぎとか、カバーし過ぎている気がする。信用されてない気がする
- ・「自分で決める権利」もそうですが、家庭環境などが理由でそれが叶わない子もいる。また、学校や保育施設などにおいても守られていない教育がなされている場合があると思う
- ・大人が気がつかない面
- ・成長や自信につなげられるようなアプローチはできているのか不明、評価がしづらい
- ・子供がすでに成人したため、今の子供達の現状がよくわからないので、イメージです
- ・保育園、保育所、学校等の給食等の無償化が全体に無い
- ・遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につなげるように励まされ、力づけられるはずが…部活の試合で負けた理由を、「やる気がないからだ！途中で諦めたからだ！」と罵倒した挙句もう指導しないとわれ、他の顧問からは遠回しに謝りに行くよう促されたと、友人（の息子）から聞いた。頭ごなしに怒鳴る指導を今の時代また続ける中学教師がいる事に疑問を感じる
- ・学校など集団で学習する場では、ある一定の能力が求められる。得意不得意でこぼこのある子は、得意を活かすことよりも苦手を指摘されることが多いと感じるから
- ・個人の得意・不得意もあるので、場面場面で声掛けや対応方法を変えているが、経験値や家庭教育の差もでてしまっているように感じる

- ・子どもたちの様子をみることがあるが、もっと前向きにとらえられることがあればいいのにと感じることもある
- ・消費税の増税、物価高で豊かな暮らし力づける権利の面でお金が習い事とかにまわらない現状。たとえば学校では一人一人に目が行き届かないと思う

5 自分で決める権利

- ・家庭、学校生活において、大人が決めたことに従わせる場面が多く、子供が自分で決めることを見守る余裕がないと感じる為（他 10 件）
- ・先ずどこまで自分の判断で決める事ができるのかという子供の能力にも寄りますが親や親族が一方的に決めるというのも見た事があります
- ・自己決定力の場が少ない
- ・自分の事自分で決めるはない
- ・SNS の普及で自分が見えなくなっている自分と向き合えていない気がします
- ・日々の生活の中でも自分で決めるという事を習慣になっていないと出来ない為。親の忍耐力の問題
- ・年齢的低いと助言の方が強く受け入れられる ・弱者である子どもが、自分で判断出来るか疑問
- ・必要な情報までたどりつくためのリテラシー教育がどこまでできているか不明
- ・自分で決めるということの難しさがあるのかなあと感じますでも、決めていんだよ。という、アドバイスは大切
- ・なんとなく
- ・公立の学校のおしつけが多い
- ・親がいるから、自分で決めることができない子もいるから
- ・少子化もあってか、大事にされ過ぎて、子供の自立心が他国に比べると低いような印象。親が子供のことを管理
- ・学校以外の子供同士の交流場があればよいかと。学校のみ人間関係しかない行き詰まる子供もいるかも。
- ・またサマースクールや、サマーキャンプなど、もっと子供一人で考え、決断させ、行動できる機会を作ってもよいのかと思うから
- ・不登校言葉の定義付け。学校に行かない選択肢を多くしてもいいと思う
- ・守られていないわけではなく、もっと機会があつていいと思う
- ・子供の頃は、金銭面などで親の支援を受けなくてはならない部分が多くあると感じるから
- ・決めるための知識や情報を教える場がないと思われるため

6 参加する権利

- ・学校のカリキュラムなど画一的だと感じるから
- ・なかなか自分の意志を云えない
- ・情報が不足している場合がある
- ・ゲームやスマホなどに興味をもちすぎなのではないか？
- ・やりたいことや学びたいことがあっても貧困等の問題であきらめたり、がまんしてることもあると思うから
- ・周りにながされて、自己表現できる子が少ない
- ・見たことがない、聞いたことがない。
- ・権利が守られるかどうかは親次第だと思う為
- ・目に見えた活動がないと思う。(情報が入ってこない?)
- ・責極的に活動する子どもは良いが、悩み等云えないで抱えている子も多い。学校や家庭だけではなく投書などを受け付けるポストがあればと思う
- ・あまりこのような場で子どもを見ないから ・表現があいまい、わかりづらい
- ・守られてないというか、権利としては必要性がなく、ゆえに与えられもしてないのでは？
- ・日々の生活が親も子も忙しそうで、忙しく日々が過ぎていき、なかなか社会参加し、自分の意見を言う機会が少なくなっているのではないかと
- ・差別をしないといっても障害がある子は仲間を作りづらい
- ・人と違う事を言ったり、したりする事は、周りとうと判断されあまり認められていないと思う

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・支援は進んでいるように感じるが、まだまだ必要な子に届いていないのでは（他 3 件）
- ・子どもにあわせた支援が十分ではないから（他 2 件）
- ・制度としてあっても、知らずに支援を受けていない子どもがいると思うから（他 1 件）
- ・守られていないというよりは、知られていないのかと思います（他 1 件）
- ・国の違いにより差別があると思う（他 1 件）
- ・このような支援があるかわからない（他 1 件）
- ・障がいのある子に個々に応じた教育が、まだまだ足りないと思う
- ・一部に障がいなどで差別はあると思う

- ・7が一番守られるためには難しいと思ったので
- ・どこに助けを求めたら良いのかわからないから
- ・日本では、トランスジェンダー等含めて海外と比べると遅れをとっているように思います。異文化交流など、差別を感じさせないような関わりが必要かと思います
- ・あまり実感したことがないので
- ・まだまだ個々の違いが理解されていないと思うから
- ・今後の課題だと思うから
- ・実態がよく分からないため
- ・大人を含めて「差別」の意識がある人が一定数存在していると思うから。
- ・まわりに、交流できる場を知らない
- ・初対面の人に対しての接し方で差別されたと思う事はあると思う。ただ必要な事は相手を理解して会話を進めて交流を進める事だと思う。自身、昔の話だが、親の職業が林業で…いじめにも会ったが、半年もたたない内に友人もいっばいできた
- ・子供を療育に通わせたいが待ち時間が長く2ヵ月またされたから
- ・個人ひとりひとりに対応するのは理想どうりかなそう！人手不足のため！
- ・自分自身があまり現状を知らないため、私と同じように問題を認知すらしてない人が多いのではないかなと思うから
- ・まだまだ人種によって差別があると思う
- ・知り合いや身近にいる、7のような子どもに対しては、多少理解をもって接する事ができても、街中で見知らぬ子どもにできていないと思うから
- ・支援を受けるまでの道筋が知られていない
- ・実際に見たことはないですが、世の中には差別があると思うのでなくした方がいいと思います
- ・支援、けんりは守られてきているがまわりがまだへんけんが多い
- ・どこで支援を受けられるか、広く周知されるべき。形がい化した権利になっていないことを願います
- ・我が子ではありませんが、他の子どもを見て、差別されていると感じる場面があるので選びました
- ・障がいや理由に生きづらさを感じる場面があると思うので
- ・不法滞在の外国人の子供の人権が守られていないというのをTVで観たことがある
- ・子供であるという理由だけで、周りがすべてその子供の個性に応じて接してもらえと思っているご家庭が不特定多数いらっしゃる感じます
- ・国の違いや障がいなどで、明白に差別されている現実がある
- ・「自分に本当に合った世界」というのは、努力して自分で構築していくものであって、産まれた時から用意されるものではありません
- ・印象的にはニュース等からそう感じるため
- ・国籍や病気、障害といったハンデを持っている人たちに対し、社会の理解が進んでいない。社会的障壁をなくすための自治体や国の施策も十分でない
- ・実態は理解出来ないが、ニュース等でその印象を持っているため
- ・個別な事情が多様で、実際に全ての人が満足できるような支援をすることは難しいように思うため
- ・援助の条件がわかりづらく、情報が与えられていないように思われる。また、支援の拡充が必要だと思われる。社会全体的に足りていないと思うから
- ・いじめ、虐待、体罰が無いようにする
- ・障害を含めた子供の個々の事情に対応した教育が不十分と思う。ただし、現状の学校教育のやり方ではそれは難しいと思うし、かといって現状の学校教育が間違っているわけではないと思う
- ・子どものいる家庭に対して補助金があるが区分が大まかに感じる。児童手当の給与の区分が大きく開きすぎている保育園でも保育料の違いが給与に対してあるのはおかしいと思う
- ・イメージにすぎないが、障害への理解や支援はまだ足りていない気がしたから
- ・昔ほどではないが、まだ差別等がなくなっているようには感じないから
- ・個別の必要は親の判断に委ねられる場合が多く、子ども自身による支援へのアクセスは制限されやすいから
- ・支援の手立てはたくさんあるものの、知られていなかったり、広く伝わってなかったりすることから支援を受けられていない子供がいると感じるから
- ・市の制度というよりは、市民の教育が行き届いていないイメージがあるから

Ⅱ 『あなたや子どもの生活』についてお聞きします。

Q 5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。（〇は1つ）

	件数	%
1 子どものこと	109	27.5
2 子ども以外の家族のこと	96	24.2
3 職場の人間関係	80	20.2
4 友人の人間関係	22	5.6
5 地域の人間関係	40	10.1
6 恋愛	14	3.5
7 お金	174	43.9
8 健康	197	49.7
9 その他	24	6.1
（無回答=20、N=396）		

【その他】

- ・親の介護（他2件）
- ・震災や天災への不安（他1件）
- ・老後どこでどう生きているか（他1件）
- ・仕事の業務が多い（他1件）
- ・仕事自体のこと（他1件）
- ・将来的
- ・近所でも話合いが出来ずえんりよがちになる
- ・子供達の未来
- ・障害があること
- ・離婚が多く感じる（私の周りを含めて）
- ・ペット
- ・インターネットにおける中傷問題について
- ・未来の国が今まで通り繁栄しているか？
- ・マンション自治会の運営
- ・昨今の世界情勢
- ・老後の社会との接し方、人間関係
- ・格差
- ・障がい者の長いしょう来の事
- ・今の日本の政治、行末に対しての不安。（子供が戦争の道具にされる未来）
- ・他に兄弟がいないので親の死後のこと（手続きや自身のこと）、自分の死後のことも手続きやお墓、家の荷物…どうなるのか
- ・人生の今後のキャリアプラン
- ・就職活動
- ・孫が幸せに過ごしていけるか不安
- ・義務教育中の子育て

Q 6 あなたは、自分の好きなことをする時間はありますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 ある	360	90.9
2 ない	31	7.8
無回答	5	1.3
合計	396	100.0

Q 7 あなたは、ふだん子どもの話を聞く時間がとれていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 とれている	191	48.2
2 とれていない	36	9.1
3 子どもはいない	159	40.2
無回答	10	2.5
合計	396	100.0

Q 7-1 Q 7において「2 とれていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	16	44.4
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	12	33.3
3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから	7	19.4
4 どのように聞いたり受け止めたりするとよいかわからないから	4	11.1
5 その他	5	13.9
（無回答=2、N=36）		

【その他】

- ・子どもが部活や塾で忙しい
- ・子供が独立し、今は行先がわからないから
- ・子供の方が一ぱうてきにきめてしまう
- ・成人しており、家庭を持ったことにより、密に連絡とるのが難しい
- ・成人してすでに家を出ているため

Q8 あなたは、家のことで何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 聞いている	63	15.9
2 だいたい聞いている	141	35.6
3 ほとんど聞いていない	23	5.8
4 聞いていない	9	2.3
5 子どもはいない	145	36.6
無回答	15	3.8
合計	396	100.0

Q8-1 Q8において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。

子どもの意見を聞き、反映や実現できたことで印象に残っていることはどんなことですか。

- ・進路の決定（他 24 件）
- ・休日の過ごし方や出かける所など相談している（他 13 件）
- ・家族旅行の行き先（他 10 件）
- ・食べたい物など（他 7 件）
- ・ペットを買うこと（他 3 件）
- ・子どもが自発的に考えたことは子どもの意見を聞き、応援していきたいと思う（他 3 件）
- ・就職（他 2 件）
- ・結婚について（他 2 件）
- ・テレビやゲームの時間、ルール（他 2 件）
- ・塾（他 2 件）
- ・スマホの使い方や利用方法を理解できたこと（他 1 件）
- ・大きな買い物をする時（他 1 件）
- ・将来の事（他 1 件）
- ・部活動での取り組みなど（他 1 件）
- ・家電等購入時（他 1 件）
- ・ほしいもの（おもちゃとか）（他 1 件）
- ・0 歳児のため、まだありません（他 1 件）
- ・部活動（他 1 件）
- ・（4 才）主に食事を何にするか聞き一緒に作る等。服をどれにするか?ヘアゴムをどれにするか?休日はどこに行く?
- ・1 日にあったことをまとめ、夕食の時間にそれぞれが話します。最初は短絡的でしたが、近ごろ出来事に感想を足すことができています
- ・NYC に行きたいと言われ叶えたこと
- ・あまり自分の意見を言う事ができない子が(知的障がいあり)ここに行きたい、(旭山動物園の白熊)と行ったので、連れて行ってあげると凄く喜んだ
- ・夫の介護(施設に入れるか否かについて)自宅で介護
- ・大きな手術を受けることになった折、自分や配偶者の意見を述べ、子ども達の考え意見を聞いて、皆納得して、手術を受けることができた。充分、各々の考えを話し合えてよかった
- ・外出時に親の注意をよく聞いている
- ・お小遣いに関する事と、勉強に関する事。お小遣いは本人の希望通り月額制にしたり、その都度渡したりしている。勉強は、今まで口うるさく言っていたが、本人が逆にやる気が失せるとのことでやめた
- ・かぞくかいぎをしている
- ・健康について、または、日常の生活について
- ・夢を叶えられた事
- ・習い事をする or しない、何をしたいか、週どのくらい通いたい、本人に決めてもらいました（他 7 件）
- ・言葉がまだ話せないの今とこなし
- ・子ども(孫)の、気持ちになって、遊んでいます
- ・子どもが一番安心して通院できる病院を決めた
- ・日用品不足とか生活必需品購入時。
- ・子どもがまだ 1 才なので、一緒にあそぼうレベルの話です。可能な限り応えます
- ・行事
- ・子どもから私に意見され、私自身反省すること多々あり ・弟の名前
- ・子ども自身が自分の権利を知らない、権利行使をしない。又面倒臭さがって権利放棄してしまう
- ・子どもの主張を否定から入るのではなく、なぜそう思うのか?そう行動したのか?を聞き、可否を決めて子どもが納得したこと

- ・長期休暇の際の家族イベントの実施
- ・子どもの悩みごとを聞き、解決する補助をしてきた。好きな料理を聞き一緒に手作りしてみたりした。
- ・子供の話を聞き、自分の事自身を顧みる機会を多々与えられた
- ・まだ 0 才だがどの絵本が良いか選ばせている
- ・子供は、すでに成人しているのですが、雨もりをした時、どの様に進めていったらいいか
- ・最近の若い人たちは子どもがはなしかけてもスマホをやって子どもの話を聞いていないのを目にすると、子どもがかわいそうになります。どうしたのと話しかけるとうれしそうに話す
- ・聞くようになったのは最近なので…
- ・私生活や仕事の予定行動、結婚式のスケジュールと招待客の希望意見。私の一人生活への意見。
- ・成人(既婚)40 才台の子供に対し、自分の子供を持つか、持たないか訊ねた
- ・塾のテストで 90 点以上取ったら褒美あげる！と言ってモチベーションを上げています。もちろん、取れない事もあるので「いつも頑張ってるね～」と言って外食に行ったりしました
- ・悩みごと(私・親)のヒントになった子どもに意見をきいて
- ・引越し先
- ・必要なと聞かれます。品物(通販)多く有り
- ・勉強、宿題に取り組む時間を決める時、本人のタイミングでやりたいと言われてやらせた事で実現できている
- ・毎週末子供の意見をきき、応援できること合わせられることは、協力する。
- ・まだ 4 歳と幼いのでそこまで大きなエピソードはないですが、保育園の転園はいやだという子どもの意見で引越し先を考えました
- ・家を建築する際に子供部屋をどうレイアウトするか
- ・目標の高校に合格したらデスクトップのパソコンを買って欲しいという要望を実現した
- ・引っ越しを考えた際、子供たちはまだ小さかったのですが、子供たちが一番賛成してくれたとこにしました。住む場所が変わるストレスを子供たちが選んだ！と言う楽しみに変換できたと思います
- ・家を決める時に、学区など話し合い、実際に、旧住まいの近くで探し、越境した
- ・家具家財を選ぶとき、子供の意見を取り入れたり（できるだけ）希望を叶えたことで、家や空間に愛着を持ってくれている様子を見て大人だけで決めなくてよかったなと思いました
- ・家族で出かける時、勝手に決めて来た事が子どもが 10 歳以降程になると勝手に決めないで欲しいと言われたこと
- ・子どもが小学校低学年の時「わくわく」に行くのを嫌だと言ったので、平日の午前中しか働かないようにした
- ・子供が考えた仕事や役割を作り、そこで周りに認められた経験がその子に自信を与えたこと
- ・子供が生まれてから大きな決断はしていないが、日頃のなんてことない意思決定については意見を聞いているのではと思う
- ・子供部屋を作るのにベッドや机の位置など反映できた
- ・自分自身の働き方について働く時間を増やして少し子供への負担が増えてしまい協力をお願いして快諾してくれた
- ・実家の両親との同居で引越した事、転校や友人関係で話し合った
- ・生活での行動
- ・大学受験の準備を共同で行ったことなど
- ・賃貸で住んでいたが、校区内に家を買ったことそのままのお友達と過ごしたい希望もあり決断した

Q8-2 Q8において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。

聞いていない理由は何ですか。

- ・一緒に住んでいない（他 2 件）
- ・子供の家庭もあるのでまだ夫婦で解決できるからほとんど聞きません
- ・子供が 7 才頃に離婚したため、相談しないで子供が安心して生活できることを考えたため。今は少しずつ相談している
- ・子供(18 才以下)が孫のため、子供の親が聞いているため
- ・家の事、…内容にもよるが、子供に聞く事はほとんどない。只、例えば旅行とかだと言いたい所とか誕生日にほしいものとか、位しか
- ・近くに小さい子供さんがいない
- ・子供が判断できない内容の場合
- ・家族の都合を優先してしまいがち親のスケジュールに子の行動を合わせてしまいがち
- ・何かもの事がきまってから知らされるので
- ・独立しており、それぞれの生活が有り、負担をかけられない
- ・費用を出すのは自分だから
- ・子供はまだ 1 歳半なので
- ・いいんじゃない？と言う
- ・お金がからむ大きな問題は大人同士で相談してすすめるため。ご飯の献立はこどもと近い問題なので意見を聞くことが多い
- ・親の決定でよいと思う

- ・自分の事は自分で決める
- ・子供本人の事については、もちろん本人に意見は聞くが、家の事はまだ高校生なので、子供に聞くことはほとんど無い
- ・たまに聞く、聞かない時は、聞いても参考にできないと思うとき
- ・日々の生活に関わること（食事の献立や生活リズムなど）は子ども主体で決めますが、家全体関わるようなことは大人がやらざるをえないので、大人都合で決めてます
- ・子供にたまに聞くが内容にもよります
- ・ひとり者だから
- ・子供と会っていないから
- ・身近に子どもがいない
- ・ほとんどが妻と相談して決めているので、子供から直接意見を聞いたことがあまり無い。間接的には聞いているのではないと思われる

Q9 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。（〇は一つ）

	件数	%
1 そう思う	271	68.4
2 そう思わない	108	27.3
無回答	17	4.3
合計	396	100.0

Q10 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 あると思う	105	26.5
2 だいたいあると思う	203	51.3
3 ほとんどないと思う	66	16.7
4 ないと思う	5	1.3
無回答	17	4.3
合計	396	100.0

Q11 子どもにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 自宅	343	86.6
2 友だちの家	58	14.6
3 学校（教室・図書室）	78	19.7
4 クラブ・部活動	61	15.4
5 習い事	33	8.3
6 公園	45	11.4
7 公的施設 （図書館、こども文化センターなど）	50	12.6
8 民間施設 （カラオケ、ゲームセンター、飲食店など）	41	10.4
9 特にない	11	2.8
10 その他	23	5.8
無回答	18	4.5

【その他】

- ・祖父母の家（他5件）
- ・保育園（他4件）
- ・親戚の家（他2件）
- ・人それぞれだと思う（他2件）
- ・場所ではなく、どこであっても自分の居ごちの良さを感じられるところ。
- ・親のふところ
- ・保健室
- ・療育センター、リタリコ
- ・鉄道駅
- ・従姉妹の家
- ・家へ帰っても一人が多い
- ・子供の心を理解してくれる人との場
- ・登下校中、習い事やクラブも他人と比較されない種類のもの
- ・自分のしゅみにうちこめているとき
- ・実家・皆で行く旅行祝事などの集い
- ・自宅であってほしいと思うが、虐待などもあると聞くのでその場合はないのかもしれない

Q12 日常生活で、文化・国籍等のちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 そう思う	127	32.1
2 ときどきそう思う	201	50.8
3 ほとんどそう思わない	34	8.6
4 そう思わない	17	4.3
無回答	17	4.3
合計	396	100.0

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きます。

Q13 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 いる	312	78.8
2 いない	68	17.2
無回答	16	4.0
合計	396	100.0

Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに〇）

	件数	%
1 夫・妻・パートナー	247	62.4
2 親	124	31.3
3 親・夫・妻・パートナー以外の家族	63	15.9
4 友人	191	48.2
5 職場の人	57	14.4
6 近所の人	12	3.0
7 相談機関	16	4.0
8 その他	18	4.5
9 相談したいけどできない	9	2.3
10 相談したいと思わない	14	3.5
無回答	10	2.5

【7 相談機関】

- ・こころのホットラインのようなもの
- ・会社の福利厚生として提供されている機関（スト・レスマネジメント系） ・婦人相談
- ・幼稚園、療育センターかかりつけ医、リタリコ
- ・ケースバイケース ・障害者支援事業所
- ・区役所 ・川崎市のそうだんきかん
- ・保険に付いているメンタルヘルス相談
- ・同じような問題を抱えている人が集まっている自助グループや支援組織 ・児童相談所
- ・キアアセット ・生活相談支援センター
- ・子どものことなので、区の子育て相談センターに相談します
- ・地域の児童家庭支援センター

【8 その他】

- ・子供（他4件） ・相談する内容についての専門家（他2件） ・保育園の先生（他2件） ・姉妹
- ・公益社団法人スコレ家庭教育振興協会の人達 ・自分に相談し自分で決定します
- ・兄弟 ・信頼できる人（昔から変わらず相談にのってくれる人） ・親せき・いとこ
- ・病院 ・習い事の知人や先生 ・心療内科の医師 ・カウンセラー

【9 相談したいけどできない理由】

- ・夫は難病を患い、友人は大体が施設入居
- ・真陰に相談にのれる機関ない
- ・心配をかけるだけだし、あとは親のことや親の死後のことを親には相談できない
- ・自身の置かれている環境や性格を理解して相談にのっているように思えない。また、ニュースなどでの児童相談所の対応があまり関心しない。（アメリカのようなもっと権限を与えないとなにも出来ない）
- ・相手も忙しいだろうから
- ・そういう性格だから
- ・相談したい相手がみつからない

【10 相談したいと思わない理由】

- ・解決するとは限らないため
- ・解決されたことがないのに、相談してもいみはないと思う

- ・自分できめる
- ・必要に迫られたら相談をするが、公的機関の相談窓口は対応に差が大きく利用しにくい
- ・必要が無い
- ・基本的には自分で決めることが多いので
- ・現代では解決に必要な情報はインターネットで容易に得られるから。
- ・悩んでいることを伝えることが難しい。また、望む回答が得られないのではないかと考えてしまう
- ・なるべく自分で解決したいと思うから

**Q15 川崎市には次のような相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）がありますが、知っていますか。
また、利用したことはありますか。（知っているものすべてに○、利用したことがある場合は◎）**

【知っている】

	件数	%
1 児童相談所	311	78.5
2 民生委員・主任児童委員	226	57.1
3 スクールカウンセラー	211	53.3
4 総合教育センター	77	19.4
5 24時間子供 SOS 電話相談	145	36.6
6 教育委員会の教育相談室	78	19.7
7 人権オンブズパーソン	69	17.4
8 川崎いのちの電話	214	54.0
9 かわさきチャイルドライン	91	23.0
10 子どもの人権 110 番	118	29.8
11 その他	8	2.0
無回答	54	13.6

【利用したことがある】

	件数
1 児童相談所	11
2 民生委員・主任児童委員	3
3 スクールカウンセラー	8
4 総合教育センター	11
5 24時間子供 SOS 電話相談	0
6 教育委員会の教育相談室	5
7 人権オンブズパーソン	3
8 川崎いのちの電話	3
9 かわさきチャイルドライン	3
10 子どもの人権 110 番	0
11 その他	3

**Q16 あなたは、子どもに関して困ったり悩んだりしたとき、Q15 のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。
（○は1つ）**

	件数	%
1 したいと思う	242	61.1
2 したいけどできない	34	8.6
3 したいと思わない	94	23.7
無回答	26	6.6
合計	396	100.0

【したいけどできない理由】

- ・電話すること自体に勇気がいるのと、どうやって伝えたら良いか迷う（他4件）

- ・はずかしい（他 1 件）
- ・どこにいるのか不明（他 1 件）
- ・どこに何を相談すればいいかわからない
- ・困ったり悩んだりする内容による
- ・今までこんなに色々な機関があるのを知らなかったのとっさに思いつかないかも
- ・まどぐちかわからない
- ・他人に話しをするのに抵抗感がある
- ・手続きの方法が分からない
- ・どの程度の事柄で相談して良いかわずかしい適切な相談機関が不明瞭でたらい回しにされそう
- ・大げさなことに思ってしまう
- ・周囲からの目
- ・できたら自分で解決したい
- ・めんどくさい
- ・「そんな程度で」と軽く、事務的に、仕事としてこなされてしまう気がするから
- ・秘密が守られるのか、相談相手に適切なことを言われないうる心配
- ・どこに TEL すればいいかわからない
- ・育て中は、家族以外に頼ることができなかった気がします
- ・気軽に相談できない情報が漏れそう
- ・なかなか身近に感じていないため
- ・解決できるかわからないから
- ・本当に助けになってくれるのか不安
- ・細分化されすぎていてばっかりとした悩みを相談できる場所が見当たらない
- ・具体的に助けてくれるのか不安がある

【したいと思わない理由】

- ・子供がいらないから不要（他 7 件）
- ・今のところ必要ない（他 6 件）
- ・親と家族でなるべく解決したほうが良いと思う（他 6 件）
- ・相談できる人がいるから（他 4 件）
- ・今まで困った経験がない、又、ちょっとした事なら身近な人に相談し解決している（他 2 件）
- ・結局自分で決めなくてはと思う（他 1 件）
- ・初対面で困っている内容を話にくいから（他 1 件）
- ・信頼できない（他 1 件）
- ・親身になってくれるかわからない（他 1 件）
- ・秘密が守られるのか不安（他 1 件）
- ・本気で考えてくれるかわからない
- ・はっきりとした理由はありますが、もしその様な事態になれば考えが変わるかも知れません
- ・もう大人で分別がある
- ・最終手段という感じだから
- ・金銭的余裕があるなら、民間のサービスを利用したい
- ・自分の状況を全部話さないと伝わらないと思うから
- ・受動的な機関で解決に疑問が残るから
- ・身近でないから
- ・番号知らないから
- ・そこまで、悩む事がなかった
- ・知らない人に話そうと思わない
- ・話をわかる迄話す。愛情をもって、思えば思ってくれるはず
- ・たらい回し
- ・今の所、学校や公園で仲良く遊んでいます
- ・当事者同士で解決すると思います
- ・まずは子どもと直接話し合うことが出来ているから
- ・こういう機関は実際に利用しても、助けてはくれない
- ・他人にはいられたくないから
- ・一度勇気を出してかけたが、ろくに話しを聞かず自分の主張ばかりで役立つ情報もなく、ただ心が傷ついたから
- ・必要に迫られたら相談をするが、公的機関の相談窓口は対応に差が大きく、進んで利用したいと思わない
- ・救済を求めるレベルではなく、相談であれば信頼関係を築けている友人や家族にと思うから
- ・相手がどんな人かわからないのに例えば子育て経験のない男性にアドバイスされても、嫌な気分になる。
- ・気軽には行かない場所だと思っているから

- ・ハードルが高い、相談機関に関する知識が少ない
- ・そこまでの事かと思いたくないし、決まった答えしかかえってこなそう
- ・大きな内容でなければ相談しにくい
- ・話しても解決できないような気がする
- ・自分で考えるべき問題のため
- ・自分の子供はすでに成人しているから、もしも周囲でそのような状況の子供があることがわかったら利用するかもしれない
- ・事務的、当たり障りのない内容、ネットで調べたような
- ・どこで何をすれば相談できるのかパッと思い当たらない
- ・家族で話し解決できることは解決したいが、できなかつたら頼りたいです
- ・関係が近い人に相談に乗ってもらった方が、状況を理解してもらいやすいと思うから。
- ・してもありきたりな回答しかない。結局は、自分で解決する事もあると思うし、親族や友人の方が親身になってくれると思う
- ・寄り添う風で根本的に助けてくれない。責任が伴わないので
- ・どういう組織がわからない。利権が多い中、本当に信用できる組織なのか
- ・第3者に相談したところで、改善するとは思わないから

Q17 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 対面で（直接）相談できる	211	53.3
2 電話で相談できる	175	44.2
3 文章（チャット、SNS など）で相談できる	122	30.8
4 通話料がかからない	89	22.5
5 知っている人に相談する	121	30.6
6 知らない人に相談する	52	13.1
7 その他	11	2.8
無回答	26	6.6

【その他】

- ・専門家の居るところ ・友人、親
- ・弁護士相談や、カウンセラー相談
- ・①市長への手紙、②市会議員から担当部局に継なげる③その問題のオーソリティー
- ・相談機関が平日のみの場合が多い、仕事をしていると難しい場合がある ・顔をあわせないから
- ・公的機関 ・身近で相談できる人がいる。
- ・専門的な知識があり、相談援助業務に前向きに取り組んでいる人材が多い機関
- ・どのようなところでもない
- ・話をきちんと聞いてくれるところ （アドバイスばかりしてくるところが多い気がする）
- ・相談する手段よりも、自分のタイミングで相談できるか、聞く相手が信頼できるかどうかによる

Ⅳ 『地域のこと』についてお聞きします。※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども（近所や親戚の子どもなど）や子ども一般のことについてお答えください。

Q18 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加していますか。（○は1つ）

	件数	%
1 参加している	30	7.6
2 だいたい参加している	27	6.8
3 ほとんど参加していない	86	21.7
4 参加していない	244	61.6
無回答	9	2.3
合計	396	100.0

Q18-1 Q18において、「1 参加している」または「2 だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。
地域で何かをきめるとき、子どもの意見を聞いていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 聞いている	3	5.3
2 だいたい聞いている	19	33.3
3 ほとんど聞いていない	18	31.6
4 聞いていない	12	21.1
無回答	5	8.8
合計	57	100.0

Q18-2 Q18-1において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。
子どもの意見を聞いたことで印象に残っていることは何ですか。

- ・子ども目線と大人目線ではちがう
- ・父が悪い。母が悪いといったこと
- ・竹のこほり
- ・地域のサッカーチームに子供が入会していた頃(20年ほど前)練習試合をするのにどこ試合をやりたいか、子供達に聞いていた
- ・子供行事には、参加した子供達に案など聞いた事がある
- ・町内会行事等で子供によっては自分の都合のみ求める人もおり公平を心がけている
- ・子供1人1人の話し合では本人もかっこつけないが、人数多く成ると意見が強くなり、口話がだんだつになる。自分を強く見せようとする子供もいる、優しい子供もいる、まちまち
- ・公園清掃などに参加することになり、子どもに聞いたらきれいになることは気持ち良いと言ったこと
- ・あれがしたいこれがしたい叶えられるようなことは聞いているつもりです
- ・子どもの調べたいことのサポートや、朝会での話し合い、アンケート活動など
- ・自分たち(子供達)の意見が反映、尊重されていることでやる気に繋がったり、責任を持って取り組んでいる様子が見れたこと。誇らしげな様子は見ていて頼もしく、成長が感じられて嬉しいものです

Q18-3 Q18-1において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。
子どもの意見を聞けていない理由は何ですか。

- ・子どもと大人と一緒に話し合う時間があまりない。大人がだいたいの事を決めている(子どもに適しているかどうか考えながら)
- ・親の意思で参加しているので
- ・活動の内容が子供には、関係のないことだから
- ・町会とかが主であり、そういう話を子供とする場面が無い
- ・夫に意見を聞く事が多い
- ・地域活動をする内容が、直接子どもに関係しないものである事が理由
- ・大人のみの会議で決めている
- ・ボランティアに参加しているが子供たちとの交流の場が設けられていない
- ・聞く機会がないため(他2件)
- ・地域で何かを決める際、子供の意見を求められる事が少ないから
- ・必要性がないため
- ・子供の意見を聞くボランティアに付くボランティアはなかった
- ・関心が無さそうなので
- ・なかなか、聞ける状況にない。会えた時には聞くようにしている
- ・子どもが来ないから(他1件)
- ・子供がすでに成人して独立しており、身近に子供がいらないためよくわかりません。イメージ
- ・地域で何かを決めるということがない。すでに決まっていることのお知らせがくるので参加したりしている。
- ・子どもの意見を聞く立場ではないから
- ・子どもの意見を聞く体制がないから
- ・町内のお祭りは昔から同じ流れで行っているの、そもそも「子どもの意見」は存在していない。全ての前例がない事柄について「子どもの意見」は反映されにくい。(大人であってもダメなのだから)
- ・子供達と公がない
- ・予定が直前のため
- ・子供の意見を必要とする活動をしていない

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q19 あなたは、自分が好きですか。

	件数	%
1 好き	81	20.5
2 だいたい好き	203	51.3
3 あまり好きではない	89	22.5
4 好きではない	13	3.3
無回答	10	2.5
合計	396	100.0

Q20 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。（○は1つ）

	件数	%
1 感じる	117	29.5
2 だいたい感じる	217	54.8
3 あまり感じない	50	12.6
4 感じない	5	1.3
無回答	7	1.8
合計	396	100.0

Q21 あなたは、毎日が楽しいですか。（○は1つ）

	件数	%
1 楽しい	69	17.4
2 だいたい楽しい	246	62.1
3 あまり楽しくない	67	16.9
4 楽しくない	7	1.8
無回答	7	1.8
合計	396	100.0

Q22 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	69	17.4
2 だいたいそう思う	268	67.7
3 あまり思わない	39	9.8
4 思わない	5	1.3
無回答	15	3.8
合計	396	100.0

Q23 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。なんでも自由に書いてください。

- ・地域の活動やボランティアなどに参加し、多くの人とかかわることが大切だと思う（他16件）
- ・社会に参加するには大人と関わり経験して行くことが大切だと思う（他14件）
- ・親や家族からの愛情（他12件）
- ・子どもを育てていて一番感じるのは、とにかくお金がかかるということです。子育てにける予算がとても低いということが原因だと感じます。（諸外国と比べて子どもにける予算が低すぎる）少子化の時代にもっと子どもをとりまく環境が豊かにならないとこの国は終わってしまうと危惧しています。行政、国をあげてもっと豊かな養育・教育環境を整えることが最も大切だと思います。（他10件）
- ・悩みや困った事を相談できる環境（他8件）
- ・生活環境が整う事（他7件）
- ・子どもの意見を尊重し聞く耳を持つ（他6件）

- ・失敗を恐れずチャレンジし、チャレンジしたことを肯定する大人が周りにいること（他 5 件）
- ・差別のない社会（他 5 件）
- ・家庭環境（安全と安心の確保）（他 5 件）
- ・親やまわりの大人が愛情をもって接したり見守っていくこと（他 4 件）
- ・親だけに限らず、周りの大人のサポートが必要だと感じます（他 3 件）
- ・多様性の理解（他 3 件）
- ・大人が自分らしく生きている姿を見せてやれること（他 3 件）
- ・学校生活では先生や周りの人から見守られながら、こどもがそれを実感し、何かあったときにはひとりではない、自分の力になってくれる人がいることを感じながら、生活していけること（他 2 件）
- ・様々な環境にいる子どもたちが平等に教育を受けることができること（他 2 件）
- ・外で遊ぶことが大切だと思う。公園ではボール遊びができないのはかわいそうと思う（他 2 件）
- ・時代に合った社会見学を常々見直すことが大切だと思います（他 2 件）
- ・いじめや虐待を受けている子どもが逃れられる居場所を作ってあげたい。特に自分から訴えることができない小さな子どもを、周りの大人たちが目を光らせ守ってあげたい。苦しんでいる小さな子どもに気づいて助けてあげる社会にならなくてはいけないと思う（他 2 件）
- ・お金の心配なく学業、医療、趣味、自分の自由な時間等気にせず成長してほしい。子供の教育は全て無料に国が保障すべきです（他 1 件）
- ・安全で安心して暮らせる社会（他 1 件）
- ・大人の子供に対する理解（他 1 件）
- ・夢中になれることがあること（他 1 件）
- ・相手を、思いやる気持ち（他 1 件）
- ・「被害」の内容を子ども自身が知らないと、子どもは被害を受けたと思わないかもしれない。私自身がある程度、成長してから過去のできごとをあれは被害だったと後から気づいたから。大人だったら、イヤなことがあれば人に言えるけど、子どもはなぜか言うてはいけなさと感じてしまうかもしれない（他 1 件）
- ・親となったら子供に対する責任があることの自覚が必要だと考える。自分優先ではなく子供優先、そうすることで親がストレスをため続けてはいけなさとと思うが、子供育てで人間として成長できるのだから（現在進行形の方にはそうは思えないとは思いますが・・・）親としての人生を生きてほしい（他 1 件）
- ・大人が子どもに関心を持って接し、見守ることが大切だと思います（他 1 件）
- ・「子ども」全体についての一般論ではなく、子ども一人ひとりの状況をよく知り、個別に向き合うことが大切だと思う
- ・身体だけでなく、心も健康であること
- ・家庭ではもちろんですが子どもの周りの社会にいる大人も子どもを一個人として尊重する事が必要（他 13 件）
- ・色んなモノ、人に触れる機会を増やし吸収することで自分の人生を見つめこう生きたい!と理想の自分を描くことができると思う
- ・人に迷惑をかけず健康で楽しく生きて行く事が大切だと思います
- ・信頼関係が大事だと思う
- ・障害があっても、のびのびと生活できるような環境
- ・挨拶
- ・支援
- ・良い友人を作る
- ・何でも話せる友達を作ることだと思います
- ・子供を育てる家族が困難に直面した際に頼れる制度やサービスを充実させる、子供が相談先に簡単に辿り着けるようスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの人員を増やす
- ・会話ができる
- ・元気でいればそれでいい
- ・大人も子ども同様に安心して暮らすことができれば大人の心にゆとりができ、子どもにもやさしくなれると思う。自分が支えてもらえたから（大人）、自分も支えたいと（子どもを）自然と思えたらいいのでは
- ・広い心
- ・親が毅然として子供に助言できること。最終的には子供の人生は子どものものであり、大人になればお互いに対等な大人同士になるということを理解して、小さいうちから育てること
- ・基本的人権が守られていること
- ・悪意に飲まれないこと
- ・信頼、手本になるような大人がいること、困ったことがあったら頼れる存在がいること。大人の私でも信用できない、マナーのなっていない大人がよく見かけるので…）まずは大人たちがかわっていくべきだと考えています
- ・子ども安心して自分らしく暮らすためには地域全体で子ども達を守っていかないとはいけません（他 4 件）
- ・子供が成長していく過程で一番重要な時期は小学 1 年から 6 年までの小学校時代だと思う。この 6 年間の学校生活の学びが基本となり人間形成がされていくのであれば、これに携わる教師の責務は重大である。
- ・まわりに安心できる環境が整っていること。居場所があること

- ・こどもが自己肯定感を高く保てること
- ・家庭内で問題があってもなかなか外見からは判断できず、顕在化したときには命にかかわるということがあるということをよくききます。行政としてなかなか家のことにふみこむことができないとは思いますが、ある程度は積極的に介入することも必要であると考えます(財政・マンパワー上限界はありますが)
- ・情報が行き渡ることは大切だと思います。学校以外でも、情報が渡るツールが必要と考えます
- ・日頃から部活や勉強の量が多く、好きなことを見つける余裕がないように感じる
- ・自分で選択ができるようになる必要があり、可能性を広げる為の質の高い教育と、社会と接する為の機会、情報を、得られる環境が大切と考えます
- ・将来の仕事などの体験や考え方を大人のうちかはできたらいいと思う
- ・あまり周りに気をつかわずのびのびと遊んだり勉強したりする環境が必要
- ・難しいですが、子供の言動を“大人の都合”を理由に否定しないこと
- ・親自身が豊かに暮らせていること
- ・子供には答えがないことでも怒る・伝える努力をすること、スルーしないこと
- ・大人が経済的に自立し人生を楽しんでいること
- ・子供の特徴に合った教育を受けられること
- ・親が人に頼らず、産んだ責任を貫くこと。厳しく育てること。甘やかしてはいけないこと。将来の自身(子供)と世界の為、周りに迷惑を掛けないこと
- ・成長度合いに応じて自由と責任をセットで与える事
- ・子どもを追い込まない様に言動に注意すること
- ・年金、お金について子どもの頃から学習させる
- ・組織は縦社会でできているということを教えることが必要だと思います。平等の意味を間違えているような気がします
- ・家庭、学校、地域が連携して子供を見守り続け、個人を大切にすること
- ・日本経済の発展・教育現場のコンプライアンスの向上(厳しさも必要)
- ・何でも話せる友人がいること
- ・まずは親が安心して、自分らしく生きている。そして、きちんとしている人間である事。その上で、愛情と理解をもって、子供を育てる
- ・教育や将来に不安を持たずに生活できる事
- ・愛情、信頼、関心をもって接し、善悪のけじめをしっかりと教える(大人の責任、義務)。その上に他人に対する思いやりのこころを持つこと、又お金は身をもって働いて得ること。相対する大人が正しく生きていることが必要
- ・安心して自分の気持ちや考えていることを話せる、世の中にはたくさんの個性を持つ人がいて、その中の一人であり、“普通は”に捉われすぎないこと、違うことを面白さとして受け入れるマインドを持つこと
- ・家族に大切にされていること。家族がいなくても、それに代わる大人から守られ大切にされていること。希望のある未来を思い描ける社会であること
- ・親、社会、行政が、もう少しだけ真面目に考える事
- ・色々な友だち、色々な大人、色々な仕事、色々な趣味、色々な街、今までに知らなかった事を見たり聞いたりして新しい発見をする事、自分が成長できる事を、変われる事を知る事自分ののびしろを感じながら希望をもって生きていく事たのしく、けんこうにくらす事、自分のことだけでなく、まわりをたすけて役立てる人間になろうとする事、いい大人になろうと思える事
- ・大人が適切な環境を用意し、自守性をおもんじているから見守ること、必要に応じてサポートすること
- ・大人が人や親がもう少しきびしくする所はしてやさしくする所はやさしくメリハリをつけてはどうでしょう
- ・親が子供が安心できる環境を作ってあげる自分の思う事を自由に言えて話し合える家族関係が出来ればいい
- ・親から認められて、生活が送れることが大切だと思います
- ・親学校
- ・地方に移住
- ・親の感心。子供の自主性、感性、プライドこれらを支える情報
- ・または頼れる大人の存在を支え、意見をすべて聞き入れるでもなく、頭ごなしに否定するでもなく、なぜNGでなにならOKか“理由”をもとに子供の考える力をのばしていくことが大事だと思う。そういった課程を経る中で自分らしさを得ることができると思う
- ・子供をこどもとしてでなく1人の人間として向き合うこと、意志や感情を受け入れ共感すること、帰る場所があるということ、自分の味方や応援団がいると感じられること
- ・安心して帰れる場所があること
- ・学校、習い事など子どもに関わる人の対偶の改善、また不適格な人(性犯罪、いじめetc)が関わらない仕組み、監視の制度・家庭の安らぎ、学校でいじめのない平和な生活、クラスメートで仲良く出来る友達を作る
- ・学校で一生けんめい、勉強しようして、先生のいうこときいて、友達を沢山すくって、自分らしく生きて欲しいです。家では、祖父、祖母、家族がいるので、のびのび大きくなってもらいたいです
- ・学校で校外授業を増やし、経験や視野を広げて好奇心をもてたら成長につながる気がします。家では、子供が習い事、部活、塾が忙しくいろんな体験ができてないです

- ・笑うこと、を実行する
- ・学校では、部活などで人との接し方などを学び、様々な人と交流して社会に出て行ってほしいです
- ・家庭の中で大切にされ、家族の一員として役割をもったり、自分のできること、やりたいことを一生懸命やりながら、失敗を経験し、反省したり次に頑張ろうと努力することにつながられるよう大人が見守っていく
- ・権利という言葉は履き違える大人がいてそれを子供が見ています。確かに権利は大切ですが、それを十分に理解、実践できる環境作りが大事です。環境は周囲の大人が作っていくものですので、まずは大人が参画できる/参画しやすい基盤があって、それを周知する手段があると良いのではないかと考えます
- ・子供同志良く遊ぶその中で友情や力の関係を学び成長すると思う
- ・子どもが自分の意見を言っても良いという環境である。大人は、衣・食・住・お金・情報・医療など正しい知識を持つ努力をし、子どもが正しい判断・理解ができるように自らも学びつづけていく。役所・国・行政が決めたから守らなければいけないのではなく、自分で考えることを推進していく必要がある
- ・子ども自らが権利主体であることを自覚し、この社会を変革しつくり上げていく気持ちを持って欲しい。社会が子どもの権利行使をほししょうし、かつ支援して行かねばならない ・受験などの過度な競争に晒さない
- ・子ども自身が考え、自ら選択し、周りの大人がその子どもの考えを尊重し、支えていく環境づくりが大切だと思います。子どもの頃から親や学校の先生といった日々のとくていの大人だけでなく様々なバックグラウンドを持つ大人との接点をもつことも必要なのではないかと思います
- ・子ども自身に決定権をもたせつつ、大人がサポートしてあげられる環境。子どもがいろんな年代の人と関わり、いろんな価値観を知ること
- ・子どもだからと情報を制限されず、何が悪いのか何が良いのかを信頼できる大人と相談すること。また自分のおかれている環境、感情を客観的にみれる練習を幼い頃からできること
- ・時には自由に時には監視してあげる
- ・子どもに過干渉せず、意志を大切にし、悩みがあれば聞けるよう心を開いておく。問題が起きたら、すぐに解決に努め、子どもが、安心して、生活できる環境を作る。時に、いじめなどで苦しむことがあれば、無理にその集団にいてをさせて、冷静に考え、必要なら学校や集団から離れるよう支援する。他の人と一緒に同じ事をしなければならぬと追いつめることはしない。社会は、失敗する子どもを追いつめず、見守るべき。SNS など含め、攻撃するような面を厳しく取りしめるべき
- ・子供は自分の個性を早くみつけ、それに向って努力する
- ・子どもを含む他人に対して、悪い点や劣っている点に目を向けて非難するのではなく、良い点や優れている点に目を向けて褒める姿勢が大切
- ・皆がそのように生きられるよう、政治(経済面)が国民に目がむいていること
- ・困っている、そうでなくても自分を思いやってくれて、助けてくれる協力してくれると思える大人が側に居ること。そうして安心した状況下で、学習やそれ以外のしゅみが集中して行えると思う
- ・個を尊重する社会は大切なひとつですが、組織体(社会)の中では自己表現と相手を許容できる人間性としての成長には試練も必要かと
- ・自主性を尊重すること。社会上の基本的なルールを身につけること
- ・自分が大切にされている、愛されていると感じること、親や、その代わりにしている大人を信じられること。学校に行って、良い人間関係を作って自分の世界を拓けて行くことだと思います
- ・自分自身を理解すること。長所・欠点は何か、何をしたいか、またはしたくないか。自分の心を深くみつめること。その上で、自分に必要な場、人、心が安定すること、場をみつけ、自分の好きなことができるよう努力すること。失敗しても、そこから学んで、またチャレンジする勇気を持つこと。はげましてくれる、心豊かな大人が周りにいたら、その人に相談したり、知恵をもらって、少しずつ軌道修正して、楽しみをみつけながら生きて欲しいと思う
- ・将来に大いなる希望を持ち、更にそれを実現しようとする、ふだんの努力
- ・自分らしく生きるのは大事だけど、自由、わがままは違うし、どんな人でも 2 割の人から嫌われるし、性格が合わない人と出会うことは教えた方がいいと思う。正しい、正しくない、白黒ハッキリのバツンと分けるのではなくお互い様、思いやりも大事で、自分の好きな人や害のない人ばかりに囲まれるのではなく、合わない、嫌いな人からも学べることを知ってほしい
- ・信頼できる大人達の存在と失敗を許容できる環境
- ・自由な時間を与えること大人が許容力を持つこと大人が厳しくも愛情ある指導をだれもが親に代わってできる社会の実現 ・生活のゆとりと自分に居場所があるコミュニティに参加していること
- ・自由に自分の考えを言えるように社会環境を変える。(考えを言った時否定せずよく聞き一緒に考える) 小、中、高で社会生活、ボランティア等に、かかわらせた方がよいと思う。実社会での、仕事の種類や、働く意味も考えるように、なるといいですね。スマートホン、SNS、ゲームの制限は必要!!
- ・しょうがいがある子どもにりんきおうへんにうごいてってことばはりかいできないのでぐたいてきにマニュアルをつくってほしい
- ・なるべく話しをする選択肢が多くなるよう親が努力をする
- ・将来への不安がないこと。(年金や親の介護、子供の教育費、などお金の心配がないと良い)
- ・その子どもにとって心から信頼できる大人が1人でも身近にいて、いざという時に守ってくれることが大切

- ・義務の学校教育をもっと充実させて塾に通わないと受験が出来ないのは不自然と思います。この辺を改善しないとどんどん差がひろがり日本国の地位は下がるばかりと思います
- ・家族以外の頼れる大人がいる
- ・長男も停年退職して数年になりますが、高校・大学に入学する時、希望の学校に入学出来るよう最大の努力をすることです
- ・やりたいことを否定せず受け入れ、個性を伸ばしてあげる
- ・常に子供の事を気につけ、見守り、大切にしているかを感じさせ、小学生迄はいろんな社会参加を土台作りに集団行動の大切さを身につけさせ、自分の好きな事を早く見つけて育ててほしいと思います
- ・普通に3食の食事が出来る事親からのDVが無い事
- ・町の治安世界平和
- ・勉強では、通常授業で成長できるシステムが必要と思い、塾へとは進まず、伸び伸びできる環境が必要
- ・ほっとく時はほっておく必要な時は気にかけるのジャッジ
- ・家庭の生活基盤が安定していること
- ・本当に自ら進んで取り組める、経験したいと思い前に進め、よろこびや苦しみ、痛み、くやしき、楽しさ、達成感を心身で受けとめ成長できる社会。身近な環境整備とともに、虐待や孤児であっても夢を持って生きて行ける世界になってほしい。その為には、もっと未来を見据えた取組が必要だと考える
- ・子供の個性を生かすこと
- ・まず大人が真面目に生き真剣に何にでも取り組んでいけば子どももそれに準じて成長していくと思う。あまりがんじがらめにしすぎることなく、悪いことは何かをしっかりと教えれば、あとはのびのびとさせておくことがいい
- ・まずは、出生から育児へのサポートを国なりし、市町村が担い、ストレスのかからない状態でいられること。その上で親自身が安心して自分らしく生き、楽しみながら社会参加をする姿を子どもに見せることが大切だと思う
- ・まず貧困世帯をなくす。片親世帯(特に母親のみ)でも充分に子供と過ごす時間がとれて、子供たちの将来のためにお金が使えるように、親の収入(特に手取り分)を増やす。日本自体が余裕がないので、子供たちが社会に参加しようにも社会がそれをこぼんでいるように感じる。あと子供に対する性加害が多いように感じるので罰則を厳しくする。子供が自分らしく生きるためには土台となる家庭が安定していないと子供も安心して暮らせないと思う。特にいなかに住んでた自分からすると川崎市はかなり都会。都会はいろんな選択肢が充実している分、子供たちは小さなころから習いごとをしたり、大変そう。その習いごと親の裕福度によって子供の受けられる質も量もちがう。もう何を言いたいかわからなくなりましたが、日本が豊かになれば子供も豊かになるだろうし、子供を産み育てようという人も増えると思います
- ・周りがいろいろ「やりなさい」と言うより、子どもが自分で興味ある事にどんどん進んで行った方が良いと思う
- ・同調圧力を気にせず生きていっていい事を小さいうちから浸透させる
- ・みなが自己表現し、個々の意見を持つこと。また、日本はネガティブ思考なのでポジティブに考えを持てるように小さい頃から特訓するべき
- ・スマホ等、自分の知らないところで知らない人が…。「いじめ」の温床になっているのがとても怖く感じています。子供達の成長過程において大人(親)、教師、友人の存在は大切な宝物と感じています。その繋がりがあるのと無いのでは、全く違ったものになると私は、思っています
- ・私の子育てした時代と今の保育、教育環境が違うのであまりわからないのですが、社会性と自分らしく生きることの間に相変らずへだたりがあるように思う。親が生活に追われることなく社会に参加できれば、子どもも同様に育ち成長していけるのではと思う
- ・安心できる場所、SOSが言える場所、理解ある人、サポートしてくれる人
- ・意見の尊重、協調性、川崎市は治安が悪いところではない！
- ・衣食住が確保されていること。大人に理不尽に怒られないこと。親の機嫌に左右されないこと。周りに愛されていると感じること ・社会のルールを教えてもらえ、その範囲であれば自由であることを教えてもらえる
- ・各学校や家庭が、子どもたちが社会参加できる場を可能な限り提供し、様々なことを体験させることが大切だと思います。これを実現するために、貧しい家庭環境にいる子どもたちの境遇を改善するための支援施策を充実させることも大切です。低所得世帯の経済的な支援をさらに充実させることから始めると良いと思います
- ・学校の時間をもう少し延ばし、人と関わる時間を増やしたり、校庭開放にもっと人が集まるようにしたい
- ・学校や習い事以外の自由な時間を十分とることで、遊び、休息、勉強などができると思います。大人が子どもに対して働きかけることよりも、子ども自身が何か要求を掲げることによって川崎市のあり方に変化を与えることが重要だと思います
- ・健康な食事と日本の未来を期待できるような教育
- ・学校教育というカリキュラムだけでなく、他の期間との連携、協力。授業時数に縛られない柔軟でかつ、社会との関わりを大切に交流
- ・自主性を重んじること、承認すること
- ・教育制度の改正。教育は大事だけど、こどもが興味あることを伸ばせる環境が欲しい。子供同士が相談してルールを決めていく自治体制の確立。大人はヘルプ要請があったときだけ対応する。中学生以上の年頃になったらますますそのあり方は大事と考える
- ・将来に向けてのプランを考える時間を取った方がいい

- ・時代に合わない意味のない校則は廃止すべき。制服は特定の行事のみ、普段は好きな服装で良いと考える
- ・高年齢世代を政治の表舞台から退出させることが必要。絶望的に人権軽視で、男尊女卑、固定観念が強すぎる
- ・小さい頃から自分で考えて、その考えを言えて、自分で決めることが大事だなと。学校で、ああしなさい、こうしなさい、言われた通りやればいい、みたいに指導されてきたのに、大学になったら急に自由になり全部自分で決めなければならず、壊れそうになっていました。学校である程度誘導したり締め付けたりしないといけないのも理解できるので、家ではもっと自分で考えてそれを聞けばよかったなと思ってます
- ・子どもの性格や、得手不得手はあるにせよ積極的に発言、行動に移せることが大事だと思います。そのために発言しやすい雰囲気を家庭や学校で整え、しっかり話を聞けるだけの時間を取れるように大人側も仕事や家事など調整しやすい環境が必要だと思います
- ・強制されないこと、活動できる場、チャンス、選択肢が多くあること
- ・育児休暇、各種手当（金銭的な部分含む）を受けられやすいことも大事だと思います
- ・子育て世代同士、ご近所付き合いなど、子どもが過ごす環境の大人が関わりを持って地域ぐるみで子育てできる街でありますように
- ・親や先生が余裕を持って子供に接することができるような支援のあり方
- ・子供のうちから、まずは自分自身が何者なのか考える癖を作らせる教育がどんな事柄よりもまず大事。年齢によっても価値観が変わって行く中で、どんなネガティブな自分も受容し認めて受け入れていく。完璧な人間はいないこと。人には個性があって、得意と不得意を持つてるもの同士が補い合い生きていること。自分を好きになること、自分を許すこと、自分を責めない。そこから欠乏感や不足感がなくなって自分で自分を満たせられると、前向きな力が湧いてくる。そして自分に優しくなれて人にも優しくなれる。経験を積んで成長していつてもらいたい
- ・監視カメラなどを用いて客観的な事実を記録し、確認できる様にする事
- ・子供は宝、社会全体で育てていく事が大切だと思う
- ・自分と他人は違うという事をしっかりと教えること
- ・治安の良い環境、遊びやすい場所があること、地域の活動や学校での社会活動への参加を積極的に行うこと
- ・自分が置かれた環境に馴染むこと、自分のことを考えすぎない。また他人のことも考えすぎない。ベストは中間的な存在
- ・子供を育てる家族が困難に直面した際に頼れる制度やサービスを充実させる
- ・自分の年代では社会参加は家庭、学校、地域そして友達が全てであったかなと思います。近所にはいけないことをしたら叱ってくれる近所の人も居ました。他人の子供も指導してくれる社会であって欲しいと思います。自分のような 56 歳のオヤジが他人の子供に声を掛け難い世の中になってしまったのが残念です
- ・周りから何か言われることなく、自分の好きなように遊べたり、学ぶことができる場所
- ・一度不登校で社会から離れたとしても、それで終わりではない、いつでも社会に戻れると感じることができるような具体的なロードマップを示すこと
- ・色々なところに自分の居場所だと感じる事のできる場所がある
- ・周りの大人、社会全体による援助。子どもをもつ親への手厚い援助(子どもが何にも邪魔されることなく安心して生きていけるかどうかはその子の親や家庭環境は少なからず影響すると思うから)
- ・色々な事(イベント等)に参加する機会は重要だと思うが、その機会があること、情報を子供に周知させることが大切だと思う。その情報を得られるか否かが参加する機会を得られるかにつながるし、情報格差があると思う
- ・犯罪に巻き込まれたり、不要に傷ついたりせず、自分を大切にしながら安心できる人に囲まれて過ごすこと
- ・大人が不条理なことから子供を徹底して守ることと、過保護になりすぎないこと
- ・我が子は重度の知的障害児ですが、今まで出会った人たちはほぼほぼみんな親切で、娘に良くしてくれました。少しでもそのような子たちや親が、地域で暮らしやすくなるようにと願うばかりです

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

Q24 あなたの令和6（2024）年4月2日時点での年齢をおしえてください。

	件数	%
10 歳代	2	0.5
20 歳代	35	8.8
30 歳代	52	13.1
40 歳代	102	25.8
50 歳代	77	19.4
60 歳代	51	12.9
70 歳代	37	9.3
80 歳以上	32	8.1
無回答	8	2.0
合計	396	100.0

Q25 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
1 男性	152	38.4
2 女性	230	58.1
3 選べない・答えたくない	9	2.3
無回答	5	1.3
合計	396	100.0

Q26 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 妊娠中	2	0.5
2 0～2歳の子どもがいる	21	5.3
3 3～6歳（就学前）の子どもがいる	30	7.6
4 小学1～3年生の子どもがいる	35	8.8
5 小学4～6年生の子どもがいる	49	12.4
6 中学生の子どもがいる	27	6.8
7 18歳未満（4月2日現在）の高校生世代の子どもがいる	38	9.6
8 18歳以上（4月2日現在）の子どもがいる	153	38.6
9 子どもはいない	128	32.3
（無回答=7、N=396）		

Q27 あなたの住んでいるところをおしえてください。（○は1つ）

	件数	%
1 川崎区	58	14.6
2 幸区	43	10.9
3 中原区	71	17.9
4 高津区	59	14.9
5 宮前区	62	15.7
6 多摩区	54	13.6
7 麻生区	44	11.1
無回答	5	1.3
合計	396	100.0

Q28 あなたは、川崎市に住んでどのくらいになりますか。（○は1つ）

	件数	%
1 1年未満	14	3.5%
2 1年以上5年未満	39	9.8%
3 5年以上10年未満	48	12.1%
4 10年以上	291	73.5%
無回答	4	1.0%
合計	396	100.0

Q29 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 父	31	7.8
2 母	44	11.1
3 祖父	2	0.5
4 祖母	3	0.8
5 兄弟姉妹	21	5.3
6 夫・妻・配偶者・パートナー	283	71.5
7 おじ	0	0.0
8 おば	0	0.0
9 子ども	180	45.5
10 孫	8	2.0
11 一人暮らし	53	13.4
12 その他	4	1.0
（無回答=6、N=396）		

3 単純集計表（職員）

Ⅰ 平成12（2000）年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 名前も内容も知っている	262	71.0
2 名前だけ知っている	75	20.3
3 知らない	30	8.1
無回答	2	0.5
合計	369	100.0

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例ををふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 職場内の研修・会議など	262	77.5
2 職場以外の講座や学習会、研修会など	84	24.9
3 パンフレット	176	52.1
4 川崎市ホームページ	74	21.9
5 ポスター	77	22.8
6 ちらし	51	15.1
7 新聞、テレビなど	14	4.1
8 その他	10	3.0
（無回答=1、N=338）		

【その他】

- ・前から知っている
- ・以前学校現場で研修・実施
- ・保育士試験で使った資料・テキスト
- ・子どもが学校から持ち帰ってくる
- ・授業準備と実施
- ・イントラネットシステム上のe-ラーニング
- ・書籍・インターネット
- ・こども夢パークの入口
- ・イベント
- ・教材研究
- ・地域への市からの配布物

Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	254	68.8
2 ありのままの自分でいる権利	52	14.1
3 自分を守り、守られる権利	22	6.0
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	6	1.6
5 自分で決める権利	15	4.1
6 参加する権利	4	1.1
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	12	3.3
無回答	4	1.1
合計	369	100.0

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・安心して生活できることが基盤となり成長することができると考えているため（他56件）
- ・安心が基盤となって他の権利にも繋がっていくと思ったから。安心することでありののままの自分でいれたり、決めたり、豊かになったり、自分を守ろうとしたりしていくことに繋がっていくと感じた（他47件）
- ・この世に生を受けて1番守られ基となるものであり、全ての子どもがそうでなければならない当然の事だから（他26件）
- ・子どもにとって安心であること、安全であることがまず第一と考えるから（他22件）
- ・人が生きる根底として、愛され、大切に育てられることが最も大切であり、大前提なことだと思うから（他15件）
- ・7つどれも大切な権利ではあるが、どんな環境にいる子どもであっても、まずは周囲の愛情を受けながら安心して生きられるようになってほしいと考えるから（14件）
- ・「生きている」ということが大前提のもので「命」が最優先されるべきものとするから（他10件）

- ・基本的人権の尊重だと思うので
- ・毎日の生活
- ・子どもは親の愛情いっぱいのもとで育てられるそれが一番幸せである
- ・大切にされるべき存在だから
- ・この権利が一番大切だと感じます。知識・経験が少ない子ども達を、周囲の大人達が暖かく見守っていき生きる力を身につけていくことが、大切であると感じます
- ・すべての子どもに健やかに成長する権利があると思うから
- ・子どもが安心して生きることができるようになることが大人の役目でもあるから
- ・子どもが安心して生きていけることが、その子の次の世代にとっても重要なことだと思う。安心して生活していけることで、子どもの心が安定し様々な事象に対してもいい影響を与えたいと思います
- ・子どもにとって、安心できる大人がいること、安心した環境で生活できることの基本が備わっていないと、何をやって意味がないと考えるから
- ・安心感をもって生活することで、いつも笑顔で過ごすことができる
- ・安心感があってこそ、子どもは自分らしさを発揮し、自分の力を伸ばし、物事を自分で考えて決断することができる
- ・様々な子どもがいる中で、誰かと比べることなく自分は自分として生きていってほしいから
- ・家庭環境や様々な理由から、心身ともに安全を確保できない子どもがいるから
- ・定時制で教えています。劣悪な家庭環境の生徒が多く見受けられるからです
- ・政治や地球環境の悪化から、子供の生命が脅かされることが多くなったから
- ・虐待や、貧困など無く、まずは安心して生活できる環境で生きることが、人は初めて周りに目が向き、自己実現にをしたいと思うようになるから
- ・保護者が保護者たる義務を果たしていない家庭が増えていると感じるから
- ・すべての子どもに当てはまることで、ほかのすべての権利が保証されたとき、安心して生きている実感がわくものだと思うから
- ・幼い頃にどのような生活を送るかは、将来を見据えた上で1番重要であると思うから
- ・挑戦することで成長することができると考えており、安心できる環境があることで様々なことに挑戦する原動力になるから
- ・心身の居場所が安定している児童は、精神的な落ち着きや成長が見込まれるため
- ・親からの虐待を受けることも、友達からのいじめを受けることもあってはならないことで、安心して生きることが一番大切だと思うから
- ・子どもファーストの為にも絶対守られなければならない内容の為
- ・人間の健やかな心と体の成長には自身が安心して過ごせる環境がとても大切だと思うから
- ・虐待や貧困など子どもに非がない場合が多く、2次被害に遭わないためにも安心して生きていくことが大切だと思います。家庭環境が複雑になり、安心して毎日を過ごせない子どもが増えているから
- ・一人一人が自分を大切に生きてするために、差別をされることがなく安心して生活できることが大切だと感じるため
- ・安心して生活できることで様々なことに挑戦したり、やりたいことを見つけられると思うから。安心して心穏やかに生活することが良いことだと思うからです
- ・家庭でも学校でも安心してこその学習であるから
- ・成長過程の子どもにはまだまだ弱い部分があり、大人が守っていかねばならないところがある。立場も弱い子どもたちが社会の中で安心して生きていくことは絶対条件であると考えます
- ・子どもにとって、安心できる場所、安心できる人をひっくるめた、安心できる環境を用意する事により、子どもの心を安定させ生活をしていけると思います
- ・学校生活でも家庭生活でも、基盤になるから
- ・学習をするにしても、適切な支援を受けるにしても、安全・安心な生活の元自己を形成していくことが人間らしく生きる上での基本であると思うから
- ・親がいて寝床がある、安心安全な場所での生活が最低限必要だと思う
- ・衣食住を基本に、周りの大人に守られながら、健やかに成長してほしいと思うから
- ・子どもは自分だけではまだ生活ができません。彼らが自立するまで安心して生活できる環境を与えるのが最低限の大人と社会が果たすべき役割だからです
- ・すべての子どもが平等に、生活できる環境であって欲しい
- ・子ども一人ひとりひとりが大切にされていることを実感しながら生きていくことが最重要だと思ふから
- ・子どもは、大人が守るべき存在です。何より、優先されるべき権利だと思います
- ・児童養護施設に入所している子どもたちは様々な理由で親からの愛情を感じずらいため、権利として保障されていることを感じてほしい

2 ありのままの自分での権利

- ・ありのままの自分ではいられないためには、他の6つの権利も必要になってくるので、全て含まれると思うから。そして1番叶えるのが難しいと思うから（他2件）
- ・安心してありのままの自分を出して生活できる環境があることが大事だと思うから（他2件）

- ・自分らしくいることそれを保障することが、生きていく上で大切だと考えるから（他1件）
- ・それぞれの個性があるので、否定されず自分の個性を活かして生きていける環境が大切だと思うからです（他1件）
- ・幼少期から児童・青年期を経て大人なっても自分自身でありつづけることが生きることだから
- ・自分自身を大切にできることで、他者への思いやりも育まれると思う
- ・その子の個性だから
- ・子どもにも様々な個性があり、これからの社会は個性が尊重されるべきであると考えするため
- ・インターネットにふりまわされ自分を見失っているから
- ・今の政治、国の状況で考えざるを得ないから。
- ・それぞれの自己肯定感を育てることで安心するし色々決めることができたり、自分も他者も守ることにつながると思うから
- ・人にはそれぞれ個性があり、ありのままの自分でいられることが大切だと思うため
- ・背伸びをしなくても今のありのままでいいということを伝えたい
- ・それぞれの個性を大切に育ってほしい
- ・偽りの自分では生きていくのがしんどくなってしまうから
- ・保護者が子どものことを決めつけるような場面をみるが、自分がしたいことをできることが大切であると感じるから
- ・みんな一緒という考えな世の中だが、今の子どもたちにありのままでいいと胸を張って生きてもらいたい
- ・家庭環境や、それ以外の外的要因によって、ありのままに生きることの難しさを感じている子ども達の姿をよく見るため
- ・自分の個性を大切にできる、他人の個性も認められる社会になっていくと良い
- ・未だに差別や偏見が多い国だと思っているので、ちゃんと自分自身を認めてあげることができて、自信を持って自分らしく毎日を過ごしてほしいから
- ・多様性を認めていく時代において、最も重要であると感じるから
- ・子供を見ていると個性の尊重がない（個性が出てない、個性が生かされてない）様に思えます
- ・子どもの生活で1日のほとんどの時間を園で過ごしているため、安心できることが最も大切なことだと感じました
- ・一人一人特性があり、集団で過ごすことが苦手な子もいる。それぞれに良さがあって、大切にされるべきだと思う。休みながらも、前向きな考えを持ち続けることが大切だと思うので選んだ
- ・人はみんな違うから
- ・生まれてきたことがすでに素晴らしいので、【ありのまま】をみんなが大切にしていれば、真の平和につながると思うから
- ・人と違うという理由で何かを制限されてはいけないと思うから
- ・様々な家庭環境、個々の成長発達がある中で、他者と比較されずにその違いも認め合いながら自分は自分でいいんだと思える、思っているんだと感じて欲しい。色んな子がいてそれが当たり前で生活を送れる場所が保育園でありたい
- ・個性を尊重してありのままの自分でいて欲しいから
- ・人と同じでないといけないという概念がまだ抜けきれていないように感じています。人と違っていい、自分の個性を尊重される場がもっと広がるといいなと思っています
- ・全ての根元に係る感情・考え方だと思うから
- ・子どもが明るく、子どもらしく生きることが守られるべきであり、大人が子どもを守っていく必要があると思うから
- ・個性を大切に受け止められることで、「自分は自分のままでいい」という自己肯定感へと繋がる。その気持ちを持つことで自分のことも周りのことも大切にできると思うから
- ・大人になるまでの成長過程の中で、自分の個性を受け入れる、受け入れてもらうことの大切さを知ることとはとても大切なことだと思う。周りと違う意見を持つこと、誰かと一緒になくても大丈夫だということを子どものときに学んでいけば、大人になったときに心を広く持つことが出来ると思う
- ・一人一人の個性がとても大切だから
- ・聾学校職員としての立場から、聞こえないというありのままの姿を社会、学校、家庭全ての場面認めてもらえることが重要だと考えています
- ・自分を偽らず、ありのままでいられることが大切だと思うから
- ・ありのままでいられる事の気持ちの余裕が周りを大切にすることにも繋がると思います
- ・どんな子でもありのままの自分が受け入れられることが安心にもその子を守ることにもつながると思うから
- ・ありのままを受け入れてもらえるという安心感が、子どもの成長に大きく関わると思うから
- ・保健室利用者と話を聞く時に、他人に対して自分をさらけ出すことが出来ていないため、人間関係が上手に構築されていない生徒が多い
- ・心も体も休めるときがないと、こわれてしまうから
- ・個性を大切にしたいから
- ・そのままで、今のままで良いと感覚的にでもわかると、安心して過ごせ、自己肯定感が高まり、子どもの成長につながると思うので

3 自分を守り、守られる権利

- ・命が保障されることは最低限だが、もっとも大切なことだと思う（他 1 件）
- ・いじめ等で命がなくなるケースが絶えないため（他 1 件）
- ・井田こども文化センターでは、「自分も楽しく、みんなも楽しく」が、キーワードです。自分を守り、みんなから、守られる
- ・相談できる環境があることで、安心して生活できる
- ・身体も精神的にも生存することが一番大切だから。人権を守るために根本である 3 番を選んだ
- ・何においても生命は大事であり、それを守られることは最低限の権利だと思うから
- ・不安定な子が多すぎ、大人が自分のことを優先しすぎている。子どもが大人に気を遣っていて可哀想
- ・親に判断されずに自分の意思で決めることが大切だと思うため
- ・命を守る為に必要だと思うので
- ・自分を守り、守られる事で、安心して生活したり、自分で決めたりなど、様々な権利にも繋がってくると感じるから
- ・自分が自分のことを 1 番守って大切にする必要があると思うから。また、様々な人から守られることも大切だと思うから
- ・まずは自分自身の生命を守り守られることが大切だから
- ・いじめや虐待など受けると一生の傷になってしまうため、生きていく中で親身になって相談など耳を傾けられる人が近くにいることで子どもが守られるため。いじめや虐待を受けたことを忘れることは出来ないトラウマになったり、人を信用出来なくなったりしてしまい対人関係の構築が難しくなることもあるため
- ・しっかりと自分の心身が守られることで、他の権利にも繋がると思う
- ・情報に惑わされないためにも、自分を守ることが大切だと思う
- ・様々な人間関係を構築していく過程で、自分を守り守られることを今の子供たちが知ることは大切だと思う
- ・どの権利も子どもだけでなく、人として持てる権利だと思うが、自分ではまだ守り切れない子どもにとっては、③は大切な権利だと思う
- ・普段良くうける相談に関する権利のため

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように励まされ、力づけられることで自己肯定感が高まるから
- ・4 があればその他の権利も持てるから
- ・大人によって経験する機会が減り子どもたちの生活に必要な物事や挑戦する力があまりなく成長する機会を奪ってしまっている
- ・生まれた家庭環境に関わらず、多くの社会的な体と学ぶ機会が保障されることが大切
- ・それぞれ人にはよいところがあり、それに気づき、他者と認め合い、高め合えるような環境で生活することが豊かな人間性を育むのだと考えます
- ・直接体験は実になるものだし、褒められることで発展していくと思うから

5 自分で決める権利

- ・1〜7 の中でレベル的には高い権利だと思っているが、自分が自分らしく生きていくためには自ら選択していくことが求められていると思う
- ・子どもも大人と対等な存在として物事を決めることが大切だと思うから
- ・自分の進む道、進んでいる道に、誇りを持ってほしい。そのためには自分で判断し、困ったときはサポートしてくれる大人の存在は大きいので
- ・自己選択自己決定できてこそ、安心して自分らしくいられるから
- ・子ども達がやりたいこと、知りたいことを自分で決められることは、自由に選択が出来、その分自由に成長出来ることにつながるから
- ・自己選択、自己決定が大切な内容だと思うので
- ・他の権利に関しては、地域の中で守られているように感じます。ただこの権利に関しては複雑かつ難しさがあるように思います
- ・年齢関係なく、自分で自分のことを決めるのは、様々な経験や体験につながっていくため
- ・1〜3 は家庭の土台、4〜6 が今の仕事として関わることができるかなど。大人の顔色伺いせずに生きる力を身につけて欲しい
- ・自分でなにかを決めることが大切だと思うため。
- ・子どものためを考えて大人が決めてしまいがちな場面が多いが、本来であれば小さい年齢のうちから子どもの意見や考えを聞き、少しずつ自分で決められることを増やしていくことが大切だと思うから。
- ・子どもは一人の人間であり、誰かの所有物ではないと示されているため。親であれ、その子どもの生き方を強制してはいけない
- ・自分の人生の主体は自分だから

6 参加する権利

- ・障害のある子どもたちを考えると、参加することに制約がある場合があります。参加したいと考える人が、自由に参加できる社会になるのが大切だと思います
- ・参加の有無は自由。その中でどうするかを自分で決め、進めることは自分次第。色んな意見を聞いて自分が出るところを決めて参加すればいい
- ・自分の意見をもつ、意見を言い、仲間をつくることで協調性を学べるから
- ・障がい理由に参加できないのは、間違っていると考えため

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・今だに差別があるから ・親のエゴや体裁で支援が必要な児童が支援を受けられずにいるので
- ・人職差別など最近よく聞くため、どんな子でも平等に社会に参加する権利を守ってあげたい
- ・今学校現場において、予算等の都合で1番大切にすることができていないと思うから
- ・集団の中でだと難しさを抱えている児童が多い。個別に最適な支援を受けることが、子どもたちの学びの深まりや成長につながると考えるから
- ・これからの学校教育は、個が自分で学んだり、よりよく生きたりしていけるように、教師が個に応じた支援をしていく必要があるから
- ・子どもが一人の人間として、人間らしく生きるために必要な権利だと考えるから
- ・支援が必要な子どもが多く、個別の支援が必要だと感じるから
- ・昨今、外国にルーツのある生徒が増えてきて、日本語学習の壁に苦しんでいる。さまざまな手立て、国際教室やダイジェ教科書、ポケトークなどあるが圧倒的に支援が足りていない
- ・保護者の都合で、本人の意図とは違う生活をしている人が増えてきているように感じるから
- ・何かしらの障がいを持つ子が増えてきている中で、障がい児のサポート環境はまだまだ足りていないから

Q4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
またその理由を教えてください。

	件数	%
1 安心して生きる権利	32	8.7
2 ありのままの自分でいる権利	38	10.3
3 自分を守り、守られる権利	50	13.6
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	20	5.4
5 自分で決める権利	67	18.2
6 参加する権利	18	4.9
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	119	32.2
無回答	25	6.8
合計	369	100.0

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・家庭的な問題を抱えている子が多すぎる（他1件）
- ・愛情不足の児童が多くなってきていることを日々の業務で実感しているため（他1件）
- ・全ての項目に共通するものと捉えますが、日本の社会に於いて「貧困」「ヤングケアラー」といった問題が危惧されています。「安心して生きる」の「安心」すら日々ままならない状況であると思われます。また実際に子ども自らが声を挙げることは少なく、周りが察知しなければ現状を掴みきれないことも大きな問題であり課題です。個人家庭が自ら解決できるものではなく、社会全体が目向ける事、待ったなしの問題と捉えます。実情が見えにくいものであるからこそ、一番懸念するものという認識から選択しました（他1件）
- ・仕事柄、虐待を受けている子を多々みている
- ・三食が食べられず子ども食堂で食事をしている
- ・あまりにも身勝手な保護者が多すぎます
- ・昔の、地域みんなで子供を育てていた時代とちがい、遊ぶ時にも場所や遊びにも制限があることが多いから。もっと大人たちが寛容になる必要があるのではないかな
- ・あらゆる差別からは守られていないと思うから
- ・1を付けましたが、守られていない項目がないとも言えないし全て守られてるとも言えると思います。本当に困っている子ども達は助けを求められるおとなが近くにいない事の方が多いような気がします。就学前の子どもは保育者の目がありますが、小学生以上の子どもたちはどうでしょうか。現状を私は把握してないのですが、気軽に相談出来る環境にいてほしいと思います

- ・普段子どもからの相談で、いじめや虐待の相談を聞くことが多いから
- ・虐待、いじめ、事故など、子どもの安全に関わることで事件、事故が絶えないから
- ・家庭環境等の観点から、平等にもっている権利になり得ていないためです
- ・家庭によっては守られていない
- ・児童虐待相談、通告が増加していることから
- ・昔に比べ安全に生活することが難しくなった
- ・家庭で守られていない場合がある
- ・保護者や保育者の顔色を見て現す態度を変える様子を見ると、そのように感じます
- ・愛される権利はあるものの、必ずしも愛されていると感じる感じ方は人それぞれ違うから難しい
- ・保護者の都合で、本人の意図とは違う生活をしている人が増えてきているように感じるから
- ・学校現場にいと、家庭が子どもたちにとって安心できる場所になっていない生徒と対面する。その数が以前よりも増えてきていると思う
- ・家庭の中で心配なことが多い。学校でフォローしようとしてもできないことがある
- ・地域、家庭によってはこれが十分でない。そのような相談が実際に子供からある
- ・意味あいがとても広いので、考え方によっては守られていない部分もたくさんあると思うので
- ・親から丸ごとの自分を受け入れ愛されていない子どもを見かけるため
- ・不安な日々を過ごしていると思うから

2 ありのままの自分でいる権利

- ・場所によっては、理解があるところも増えてきてはいるが、まだまだ、他人と異なる事で差別や偏見を感じる場面もあるため（他 3 件）
- ・共働きが増え、父母ともに、余裕がない家庭が多い。子どもは長時間集団の中で過ごし、ぼんやりする時間や自由に過ごせる時間が減っている（他 1 件）
- ・「ありのままでよい」という雰囲気は社会の中でも認められつつあるが、どうしても親や大人の思いや、周囲の目などが入りやすいから（他 1 件）
- ・人と同じでないといけないという概念がまだ抜けきれていないように感じています。人と違っていい、自分の個性を尊重される場がもっと広がるといいなと思っています（他 1 件）
- ・自由な思考がまだまだ抑えられているイメージ（他 1 件）
- ・まわりの体裁を気にしすぎる、また親のエゴで個性がなくなる
- ・現在の社会全体の課題でもあります、ジェンダーの問題とどう向き合っていくか
- ・どうしても、人を横並びで見たり考えたりすることがまだまだ多い様に思います
- ・いわゆるアンコンシャスバイアスが根強く存在している現状がある
- ・担任が不在の時にいる職員が、子ども達に威圧的でいつもビクビクしている。その職員の顔をうかがって動いている。笑顔がない
- ・場所によって、立ち位置を変えている子どもを見ているから
- ・個性の尊重がなされていない場面が多々見受けられるから
- ・いまだに古い考えをもつ大人が多いように感じる
- ・大人の社会の縮図だと思ふ子どもの世界でも、社会に適応できる能力のある人が尊重されがち。もっと多様な人がいることを認識して、自分とは違う考えだったり、環境で育つ人のことを考え、想像できる人が増えることを望む
- ・ありのままは大切なことではあるが、時と場合により我慢することも必要。人の迷惑にならないようにする指導も必要
- ・今の子どもたちは、家でも学校でもがんばっていて休んでいないように見えます
- ・いじめやからかい等をうけている児童がいるだろうから
- ・集団生活で悪目立ちすると責められがち、教育が画一的
- ・SNS を通じてヘイトスピーチや差別はますます増加していると思われるため。また多様性といいつつ、多様性に見反する意見について必要以上の批判や避難が見られるため
- ・ありのままでいられない子供もまだいると思うから
- ・日本社会は同調圧力が強いので、考え方の違いが認められない土壌があるのではと考えているから（他 1 件）
- ・多数派の人たちは認められるが少数派の人たちは受け入れられないことがある
- ・ありのままという表現が曖昧で。まず自分を理解すること。また、受け入れてもらえる環境があるの心配ため
- ・SNS 等で情報のスピードが早く、秘密が守られない場面も多く見受けられる
- ・家庭の事情などで、ありのままの姿を家族（親や周りの人）から認めてもらえず、自己肯定感の低い子どもが多い気がする。それが不登校、ひきこりにつながっているように感じる
- ・他の人と違うこと、友だちにどう思われているかをいつも気にしているから

3 自分を守り、守られる権利

- ・実際に虐待が増えてきているから（他 6 件）

- ・いじめなどが存在する（他4件）
- ・テレビやスマートフォンのニュースで多く目にするいじめ問題。この問題が無くなるのが本当にあるのかと日々感じられる程、いじめ問題で悲しいニュースが多く報じられていると思います。また、いじめだけではなく小さな子どもたちが両親からの虐待などで、天国に行ってしまうニュースも目にします。もっと未然に防げないか改めて改善策を作った方がいいと思う（他3件）
- ・子ども個々が置かれている環境によっては、守られていないと感じる（他1件）
- ・実際にはそのような子どもを目のあたりにした経験はないが、ニュースなどで聞く限り、大人の都合・勝手に子どものことが決められていることが多いように感じる（他1件）
- ・大人から子どもというよりは、子ども同士の間で守られていないことがあったり、家庭によっては暴力なども起きていることがニュースでも多く出ているため
- ・貧困問題やヤングケアラーの問題など抱える問題も多い
- ・様々な相談機関や体制が捉えられてはいるが、感情のコントロールが未熟な子ども達。ときに相手のメンタル侵害をしてしまったり、自分を守る方法がつかめなくなってしまう事もあるから
- ・本校ではあまり実感の無いことだが、他校との情報交換会で、親や親族の虐待で苦しんでいる生徒がいるとの報告をそれなりの頻度で聞くから
- ・環境や受け皿はあるが、実際に相談出来るのだろうか？と感じている
- ・SNSなどで、安易に誹謗中傷したりされたりすることが多くなったから
- ・一部ではあるが、子どもを放置したままで子どもに関心がない親、子どもが親の思い通りにならないと許さない親など、本来なら子どもを保護する立場なのに子どもを守れていない気がする
- ・全てを守るのは難しいから
- ・いじめは様々な姿かたちを持っていつでも子どもすぐそばにあり、自分を守る術を知らない。それを守るべき大人の意識が足りていない
- ・保護者や関わる大人によって、暴言暴力やネグレクトを受ける
- ・相談したくても相談できない環境になっていたり、意見をしても受け入れてもらえない環境の方が多い
- ・いつまでたってもいじめはなくならないし、虐待もあっても相談を受けたことがないからです
- ・学校生活ではいじめがなくならないから。いじめる側を教師が止められていないと思う。またいじめられている側が不登校になってしまったりと、心に大きな傷を残していると感じる。早期に発見し、いじめられている側が安全に学校で過ごせるように！
- ・親の管理下にあり、親の価値観で生きている子ども優先な世界ではない
- ・虐待により亡くなるケースがなくならないから
- ・まだこの問題はなかなか解決していないと思う。現に受けている子がどれくらいの発信をして、守ってもらえているのか。学校でもいじめがあるようだが、学校の先生は相手にしてくれないとも聞く
- ・イジメや虐待において本当に大変なのは逃げたり相談する事が出来ない子どもだと思います
- ・いじめなどに対して相談しても、それを認めてもらえなかったり、いじめた側が守られたりするような場面が多いので
- ・一番の加害者が一番身近な大人のことが多く、身近な存在に頼ることが難しい子が多いと思った
- ・お家で安全が守られていない家庭があったり、学校でも安心して生活できない子どももかなりいるから
- ・いじめも虐待も体罰もその定義が曖昧で、“どこからが”という線引きが難しいところがあること。また非常にセンシティブな問題で、恐らくそういう状況にあることには気づいていても、最初の一步を踏み込みきれないことが多いかな…と思うので
- ・自分から伝えづらい環境が多いのではと思った
- ・昨今増えてきている自ら発信しにくい状況におかれていることが多々ある
- ・いじめなどを相談できたとしてもなくならないこともあるから
- ・自分のことを話す相手がいないと考えるため

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・地域の公園など、〇〇遊びはダメ、保育園児が遊びに行くとうるさいからダメと言われてしまうことがあり、子どもの学びをせばめてしまっているように感じる（他3件）
- ・自分を豊かにするということは、親の収入によって受けられない子どもも出てくるから（他1件）
- ・子供たちの自信や心の成長につながるような大人としての関わりができていないかわからないから（他1件）
- ・大人達が毎日の生活で十分に声をかけていけるのか大人が幸せでないとその余裕もありません。大人力、子ども力も必要です
- ・周知が進んでいないのか、生徒自身や保護者の自覚も低いように感じる
- ・環境の変化に対応できておらず情緒が不安定な子も見られるから
- ・課題に対する支援は多くあるが自分自身で力を付けられるようにする子ども自身の強みを引き出す支援はやってはいるが足りていないように感じる
- ・大人が子どもたちの成果を認め、励ましたり褒めたりするような声かけがまだまだ少ないと感じているから
- ・川崎市の子どもの自己肯定感が未だに低い傾向にあるから

- ・教育環境の充実に向けた整備をより行なってもらいたい
- ・成長や自信に繋げていく声かけや体験の積み重ねが難しい
- ・守られていないというわけではないが、あまり重視されていない
- ・学ぶ中で「できない」と苦戦する生徒をよく見かけ、自信を保てるように声かけをしてもやる気を失っていることが多いと感じるから

5 自分で決める権利

- ・自分のことは自分で決めるということをおとなが決めてしまっ、自分で決めるようにしていない。（年れいや個人差もあると思いますが）（他 21 件）
- ・決定する機会が少なく感じるから（他 3 件）
- ・ことばが話せない子どもが自分で決めることは難しい。まだ年れいが小さい子は周りや自分の状況を大人と同じように理解できていない中で大切なことを決める難しさがある（他 2 件）
- ・自分で決められないこともあると思う（他 2 件）
- ・今の日本では、子どもが主張したことを、ありのまま受け入れてもらうのは難しい環境だと思う（他 2 件）
- ・「自分で自分のことを決めてもいい」と思っている子どもは少ないと思う（他 1 件）
- ・すべきことが多すぎる
- ・よかれと思う大人の発言で子供がふりまわされ自分で決めることができていない、と思う
- ・心配する気持ちから制限している部分が多いと思うから
- ・周りに合わせている姿をよく見るから
- ・つい、子どもだからと決められてしまうことが多いような気がする
- ・子どもの意見が反映されてないと思うから
- ・まだまだ社会の固定概念や仕組みとして、こどもが一生懸命考えた意見や気持ちよりも、ご両親や保護者の方の気持ちが優先されてしまう状況を目の当たりにすることが多いため
- ・教員の指示にしたがっていることが多くいため
- ・どれも守られているが、「自分で決める」という強い意思をもっている子が減っている
- ・「こうあるべき」という呪いのような、人を縛る偏った思考に影響を受けて、本来の【自分】を失い、多くの意見をもとに決めるということが多くあるから
- ・自分のことを自分で決め上での前提となる情報が大人と圧倒的に差があり、その差が権利を妨げられる原因となる場合がある気がするため
- ・統計的なデータに基づいているわけではなく、教員としての肌感覚にすぎないが、子どもの成長やキャリア形成を考えていく上で過干渉あるいは関心の薄い親子が一部いるように感じられるから
- ・状況によっては、大人主導になることもあり、子ども自身が決めるには難しい場面もあるから
- ・行事や集団での活動があった時に参加してほしくて、声かけで一緒に参加するのを促してしまうことがあったり、どうしても縦割り保育になる時の部屋移動時にまだ遊びたい子に対して 1 人の保育士がつくことができなくて遊びを中断させてしまうことがあったから
- ・子どもの判断が間違ってしまったら、守りきることができなくなってしまう可能性がある
- ・自分で決めるということは他の要因が満たされていないとなかなかできないことだと思う
- ・障害があったり、乳幼児であったりする場合、自己表現が乏しかったり、未熟だったりすることが多い。そのような状況でも、できる限り子供が自己決定できるような取り組みや工夫が必要だが、実際どこまでできているのだろう
- ・進路選択などで、保護者の意見等で強く自分の意思を主張できない生徒が多数見受けられる。一方で、まだ中学生なので、大人の意見が重視されるのも仕方ないと思われることもよくあると思う
- ・自分で決めるという事を理由に、学校を平気で休んだり、ルールを破る事がある。権利を盾にしてやりたい様にやる子がいる
- ・家庭環境や環境要因によって、自分で決めることができない子もいるため
- ・時間などに余裕がない場合に保育者側の意見で決めてしまい、子どもに決めてもらうことがない。くつなども「じぶんで！」とするが、大人が手を出してしまうことが多いと感じる ・大人の過干渉が気になります
- ・なかなか”自分のことを自分で決める”という場面が設定されていない。大人の事情でアドバイスしてしまうことも多いと感じるから
- ・様々なメディアによる正しくない情報が入ってしまうことが多くなっている

6 参加する権利

- ・そもそも、そういう場が少ないと思います（他 3 件）
- ・自分で選択していく経験がないと、6 に向かいづらいと考えたので…
- ・社会は大人によって作られていることが多い。子どものための施策はあとまわしになりがち。（票にならないから?）
- ・こどもの今後を決める会議にこどもが参加していないことが多いため
- ・参加に制約がかかる場面があるため。障がいのある子どもが、学校の選択をしていく際に障害の程度や地域性で所属する学校を教育委員会が決めてしまうのは、問題があるように感じます

- ・大人の都合で政治や経済などは構成されていると感じるから
- ・自分の意思だけでは活動が不可能
- ・学校の授業はみんな参加しないといけなから
- ・年長クラスになると行事や活動の際に話し合うことが多く、3.4才児から少しずつ取り入れている。自分の意見を言うことが苦手な子にも聞くようにしているが、難しい場面もある
- ・情報化のわりに興味関心以外はあまり情報を持っていない気がする
- ・具体的な内容がイメージできない
- ・病態像が重い方の両親に明確な社会参加を示す事が難しい

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・努力はしているが十分に守られているとは言えないと感じる（他 20 件）
- ・どうしても人手が足りず、対応しきれない現実があるので（他 18 件）
- ・まだまだ、色々なところで差別は起きているから（他 5 件）
- ・社会に参加して交流ができるように、その子どもにあわせて助けてもらえる制度が整っていないから（他 3 件）
- ・子どもの多くが支援を受けるすべを知らない（他 2 件）
- ・例えば保育園の医ケア児受入れに制限があったり、学校が限られたり、まだ難しさがあるかと感じます
できあがったコミュニティーに入るのは、とても難しい
- ・「子どもにあわせて」助けられていないと思うから
- ・助けや支援が必要なのに大人の都合や行政のルールでないがしろになっている子がいるから
- ・教育
- ・障がい等に関しては、まだまだ平等だとはいえないと思う
- ・個別の対応の難さ支援者の力量が関係してくるから
- ・配慮しているというポーズをしているだけで、対応は画一的なものになっていると感じる。とりあえず型に入れて対応をしていることが多いのではないかな
- ・食事もままならない子供がいるから
- ・格差が進む現状だと感じます
- ・支援を受ける権利があっても、それを行使できる人とそうでない人がいるため。本人が希望し、自らが動かなければ支援を受けられない印象がある
- ・貧困等で受けたくても受けられない子どもが増えていると思うから
- ・子どもの姿も多様化しており、必ずしも必要な支援が求めている支援と合致しているのか分かりづらいため
- ・支援が必要という判断が難しい場合もあるため、見過ごされてしまうこともあるのではないかなと思ったから
- ・多様性が大切とはよく言われるものの、国籍や障害などは人々の理解を統一することが難しく、同じ言葉を聞いてもイメージが様々であるため、その子どもに合わせることの難易度が高いため
- ・配慮が必要だと職員が考え対応をしても、家庭との温度差や意見の違いがあり、上手くいかない部分もある。支援が必要とところがあっても親としては認めたくない部分や、支援を受けるにあたって、自分がやってきたことを否定されると感じる人がいるのではないかなと思う
- ・虐待により命を落とす子どもが絶えないため
- ・その子の保護者や周囲の大人の采配で、支援を受けさせてあげることができたり、できなかったりする現状があると感じる
- ・学校教育では、まだまだ一斉指導が中心で個に応じた支援が十分に行われているとは言えないから
- ・助けを必要としている子ども、保護者、家庭が、まだまだ存在し、そのような人たちとのつながりができていないことがあると感じる経験をしたため
- ・同じ活動ができないことがあるため
- ・個別級の人数も増加しているため
- ・今の日本の教育環境だと「集団」に重きを置いていることが多く、集団に馴染めない児童が困難さを抱いているから
- ・一部守られているが、個別支援にも多様性が見られるのでより細分化した支援は今後も考慮する必要があると考える
- ・支援する主体が大人なので見つけないと支援できない
- ・権利の範囲が難しい
- ・自分自身で必要だと思う支援を子ども自身が考えられていないため。保護者の判断で動いているような気がするの
で、守られていないと感じる ・決まりきった内容の支援が、多いのかなと感じる
- ・守られている子どもが多いと思いますが、環境によっては、守られていない子どもがいるのではないかなと思う
め
- ・だんだんとすくなくなってきたと思うが、今も確実に存在すると思う
- ・保護者が家庭でその子と関わる中で感じる困りと、保育園という集団のなかでの子として関わる際の困りは違い、
保護者保育者それぞれが子どものことを考えてはいるけれど答えを導き出すのが難しく、苦手を伸ばしたり支援
することでのびのび楽しく安心して生活できることが養育者間でまとまらなかったり一方通行な気持ちで支援を受け

ることができない。伸びる可能性をきってしまうことになりかねない

- ・周囲の人たちの意識がうすいため
- ・子どもにとって、必要な環境だとしても、その子を保護している人が気づき、申請しないと受けられないでいる子もいるのではと思うから。子どもから発信するのが難しいと思う
- ・現在の、学校のシステムでは、難しいと思う
- ・どれもそれなりに守られていると思う。しいていうならば、日常生活の中で、細かい差別的な言葉をすべてなくすことはかなり困難ではあると考えるから
- ・対応が不十分。特性を把握できていないこともある
- ・誰に対しても個別に必要な支援をするべきだが、個別の支援が特別のような感覚をもっている人がいると感じる
- ・まだまだ障害や病気への理解が乏しく、そういった支援を必要とする子どもが多くいるため
- ・学校の枠組みの中で、それらが十分ではないと感じることがあります。本当にその子にとって必要な支援を、必要なタイミングで提供できているかというところがそうでない場合があります。しかし、それは「人が足りない」「場所が足りない」「時間が足りない」「お金が足りない」といった「足りない」によるものであり、一教師や一学校の努力で補えないものも多い気がします
- ・まだまだ設備も整っていないと感じる
- ・個別指導が追いつかない
- ・個人の情報があまりにも複雑でどこまで対応するべきか明確ではないから
- ・子どもにあった支援がされていない
- ・例えば学校でいうと1クラス40人近くと人数が多く、一人ひとりに配慮や支援がいきわたらない
- ・支援が必要な児も増え、多様化している中で、個別配慮をしようと様々な場所で工夫していると思うが、まだまだ十分な支援はできていないと思う。環境（物的にも人的にも）が行き届いていないのではないかと
- ・子どもへの理解が進まないのは大人たちの考え方をアップデートできてないところが問題なのではないかと感じます。個々の子どもの挑戦を潰さず支えられるように大人たちで意識して行動できるといいのと思う
- ・難しいです……
- ・社会参加のために個別支援はおこなえていないと思うため
- ・まだまだ支援の行き届いていない、逆にその権利をたてに自分の主帳ばかりする保護者などのせいで学ぶ権利を奪われている子どもがいるから
- ・学校環境、職員数(教員)が整えられていないから
- ・学習面では特に差が出やすく一人一人に合ったもの
- ・学習をしている場が少ない。塾など学力を上げる目的の中に授業におくれないようにしている子どもは多いと思う
- ・その子に合わせてが本当に合っているか悩む
- ・自分自身の勉強不足でそう感じる
- ・たくさんの制度や支援はあるが、情報格差や狭間でセーフティネットからこぼれてしまう子どもがいる
- ・学校教育において、支援が十分に行き渡っていない現状がある

Ⅱ 『あなたの職場環境や子どもとの関わり』についてお聞きします。

Q5 あなたは、子どもから相談されたことがありますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 ある	233	63.1
2 ない	135	36.6
無回答	1	0.3
合計	369	100.0

Q5-1 Q5において「1 ある」選んだ人にお聞きします。相談されたことに対して具体的にアクションを起こしましたか。(〇は1つ)

	件数	%
1 はい	210	90.1
2 いいえ	9	3.9
無回答	14	6.0
合計	233	100.0

【具体的なアクションの内容】

- ・職員間で共有し、支援、対応方法について検討し、実施した（他 29 件）
- ・関係機関と繋げるなど（他 28 件）

- ・当事者同士の話し合いの仲裁（他 24 件）
- ・子どもの話を良く聞き、対処法を一緒に考える（他 17 件）
- ・子どもが困っていることに対してできる支援を考え、提案した（他 8 件）
- ・相談されたことを、保護者に伝える（他 4 件）
- ・子どもから直接話を聞いたり、必要に応じて保護者からも話を聞いたりして状況把握を行い、学年主任や管理職からの助言も頂きながら慎重な対応を図った（他 4 件）
- ・校内でサポートできる体制を整えたり、関係機関と連携したりした（他 2 件）
- ・話を聞く（他 19 件）
- ・共感したり、アドバイスしたりした。また、いろいろな考えがあることや将来のことなどを少しでも安心ができる内容の話をした（他 2 件）
- ・本人、保護者から、状況確認を行い、それに関わる人物(第三者含む)からも聞き取りを行い、なるべく中立な立場で判断した。秘密事項、個人の尊厳には十分配慮する ・相談と言うより質問され答えました（他 1 件）
- ・友だちと話したい、という希望に沿って、話し合いの場をセッティングした（他 1 件）
- ・対処する方法を伝えた（他 1 件）
- ・1 対 1 になれる時間や場所を提供し、相談に乗ったり、あらたまった場所でも歩きながら、掃除を一緒にしながら気楽に話せるタイミングを作る。相談内容によっては、上司や外部機関を交えて解決まで導く。秘密にしてほしいと相談された事で、公にすべき事項は子どもに除々に広げていっても良いか確認をし、許可や理解を得て、解決していく
- ・放課後に、一緒に話を聞いたり、保護者の方に連絡をしたりした
- ・アクションをしようとしたが、「え?そんな事言っていない」と言われた
- ・相談内容を共有し、対応した
- ・所内のご意見箱に苦情を書いて投函して貰った。苦情受付窓口の係に児童の相談内容の詳細を伝え、その委員会内で苦情を取り上げて貰い、対策を図ってもらった
- ・いじめの初期対応(話し合い、保護者連絡など)
- ・母に自分の気持ちを伝えることができず悩んでいたため、話し合いの場に一緒にいた。時にフォローしていた
- ・何年も昔のことになります。支援センターという場所柄、幼稚園児までのお子さんが利用されます。幼稚園年少クラスなので、相談があります...という言葉から始まりませんが、男児のいつもと違う様子から相談事であると感じました。いつも無口な年少の男児が幼稚園での生活の中で担任から怒られた時の話を始めました。まだうまく言葉に出来ないお子さんでしたが、ひとつひとつの単語を結び付けていくと怒られたことだと察しがつかしました。その単語から想像できる状況をこちらが言葉に変えていくと頷いてくれるので、気持ちを確認しながら状況から想定できる行動も男児と確認していきました。ひとつひとつ気持ちを確認、整理することで最終的に「こうすればいいんだね」と、やり取りの中でままとすると、男児は笑顔でその場を去っていきました。この時のやり取りは、今でも男児の立派な相談であったと感じています。言葉にならない言葉を言葉に変え、気持ちを代弁していくことも一つのアクションと考えた
- ・安心して過ごせるような場作りを心がけて行った
- ・相談を受け、自発的な解決方法を促した
- ・家で母から暴力をふるわれるのが辛いとの相談を受けたので、父親に連絡を取り、連携して子どもを守った
- ・教室に入れない時に別室でたまに過ごし、いろんな話をしたり、その子の好きなことや得意なことを聞いて共有したりしました
- ・行動観察や実際に一緒に活動する。日々の言葉かけや日常会話を増やす
- ・苦手な大人が近くにいる、関わりに困っていると聞き、その大人になぜそのような関わりをするのか?相手は 5 歳なのでしつこくされると怖いと思う、その子どもが身体的なことをからかったことは行けない事だが、相手が『怖い』と思ったらやり過ぎであると伝えた。また上席のものに相談し、関わらないようにした
- ・子どもの感じている悩みや要望を整理し解決に向けて今度の動きを確認し、子ども自身にこういった職員の動きで良いが確認している
- ・子どもの意見を尊重して子どものやらせたいようにしてみた
- ・子ども悩みを傾聴して受け止めて、必要な関係者に相談して対応した。対応については役割分担をして、成果を確認しつつ見直しながら対処した
- ・相手に嫌な思いをしていることを伝え、次から行動を気をつけるように話した
- ・自分が生きやすくするためにどのような手立てがあるとよいか一緒に言葉で表現できるように話した
- ・精神的な面から、教室では学習したくないとのことで、別の場所に学習できるスペースを確保した
- ・相談された内容と同じような事が起きた時の具体的な行動について考えることができた
- ・相談者の悩みを受容しつつ、「あなた自身が安心して過ごす権利がある」というメッセージを伝えたり、保護者や校内の他教員と情報共有したりした
- ・相談員として関係機関と連携、保護者への助言
- ・相談内容をしっかり聴いて何を求めているのか明確にし、求めに応じれる範囲を説明し、行動し、結果を返します
- ・保護者と連携を取った。学校ができる範囲で対応した
- ・知識を得る

- ・乳児クラスなのではっきりとした相談では無いが、困っている事が分かったり伝えたりしてくれた際は思いを受け止め、その事が解決や納得できるよう関わっている
- ・保護者との面談。関係機関につなげる
- ・父親を自死で亡くした子どもが、授業中に突然思い出して、会いたいと言い泣きだした。気持ちを落ち着かせてまずはゆっくり話を聞いた。その後コーディネーターの先生や管理職に相談し、保護者に伝えた。相談できる機関を紹介し、日々見守りながら、安心して生活できるように心を配った
- ・保護者や学年職員、管理職との情報共有
- ・保護者の話を聞いたり気持ちに寄り添うことで保護者の心に安心感を与え、それによって子どもとの関わり方に変化が生まれた
- ・保護者との調整など
- ・保護者と連携、複数人の大人で考える
- ・保護者伝えられる内容は、保護者と共有したり、コーディネーターと共有して外部機関と連携を取ったりした
- ・本人と、どうしたいか相談し、その希望が答えられるように、どう行動すべきか助言した。子供の困り感に対する到達目標を共有し、日々振り返りながら、問題の解決に近づけるよう話し合いを続けた
- ・友だちとのトラブルの解決
- ・友達とのかかわりを相談され、学校に伝えて、解決してもらった
- ・友達関係の悩みに関する仲裁など
- ・話をゆっくり聞くこと。ゆっくりできる場を提供してあげること。必要に応じて相談先に繋ぐこと
- ・話を聞いたり、保護者と連絡をとり安心して生活できるようにフォローした
- ・保護者への連絡・相談
- ・お迎え時、徐々に帰っていく友達の姿を見て、帰りたくない相談を受けた。家庭内でなにかあったのかなと思いつつ、しばらくその子の側にそっといたところ、子どもの方から「だって、きゅうしょくのやさいたべれなかった。」と教えてくれた。おそらく、残したことを親に怒られるのが嫌だったんだと知った。お迎えが来るまで、その子と話をしていると一口頑張っって食べたことがわかった。保護者がきた時、子どもが「やさい残しちゃった」と言っていた為、一口頑張っって食べてましたよと伝えたところ親も子も笑顔を浮かべていた
- ・カードゲームで遊びたい時に友だちを誘えない子がいた。大人と一緒に遊ぶのも解決方法の1つと思うが、代わりに友だちを誘って見せた。気負い過ぎない精神を学んだり楽しむ幅が広がる機会になると考えている
- ・相談というよりは、日々の活動や遊びを通し、友だちと遊びたい、でもどうすれば良いか分からない等。その子に寄り添いどうしたいのか?どうすれば良いか?など一緒に考え行動に起こしています
- ・学級内でのグループ同志のいざこざで全員で話し合いをしたことがある
- ・こどもから相談されたことを、周りの大人と共有し、こどもにいくつかの選択肢を用意し、問題解決に向けて動くことができた ・自分の好きな歩む道を堂々と進んでいけばよいと何度も話し合った
- ・その場だけ解決すれば良い、と考えず、今後の子どものことを考え言葉をかけた。例えばケンカした時など、大人が言うて言うことを聞かせるだけでなく、自分の気持ちを相手にどのように伝えたらいいのか、大切さについて話した

【アクションを起こせなかった理由】

- ・お話を聞いたことを行政機関に報告するまでしかなかった
- ・子どもの話を聞き、本人をねぎらったが、そこまだった。(家庭の事情だった為)
- ・相談されたことをひたすら聴き、そうすることで→本人が話をすることで…、本人が解決したため
- ・どのように進めていくのが良いかわからなかったため
- ・家庭環境にどこまでふみこんでいいかわからないから
- ・子どもから聞いた家族とのことを解決する施設ではないので、話を聞いて寄り添った
- ・友達との関わりについて、アドバイスしたが、こどもの交友関係にどこまで手を出して良いのか悩んだ

Q6 あなたは普段子どもと関わったり、支援するときに、子どもの権利や条例の内容を意識して関わっていますか。
(〇は1つ)

	件数	%
1 意識している	160	43.4
2 少し意識している	150	40.7
3 あまり意識していない	48	13.0
4 意識していない	7	1.9
無回答	4	1.1
合計	369	100.0

Q6-1 Q6において「1 意識している」「2 少し意識している」を選んだ人にお聞きします。子どもの権利をどのような場面で意識していますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 子どもに話すとき	212	68.4
2 子どもの話を聞くとき	268	86.5
3 子どもと遊ぶとき	119	38.4
4 身体的ケア（着替え、食事介助など）をするとき	132	42.6
5 子どもを見守るとき	162	52.3
6 その他	11	3.5
（無回答=0、N=310）		

【その他】

- ・保護者と関わる時（他1件）
- ・職員間や保護者と大人の会話をする場合。（子どもが近くにいる時）
- ・子どもが感じていることは間違っているのかと話されたとき
- ・大人同士による様々な会議の場で、それぞれの大人が使う言葉や言い回し、価値観などから、子どもを権利の主体と捉えられているのかなど意識します
- ・普段の仕事について振り返る時、またはイベントなどの目的を考えると
- ・子どもの権利が制限される時、例えば一時保護所へ入所することにより自由が制限された生活について考えるとき
- ・支援センターという場所なので、個々への配慮ができるよう、環境設定時から視野に入れて検討しています
- ・常に意識すべきことだから
- ・抱っこ、手をつなぐ際も意思確認をしている
- ・活動内容

Q7 あなたは、職場において、子どもの話を聞く時間がとれていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 とれている	303	82.1
2 とれていない	58	15.7
無回答	8	2.2
合計	369	100.0

Q7-1 Q7において、「2 とれていない」を選んだ人にお聞きします、その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	37	63.8
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	7	12.1
3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから	6	10.3
4 どのように聞いたり受けとめたりするとよいかわからないから	2	3.4
5 その他	12	20.7
（無回答=2、N=58）		

【その他】

- ・立场上子どもと接する機会が多くないから（他4件）
- ・子どもが話しをできる年齢の子の利用が少ないから（他1件）
- ・普段の業務があり、利用者とうまく時間がとれない状況がある。（2名の勤務が基本の為）
- ・向こうから話してくる時だけにしている
- ・直接的に指導をする立場でないため
- ・子供の話に耳を傾けているが、十分に聞けているかというところに自信をもつことができない
- ・子どもの話をしっかり聞いてあげたいので、聞く時間を確保できるようにしたいと思っている。しかしながら、話を聞く時間がとれる日もあるが、業務が忙しいときなど、すぐに聞けないこともあるので、とれているように感じないため。
- ・部活が多すぎる、仕事が多すぎて、子どもに関わる時間がない
- ・子どもの権利を意識せずとも、子どもが安心して、自分らしく生きることが大切だということをわかっているから
- ・話を聞いてほしいという子がとても多いから

・授業時数が20時間超で時間がとれない！

Q 8 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 聞いている	150	40.7
2 だいたい聞いている	183	49.6
3 ほとんど聞くことができていない	31	8.4
4 聞くことができていない	3	0.8
無回答	2	0.5
合計	369	100.0

Q 8-1 Q 8において、「3 ほとんど聞くことができていない」または「4 聞くことができていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

- ・障害のある子どもたちのため、直接話を、気持ちをさくことはできていない。ただ、子どもたちの姿、興味・関心をじっくり観察してみんな（職員）と話し合っています
- ・乳児だと意志の疎通がなかなか困難
- ・入職したばかりで、関わる時間があまりないから
- ・教職員間で決めることが多いから
- ・職員の中でも考えの違う人がいる場合、多数決に成り、子ども全体の声に全部対応できていない
- ・対象のお子さんが重度の知的障害だから
- ・子ども自身に聞く内容ではないと思うため
- ・子どもが参加して決めるような機会がないから
- ・大人が心配をしているから
- ・校務が忙しいため
- ・行事やプログラムの内容など、やらなくてはならないことは、子どもの意見を聞く前に決まってしまうから
- ・保育内容などは子どもの気持ちを聞いて決めることができていると思うが運営方針や行事などは実際ににそのような時間や機会を設けてはいないと感じている
- ・どんな意見を出しても、最終的に上司が決めてしまう
- ・園でやらなければいけないことが決まっているため、保育者主導になってしまうことが多い
- ・利用者のお子さんは0歳児が多い為、声を拾いあげるのは難しいが、言葉と同様に捉えることができる表情や仕草から推測して判断しています。そして、どうであったかということも反応から拾い上げ、スタッフ間で話し合い、活かすようにしています。・子供と関わる時間が少ない。子供の意見ばかりを聞けない
- ・ユニットのルールや行事等はユニット会議を中心としながら子ども達の意見を聞いたりしている。また、それいがないにも生活を送るに当たっての不満や全体に気をつけてほしい事、変えたい日課等の一緒に話し合う機会もある
- ・運営方針や保育内容などは子どもの意見を都度行くなどは出来ていない。こういった機会をどこまで作って行くから園で検討していく必要あり。・事務作業や日々の事務におわれ、その余裕がない
- ・時間のない中で子どもの意見を聞いて自分で考え選択させる場面が作れていないように感じている
- ・日々、時間に追われ、やる事がたくさんありすぎて、ゆっくりと子どもと相談しながら進める、作っていくことが難しい現状がある。・しがらみや地域柄から聞いても取り入れることができないことも多いから
- ・運営方針や行事に関しては基本的なものがあり、見直しをすることはあっても聞くことはほとんどしていない。思いなど汲みとることはある
- ・子どもと一緒に行事を作り上げていく時間がとれない
- ・意見を聞く場を設けても、なかなか人数が集まらない。そもそも、聞く場を設けることが難しい
- ・骨格は職員が決め、その中で生徒の意見を聞くようにしている。ゼロからスタートで聞くと日程的に難しい

Q 9 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、悩んでいる子どもの情報を職場で共有して対応を考える仕組みがありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 仕組みがあり活用されている	315	85.4
2 仕組みがあるが活用されていない	15	4.1
3 ない	38	10.3
無回答	1	0.3
合計	369	100.0

Q 9-1 Q 9において、「1 仕組みがあり活用されている」を選んだ人にお聞きします。その仕組みや活用した具体的な内容を教えてください。

- ・職員間のミーティングの場で共有（他 150 件）
- ・巡回カウンセラーや、保健室やコーディネーターなど、子どもが話しやすい場面につなげている（他 36 件）
- ・職場内での情報共有（他 31 件）
- ・情報交換を行い、複数で対応策を考えている（他 15 件）

- ・何か気になることがあった時は上司に報告、相談する。必要があれば他の職員とも共有する（他 11 件）
- ・伝達ノートなどを使用し、職員全員で些細なことでも共有をしています（他 8 件）
- ・アンケートなどをもとに、必要に応じて複数の職員で話し合い、今後の方針を相談して決定している（他 6 件）
- ・普段はラインを使って写真やその日の様子などを担当者がグループラインに投稿し、月に 1 回定例会で話し合う場を設けている ・パソコンに情報を掲示して、職場のみんなで情報を共有しています（他 3 件）
- ・悩みを書いて入れるポストがあり、ただ知って欲しいだけ、支援してほしいなど本人の要望によって対応を変えながら悩みを解決している（他 3 件）
- ・いじめの相談→管理職やカウンセラーと共有→いじめ防止委員会を開くなどです（他 2 件）
- ・何かあった際は職員の皆さんへ伝える様にしています（他 1 件）
- ・職員から→主任→園長
- ・情報交換する場が用意されている
- ・普段から「みんなで考えていこう」という雰囲気なので、気楽に相談できる
- ・親子面談など数回に応じて行う
- ・職場内で共有し、必要に応じて、関係機関につなげている
- ・さまざまな、職種の職員がお互いに相談しながら、支援を進めているから
- ・連携相談出来る
- ・相談員という立場なので話をよく聞いて認めてあげることにはできる。その前にまず、話すことが難しい子ばかりなので、自分の気持ちを表せるよう、ゆったりとした活動を組んでいる
- ・普段の会話で子どものことを話している
- ・子どもの意見表明が法律でも義務化され、大事な決定場面では子どもの意見聴取を行い、組織決定の場で共有
- ・お迎えが、こなかった時の為に、第 2、第 3、また、職員の対応などを共有して、どのようにするか。（児相に連絡等）対応が決められている
- ・学年会・Co→児童指導→必要あればケース会議→他機関と連携
- ・トイレの扉が指詰めなどの危険があり、取り払われていたが、恥ずかしい気持ちを伝えてくれた子がいたので、カーテンをつけた ・他職種が連携して、子どもの権利を守り、子どもに耳を傾ける機関である
- ・生徒の保護者の対応により、生徒の心身の健康が脅かされ、児童相談所と相談のうえ、一時保護となった。本人の希望に添い、定期的に学者支援を行っている
- ・アドボケイトが始まったが、具体的な内容はまだ知らない
- ・子どもの様子を共有したり、子どもから訴えがあったばあいには、対応を一緒に考えて行く
- ・給食の席で向かい側の友だちに蹴られる子がいた。好きの裏返しで行ったことであるものの、関わり方を見直せるよう席替えすることにした。重ねて、友だちの良かったことを発表する時間を設け、日々継続したことで互いが楽しく関わるようになった
- ・その子どもに関する会議の場では、必ずその子の意見や思いを確認されている
- ・保育園、一時預かり、支援センターという 3 つの機能を持ち合わせた職場である為、相談、共有できる場はあります
- ・学年の集団はもちろん、支援コーディネーターや管理職などに相談して進めるから
- ・普段の情報交換や、他愛のないおしゃべりから、コーディネーターさんやその子にかかわる職員に話が伝わり、みんなで対策を考えることができた
- ・それぞれ話は聞けるが、共有できていない
- ・担任と話せる場を設ける、相談された時や相談まで行かなくてもやりとりの場面に遭遇し、相手が泣いているのに何人かで責めるような場面には仲だちとなる。その後担任、園長に伝え情報共有し様子を見続ける。また、会議で情報共有している
- ・相談を受けた際は職員間で共有し、場合によっては学校、児童相談所に連絡する
- ・複数の職員で悩みについて関わり 1 人で抱え込むことしないような仕組みである
- ・チャンス面談
- ・学校のいじめに関して学校へ連絡し、対応する。どの人が電話に出ても対応できるようにしていた
- ・職員会議等で話し合い共有すると共に時には必要な機関へ連絡・相談している。また、保護者とも面談等行っている
- ・同職種と相談し合う事が日常にある。他者と気軽に相談できる事で、他職種との連携を他者から提案され、フットワーク軽く行動を起こす事が可能になる
- ・区役所の児童課と連携している
- ・学校や関係機関との連携
- ・対応者が記録に残し、職場の申し送りで共有する。子どもの思いを確認した上で、友達や親へつなげられるよう、介入する
- ・安心安全チェックリスト→子どもが普段の担当以外に話をきいてもらえる担当の人がいる

Q9-2 Q9において、「2 仕組みがあるが活用されていない」を選んだ人にお聞きします。その仕組みの内容や活用されていない理由を教えてください。

- ・職員会議などで共有はしているが、当園で長らく働いている職員の意見で解決したと思わせられる。他職員が意見してもすべて否定され、聞き入れてもらえない。根本的な解決にはなっていないので、活用できていないと思う
- ・情報共有はされているが、そこからの動きはごく限られた職員(担任)のみが動く形になっている
- ・大きな内容なら対応を考えるとところまでしているが、たいしたことないと判断された場合はそのままになることが多い
- ・上司に相談し、対応するが、職員全体で話し合う所まではいけていない
- ・ケースカンファレンスなど、具体的に話し合う場を作ることができるが、必ずカンファレンスをするかといえば、そうではないので、活用されているとは思えない
- ・みなさん忙しそうで相談しづらい
- ・時間がとれない
- ・共有も十分にできていると思うが、対応できずにいること、対応が十分でないと思うことがあるため
- ・子どもの権利に関する研修や会議で職員に向けた啓発活動を行っていたり、虐待等が疑わしいケースがあった時にチームを組んでアプローチをするといった仕組みはあり、他部署では実際に相談があり活用されている話は聞いて

いる。自分がいる部署は就学前の障がいを持つ子ども達が対象なので、彼ら自身に悩んでいること・困っていることを表現する力が伴っていないことが多く、明らかに保護者の子どもに対する接し方に問題がある時には職員間で情報共有し、保護者に啓発することはあるが、チームを組んでアプローチをするところまでいった例は見たことがないため

- ・ゆっくり対面する時間が取りづらいため
- ・職員通しのコミュニケーション不足
- ・軽微な問題だと、仕組みを利用するより、関係職員ですみやかに解決した方が時間的にムダがないため

Q10 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。

また、連携・紹介したものはありますか。（知っているものは○、知っていて連携・紹介したことがあるものは◎）

【知っているもの】

	件数	%
1 保健福祉センター（地域みまもり支援センター）	303	82.1
2 児童相談所	361	97.8
3 児童・青少年電話相談	265	71.8
4 児童虐待防止センター	264	71.5
5 民生委員・主任児童委員	287	77.8
6 スクールカウンセラー	330	89.4
7 総合教育センター	258	69.9
8 24時間子供SOS電話相談	275	74.5
9 教育委員会の教育相談室	212	57.5
10 電話相談ホットライン(体罰など)	250	67.8
11 インターネット問題相談窓口	168	45.5
12 やまびこ相談	52	14.1
13 かわさき若者サポートステーション	75	20.3
14 人権オンブズパーソン	221	59.9
15 川崎いのちの電話	268	72.6
16 かわさきチャイルドライン	228	61.8
17 子どもの人権110番	245	66.4
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	78	21.1
19 その他	5	1.4
無回答	3	0.8

【その他】

- ・警察署の生活安全課（他1件）
- ・運協、保護者
- ・近くにいる大人（保育園ならば先生）
- ・主に園長が窓口になり地域みまもり支援センターや児童相談所と連絡をとっている
- ・フリースペース たまりば えん。子どもの居場所として、一つの相談機能を併せ持つてると考えます
- ・川崎市国際交流センターに、電話をして、外国人児童についての相談をしたことがあります
- ・川崎市こども未来局
- ・デイサービス

【連携・紹介したことがあるもの】

	件数
1 保健福祉センター（地域みまもり支援センター）	88
2 児童相談所	136
3 児童・青少年電話相談	15
4 児童虐待防止センター	24
5 民生委員・主任児童委員	49
6 スクールカウンセラー	98
7 総合教育センター	90
8 24時間子供ＳＯＳ電話相談	6
9 教育委員会の教育相談室	22
10 電話相談ホットライン(体罰など)	3
11 インターネット問題相談窓口	3
12 やまびこ相談	9
13 かわさき若者サポートステーション	14
14 人権オンブズパーソン	21
15 川崎いのちの電話	6
16 かわさきチャイルドライン	4
17 子どもの人権110番	4
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	9
19 その他	4
無回答	183

Q11 あなたの職場で、子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。
具体例や理由を含め答えてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 ある	332	90.0
2 ない	30	8.1
無回答	7	1.9
合計	369	100.0

【「1 ある」を選んだ具体例】

- ・児童相談所と連携・連絡を取りながらの対応（他 85 件）
- ・気になる子どもの保護者への対応の際、療育センターと連絡を取り合っている（他 35 件）
- ・市・区の担当者と連絡を取り合える状況にある。そこから、子どもの情報を共有し、検討する時間も設定されている（他 30 件）
- ・スクールカウンセラーに話を聞いてもらい、聞いた話を（共有できるものは）共有してその後の対応の仕方を相談している（他 21 件）
- ・地域みまもり支援センター気になるケース、子ども、情報共有し、協働している（他 18 件）
- ・学校などの教育機関（他 18 件）
- ・総合教育センター（他 8 件）
- ・虐待などが発覚した場合、児童相談所と連携した（他 7 件）
- ・ケース会議に参加などし、保護者の対応もふまえた支援の検討などを行った事がある（他 6 件）
- ・要保護児童対策地域協議会における個別支援会議（他 5 件）
- ・お祭りや大掃除等大きなイベントなどに日頃から団体利用されている方や運営協議会などの方とともに行っています（他 4 件）
- ・関係機関や地域と連絡を取り支援する（他 4 件）
- ・デイサービスなど(放課後)、引き渡し時、様子等の情報共有（他 4 件）
- ・情報交換をする時間を設け、その都度気になる事項に関して連絡を取り合っている。地域の方と協働の行事を実施している（他 3 件）
- ・ワクワクスタッフと情報共有（他 3 件）
- ・区の保健師、保育所等地域連携の方に気になる親御さんを伝え、見守ってもらう（他 3 件）
- ・警察、少年保護センター（他 3 件）
- ・子育て支援イベントを民生委員と協同で行う（他 3 件）
- ・家庭での環境子どもの相談をしたい時に（他 3 件）
- ・SSW 親子の関係性の問題(家庭に入ることが難しいため)（他 2 件）
- ・幼稚園・保育園への訪問（他 2 件）

- ・国籍の違う家庭の情報共有、支援の相談（他1件）
- ・不登校児童への支援として「ユウユウ」と連携している（他1件）
- ・スクールカウンセラーと連携し、医療機関につなげることもある（他1件）
- ・不登校生徒に関して
- ・両親が亡くなった生徒の支援
- ・キッズサポート
- ・虐待、保護者に支援が入っている家庭
- ・保護者の就労や保護者の体調面など
- ・SCやSSW、Pt、Otなどの来校
- ・SNGさんと連携して不登校支援
- ・家出をして行方不明になって、発見された後児相扱いになり、情報を共有するなどして生徒を連携して見守っている
- ・運営協議会、町内会、警察等の方々と、会合を持ち日々、話し合いをしている
- ・エンパワメント神奈川、CAP事業
- ・心理司、精神科医、人権オンブズパーソンなど
- ・スクールカウンセラーはcoや保護者から話があって連携する場面がある
- ・虐待や不登校児への対応
- ・区要保護児童対策協議会、児童母子福祉施設協議会、川崎市こども未来局児童家庭支援虐待対策室、児童相談所等との各会議、ケースカンファレンス等
- ・育児が難しい家庭の情報を、民生委員さんと児童相談所と相談している
- ・地域子育て支援センターや民生児童委員、地域の幼児向け団体さんなどと連携し、避難訓練や命の大切さを伝えたり、子どもたちのために行事を考えて共催で開催したりしている
- ・カンファレンス
- ・居住地へのケースワーカー、情報文化センター
- ・子どもの支援、困り感の共有・相談、進路など
- ・子どもが昨日なかった傷をつけて登園してきた時。子どもの進路を決める時
- ・個別支援会議
- ・子どもの特性等、学校の先生(担任の先生)に学校での様子も伺いつつ把握している
- ・個別に配慮が必要だと判断した際
- ・サポートセンターなど
- ・不登校・学習支援
- ・支援を必要とするご家庭があり、みまもりさんと共有している
- ・地域支援をする業務の為連携の必要
- ・施設職員の為、入所児童の支援方法について等で連携している
- ・保健師さんとの連携
- ・自分の部署では支援できないことを他機関に協力依頼し、連携して子どもを守った
- ・保護者の方から相談を受けたとき内容によって、学校ではなく、外部機関につなげたほうがよい
- ・本人の困り感、不安をいかに解消するか
- ・夕食を殆ど食べていない、入浴していない
- ・行方不明児童がいた際に情報や連絡が来て、連携して相談していた
- ・より良い方法の指南をうける
- ・幼稚園訪問、小学校、中学校訪問等
- ・移動動物園、老人ホーム、年長児交流
- ・会議や家庭訪問など
- ・各担任が心配な生徒を巡回支援員の方に見てもらい、対応方法などを考える
- ・気になるお子様を保育中に見に来ていただく
- ・虐待などで連携する。教室での支援が足りない場合に
- ・虐待など家庭の問題への対応、学習の支援、在留資格の問題
- ・生徒の登校支援
- ・子どもの支援＝保護者の支援であることが多いので、状況に応じて対応しています
- ・指導主事やカウンセラー、学校等と協働、連携している
- ・人権研修等の依頼（総合教育センター）
- ・支援者会議を行なって、外部の機関と情報を共有している
- ・不登校、虐待など
- ・児童支援担当の教員が学校側の窓口になり、関係機関等と連携している
- ・児童相談所や教育センターと連携して子どもを支援している
- ・児童相談所内の一時保護所であるため、常時連携している
- ・親子支援は子ども支援に通じるという観点から、同法人内の関連施設機能理解に努め、また川崎市の3つの支援事業も行っていることから、横のつながりも大切と考え、必要に応じ紹介も行っています
- ・性的マイノリティの子どもにはさまざまな団体に授業をしていただいた
- ・相談支援の方と連携を図り、支援をより良くするようコミュニケーションをとっている
- ・体育指導の先生がきて運動を教わったり、ゴミ収集車が園庭にきて動きを見せてくださったりしている。
- ・非行行動のある児童がいれば地域の警察、地域の清掃に参加し住民との交流、近隣の保育園と合同で避難訓練等必要に応じて地域とは連携をとっている。また、定期的に地域支援会議を行い、地域の民生委員や町内会長等幅広い方々が園に来園し法人として目指していく流れを共有し、施設の利用を促している
- ・必要に応じて、関係機関でカンファレンスを実施し、支援の役割分担をおこなう。

【「2 ない」を選んだ理由】

- ・あるのかもしれないが把握していない（他1件）

- ・支援を必要とする子どもと接する機会がない（他1件）
- ・活動内容や連絡先等がよくわからない
- ・支援が必要になるタイミングがほとんどない
- ・必要な事例があればやる。現状としてはない
- ・まず校内（組織内）で対応できているため
- ・まだ、そのような案件に出合っていないから
- ・学齢の高さ
- ・関心がない
- ・始めたばかりなので分かりません
- ・深刻な問題を抱えた子どもに出会ったことがないから

Q12 あなたの職場では、「子どもが」子どもの権利を学ぶ機会がありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある（半年に1回以上）	69	18.7
2 ある（年に1回程度）	140	37.9
3 ある（数年に1回）	26	7.0
4 ない	129	35.0
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

Q13 あなたの職場では、「あなたが」子どもの権利を学ぶ機会がありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある（半年に1回以上）	90	24.4
2 ある（年に1回程度）	168	45.5
3 ある（数年に1回）	42	11.4
4 ない	64	17.3
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

Q14 あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できるように、子どもの権利を保障していくうえで、課題に感じていることがありましたら、具体的に書いてください。

- ・集団の中で生活することと個人の主張を受け入れることの両立が難しいと思う（他13件）
- ・人手が足りず、充分に対応できなかったと感じる場面がよくある（他12件）
- ・各家庭の状況が大きく異なること（他11件）
- ・保護者への理解をしてもらって啓発できているのか、することも難しい（他6件）
- ・自分たちのことを自分たちで考えて決める機会をあまり与えられていないと感じている（他5件）
- ・研修の充実+教員の個々の意識を高めるための工夫。（話し合いも含めて）（他5件）
- ・一人ひとりと向き合う時間がなかなか取れない（他5件）
- ・職員側の意識、知識の差が大きい（構造的に仕方ない面もありますが）（他4件）
- ・子どもが子どもの権利について学ぶ機会をもつことが必要だと思いました（他4件）
- ・現実（現場）のせわしなさに追われている。仕事量が多い（他2件）
- ・家庭の協力も不可決だが、家庭ごとの考えもあり、浸透しづらい（他2件）
- ・子どもの意志を丁寧に聞き取ったり、表出が難しい方には、その思いを正確にキャッチして行くこと。仲々、思っている事を思った様に発言できる方は少ないと感じている（他2件）
- ・無意味な校則など（他1件）
- ・今の子どもはやりたい様にやっている子が多いと感じる。「子どもの権利」という言葉を良いように捉えて問題行動を起こしている。入所児童でも大麻を吸ったりしているのに一時保護をされているだけで社会が、子どもに対して甘やかしているのが良い例である ・障害のある子どもの支援（他1件）
- ・保護者の世話が增えた。保護者は伝えることが大事（他1件）
- ・児童の名前を呼ぶとき、名字の「さん」付けの徹底が不十分（他1件）
- ・1歳児クラスで、イヤイヤ期の時に、自分によゆうがないと子どもが自分で決める時間を作ることができないこと
- ・子どもの主体性
- ・子どもの忙しさ（塾、習いごと）
- ・目まぐるしく変化していく社会の中で、法律や条例などの理解はもっと深めても良いと思う
- ・威圧的な指導をする担任の先生がまだ多くいる。教室がもっと安心安全な所になるようにしていきたい
- ・上から目線で指導という建前の押しつけをするべきではない50歳以上があたり前に言うことやることを若い人は正しいことだと認識してしまうし、やれないことがプレッシャーになってしまう

- ・【みんな一緒に、一丸となって、〇〇魂、チーム〇〇】という一体感を煽る（そうでなければならぬと思わせる）雰囲気があること。その空気、雰囲気が少しでも乱れると、「一大事！」という空気が流れるので、我慢したり、諦めたりしながら、生きる術を学んでいるように感じている
- ・格差社会に起因する貧困
- ・職員ひとりひとりの意識のちがひ
- ・保護者との子どもに対する考え方の違い}これらをいかに共通理解にし、子どもにとってどうするのが最適かを導き出すことが難しい(課題である)と感じている
- ・相談されたときに、じっくり話を聴く時間が限られる
- ・児相へのハードルが高く感じる。各連携機関との温度差。(危機管理の思の違い)
- ・生きていく上で、全ての事に通じるものだから。子の多様化や、要支援の児童数の増加に共なった、教員職員数の配置と職員、教員の子に向き合うためのスキル、知識の向上
- ・県長、市長、区長の意識
- ・子どもは遊びの中で、学び、成長していくものだと思うが、その場所が選べない、限られている、管理されすぎていると思う。管理されすぎた環境の中で、息づまりを感じる。もう少し、子どもにも抜け道があって良いのではと思う。それには治安であったり、世の中がゆったりできる、余裕のある大人がたくさんいること。地域が見守る大人がたくさんいてたまには目をつぶることができる世の中であってほしい
- ・教員など大人の質→社会の安定力
- ・いじめや虐待は気づくのに時間がかかったり、子どもの方から助けてというのが難しいことも多いと思うため課題が多いのではないかなと思う
- ・大人都合で活動し、子どもの主体性がほぼない。それまでの課程を見ていないのに決めつけてどなり怒る。不適切な保育そのもの。以前監視が入ることもあったが、改善されていない。子ども達も職員も疲弊している。助けてほしい
- ・家庭内での教育(過保護)が多い為、学校での指導がままならない事案が増えている。何でも「よし」とせず、だめなことはだめと訴える社会になるとよい
- ・家庭の経済的困窮に対する援助が難しい点
- ・着替え、オムツ交換、トイレ等、プライバシーを守る空間が少ない
- ・ケース数に対する職員数の不足あり、充分相談できない、もしくは、支援者のドロップアウトにつながることも多い
- ・ここ数年は、主体性を重視した保育に切り替えているが、年齢が小さい学年だと、一人一人の気持ちを理解するのが難しいと感じることがある。支援の必要な子どもが増えてきて、その際に療育センターなどに対して前向きではない保護者の方へのアプローチの仕方が難しい。保護者の方の気持ちを受け止めながら背中を押すための関わり方が課題と感じることが多い
- ・子どもに対する声かけ等その子に合った内容で出来ているか
- ・子どもが目指す道を進める様、背中を押してあげたいと思いつつ、子ども自身がその道を発見できていない時、適切なサポートができていいのか？自問自答することがある
- ・子どもの権利について、深く学ぶ機会が足りない
- ・子どもに関わる職場だけではなく、子どもの数が少ない今、親が発達段階にふさわしい人間教育をする経験が不足している為、社会全体(大人)が勉強する場を沢山作る必要があると思う
- ・子どもの受託時間の長さ
- ・子どもの権利を学んでも、社会的に浸透しているのか?と感じることがある。色々な機関はできているのですが子どもにとっては敷居が高かったりする。理解をするには、もっと大人も幸せになるように社会のゆがみもただしていくことを求めたいし、子どももしっかりとした理解をしていくことが大切。また私たちももっと学ぶべき内容であると感じます
- ・一時保護所に保護された子どもは、学校に登校できず学習権の保障がない
- ・子どもの人権について、プロジェクトチームが中心になって会計年度任用職員も含め、職場全体で学ぶ機会を持っています。振り返りながら働き掛け、援助を子どもの思いに寄り添って行えるよう、また疑問は声に出せる環境作りをしながら学び合っていますが、世代等による考え方の違い等の難しさがあることも否めません
- ・こどもや保護者が、地域とのつながりを避けることが多くなり、地域間の人と人との距離が遠くなっている。そのことで、他者のことをいたわったり、共感したりということに慣れていないケースが多々見られる
- ・子どもをまん中に考えて、まわりの大人、保護者、職員全体が、その子の為に、今、何が必要かという事を共有し伝えていく事。また、一緒に考えていく事
- ・子どものやりたいことが状況によってやらせてあげられないとき
- ・このような権利が定められていることを知らなかった。人権問題はとても大切だと感じるので、学ぶ機会を多くとり、子どもに携わる大人から知って発信をしていくことが大切だと感じた
- ・ゆとり
- ・社会資源が足りないです。子どもの権利を保障していくなら、子どもを育てている親への支援が必要です。でもその資源が足りないです。一時保育、ショートステイ、デイスティ
- ・違いを理解してくれる社会
- ・成長できるためには、個で子どもの悩みを対応する必要がある。そのための、人が足りない
- ・担任している子どもには伝えていけても、系統的な仕組みかできていないと1年で終わってしまう

- ・聴覚障害特有の困り感を卒業後の就労施設等にわかりやすく伝えていくこと。個々の課題特性があることを理解してもらえようにしたい
- ・どのような子どもに対しても平等に保障できるのか
- ・職場だけでなく、家庭や地域との連携をより密にしていける必要があると思います
- ・何らかの問題があって、保護されたり、見守りの中ですごしてきた子たちが施設へ入所してきて一緒に生活を送っている。しかし、保護や見守りの輪の外にいる子たちに対してどのようなアプローチができるか、は課題だと感じている
- ・日々の生活の中でゆったりと落ちいた雰囲気の中で遊びを通して一歩先への経験を味わわせている。表現・言葉（Englis）・体操・（絵画、音楽）
- ・啓発活動がもっと常にあれば良いと思います
- ・不特定多数の児童、生徒が利用する施設だが、保護者の姿は見えずらい状況なため、怪我をするなどの際に迎えにきてもらう程度である。又、信頼関係を築くことができるまで通い続けてくれることができるかどうかがネックであると感じている
- ・ベテランの先生方が多いのでいわゆる昔の保育から今の保育に考え方を変えていく事が難しい事があると思う事がある
- ・まわりの人の意見を聞こうとしない、自分の考えややり方を主張する上司が存在すること
- ・保育士を増やし、手厚い保育をしたい。障がい児と認定されてはいなくても、大変な子どもへの手厚い十分な保育を保障したい。又、保母者にも子どもの育ちや保育を啓もうする機会をつくっていったら良いのでは
- ・ゆっくりと子どもに向き合うことができず、個別に対応することもできず、一人ひとりの特性に気づいてあげることができないこと
- ・安全性を優先する中で、時に子供の気持ちに反した判断をする必要があるが、そのことをどう理解してもらうか、どのように支援するか
- ・意見が伝えられない、伝えづらい児童に対し、どうしても大人の意見や他人の意見が強くなってしまうこと
- ・一時保護所の特性上、スマートフォンの使用制限や登校制限がかかってしまう。また、個人情報の取り扱いの観点から、名字や年齢を明かさないなど、多くの制限があり権利保障として課題を感じる
- ・加配のお子様につき職員が社員である事が少なく非常勤の社員なので、毎日同じ社員がついた方が継続して関わる事ができて良いと感じる
- ・こどもリーダーを中心にわくわくプラザに来ているみんなが、いかに話し合いながら一つのテーマを決定できるかということ
- ・教室で座ってられない、走りないけど走る場所がない子どもたちの気持ちに答えてあげられない。どうしても施設の走る場所がないので我慢をさせてしまっている。今はひとりになる場所を作って対応していますが本人は納得いかないようです。そういう子どもたちの「自分らしく生きる権利」に反しているような気がします。そういう子どもたちが複数人いるので、ひとりひとり子どもにあった対応策を毎日考えるのが課題です
- ・研修他メディア等で本当に困っていたり、悩んでいる子程、周りに相談をする勇気を持てず、苦しんでいることが多いと感じ、職場における小学低学年に困った時は相談をして良いことを伝えていっているが、そのメッセージをそれ以降も覚えていて欲しいと感じている
- ・子どもたちが選べることができる環境づくりが難しい
- ・行政の制度を使い保障していこうと思っても、なかなか時間がかかることが多い。児童相談所で一時保護してもらい、一時的には回避できるが、その後、子どもたちが安心できる家庭が築くことができるかは難しい
- ・挫折、壁にぶちあたって落ち込む、自信をなくす等の経験をするとう立ち上がれなくなるほど塞ぎ込んでしまう子どもがいるし、時には自殺企図までいきます。そういった子ども達を明るく前向きになれる状態に進んでもらう為には、とんでもない時間と労力が必要です。そこをサポートする大人は一人では到底無理。ですが、行政の構造上、担当者は短い期間で変わってしまいます。信頼関係なくして、前向きな支援は望めないでしょう
- ・昨年乳児クラスは食事や睡眠など、お腹が空いた子から食事したり、眠たくなったら自分から布団に入ったりしながら個々に応じて対応し、安心できる環境の中で保育しています。そうした環境の中で幼児期でどのように成長していくのか見守っていきたいと感じています
- ・子どもから何がしたいのかを聞き出すのが、難しい。多様な価値観の中で子どもは暮らしているが安心して、自分の発想を表すのは自由にものが言える土壌を耕す必要があると思う。子どもの権利を保障するためには、保護者への啓蒙が大切な気がする
- ・子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長するためには、まず大人が安心して自分らしく生きる必要があると考える。しかし、大人が本当にそのように生きていられているか、そこが検討に値する問題・課題
- ・子どもが自分で選択したり決めたりする場面を意識してあえて設定しているが、そうすることが当たり前になってくる世の中になると良いと思います
- ・多様な子ども同士の関わり合い
- ・子どもの安心・安全を守ることと、子どもの希望を叶えることの両立が難しい場面が多い
- ・子どもの怪我やトラブルを嫌い、子どもたちの挑戦する機会を減らしてしまっている
- ・子どもの特性や子ども同士の関係性で他の子どもが安心できない事がある。全ての子どもたちの安心、安全の保証の難しさを感じることもある

- ・子どもの権利を保証するには、大人の権利の保証も必要である
- ・子どもは真剣に悩んでいたりと、不安に感じたりしているのに、程度によって放って置かれてしまうことがある
- ・子どもを支援するにあたって、子どもの意にそぐわない支援をする際に、いかに権利を守りながら子どもの福祉を保障するのが困難である
- ・子どもの意見すべてを受け入れることが良いとは難しくて言えない
- ・子ども運営会議などで子どもたちから意見や要望を聞く機会を設けていますが、なかなか子どもたちの方から発信することがないと感じています。外国籍の子どもの中には居づらさを感じている子もいると感じたことがあります。外国籍の子どもたちの気持ちや困りごとを理解する気持ちを職員が全員持つ必要性を感じました
- ・子ども自身がやりたいことを見つけることができないことがある。集団で生活する中で他児から影響を受け自分らしさを見失ってしまうことがある
- ・自分の権利を守っても、相手の権利を守らない
- ・支援が必要なことを認知できる環境が必要。まだまだ支援を受けることに抵抗がある雰囲気がある
- ・自主性がある子ども達は、自分の意見を明確にしそれを誰かに発信することが得意だがそれを難しいと思う子も多い。その為、普段から子ども達のことを尊重する事や一人ひとりと話す時間もできるだけ儲かるようにしている
- ・自分が子どものときもそうだったが、この子どもの権利条約があることを知らないと権利を主張できない。自分は親から学校行きたくないなら行かなくてもいい、自分が嫌だと思うことはしないで良い、自分が生きるために子どもの権利条約を読みなさいと本を渡された。読んで、これはみんなに伝えなきゃ！と文章に書いて発表したけど、なかなか上手く伝わらなかった。それは「そんなことを言ってもお母さんに怒られるだけー」など友達から言われた。確かに理解している大人がいればできるが、理解してくれない大人がいるとともにもこない。大人が子どもたちにしっかりと伝える機会を作って欲しい
- ・自分の障害を理解して、どんな場面でどんな支援を求めるのか、個のスキルによる表現方法
- ・自分らしく生きるということと、周りとの協調しながら生きていくことのバランス。同調圧力という言葉があるが、ある程度は周りに合わせながら生活していくスキルも必要。多様性と同調圧力。その加減が難しいこともあるのではないかと感じている
- ・小、中、高生が同じ部屋に集まる時が有り、その時の小さい子の行き場がない
- ・職場の大人全員で、暖かく子供を見守ること。人によって声のかけ方が違ったり対応が違ったりすると、子供が混乱することがある
- ・職場全体での理解や周知がまだあまりないこと、実際に保育園の立場からできることや連携していく術を知らない職員が多いこと
- ・親の思いが強い方に対して、またネグレクトの親に対して子どもが安心して生活するためにどう支援していけばいいか
- ・子どもの権利に対する我々大人の肌感覚に温度差がある
- ・主体性保育の導入
- ・親子支援は子ども支援に通じることから、親子の困り感をキャッチしていくことに努めているが、ご自身から困り感を言葉にされない方へのアプローチ、距離の取り方等、個々への対応が年々難しくなっていると感じます
- ・全員が権利の保証を受けれているかと言えば違うのかなと思う。家庭の方針で学校での学習や行事に参加を拒否している場合もある
- ・地域との連携がコロナ禍を経験した後では、コロナ禍以前より少なくなっていると感じる。地域に出たり、地域の中で育っている事をさまざまな経験の中から感じ事も大切と思う
- ・保育指針に沿った保育
- ・中高生等高年齢児の対応が難しく感じる。それぞれが年齢や時代の流れに沿ってやりたい事が多くある中、スマホの所持や門限等施設としての枠と合わないことがあり、結果子どもの問題行動として捉えられがちである。非行行動が重なり施設内でも多くの反発や飲酒、喫煙等の法に触れるような行動があるときは他事の安心した環境が担保できない事になるがこういった行動で施設での生活を送れなくなった児童本人の人生や安心、社会性をどう教え込むかは難しい。上記のような高年齢児の適切な対応や判断がしっかりと取れることが望ましいが職員全体の年数の低さもあり、課題である。全体の人材育成をやりきれないからこそ、質問にあるような事が大切と思いながら目の前の子どもの対応に追われやりきれない事も課題の一つである
- ・適切な支援を受けることで出来るようになることがあると感じる児童がいたりするが、家庭の方針だったり思いがそれぞれありなかなか支援に繋がらないということがある。保護者は一生保護者で、保育園は卒園まで。しかしい子どもの一生のことも考えて保育をしていく中で感じるもどかしさはある。ただ産まれてから長く一生を共に生活する保護者の気持ちも理解できなくはないため、双方の思いの共有や支援につなげるべきというのも難しいなと考えます
- ・貧困や虐待、学習が苦手などで安心して生活を送ることができない子が多い
- ・支援が必要な子に適切な支援が届かないことは多々あると思います。その為に社会に参加しながら成長…という点が達成しにくいということはあると思います
- ・日常の些細なことが権利につながっていることに気づく機会
- ・発表するような行事では、保育者主導になることが多い。行事など保育以外の仕事量が多く、保育者自身のゆとりを作ることに課題がある ・乳幼児対象の施設なので、子どもの権利を意識しづらい

- ・保育園児なので、自分の思いを言葉にできない子どもがいる。それでもどんな子どもでも自分の思い、やりたいこと、やりたくないことなどを抱えていると思う。が、言葉が出ない分、子どもを保育士の都合に合わせてしまうことがある
- ・取り巻く環境などで、保証されていない子どもがいる場合があります

Ⅲ 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q15 あなたは、自分が好きですか。（○は1つ）

	件数	%
1 好き	109	29.5
2 だいたい好き	196	53.1
3 あまり好きではない	55	14.9
4 好きではない	4	1.1
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

Q16 あなたは、周りの人から大切にされていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 感じる	135	36.6
2 だいたい感じる	201	54.5
3 あまり感じない	23	6.2
4 感じない	2	0.5
無回答	8	2.2
合計	369	100.0

Q17 あなたは、毎日が楽しいですか。

	件数	%
1 楽しい	111	30.1
2 だいたい楽しい	219	59.3
3 あまり楽しくない	28	7.6
4 楽しくない	4	1.1
無回答	7	1.9
合計	369	100.0

Q18 あなたは、仕事上の悩みがありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある	294	79.7
2 ない	69	18.7
無回答	6	1.6
合計	369	100.0

Q19 あなたの職場には、仕事上の相談を安心してできる人がいますか。（○は1つ）

	件数	%
1 いる	316	85.6
2 いない	48	13.0
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 したいと思う	319	86.4
2 したいけどできない	23	6.2
3 したいと思わない	22	6.0
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

【「したいけどできない」理由】

- ・自分で解決したり、相談するほどの内容でもないと思っているから（他2件）
- ・周りも忙しい。悩みの共感を得難い
- ・面倒だから
- ・どう思われるのか不安である。
- ・人に甘えることができないから
- ・自分も上司も多忙なため
- ・時間がないのにと迷惑に思われたり、たかがそんなことでと思われそうだから
- ・相談内容が他人の耳に入るのが困る
- ・人と話すのが苦手、自分の思いを話すのが苦手
- ・愚痴になってしまいそうなので、悪口になってしまいそう
- ・小さいことや、具体的に決められる程度のことは、愚痴として話すことは出来るが、本当に悩んでいることは、なかなか話せず自分で決めなくてはとってしまうことが多い
- ・時間がない
- ・周りに伝わるから
- ・立場上できないこともある
- ・会社を辞めたいので職場の人には相談できない
- ・心から信頼できる人がいないから
- ・信用できる人がいない

【「したいと思わない」理由】

- ・相談しても解決しないため（他1件）
- ・基本は相談しないが、蓄積されたら相談する
- ・あまり思わない。結局やるのは自分だから
- ・説明が面倒くさい
- ・経験上、ただの愚痴になるから。時間が解決すること多い
- ・話を聞いてほしいとは思いますが、解決してほしいとは思わない
- ・話すと自分を責めてしまうから
- ・結局のところ決めるのは自分なので、自分で考え、自分で責任を持ってやる必要がある。相談はしない（他5件）
- ・話したいと思わないから
- ・解決することが難しいことなので
- ・全ての原因は自分の捉え方次第
- ・誰かに自分の悩みを相談することは大事なことでと理解はしているが、自分が信頼している相手でも悩みを相談する事はない。相手からすると結局は他人事であり自分自身で解決をしたい。1人で解決することが難しい時はリフレッシュをすることで考え方を変更するなど工夫している

Q21 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 夫・妻・パートナー	223	60.4
2 親	114	30.9
3 親・夫・妻・パートナー以外の家族	43	11.7
4 友人	238	64.5
5 職場の人	226	61.2
6 近所の人	6	1.6
7 相談機関	6	1.6
8 相談したいけどできない	3	0.8
9 その他	9	2.4
無回答	6	1.6

【7 相談機関】

- ・児相の担当者など
- ・カトリック教会神父
- ・同じ職場の人以外の保育士の友人、先輩
- ・職場のカウンセラーの方
- ・内容により考える

【8 相談したいけどできない】

- ・職場で紹介されるカウンセラーシステム
- ・医療機関
- ・相談する場所がわからない

【9 その他】

- ・親とも疎遠、友達も少なく、悩みを共感してもらいにくいから 妹（他1件）
- ・自分の信頼できる人
- ・同業の先輩など
- ・相談内容が他人の耳に入るのが困る

Q22 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

- ・秘密が確実に守られる機関（他50件）
- ・話を否定せず、じっくり聞いてくれる所（他48件）
- ・悩み事に対して的確にアドバイスを得られる所（他20件）
- ・信用のおける人、機関（他13件）
- ・親身になって話を聴いてくれる人や場（他12件）

- ・自分のことを知ってくれている人がいる所（他 9 件）
- ・安心してお話しできる場所（他 9 件）
- ・場所、時間を気にせず、気軽に相談できる場所（他 7 件）
- ・匿名性があるところ（他 7 件）
- ・いかにも相談所というよりは、カフェのような気軽に立ち寄れるような雰囲気の場だと話しやすい（他 5 件）
- ・職場の同僚（他 5 件）
- ・専門的な知識や経験をもっているところ（他 5 件）
- ・インターネットなどを利用して気軽に相談できる場所（他 4 件）
- ・自分の悩みに具体的に答えてくれ、解決につながるような場所（他 4 件）
- ・無料の機関（他 3 件）
- ・電話のように顔が見えず、話をしっかり聞いてくれる場所（他 3 件）
- ・自分のことを知らなくて、ただ話を聞いてくれる人（他 2 件）
- ・顔見えないところ（他 1 件）
- ・力になってくれるところ
- ・24 時間いつでも話を聞いてもらえるところがあるといいですが、なかなか難しいですね
- ・ものの見方が一面的でない
- ・周囲にわからないように(気づかれない)できるところ
- ・いろいろな選択肢を出していただける場所
- ・人権を遵守できている。中立で特定の人物や機関への忖度をしないところ
- ・すぐに動いてくれる組織
- ・専門的な知識だけではなく、いろいろな事を平等にとらえ視野を広くもった人達がいる所。いろいろな観点から物事をとらえることができる人材がいる所
- ・学校という職場の様子がわかっている人
- ・相談入口による。最初に対応してくれた人の印象や、コールしてもつながらない等…やっとの思いで相談したのに、力をそがれてしまう
- ・職員が TEL で相談できる場所。相談というよりも内部告発できる場所
- ・つながりやすいところ。相談したらあまり時間をおかずに対応してくれるところ
- ・物事を、正しく、判断できる人
- ・とにかく時間がないので、仕事の休憩時間に相談しに行ける、敷居の高くないようなところ
- ・話を聞いてくれて、自分が間違っていることは、しっかりと伝えてくださる方。また、成長の目標地点をしっかりとりえている方
- ・話を聞くだけでなく、外部からメスを入れてくれるような機関
- ・慣れた人がいるところ
- ・身近な自分の状況を理解してくれる所
- ・ゆっくり相談の時間と環境が整っているところ
- ・予約せずに相談したい時に相談できる場所
- ・対応策を一緒に考えてくれる場所
- ・感情や心情を抜きにして、判断ができる機関があると良いと考える
- ・教育業界のことをよく知っていてるところ
- ・緊急度合いで異なるがチャットでの相談から電話などまずは顔を合わせることがないようなところ
- ・具体的にアクションに移してくれ、かつ相談することにより現在の職場で働きにくくならないところ
- ・仕事が終わる 18 時以降でも対応可能な機関
- ・時間がかからない所 ・事後も声をかけてくれること
- ・自分の身分を聞かずに聞いてくれる場所
- ・職場の人がいないところ
- ・正論ばかり言ってくれない人
- ・相談したあとで、嫌な思いが残らないところ
- ・時間を急かされたりしないところ
- ・同じ悩みを抱えている人と共有したり、気持ちが楽になれるような場所
- ・話しやすい人、雰囲気
- ・自宅近くの無料（もしくは少額の）のカウンセリング
- ・定期的にカウンセリングを受けたい
- ・相談者本人に目を向けてくれる、人間対人間としての基本的な姿勢で臨んでくれる職員が多い場所
- ・具体的に動いてくれる場所。話した内容に対して調査をしてくれる場所

Q23 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。自由に書いてください。

- ・大人がいつも優しく見守ってくれる環境が大切（他 20 件）

- ・一人ひとりを認め、受け入れる（他 20 件）
- ・自己肯定感を高めるような声掛け、対応（他 20 件）
- ・家庭環境が適切なものであること（他 17 件）
- ・いろいろなことに興味を持って、いろいろな体験などをたくさんすること（他 15 件）
- ・挑戦をする機会が多く与えられる環境（他 12 件）
- ・ありのままの姿でいれる環境が整っていること（他 12 件）
- ・子供が自分で考えて自分のことを決める機会が大切だと思う。自分のことだけでなく、周りのことを考え、自分で選択することで、責任なども学んでいけると思う（他 10 件）
- ・社会全体で子どもを育てる姿勢、環境整備（他 10 件）
- ・環境などのハード面も当然ではあるが、安定した心の居場所があることは成長するうえで大切だと思う（他 10 件）
- ・愛情と言っても甘やかす、何でも言うことを聞くのではなくルールを守ることや、モラルを教えることも必要だと思います（他 9 件）
- ・まず大人が幸せに生活することができていること（他 9 件）
- ・自分の気持ちを聞いてもらえる人や場所がきちんと確保されていること（他 9 件）
- ・大人に余裕があることが重要。（子どもに関わる全ての大人）（他 9 件）
- ・相手の思いやる気持ちを持つこと。子ども大人関係なく、相手を尊重する（他 9 件）
- ・子どもが行うことをしっかりとほめてあげることが大切だと思う（他 8 件）
- ・子どもの意見が主張できる場があること（他 8 件）
- ・のびのびと、否定されることがなく暮らしていくことが大切だと感じる（他 8 件）
- ・安心できる大人・友達・環境の場が大切（他 7 件）
- ・学校教育の見直し。みんな一緒になくても大丈夫！という雰囲気を出していきたい。がちがちに学力向上のみを求めるのではなく、自分で決断し、ゆっくり模索しながら、生きていくことが素敵という社会であることが大切だと考える（他 6 件）
- ・心に寄り添う優しい大人が増えることだと思います（他 6 件）
- ・相談できる大人が近くにいること（他 6 件）
- ・子どもの気持ちを受けとめてくれ、安心して過ごすことができ、自分は認められていると感ずることができるとが大切（他 6 件）
- ・子どもが安心できる居場所を作る（他 5 件）
- ・ベースになる社会の安定。またそこに携わる職に就く人の給与や勤務系態の保証。ボランティアではなく、働く人の善意に頼るような日本の教育システムを変えること。外国に学ぶこと。迅速な変革（他 5 件）
- ・大人の意識を変えること（他 5 件）
- ・自分の考えをを発信できたり、良さを発見できたりする機会を量的にも質的にも担保していくこと（他 4 件）
- ・まずは衣食住に困らない環境が最低限必要と思う（他 4 件）
- ・子どもも、一人の人として見ていく、大人側の意識（他 4 件）
- ・環境をととのえる（他 3 件）
- ・まずは大人が手本を見せることだと思います（他 3 件）
- ・親に愛されている実感、認められている実感（他 3 件）
- ・家庭や教育、ストレスを発散できる場所。環境が全てだと思う（他 3 件）
- ・大人がもっと子どもを支援することに真剣になるべきだ（他 3 件）
- ・子どもに対して優しくすぎる社会なので、程良く、子どもに対して強めの指導も時には必要だと感じる。怒られた事がない若者が増えてきている中で、すぐにキレてしまう若者がニュースでもやっているの、アメとムチは必要なのではと思う。・社会的に生きるルールを教えつつも、見守り（他 3 件）
- ・周囲の大人が、子どもの権利に関する条例などを正しく理解していること。この条例を知らない人も沢山いる。啓発活動も必要。出生時、保育園入園時、就学時など、節目で行政が発信していくべき（他 3 件）
- ・子どもたちを大切にしている、ということが分かるように大人が示していくこと（他 2 件）
- ・自分の気持ちを言葉で表現できる力の構築が大切（他 2 件）
- ・教員の人数を増やす（他 2 件）
- ・子どもにも、周りの大人にも時間的な余裕が必要だと思います。今は保護者も、教員も子どもたちに十分に関われる時間と心の余裕が持てていないと思う。子ども自身も塾や習い事、保護者からの勉強へのプレッシャーなどで余裕がない（他 1 件）
- ・機関ごとの連携強化（他 1 件）
- ・いろいろな人とかかわること（他 1 件）
- ・人生の主体は自分だと理解する（他 1 件）
- ・信頼できる大人がまわりにいること（他 1 件）
- ・人権意識を大人も子どもも、もつことだとも思う（他 1 件）
- ・同じように成長できる環境（他 1 件）
- ・安心して甘えたりのびのびできる大人が必要であり、大切だと思う（他 1 件）
- ・親とのコミュニケーションが足りない家庭が多いと感じる（他 1 件）

- ・子どものマナー違反や悪い行いをその場で注意するのではなく、学校に伝えて来る方が多い様に感じます。間違いながら成長していく子どもをもっと温かく見守ってほしいです(しかっていただいてよいので)
- ・向き合おうとする意識の向上
- ・自分で選んで、決めて、それに責任を持つということを小さい頃から積み重ねることが大切だと思う
- ・周囲の大人の知識の向上
- ・まわりの大人が変化に気づくことがまず大切だと思います
- ・大人にたよっていい、たすけを求めていると思えるように、伝えたり、場を作ったりする
- ・大人の関わり方
- ・人間関係、コミュニケーションの力
- ・当園に関しては、不適切保育と思われる 2 名、ただ当園の勤続年数が長いだけで園長さえもヘコヘコしている職員を排除しなければ平和な保育は訪れない。子ども達を守るには、他の職員が盾になるしかない
- ・経済的安定
- ・子供が「生きづらい」と思ったときに、安心して助けを求められる機関があり、かつそこに子供が相談しやすい風土を作っていくことが大切
- ・まずは大人がまわりと協力しながら手を取り合いながら生活すること
- ・自主性を育てることが大切だと思う
- ・まずは「親」が、考え方を改めないとなかなか・・・時代的なものなのかもしれませんが「親とは・・・」という考えよりも「自分」のことを優先している傾向にあるように感じる
- ・大人の世界で権利が守られていること
- ・子どもたちと関かわる大人やいろいろな環境を整える必要があるととても感じます
- ・子どもに強制させたりせずやりたいことができるようにすることが大切だと思う
- ・金銭的援助。必要最低限、やりたいことができる経済状況であるように、子育て世代に援助が必要だと思う
- ・子どもが参加できるようなイベントなど、いろいろな経験を積むことが大切
- ・生活や遊びの中で自然にふれ、友だちと関わり一緒に過ごし優しい気持ちや思いやる心が育つと思います
- ・古い考えをもつ大人が間違えていると言える社会
- ・子どもだけではなく親や先生など子育てに携わる大人も安心できる環境（社会の子育てへの理解、職員配置や給与体制も含む）があること
- ・社会全体が子どもの権利を意識していく事が大切だと思います
- ・自由な時間
- ・具体的な自治体や政府の施策
- ・小さい頃から競争にさらされないことも大切だと思う
- ・時間に追われず自分のことに没頭できること
- ・多様性を尊重していくこと
- ・地域の人々と交流できる機会を与えること
- ・なかなかなくなならない、いじめなどのために登校できない児童が自宅や学校ではない場で学べる場を確保する事が大切ではないかと思う。まあ、その保護者も『絶対学校に通わせる』という考えから柔軟に学校以外の場に通う、学ぶことを受け入れられる世の中の雰囲気大切だと思う
- ・日本も外国人などいろいろなルーツを持った方が多くなっている。子どもたちも将来国際社会の中で生きていかなければならないので、同調圧力ではなく、人によって個性があること、考え方や捉え方があること、そして認め合うことを伝え続けることが大切である
- ・昔のような地域の口うるさい人の存在。そしてそれを受け入れる理解ある地域性。この人になら安心して話せる、そばに居られると思われる自身の幸福度と人間性の向上
- ・支援を必要とした時に使うことができる
- ・大人が、自分を理解し、子どもをひとりの人として育てていく意識を高めること。大人が親であることの意味を考えること。保護者教育(学び)の機会が増えるといいと思う
- ・大人が子供に寛容であること。(適当、いい加減等ということでなく)。大人がルールを守ること
- ・思いやりを持って接する中、生活の中で考える力を伸ばせるような機会を与えることが重要。そして、様々な機会を通し、満足感や達成感に繋がることで一步一步成長していくことと思います
- ・保護者の理解
- ・親の思いが一番、他人には介入できないことが多々ある。親次第で成長しないと現状が分からない子どもだけでは社会参加も難しい
- ・カウンセリングマインドをもつこと。相談されたことに対して必ずかたちとして提示すること
- ・家族、友だち、所属の場(学校、部活、習い事)の場で安心してすごせること見守り認めてくれる人がいること
- ・子どもが自由に(約束やマナーも守りながら)、自発的に活動ができる場。信頼できる友だち、大人がそばにいる場
- ・子どもとの対話、見守り、つながり、孤立しない家族、親への支援(相談)、居場所、学習支援、フリースクール
- ・地域の治安の回復
- ・自分をしっかり知って、進みたい道がどの道なのかをしっかりと考えられるそのために必要な力を知り、身につけられるような環境をつくりだす

- ・子ども同士の関わりを中心にした、安心できる人間関係が大切だと考えます
- ・すべての人が子どもの周りの出来事について、子どもの権利の視点からじっくり考え、吟味すること
- ・それを考えていくこと
- ・周りの大人が子どもを大切にすること。大人も自分自身を大切にできる社会
- ・課題ばかりに着目せずにその子自身が将来自分の得意な事、出来ることを自覚出来るように一人ひとりの光るものを見つけ伸ばしてあげることが大切
- ・周りの大人の適切な環境や対応、接し方、行動 ・気合根性義理人情
- ・乳幼児期の育ちはその後に大きく影響すると思う。今の保育園の環境は不十分。改善してほしい。保護者の労働環境も関係ある。さみしい思いを抱えて成長した子は、自分らしく生きづらくなることもある。小学校、中学校の環境も改善してほしい。今でも部活顧問や担任による圧力はある。保育園で自主性を大事にしてもその後につながっていない。幼保小の連携不足・・・教師の忙しさも原因。形だけの権利にならないよう、まわりの大人、親、教師が意識していかななくてはならない
- ・周りの大人がサポートをすること
- ・尊重されること
- ・子どもたちが大人になった時の社会的な立場の確立。働く意味。働く環境
- ・集団生活を大事にするのは遊びの部分であり、生活面は個々の特性に応じて自由にするべき
- ・多くの人が周りの人を受け入れ、多様な相手を認めて受け入れること
- ・保育園は保護者を支援する場であるが、まずは子どもが安心して過ごせる生活の場であることも大切。だが、長時間保育や誰でも通園制度など、必要だと思う反面、子どもにとってこの環境はどうなのだろうかと感じることもある。保護者支援と子どもの安心安全との兼ね合いが大切
- ・乳児の頃から無条件にたいせつにされること
- ・名声の高い学校ということではなく、それぞれの育ちの段階で出会う家族以外の大人、どのような大人と出会えるかも要と思います。と同時に自分自身が素でいられる場所があることが大切だと思います。人的物的両環境の必要性。
- ・親からの愛情、仲間との絆、取り巻く環境、制度の充実など、多方面から安心を得ることが自分らしく生きることにつながるのでないかと思っています
- ・20人ぐらいの学級になれば、もっと細やかに目が届き、ほとんどの問題は解消されていくはず（他1件）
- ・差別を受けないような社会を作ることが大切だと思う。そのために、どの子どももそれぞれに合った教育を受けられるべきである。さらに、受け入れられる体制が必要
- ・安心して学べる環境などが大切だと思います
- ・実効性のある取り組みをスピーディに進めていけるようになると良いと考えます
- ・偏見や差別を自覚出来る制度
- ・子どもの考えや意志を尊重してもらえ、実現に向けて後押ししてもらえたり、励ましてもらえる。危険が伴う場合には、危険であることを知らせてくれる、または、すぐに対応できる状態で見守ってもらえるなど、社会性の育みにも関わってもらえる
- ・子育て環境の見直し、未来を担う人材(教師含めて)の育成人数だけそろえればOK という訳ではない子ども主体でありつつも支える大人を育てないと大変なことになるだろう
- ・子どもたちのコミュニティーの場があって、自由に意見交換できる場所を用意してあげること
- ・主張された意見が形になること、形になるのが難しい場合は子どもに対して理由が説明されるべきだと思う
- ・SOSを一人ではなくて多くの大人がキャッチできるようにしておくことが大切であると思う
- ・子どもが自分にはどのような権利があり、尊重されるべきなのかを知ること、自分の権利も相手の権利も守るためにはどうしたらよいのかを考えること
- ・見守り支えたいと心から思える大人が大勢いて、力を合わせて様々な困難に立ち向かう事
- ・集団生活の中で、見守ることも大事だが支援したり子ども同士の関わりの中で仲介が必要だと感じた時に間に入り、子どもの気持ちを受け止め守ることで安心できると思う
- ・この地を愛し、自分に誇りがもてること
- ・自分と違う人や事を嫌悪せず、興味を持って関わりを待つ心を育ててほしい
- ・周囲の理解
- ・家庭を支えるサービスがしっかりしていることが大切だとも思います
- ・一緒にいて楽しい人を探す
- ・子どもへのケアも大事だが保護者(大人)へのケアが必要と感じたとき、学校現場だけではうまくいかない。対大人へのケアについても、社会全体で取り組む必要があると思う
- ・家庭環境の安定や経済的に余裕があることは大切なことだと考えます。大人が頑張っていかなければならないことがあるということです。学校でのあらゆる教育活動や地域の活動、学校外での文化・スポーツなどの活動、日常の遊び等子どもを取り巻く様々な環境があまりストレスのかからないものにできればと思います。これも大人しだいかなと思います
- ・塾や習い事だけでなく、体験活動を家族や友達と共有する時間が大切
- ・中学校の校則や部活動のあり方、子どもとの接し方など古い価値観に縛られている社会全体が、その価値観を刷新していくことが大切だと感じます

- ・ミスをしてでも次に良い結果になるよう受け止め導いてもらえること
- ・いろんな生物やいろんな年代の人と交流し、自分が活躍できる場所を見つけてほしい
- ・お互いに話し合うこと
- ・助けてくれる人が周りにいることを伝えること
- ・子どもだけでなく、子どもと関わる親や保育者などの心身の健康が守られること
- ・また学校生活でも、学習に前向きでなくても、先生や友人を通して集団生活を行い、色々なことに取り組むことも必要だと感じる。安心できる、場所(家庭)があれば、より社会に参加し、頑張ろうという意欲がいずれ出でくると思う
- ・大人が、子どもをひとりの人間として受け入れ、その権利を守っていくこと
- ・常識的なことを身につけさせ、集団の中で成長できる様にしていくこと
- ・子どもが自己肯定感を持ち、自分の力で物事を決めることが出来るようになるまでは、両親の存在は大きい。ゆとりを持ち子どもとの時間を過ごすことが出来る為には就労を小学3～4年生までは、収入のレベルを落とすことなく、短時間勤ムを(8:30～15:00/16:00)実施し、子どもに充分かかわってもらえる時間を持てる様にする
- ・認め合える仲間がいること、努力や協力した喜びを味わえること
- ・自己理解
- ・将来に希望をもって今生きられる社会であること。素敵な大人がたくさんいて見守っている。自己実現ができる社会。自分が人のために役に立っていると実感。毎日が充実していること
- ・子ども自身の力
- ・できないことでもやってみたいと思える気持ち。相手の気持ちを汲み取り、思いやりを持つこと

『あなた自身のこと』についてお聞きします。

Q24 あなたの令和6（2024）年4月2日時点での年齢をおしえてください。

	件数	%
10 歳代	0	0.0
20 歳代	76	20.6
30 歳代	69	18.7
40 歳代	103	27.9
50 歳代	82	22.2
60 歳代	27	7.3
70 歳代	2	0.5
無回答	10	2.7
合計	369	100.0

Q25 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
1 男性	125	33.9
2 女性	225	61.0
3 選べない・答えたくない	15	4.1
無回答	4	1.1
合計	369	100.0

Q26 あなたの所属を教えてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 小学校	94	25.5
2 中学校	40	10.8
3 高校	26	7.0
4 その他学校	21	5.7
5 保育園	98	26.6
6 こども文化センター	35	9.5
7 保育園以外の児童福祉施設	28	7.6
8 その他	22	6.0
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

【その他】

- ・児童相談所（他5件）
- ・地域子育て支援センター（他1件）
- ・わくわくプラザ（他1件）
- ・ゆうゆう広場（他1件）
- ・療育センター
- ・総合教育センター
- ・さー
- ・児童家庭支援センター
- ・児童養護施設
- ・放課後等デイサービス
- ・川崎市子ども夢パーク
- ・認定こども園

	件数	%
学校関係	181	49.1
施設関係	183	49.6
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

Q27 あなたの、令和6（2024）年4月1日での勤続年数を教えてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 1年未満	33	8.9
2 1年以上5年未満	75	20.3
3 5年以上10年未満	50	13.6
4 10年以上20年未満	115	31.2
5 20年以上30年未満	56	15.2
6 30年以上	35	9.5
無回答	5	1.4
合計	369	100.0

Ⅱ 調査票

1 調査票（子ども）

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査

子ども用

～ アンケート協力をお願い ～

- お送りしたあて名のご本人が教えてください。
 - 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
 - 答えられる範囲でかまいません。
 - 鉛筆かボールペンで書いてください。
 - 答え終わりましたら、いっしょにお送りした返信用封筒に入れて、送り返してください。
（返信用封筒には、切手をはる必要はありません。）
 - 令和6(2024)年9月30日までにポストに入れてください。
- ※ このアンケートは、川崎市にお住まいの方の中から、コンピュータで3,000人を選んでお送りしています。
- ※ あなたの答えた内容が、他の人に知られることはありません。

《 このアンケートをごらんになった保護者の方へ 》

無記名のアンケートであり、個人が特定されることはありません。お子様やご家族にご迷惑がかかることのないよう、十分配慮いたします。お子様が思っていることや考えていることを自由に書くようお伝えください。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

<https://logoform.jp/f/cdg11>

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えた

ときは、この調査票は捨ててください。



アクセスはこちら



11月20日はかわさき子どもの権利の日

【お問合せ先】

川崎市子ども未来局 青少年支援室 青少年育成・子どもの権利担当

電話：044-200-2344 Fax：044-200-3931

メールアドレス：45sien@city.kawasaki.jp

I 平成12(2000)年12月につくられた「**川崎市子どもの権利に関する条例**」についてお聞きます。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 名前も内容も知っている 2 名前だけ知っている 3 知らない
→1または2を回答した人は、Q2へお進みください →3を回答した人は、Q3へお進みください

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をどのように見たり聞いたりしますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- 1 学校の授業 2 学校の授業以外での話 3 学校で配布されたもの 4 学校の掲示物
5 市ホームページ(こどもページを含む) 6 市政だより 7 図書館の掲示 8 イベント
9 その他【具体的に: 】

川崎市子どもの権利に関する条例には、次のような7つの子どもの権利が示されています

1 安心して生きる権利	子どもは、愛情と理解をもって育てられ、あらゆる差別を受けず、安全・安心に生活できる
2 ありのままの自分でいる権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできる
3 自分を守り、守られる権利	いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したりできる 他の人が子どものことを決めるときに自分の意見が大事にされる
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように 励まされ、力づけられる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなの助けを受けたり、 必要な情報が得られる
6 参加する権利	自分を表現したり、自分の意見を言ったり、仲間をつくるなど、社会で 活動することができる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず支えられ、社会に参加して交流が できるように、その子どもにあわせて助けてもらえる

Q3 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

番号	大切だと思う理由

Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

番号	守られていないと思う理由

Ⅱ 『あなたの生活』についてお聞きします。

Q 5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいますか。（○は1つ）

1 いる 2 いない

Q 6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○、その中で一番あてはまるものに◎）

	あてはまるもの （すべてに○）	一番あてはまるもの （◎は1つ）
1 学校のこと		
2 家族のこと		
3 友だちのこと		
4 自分自身のこと		
5 疲れること、不安なこと、 悩んでいることはない		
6 その他 【具体的に： 】		

Q 7 あなたは、家ですごしているときに、自分の気持ちをうちのひと（おとな）に話すことができますか。（○は1つ）

1 できている →1を回答した人はQ8へお進みください
2 できていない →2を回答した人はQ7-1へお進みください

Q 7-1 Q 7において、「2 できていない」を選んだ人にお聞きします。

その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 おとなが話を聞いてくれないから 2 どのように話してよいかわからないから
3 おとなと話をする時間がないから 4 話したいと思うことがないから
5 その他【具体的に： 】

Q 8 いえ なに き 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。（○は1つ）

- 1 聞いている 2 だいたい聞いている →1または2を回答した人は、Q8-1へお進みください
3 ほとんど聞いていない 4 聞いていない →3または4を回答した人は、Q9へお進みください

Q 8-1 Q 8において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。
聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。（○は1つ）

- 1 実現されている 2 だいたい実現されている →1または2を回答した人は、Q8-2へお進みください
3 ほとんど実現されていない 4 実現されていない →3または4を回答した人は、Q9へお進みください

Q 8-2 Q 8-1において、「1 実現されている」または「2 だいたい実現されている」を選んだ人にお聞きします。実現されたことで印象に残っていることを教えてください。

具体的に：

Q 9 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

（○は1つ）

- 1 ある 2 だいたいある 3 ほとんどない 4 ない

Q 10 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。

（ホッとできる場所すべてに○、その中で一番ホッとできる場所◎）

場所	ホッとできる場所 （すべてに○）	一番ホッとできる場所 （◎は1つ）
1 自宅		
2 友だちの家		
3 学校（教室・図書室）		
4 クラブ・部活動		
5 習い事		
6 公園		
7 公的施設（図書館、こども文化センターなど）		
8 民間施設（カラオケ、ゲームセンター、 飲食店など）		
9 その他（ ）		

Q 11 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがいが、障がいのあるなしにかかわらず「子どもは大切にされている」と思いますか。（○は1つ）

- 1 そう思う 2 ときどき思う 3 ほとんどそう思わない 4 そう思わない

Q12 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず「子どもが必要な支援を受けられている」と思いますか。（○は1つ）

1 そう思う 2 ときどき思う 3 ほとんどそう思わない 4 そう思わない

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q13 あなたは、おとな（親、先生など）からたたかれたり、心を傷つけられる言葉を言われたり、無視されたりすることがありますか。（○は1つ）

1 ある 2 ない

Q14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

1 親 2 親以外の家族 3 友だち 4 学校の先生 5 相談機関
6 その他〔具体的に： 〕
7 相談したいけどできない〔理由： 〕
8 相談したいと思わない〔理由： 〕

Q15 川崎市には次のような子どもの相談を受けてくれるところがありますが、知っているところはありますか。また、実際に利用したところはありますか。

相談・救済機関	知っているもの （すべてに○）	利用したことがあるもの （すべてに○）
1 児童相談所		
2 民生委員・主任児童委員		
3 スクールカウンセラー		
4 総合教育センター		
5 24時間子供SOS電話相談		
6 教育委員会の教育相談室		
7 人権オンブズパーソン		
8 川崎いのちの電話		
9 かわさきチャイルドライン		
10 子どもの人権110番		
11 その他（ ）		

Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q15のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。（○は1つ）

1 したいと思う 2 したいけどできない（理由： ）
3 したいと思わない（理由： ）

1 対面^{たいめん}で（直接^{ちよくせつ}）相談^{そうだん}できる 2 電話^{でんわ}で相談^{そうだん}できる
3 文章^{ぶんしょう}（チャット^{ちゃっ}、SNS^となど）で相談^{そうだん}できる 4 通話料^{つうわりょう}がかからない
5 知^しっている人^{ひと}に相談^{そうだん}する 6 知^しらない人^{ひと}に相談^{そうだん}する
7 その他^{ほか}（具体的^{ぐたいてき}に： ）

※今までの学校生活や地域での過ごし方について教えてください。

1 聞^きいている 2 だ^きいたい聞^きいている →1 または2 を回答した人は、Q19へお進みください
3 ほ^きとん^きど聞^きいてい^きない 4 聞^きいてい^きない →3 または4 を回答した人は、Q18-1へお進みください

具体的に：

(^{おお}^{ぼしよ}すごすことが多い場所3つまで○、その中ではなかにいちばんあんしんして^{ぼしよ}すごせる場所に◎)

6

Q20 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加したことがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1 こども文化センターの活動・ボランティア	2 わくわくプラザの活動・ボランティア
3 寺子屋	4 スポーツ・文化活動
5 子ども会活動（ジュニアリーダーなど）	6 ボーイスカウト・ガールスカウト
7 地域のお祭り（みこし、模擬店の手伝いなど）	8 ボランティア活動（清掃ボランティアなど）
9 その他〔具体的に：	〕 →1～9 を回答した人は、Q20-1 へお進みください
10 参加したことがない	→10 を回答した人は、Q21 へお進みください

Q20-1 Q20において、1～9を選んだ人にお聞きします。地域で何かをしたり、決めたりするとき、おとなは子どもの意見を聞いていますか。（○は1つ）

1 聞いている	2 だいたい聞いている	→1または2を回答した人は、Q21 へお進みください
3 ほとんど聞いていない	4 聞いていない	→3または4を回答した人は、Q20-2 へお進みください

Q20-2 Q20-1において、「3 ほとんど聞いていない」または「4 聞いていない」を選んだ人にお聞きします。地域の活動・ボランティア等でもっと子どもの意見を聞いてほしいと思いますか。

1 そう思う	2 そう思わない
--------	----------

Q21 あなたは、次のような場で、話し合ったり、意見を言ったりしたことがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1 子ども会議の話し合い	
2 子ども夢パーク・こども文化センター・わくわくプラザでの活動やイベントについての話し合い	
3 学校教育推進会議、生徒会・児童会の話し合い	4 子ども会の話し合い
5 その他〔具体的に：	〕 6 したことがない

Q22 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない
------	------

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q23 あなたは、自分が好きですか。（○は1つ）

1 好き	2 だいたい好き	3 あまり好きではない	4 好きではない
------	----------	-------------	----------

Q24 あなたは、自分が親や周りのおとなから大切にされていると思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
--------	------------	-----------	----------

Q25 あなたは、自分が友だちにとって大切だと思いますか。（○は1つ）

1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
--------	------------	-----------	----------

Q26 あなたは、毎日が楽しいですか。（○は1つ）

1 楽しい	2 だいたい楽しい	3 あまり楽しくない	4 楽しくない
-------	-----------	------------	---------

Q27 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。なんでも自由に書いてください。

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

Q28 あなたの令和6(2024)年4月2日時点での年齢をおしえてください。

歳

Q29 あなたの性別をおしえてください。（○は1つ）

1 男性 2 女性 3 選べない・答えたくない

Q30 あなたの住んでいるところをおしえてください。（○は1つ）

1 川崎区 2 幸区 3 中原区 4 高津区 5 宮前区 6 多摩区 7 麻生区

Q31 あなたは、川崎市に住んで、どのくらいになりますか。（○は1つ）

1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上

Q32 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 父 2 母 3 祖父 4 祖母 5 兄弟姉妹 6 おじ 7 おば 8 その他

Q33 あなたは平日（月曜日から金曜日まで）の昼間、おもに何をしていますか。（○は1つ）

1 学校ですごしている 2 学校以外のところでもすごしている 3 働いている

2 調査票（おとな）

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査

おとな用

～ アンケート協力 のお願い ～

- お送りしたあて名のご本人が教えてください。
- 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
- 18歳未満の子どもとお住まいの方は、その子どものことについて教えてください。
子どもとお住まいでない方は、身近な子ども（近所や親戚の子どもなど）または子ども一般のことについて教えてください。
- 答えられる範囲でかまいません。
- 鉛筆かボールペンで書いてください。
- 答え終わりましたら、いっしょにお送りした返信用封筒に入れて、送り返してください。（返信用封筒には、切手をはる必要はありません。）
- 令和6（2024）年9月30日までにポストに入れてください。

※ このアンケートは、川崎市にお住まいの方の中から、コンピュータで3,000人を選んでお送りしています。

※ 川崎市子どもの権利に関する条例では、「子ども」を18歳未満としています。

※ あなたの答えた内容が、他の人に知られることはありません。

※ 外国人市民や障がいのある方などにも読みやすいように、ふりがなを振っています。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

<https://logoform.jp/f/d5Bp3>

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えた

ときは、この調査票は捨ててください。



アクセスはこちらから↓



11月20日はかわさき子どもの権利の日

【お問合せ先】

川崎市こども未来局 青少年支援室 青少年育成・子どもの権利担当

電話：044-200-2344 Fax：044-200-3931

メールアドレス：45sien@city.kawasaki.jp

I 平成12(2000)年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 名前も内容も知っている 2 名前だけ知っている 3 知らない
→1または2を回答した人は、Q2へお進みください →3を回答した人は、Q3へお進みください

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- 1 学校の授業(授業参観含む) 2 学校の授業以外での話 3 学校で配布されたもの
4 学校の掲示物 5 市ホームページ(こどもページを含む) 6 市政だより 7 図書館の掲示
8 イベント 9 その他〔具体的に: 〕

川崎市子どもの権利に関する条例には、次のような7つの子どもの権利が示されています

1 安心して生きる権利	子どもは、愛情と理解をもって育てられ、あらゆる差別を受けず、安全・安心に生活できる
2 ありのままの自分でいる権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできる
3 自分を守り、守られる権利	いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したりできる 他の人が子どものことを決めるときに自分の意見が大事にされる
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるよう に励まされ、力づけられる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなの助けを受けたり、必要な情報が得られる
6 参加する権利	自分を表現したり、自分の意見を言ったり、仲間をつくるなど、社会で活動することができる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず支えられ、社会に参加して交流ができるように、その子どもにあわせて助けてもらえる

Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

番号	大切だと思う理由

Q 8-1 Q 8において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。

子どもの意見を聞き、反映や実現できたことで印象に残っていることはどんなことですか。

具体的に：

→Q 9へお進みください

Q 8-2 Q 8において、「3 ほとんど聞いている」または「4 聞いている」を選んだ人にお聞きします。聞いている理由は何ですか。

具体的に：

Q 9 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいますか。（Qは1つ）

1 そう思う 2 そう思わない

Q 10 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。（Qは1つ）

1 あると思う 2 だいたいあると思う 3 ほとんどないと思う 4 ないと思う

Q 11 子どもにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてにQ）

1 自宅 2 友だちの家 3 学校（教室・図書室） 4 クラブ・部活動
5 習い事 6 公園 7 公的施設（図書館、こども文化センターなど）
8 民間施設（カラオケ、ゲームセンター、飲食店など）
9 特になし 10 その他【具体的に：】

Q 12 日常生活で、文化・国籍等のちがひ、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（Qは1つ）

1 そう思う 2 とときどき思う 3 ほとんどそう思わない 4 そう思わない

Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q 13 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。（Qは1つ）

1 いる 2 いない

Q 14 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてにQ）

1 夫・妻・パートナー 2 親 3 親・夫・妻・パートナー以外の家族
4 友人 5 職場の人 6 近所の人 7 相談機関【具体的に：】
8 その他【具体的に：】
9 相談したいけどできない【理由：】
10 相談したいと思わない【理由：】

Q15 川崎市には次のような相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）がありますが、知っていますか。また、利用したことはありますか。

（知っているものすべてに○、利用したことがある場合は◎）

相談・救済機関	知っている	利用したことがある
1 児童相談所		
2 民生委員・主任児童委員		
3 スクールカウンセラー		
4 総合教育センター		
5 24時間子供SOS電話相談		
6 教育委員会の教育相談室		
7 人権オンブズパーソン		
8 川崎いのちの電話		
9 かわさきチャイルドライン		
10 子どもの人権110番		
11 その他（ ）		

Q16 あなたは、子どもに関して困ったり悩んだりしたとき、Q15のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。（○は1つ）

1 したいと思う	2 したいけどできない（理由）	
3 したいと思わない（理由）		

Q17 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1 対面で（直接）相談できる	2 電話で相談できる
3 文章（チャット、SNS など）で相談できる	4 通話料がかからない
5 知っている人に相談する	6 知らない人に相談する
7 その他（具体的に： ）	

IV 『地域のこと』についてお聞きします。

※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども（近所や親戚の子どもなど）や、子ども一般のことについてお答えください。

Q18 あなたは、地域の活動・ボランティア等に参加していますか。（○は1つ）

1 参加している	2 だいたい参加している	3 ほとんど参加していない	4 参加していない
→1または2を回答した人はQ18-1へお進みください		→3または4を回答した人はQ19へお進みください	

1 ^き 聞いている	2 ^き だいたい聞いている	→ 1または2を回答した人はQ18-2へお進みください
3 ^き ほとんど聞いていない	4 ^き 聞いていない	→ 3または4を回答した人はQ18-3へお進みください

具体的に：

ぐたいてき
具体的に：

1 ^す好き 2 ^すだいたい好き 3 ^すあまり好きではない 4 ^す好きではない

1 ^{かん}感じる 2 ^{かん}だいたい感じる 3 ^{かん}あまり感じない 4 ^{かん}感じない

1 ^{たの}楽しい 2 ^{たの}だいたい楽しい 3 ^{たの}あまり楽しくない 4 ^{たの}楽しくない

1 ^{おも}そう思う 2 ^{おも}だいたいそう思う 3 ^{おも}あまり思わない 4 ^{おも}そう思わない

This image shows a blank sheet of primary-ruled paper. It features four horizontal rows designed for handwriting practice. Each row is defined by three lines: a solid top line, a dashed midline, and a solid bottom line. The paper is otherwise empty, with no text or markings.

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

Q24 あなたの令和6（2024）年4月2日時点での年齢をおしえてください。

____ 歳

Q25 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

1 男性 2 女性 3 選べない・答えたくない

Q26 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

1 妊娠中	2 0～2歳の子どもがいる
3 3～6歳（就学前）の子どもがいる	4 小学1～3年生の子どもがいる
5 小学4～6年生の子どもがいる	6 中学生の子どもがいる
7 18歳未満（4月2日現在）の高校生世代の子どもがいる	
8 18歳以上（4月2日現在）の子どもがいる	9 子どもはいない

Q27 あなたの住んでいるところをおしえてください。（○は1つ）

1 川崎区 2 幸区 3 中原区 4 高津区 5 宮前区 6 多摩区 7 麻生区

Q28 あなたは、川崎市に住んでどのくらいになりますか。（○は1つ）

1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上

Q29 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 父	2 母	3 祖父	4 祖母	5 兄弟姉妹
6 夫・妻・配偶者・パートナー	7 おじ	8 おば		
9 子ども	10 孫	11 一人暮らし	12 その他	

3 調査票（職員）

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 職員用

～ アンケート協力をお願い ～

- 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
- お答えいただける範囲でかまいません。
- 鉛筆かボールペンで書いてください。
- 回答が終わりましたら、一緒にお送りした返信用封筒に入れて、ご返送ください。
（返信用封筒には、切手を貼る必要はありません。）
- **令和6（2024）年9月30日まで**にポストに投函してください。

- ※ このアンケートは、川崎市内の学校や子どもに関する施設をとおして、子どもに関わっている職員の皆さまにお送りしています。
- ※ あなた個人の回答内容が職場や外部にもれることはありません。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

<https://logoform.jp/f/knJx5>

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えたときは、この調査票は破棄してください。



アクセスはこちらから↑



11月20日はかわさき子どもの権利の日

【お問合せ先】

川崎市こども未来局 青少年支援室 青少年育成・子どもの権利担当

電話：044-200-2344 Fax：044-200-3931

メールアドレス：45sien@city.kawasaki.jp

I 平成12（2000）年12月につくられた『**川崎市子どもの権利に関する条例**』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

- 1 名前も内容も知っている 2 名前だけ知っている 3 知らない

→1または2を回答した人は、Q2へお進みください

→3を回答した人は、Q3へお進みください

Q2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 職場内の研修・会議など 2 職場以外の講座や学習会、研修会など 3 パンフレット
4 川崎市ホームページ 5 ポスター 6 ちらし
7 新聞、テレビなど 8 その他〔具体的に： 〕

川崎市子どもの権利に関する条例には、次のような7つの子どもの権利が示されています

1 安心して生きる権利	子どもは、愛情と理解をもって育てられ、あらゆる差別を受けず、安全・安心に生活できる
2 ありのままの自分である権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできる
3 自分を守り、守られる権利	いじめ、虐待、体罰などから逃れたり相談したりできる 他の人が子どものことを決めるときに自分の意見が大事にされる
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように励まされ、力づけられる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなの助けを受けたり、必要な情報が得られる
6 参加する権利	自分を表現したり、自分の意見を言ったり、仲間をつくるなど、社会で活動することができる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず支えられ、社会に参加して交流ができるように、その子どもにあわせて助けてもらえる

Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。

また、その理由を教えてください。

番 号	大切だと思う理由

Q4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。

また、その理由を教えてください。

番 号	守られていないと思う理由

Ⅱ 『あなたの職場環境や子どもとの関わり』についてお聞きします。

Q5 あなたは、子どもから相談されたことがありますか。（○は1つ）

1 ある →1を回答した人はQ5-1へお進みください 2 ない →2を回答した人はQ6へお進みください

Q5-1 Q5において「1 ある」を選んだ人にお聞きします。相談されたことに対して具体的にアクションを起こせましたか。（○は1つ）

1 はい 2 いいえ

「1 はい」を選んだ方は具体的なアクションの内容を、「2 いいえ」を選んだ方はアクションを起こせなかった理由を記入してください。

Q6 あなたは普段子どもと関わったり、支援するときに、子どもの権利や条例の内容を意識して関わっていますか。（○は1つ）

1 意識している 2 少し意識している →1または2を回答した人は、Q6-1へお進みください
3 あまり意識していない 4 意識していない →3または4を回答した人は、Q7へお進みください

Q6-1 Q6において、「1 意識している」「2 少し意識している」を選んだ人にお聞きします。子どもの権利をどのような場面で意識していますか。（あてはまるものすべてに○）

1 子どもに話すとき 2 子どもの話を聞くととき 3 子どもと遊ぶとき
4 身体的ケア（着替え、食事介助など）をするとき 5 子どもを見守るとき
6 その他（具体的に ）

Q7 あなたは、職場において、子どもの話を聞く時間がとれていますか。（○は1つ）

1 とれている →1を回答した人は、Q8へお進みください
2 とれていない →2を回答した人は、Q7-1へお進みください

Q10 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。また、連携・紹介をしたものはありますか。

（知っているものは○、知っていて連携・紹介したことがあるものは◎）

相談機関	知っている	連携・紹介したことがある
1 保健福祉センター （地域みまもり支援センター）		
2 児童相談所		
3 児童・青少年電話相談		
4 児童虐待防止センター		
5 民生委員・主任児童委員		
6 スクールカウンセラー		
7 総合教育センター		
8 24時間子供SOS電話相談		
9 教育委員会の教育相談室		
10 電話相談ホットライン(体罰など)		
11 インターネット問題相談窓口		
12 やまびこ相談		
13 かわさき若者サポートステーション		
14 人権オンブズパーソン		
15 川崎いのちの電話		
16 かわさきチャイルドライン		
17 子どもの人権110番		
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談		
19 その他〔具体的に： 〕		

Q11 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。具体例や理由を含め教えてください。（○は1つ）

1 ある	（具体例：	）
2 ない	（理由：	）

Q12 あなたの職場では、「子どもが」子どもの権利を学ぶ機会がありますか。（○は1つ）

1 ある（半年に1回以上）	2 ある（年に1回程度）
3 ある（数年に1回）	4 ない

Q13 あなたの職場では、「あなたが」子どもの権利を学ぶ機会がありますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 ある（半年に1回以上） | 2 ある（年に1回程度） |
| 3 ある（数年に1回） | 4 ない |

Q14 あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できるように、子どもの権利を保障していくうえで、課題に感じていることがありましたら、具体的に書いてください。

Ⅲ 『あなたの思い』についてお聞きます。

Q15 あなたは、自分が好きですか。（○は1つ）

- | | | | |
|------|----------|-------------|----------|
| 1 好き | 2 だいたい好き | 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
|------|----------|-------------|----------|

Q16 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。（○は1つ）

- | | | | |
|-------|-----------|-----------|--------|
| 1 感じる | 2 だいたい感じる | 3 あまり感じない | 4 感じない |
|-------|-----------|-----------|--------|

Q17 あなたは、毎日が楽しいですか。（○は1つ）

- | | | | |
|-------|-----------|------------|---------|
| 1 楽しい | 2 だいたい楽しい | 3 あまり楽しくない | 4 楽しくない |
|-------|-----------|------------|---------|

Q18 あなたは、仕事上の悩みがありますか。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

Q19 あなたの職場には、仕事上の相談を安心してできる人がいますか。（○は1つ）

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|---|
| 1 したいと思う | |
| 2 したいけどできない（理由： | ） |
| 3 したいと思わない（理由： | ） |

(あてはまるものすべてに○)

1 夫・妻・パートナー 2 親 3 親・夫・妻・パートナー以外の家族
4 友人 5 職場の人 6 近所の人 7 相談機関〔具体的に： 〕
8 相談したいけどできない〔理由： 〕
9 その他〔具体的に： 〕

[illegible]

歲

1 男性 2 女性 3 選べない・答えたくない

1 小学校 2 中学校 3 高校 4 その他学校
5 保育園 6 こども文化センター 7 保育園以外の児童福祉施設
8 その他（ ）

1 1年未満	2 1年以上5年未満	3 5年以上10年未満
4 10年以上20年未満	5 20年以上30年未満	6 30年以上

川崎市子どもの権利に関する条例

平成 12（2000）年 12 月 21 日川崎市条例第 72 号
最近改正 2005（平成 17）年 3 月 24 日

目次

前文

第 1 章 総則（第 1 条～第 8 条）

第 2 章 人間としての大切な子どもの権利 （第 9 条～第 16 条）

第 3 章 家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利の保障

第 1 節 家庭における子どもの権利の保障 （第 17 条～第 20 条）

第 2 節 育ち・学ぶ施設における子どもの権利の保障 （第 21 条～第 25 条）

第 3 節 地域における子どもの権利の保障 （第 26 条～第 28 条）

第 4 章 子どもの参加（第 29 条～第 34 条）

第 5 章 相談及び救済（第 35 条）

第 6 章 子どもの権利に関する行動計画 （第 36 条・第 37 条）

第 7 章 子どもの権利の保障状況の検証 （第 38 条～第 40 条）

第 8 章 雑則（第 41 条）

附則

子どもは、それぞれが一人の人間である。子どもは、かけがえない価値と尊厳を持っており、個性や他の者との違いが認められ、自分が自分であることを大切にされたいと願っている。

子どもは、権利の全面的な主体である。子どもは、子どもの最善の利益の確保、差別の禁止、子どもの意見の尊重などの国際的な原則の下で、その権利を総合的に、かつ、現実に保障される。子どもにとって権利は、人間としての尊厳をもって、自分を自分として実現し、自分らしく生きていく上で不可欠なものである。

子どもは、その権利が保障される中で、豊かな子ども時代を過ごすことができる。子どもの権利について学習することや実際に行使することなどを通して、子どもは、権利の認識を深め、権利を実現する力、他の者の権利を尊重する力や責任などを身に付けることができる。また、自分の権利が尊重され、保障されるためには、同じように他の者の権利が尊重され、保障されなければならない、それぞれの権利が相互に尊重されることが不可欠である。

子どもは、大人とともに社会を構成するパートナーである。子どもは、現在の社会の一員として、また、未来の社会の担い手として、社会の在り方や形成にかかわる固有の役割があるとともに、そこに参加する権利がある。そのためには社会は、子どもに開かれる。

子どもは、同時代を生きる地球市民として国内外の子どもと相互の理解と交流を深め、共生と平和を願い、自然を守り、都市のより良い環境を創造することに欠かせない役割を持っている。

市における子どもの権利を保障する取組は、市に生活するすべての人々の共生を進め、その権利の保障につながる。私たちは、子ども最優先などの国際的な原則も踏まえ、それぞれの子どもが一人の人間として生きていく上で必要な権利が保障されるよう努める。

私たちは、こうした考えの下、平成元年 11 月 20 日に国際連合総会で採択された「児童の権利に関する条約」の理念に基づき、子どもの権利の保障を進めることを宣言し、この条例を制定する。

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この条例は、子どもの権利に係る市等の責務、人間としての大切な子どもの権利、家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利の保障等について定めることにより、子どもの権利の保障を図ることを目的とする。

（定義）

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

（1） 子ども 市民をはじめとする市に關係のある 18 歳未満の者その他これらの者と等しく権利を認めることが適当と認められる者

（2） 育ち・学ぶ施設 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）に規定する児童福祉施設、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に規定する学校、専修学校、各種学校その他の施設のうち、子どもが育ち、学ぶために入所し、通所し、又は通学する施設

（3） 親に代わる保護者 児童福祉法に規定する里親その他の親に代わり子どもを養育する者

（責務）

第 3 条 市は、子どもの権利を尊重し、あらゆる施策を通じてその保障に努めるものとする。

2 市民は、子どもの権利の保障に努めるべき場において、その権利が保障されるよう市との協働に努めなければならない。

3 育ち・学ぶ施設の設置者、管理者及び職員（以下「施設関係者」という。）のうち、市以外の施設関係者は、市の施策に協力するよう努めるとともに、その育ち・学ぶ施設における子どもの権利が保障されるよう努めなければならない。

4 事業者は、雇用される市民が養育する子ども及び雇用される子どもの権利の保障について市の施策に協力するよう努めなければならない。

（国等への要請）

第 4 条 市は、子どもの権利が広く保障されるよう国、他の公共団体等に対し協力を要請し、市外においてもその権利が保障されるよう働きかけを行うものとする。

（かわさき子どもの権利の日）

第 5 条 市民の間に広く子どもの権利についての関心と理解を深めるため、かわさき子どもの権利の日を設ける。

2 かわさき子どもの権利の日は、11 月 20 日とする。

3 市は、かわさき子どもの権利の日の趣旨にふさわしい事業を実施し、広く市民の参加を求めるものとする。

（広報）

第 6 条 市は、子どもの権利に対する市民の理解を深めるため、その広報に努めるものとする。

（学習等への支援等）

第 7 条 市は、家庭教育、学校教育及び社会教育の中で、子どもの権利についての学習等が推進されるよう必要な条件の整備に努めるものとする。

2 市は、施設関係者及び医師、保健師等の子どもの権利の保障に職務上関係のある者に対し、子どもの権利についての理解がより深まるよう研修の機会を提供するものとする。

3 市は、子どもによる子どもの権利についての自主的な学習等の取組に対し、必要な支援に努めるものとする。

（市民活動への支援等）

第8条 市は、子どもの権利の保障に努める市民の活動に対し、その支援に努めるとともに、子どもの権利の保障に努める活動を行うものとの連携を図るものとする。

第2章 人間としての大切な子どもの権利

(子どもの大切な権利)

第9条 この章に規定する権利は、子どもにとって、人間として育ち、学び、生活をしていく上でとりわけ大切なものとして保障されなければならない。

(安心して生きる権利)

第10条 子どもは、安心して生きることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 命が守られ、尊重されること。
- (2) 愛情と理解をもって育はぐくまれること。
- (3) あらゆる形態の差別を受けないこと。
- (4) あらゆる形の暴力を受けず、又は放置されないこと。
- (5) 健康に配慮がなされ、適切な医療が提供され、及び成長にふさわしい生活ができること。
- (6) 平和と安全な環境の下で生活ができること。

(ありのままの自分でいる権利)

第11条 子どもは、ありのままの自分でいることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 個性や他の者との違いが認められ、人格が尊重されること。
- (2) 自分の考えや信仰を持つこと。
- (3) 秘密が侵されないこと。
- (4) 自分に関する情報が不当に収集され、又は利用されないこと。
- (5) 子どもであることをもって不当な取扱いを受けないこと。
- (6) 安心できる場所で自分を休ませ、及び余暇を持つこと。

(自分を守り、守られる権利)

第12条 子どもは、自分を守り、又は自分が守られることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) あらゆる権利の侵害から逃れられること。
- (2) 自分が育つことを妨げる状況から保護されること。
- (3) 状況に応じた適切な相談の機会が、相談にふさわしい雰囲気の中で確保されること。
- (4) 自分の将来に影響を及ぼすことについて他の者が決めるときに、自分の意見を述べるのにふさわしい雰囲気の中で表明し、その意見が尊重されること。
- (5) 自分を回復するに当たり、その回復に適切でふさわしい雰囲気の場合が与えられること。

(自分を豊かにし、かづけられる権利)

第13条 子どもは、その育ちに応じて自分を豊かにし、かづけられることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 遊ぶこと。
- (2) 学ぶこと。
- (3) 文化芸術活動に参加すること。
- (4) 役立つ情報を得ること。
- (5) 幸福を追求すること。

(自分で決める権利)

第14条 子どもは、自分に関することを自分で決めることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 自分に関することを年齢と成熟に応じて決めること。

- (2) 自分に関することを決めるときに、適切な支援及び助言が受けられること。

- (3) 自分に関することを決めるために必要な情報が得られること。

(参加する権利)

第15条 子どもは、参加することができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 自分を表現すること。
- (2) 自分の意見を表明し、その意見が尊重されること。
- (3) 仲間をつくり、仲間と集うこと。
- (4) 参加に際し、適切な支援が受けられること。

(個別の必要に応じて支援を受ける権利)

第16条 子どもは、その置かれた状況に応じ、子どもにとって必要な支援を受けることができる。そのためには、主として次に掲げる権利が保障されなければならない。

- (1) 子ども又はその家族の国籍、民族、性別、言語、宗教、出身、財産、障害その他の置かれている状況を原因又は理由とした差別及び不利益を受けないこと。
- (2) 前号の置かれている状況の違いが認められ、尊重される中で共生できること。
- (3) 障害のある子どもが、尊厳を持ち、自立し、かつ、社会への積極的な参加が図られること。
- (4) 国籍、民族、言語等において少数の立場の子どもが、自分の文化等を享受し、学習し、又は表現することが尊重されること。
- (5) 子どもが置かれている状況に応じ、子どもに必要な情報の入手の方法、意見の表明の方法、参加の手法等に工夫及び配慮がなされること。

第3章 家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利の保障

第1節 家庭における子どもの権利の保障

(親等による子どもの権利の保障)

第17条 親又は親に代わる保護者(以下「親等」という。)は、その養育する子どもの権利の保障に努めるべき第一義的な責任者である。

- 2 親等は、その養育する子どもが権利を行使する際に子どもの最善の利益を確保するため、子どもの年齢と成熟に応じた支援に努めなければならない。
- 3 親等は、子どもの最善の利益と一致する限りにおいて、その養育する子どもに代わり、その権利を行使するよう努めなければならない。
- 4 親等は、育ち・学ぶ施設及び保健、医療、児童福祉等の関係機関からその子どもの養育に必要な説明を受けることができる。この場合において、子ども本人の情報を得ようとするときは、子どもの最善の利益を損なわない限りにおいて行うよう努めなければならない。

(養育の支援)

第18条 親等は、その子どもの養育に当たって市から支援を受けることができる。

- 2 市は、親等がその子どもの養育に困難な状況にある場合は、その状況について特に配慮した支援に努めるものとする。
- 3 事業者は、雇用される市民が安心してその子どもを養育できるよう配慮しなければならない。

(虐待及び体罰の禁止)

第19条 親等は、その養育する子どもに対して、虐待及び体罰を行ってはならない。

(虐待からの救済及びその回復)

第20条 市は、虐待を受けた子どもに対する迅速かつ適切な救済及びその回復に努めるものとする。

- 2 前項の救済及びその回復に当たっては、二次的被害が生じないようその子どもの心身の状況に特に配慮しなければならない。
- 3 市は、虐待の早期発見及び虐待を受けた子どもの迅速かつ適切な救済及びその回復のため、関係団体等との連携を図り、その支援に努めるものとする。

第2節 育ち・学ぶ施設における子どもの権利の保障 (育ち・学ぶ環境の整備等)

第21条 育ち・学ぶ施設の設置者及び管理者（以下「施設設置管理者」という。）は、その子どもの権利の保障が図られるよう育ち・学ぶ施設において子どもが自ら育ち、学べる環境の整備に努めなければならない。

- 2 前項の環境の整備に当たっては、その子どもの親等その他地域の住民との連携を図るとともに、育ち・学ぶ施設の職員の主體的な取組を通して行われるよう努めなければならない。

(安全管理体制の整備等)

第22条 施設設置管理者は、育ち・学ぶ施設の活動における子どもの安全を確保するため、災害の発生の防止に努めるとともに、災害が発生した場合にあっても被害の拡大を防げるよう関係機関、親等その他地域の住民との連携を図り、安全管理の体制の整備及びその維持に努めなければならない。

- 2 施設設置管理者は、その子どもの自主的な活動が安全の下で保障されるようその施設及び設備の整備等に配慮しなければならない。

(虐待及び体罰の禁止等)

第23条 施設関係者は、その子どもに対し、虐待及び体罰を行ってはならない。

- 2 施設設置管理者は、その職員に対し、子どもに対する虐待及び体罰の防止に関する研修等の実施に努めなければならない。
- 3 施設設置管理者は、子どもに対する虐待及び体罰に関する相談をその子どもが安心して行うことができる育ち・学ぶ施設における仕組みを整えるよう努めなければならない。
- 4 施設関係者は、虐待及び体罰に関する子どもの相談を受けたときは、子どもの最善の利益を考慮し、その相談の解決に必要な者、関係機関等と連携し、子どもの救済及びその回復に努めなければならない。

(いじめの防止等)

第24条 施設関係者は、いじめの防止に努めなければならない。

- 2 施設関係者は、いじめの防止を図るため、その子どもに対し、子どもの権利が理解されるよう啓発に努めなければならない。
- 3 施設設置管理者は、その職員に対し、いじめの防止に関する研修等の実施に努めなければならない。
- 4 施設設置管理者は、いじめに関する相談をその子どもが安心して行うことができる育ち・学ぶ施設における仕組みを整えるよう努めなければならない。
- 5 施設関係者は、いじめに関する子どもの相談を受けたときは、子どもの最善の利益を考慮し、その相談の解決に必要な者、関係機関等と連携し、子どもの救済及びその回復に努めなければならない。この場合において、施設関係者は、いじめを行った子どもに対しても必要な配慮を行った上で適切な対応を行うよう努めなければならない。

(子ども本人に関する文書等)

第25条 育ち・学ぶ施設における子ども本人に関する文書は、適切に管理され、及び保管されなければならない。

- 2 前項の文書のうち子どもの利害に影響するものにあつては、その作成に当たり、子ども本人又はその親等

の意見を求める等の公正な文書の作成に対する配慮がなされなければならない。

- 3 育ち・学ぶ施設においては、その目的の範囲を超えてその子ども本人に関する情報が収集され、又は保管されてはならない。
- 4 前項の情報は、育ち・学ぶ施設のその目的の範囲を超えて利用され、又は外部に提供されてはならない。
- 5 第1項の文書及び第3項の情報に関しては、子どもの最善の利益を損なわない限りにおいてその子ども本人に提示され、又は提供されるよう文書及び情報の管理等に関する事務が行われなければならない。
- 6 育ち・学ぶ施設において子どもに対する不利益な処分等が行われる場合には、その処分等を決める前に、その子ども本人から事情、意見を聴く場を設ける等の配慮がなされなければならない。

第3節 地域における子どもの権利の保障

(子どもの育ちの場等としての地域)

第26条 地域は、子どもの育ちの場であり、家庭、育ち・学ぶ施設、文化、スポーツ施設等と一体となってその人間関係を豊かなものとする場であることを考慮し、市は、地域において子どもの権利の保障が図られるよう子どもの活動が安全の下で行うことができる子育て及び教育環境の向上を目指したまちづくりに努めるものとする。

- 2 市は、地域において、子ども、その親等、施設関係者その他住民がそれぞれ主体となって、地域における子育て及び教育環境に係る協議その他の活動を行う組織の整備並びにその活動に対し支援に努めるものとする。

(子どもの居場所)

第27条 子どもには、ありのままの自分であること、休息して自分を取り戻すこと、自由に遊び、若しくは活動すること又は安心して人間関係をつくり合うことができる場所（以下「居場所」という。）が大切であることを考慮し、市は、居場所についての考え方の普及並びに居場所の確保及びその存続に努めるものとする。

- 2 市は、子どもに対する居場所の提供等の自主的な活動を行う市民及び関係団体との連携を図り、その支援に努めるものとする。

(地域における子どもの活動)

第28条 地域における子どもの活動が子どもにとって豊かな人間関係の中で育つために大切であることを考慮し、市は、地域における子どもの自治的な活動を奨励するとともにその支援に努めるものとする。

第4章 子どもの参加

(子どもの参加の促進)

第29条 市は、子どもが市政等について市民として意見を表明する機会、育ち・学ぶ施設その他活動の拠点となる場でその運営等について構成員として意見を表明する機会又は地域における文化・スポーツ活動に参加する機会を諸施策において保障することが大切であることを考慮して、子どもの参加を促進し、又はその方策の普及に努めるものとする。

(子ども会議)

第30条 市長は、市政について、子どもの意見を求めるため、川崎市子ども会議（以下「子ども会議」という。）を開催する。

- 2 子ども会議は、子どもの自主的及び自発的な取組により運営されるものとする。
- 3 子ども会議は、その主体である子どもが定める方法により、子どもの総意としての意見等をまとめ、市長に提出することができる。
- 4 市長その他の執行機関は、前項の規定により提出された意見等を尊重するものとする。

- 5 市長その他の執行機関は、子ども会議にあらゆる子どもの参加が促進され、その会議が円滑に運営されるよう必要な支援を行うものとする。

(参加活動の拠点づくり)

第31条 市は、子どもの自主的及び自発的な参加活動を支援するため、子どもが子どもだけで自由に安心して集うことができる拠点づくりに努めるものとする。

(自治的活動の奨励)

第32条 施設設置管理者は、その構成員としての子どもの自治的な活動を奨励し、支援するよう努めなければならない。

- 2 前項の自治的な活動による子どもの意見等については、育ち・学ぶ施設の運営について配慮されるよう努めなければならない。

(より開かれた育ち・学ぶ施設)

第33条 施設設置管理者は、子ども、その親等その他地域の住民にとってより開かれた育ち・学ぶ施設を目指すため、それらの者に育ち・学ぶ施設における運営等の説明等を行い、それらの者及び育ち・学ぶ施設の職員とともに育ち・学ぶ施設を支え合うため、定期的に話し合う場を設けるよう努めなければならない。

(市の施設の設置及び運営に関する子どもの意見)

第34条 市は、子どもの利用を目的とした市の施設の設置及び運営に関し、子どもの参加の方法等について配慮し、子どもの意見を聴くよう努めるものとする。

第5章 相談及び救済

(相談及び救済)

- 第35条** 子どもは、川崎市民権オンブズパーソンに対し、権利の侵害について相談し、又は権利の侵害からの救済を求めることができる。
- 2 市は、川崎市民権オンブズパーソンによるもののほか、子どもの権利の侵害に関する相談又は救済については、関係機関、関係団体等との連携を図るとともに子ども及びその権利の侵害の特性に配慮した対応に努めるものとする。

第6章 子どもの権利に関する行動計画

(行動計画)

第36条 市は、子どもに関する施策の推進に際し子どもの権利の保障が総合的かつ計画的に図られるための川崎市子どもの権利に関する行動計画(以下「行動計画」という。)を策定するものとする。

- 2 市長その他の執行機関は、行動計画を策定するに当たっては、市民及び第38条に規定する川崎市子どもの権利委員会の意見を聴くものとする。

(子どもに関する施策の推進)

第37条 市の子どものに関する施策は、子どもの権利の保障に資するため、次に掲げる事項に配慮し、推進しなければならない。

- (1) 子どもの最善の利益に基づくものであること。
- (2) 教育、福祉、医療等との連携及び調整が図られた総合的かつ計画的なものであること。
- (3) 親等、施設関係者その他市民との連携を通して一人一人の子どもを支援するものであること。

第7章 子どもの権利の保障状況の検証

(権利委員会)

第38条 子どもに関する施策の充実を図り、子どもの権利の保障を推進するため、川崎市子どもの権利委員会(以下「権利委員会」という。)を置く。

- 2 権利委員会は、第36条第2項に定めるもののほか、市長その他の執行機関の諮問に応じ、子どもに関す

る施策における子どもの権利の保障の状況について調査審議する。

- 3 権利委員会は、委員10人以内で組織する。
- 4 委員は、人権、教育、福祉等の子どもの権利にかかわる分野において学識経験のある者及び市民のうちから、市長が委嘱する。
- 5 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 第4項の委員のほか、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、権利委員会に臨時委員を置くことができる。
- 8 委員及び臨時委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
- 9 前各項に定めるもののほか、権利委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(検証)

第39条 権利委員会は、前条第2項の諮問があったときは、市長その他の執行機関に対し、その諮問に係る施策について評価等を行うべき事項について提示するものとする。

- 2 市長その他の執行機関は、前項の規定により権利委員会から提示のあった事項について評価等を行い、その結果を権利委員会に報告するものとする。
- 3 権利委員会は、前項の報告を受けたときは、市民の意見を求めるものとする。
- 4 権利委員会は、前項の規定により意見を求めるに当たっては、子どもの意見が得られるようその方法等に配慮しなければならない。
- 5 権利委員会は、第2項の報告及び第3項の意見を総合的に勘案して、子どもの権利の保障の状況について調査審議するものとする。
- 6 権利委員会は、前項の調査審議により得た検証の結果を市長その他の執行機関に答申するものとする。

(答申に対する措置等)

- 第40条** 市長その他の執行機関は、権利委員会からの答申を尊重し、必要な措置を講ずるものとする。
- 2 市長は、前条の規定による答申及び前項の規定により講じた措置について公表するものとする。

第8章 雑則

(委任)

第41条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長その他の執行機関が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。
(権利侵害からの救済等のための体制整備)
- 2 市は、子どもに対する権利侵害の事実が顕在化しにくく認識されにくいことと併せ、子どもの心身に将来にわたる深刻な影響を及ぼすことを考慮し、子どもが安心して相談し、救済を求めることができるようにするとともに、虐待等の予防、権利侵害からの救済及び回復等を図ることを目的とした新たな体制を早急に整備する。

附 則 (平成13年6月29日条例第15号)

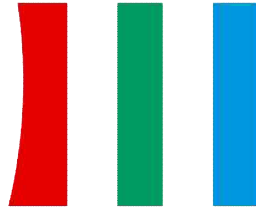
この条例の施行期日は、市長が定める。

(平成14年3月29日規則第33号で平成14年5月1日から施行)

附 則 (平成14年3月28日条例第7号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
附 則 (平成17年3月24日条例第7号) 抄
この条例は、公布の日から施行する。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

第9回

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査
報 告 書

令和7（2025）年3月

発行・調査実施 川崎市

編集 川崎市こども未来局青少年支援室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2344 FAX 044-200-3931